

12月29日(水)晴・9/37

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年12月29日(水)06時21分58秒

今年も、お世話になりました。
ご愛読、有難うございました。
今年の日記は、今日でお終いです。

日記は、一年、土日を除いて、ほぼ毎日書きました。
来年、15年目を迎えます。
引き続き、よろしくお願い致します。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-15.html>

今日から年末の山です。
今年は、極寒でなかなか厳しそうです。

照るも曇るも自然は正直。
昨年末は、唐松岳で爆風、「頂上まで、あと36m」で撤退。
いい経験でした。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/000-40.pdf>

自然は、「あるがまま、受け入れる」が、正に「自然」です。
登頂は、結果。「過程を楽しむ、味わう、飲む」の心境です。

また、来年もよろしくお願い致します。





12月28日(火)晴・9/37

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2021年12月28日(火)06時20分39秒

つづき

ニッ塚から更に上を目指した。

途中でアイゼンの調子を見るために、アイゼンを装着。

真新しいアイゼンで、爪が立っているので効きすぎる。

天気は時々、ガスるが概ね良い。ただ、風は冷たく気温も低い。

標高差1000mを目標に上った。何処かの方が、我々を抜いて行った。

青空をバックに見事な凍雲(とううん)が広がる。

結局、標高2150mで終わった。暮れの雪山があるので、今回はほどほど。

富士山は、兎に角、のっぺらぼうで変化に乏しく、ちょっと飽きる。下山は、ニッ塚南を下る。なるべく変化のあるコースを選択。

上塚と下塚の間の沢の雪は、先日 비해大分、減っていた。時間は11:30。同行者が空腹を訴えた。少し下った唐松林で昼食。

「爛ビール」が温かく美味しい。日本酒も持参したので熱燗。しかし、座っていると、モーレツに寒かった。-10度くらいか。それに風があるので、体感は更に下がる。

横になり仰ぐ富士山が大きかった。やっぱり富士山は大きい。訪れたことはないが、何故か「ペルーアンデスみたい」と言ってしまった。発言の理由は不明。

上から先ほど抜いて行った方が降りて来た。声を掛けたら傍に来た。神奈川の方だった。防寒で顔が不明だが50半ばか。下山して奥様実家の勝沼に行くと話した。

我々も下山。今回は靴とアイゼンの具合をみた、ほどほどの山で暮れからの山に備えた。

おわり





[返信・引用 編集済](#)

12月27日(月)晴・8/33

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年12月27日(月)04時32分18秒

今朝は、寒い!!!家中で8度しかない!!!

昨日は、富士山・ニッ塚で雪山訓練でした。
コースは、洞門～ニッ塚上標高2150m～ニッ塚南～洞門。
天気＝晴れ時々霧、気温＝－10度、参加＝3名。

洞門から出発。周遊道の雪は無かった。昨日の雨は雪ではなかったようだ。駐車場にM労山の人たちが何名かいた。
雪上訓練といった。ただ、「ニッ塚に行く」というので、「雪はないよ。訓練なら宝永でしょう」とアドバイスしたら、宝永に変更して向かって行った。

下部は雪が無かった。ただ、砂礫が凍っていて歩き易い。
今回は、購入した新しい冬靴の試履きとやはり新しいアイゼンの調整が主な目的。

靴の正規価格は、64、900円。高額な靴だった。冬靴は既に何年か履いているものがあるが、欠点は「重かった」。片足1100gある。両足だと、ズッシリ感じる。

今度の靴は、片足950g。150g違うと可なり軽く感じる。
以前も書いたが、長い歩行時間を考えると、負担は相当軽減される。しかも温かい。

同行した方の靴が、やや古いタイプだった。聞けば、今回の山は低温で足先が冷たかったという。しかし、我々の靴は、全く冷たさを感じなかった。凄いものだ。軽量でしかも保温性が大きい。

高額の原因はここにあった。抜群の保温力がある素材を使っているからだ。外観が同じだが、価格が違うものもある。全く外観は同じだが価格は、2万円違う。使っている素材と使用量が違うのだ。

この辺りは、よく吟味して購入しないと、後で後悔する。モノの価格は伊達に決まっていない。良いものは高いのは当然である。雪・冬山装備は、少々の価格の違いで判断してはいけない。

今回は大きさも丁度良く、良い買い物だったと感じた。年末の雪山が楽しみですね。





[返信・引用](#) [編集](#)

12月24日(金)晴・12/47

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年12月24日(金)06時29分15秒

つづき

前回、最終の「富士養鱒場」から出発。

天気は良く風はない。トイレが閉まっていた。

「陣馬の滝」まで、ダラダラ下る。ここのトイレは開いていた。滝は湯水で流れは少なかった。

遠照寺で「太鼓石」を見学。これは、「溶岩樹形」。滝で見つけた伝承がある。

田舎道を下って、「小田貫湿原」に入る。湯水期には、水が豊富だった。富士山が大きい、高圧線が邪魔だった。

田貫湖着。釣り人が多い。岬で記念撮影。光線が斜光で顔が明るくなかった。富士五湖と田貫湖の中で、ここの富士山が一番と思う。

ただ、田貫湖は自然湖でなく人工湖。

湖畔を進む。途中、「ナラ枯れ」があったので説明。西側のビューポイント着。もう一度、記念撮影。時間が進み、先ほどより、光線が良かった。

ここの宿舎は人気があるようだ。なかなか、予約が取れないと聞いた。田貫湖からグングン下って、白糸の滝。今回は、ここで終了。

バスで「天母の湯」に向かい、昼食会を敢行した。

今年は、コロナ・猛暑で3回休講したが、何よりも無事終わって安堵。
来年も、頑張っ楽しんでもう！！



12月23日(木)晴・15/50

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年12月23日(木)06時54分38秒

昨日は、

12月度・富士山一周ウオーキングでした。コースは、富士養鱒場～陣馬の滝～小田貫湿原～田貫湖～白糸の滝。天気＝無風快晴、距離＝約15km、参加＝15名

昼食会で今年の「一文字」を語った。

S茂・・・「続」続けているから、今の自分がある。来年も休まず、続けていくぞ！！

S山・・・「楽」今年も楽しめた。来年も楽しみたい。

Z賀・・・「嬉」今年もイイウオークだった。来年も嬉しい年にしたい。

U松・・・「楽」楽しいウオークで完歩した。来年も楽しくやりたい。

N尾・・・「歩」いいウオークだった。様々な経験が良かった。来年も歩くぞ！！

S裕・・・「己」長くいつまでも楽しみたい。定年で生き方を見直し、己をスキルアップ！！

K竹・・・「希」歩けるだけで幸せ。希望を持っていきたい。

S千・・・「忍」普段はチワワの散歩だけ。ウオークは、新しい発見が素晴らしい。

K口・・・「陽」当初、バスを頼りにしたが結果なかった。

M本・・・「動」4月から参加。頑張っで動きたい。

Y山・・・「密」普段、家で密。来年、入院予定。リハビリに励みたい。

S由・・・「健」富士山一周は体にイイ。点から点で面になる。歩くと体がス～とする。

G谷・・・「高」4年前に参加。最近、前期高齢者になった。

K藤・・・「足」皆さんが無事、歩けるようにサポートした。

G藤・・・「録」今年も来年も皆さんと共に記録を残したい。





[返信・引用](#) [編集](#)

12月21日(火)晴・10/45

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年12月21日(火)06時51分2秒

芸能人だから、どうこうでなく若い方が命を絶つのは悲しい。

冬山で予期せぬ露営を「ビバーク」と呼んでいる。
普通、夏でも冬でも宿泊地は決まっているものだ。
ところが、様々な事情で、予定外の場所で夜を過ごさなければならない時がある。

多くの場合は「時間切れ」。夏山は積雪で行動が阻まれ時間が遅くなることは少ないが、雪山は、積雪・天候でままする。

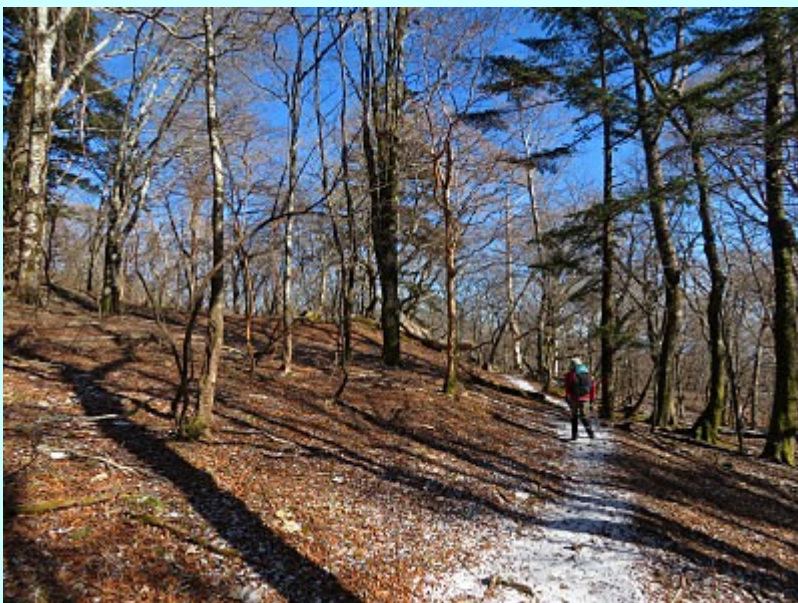
最近では、2015年12月28日、甲斐駒・日向八丁尾根を上り、鋸尾根・三ツ頭先でビバークした。時間切れで、予定の石室まで行き着けなかった。狭い尾根上でツェルト（簡易テント）を張ってのビバーク。外は一晩中、ゴォーと嵐が咆哮していた。

古い記憶では、1988年2月、恵那山でビバークしている。2月の深い雪で時間切れだった。記録を紐解いたら、3名だったので、結構、楽しそうだった。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/000-218.pdf>

更に古い記録では、1974年2月、八ヶ岳・横岳の中山尾根と稜線の

間で15:00ビバークした。風が強く厳しいビバークだった。翌日は、7:30起床し、11:00に美濃戸山荘に下山した。ビバークは、冬山に多い。



12月20日(月)晴・9/43

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年12月20日(月)06時05分46秒

今朝は、

家の中で9・3度だった。

さすがに、10度以下は寒い。

一昨日、寝ていて寒かったので、昨夜は、初めて「靴下を履いて」寝た。

今まで、そんなことはなかった。

若いころ、冬山でもシュラフの中で素足で寝た。足が温いと寝られないからだ。

冬山は小屋の中でもマイナス10度くらいになる。

2019年12月、空木岳・池山小屋では、小屋内のテントがバリバリに凍って寝れなかった。

履いた靴下は、山用で脛脛までの長いモノ。

以前、チラッと聞いた話では、「脛脛は第二の心臓で」冷やさない方が良い、だった。

血液は下半身に集まる。その血液を冷やすのは得策でない。温かい血液を流せば安眠できる訳。就寝時、足が痙攣する話を聞くが、これも血流が滞って起こる現象といわれる。

案の定、夕べは快眠だった。そんな訳で、今冬は、「靴下寝」を実行しよう。

「断捨離」せず、残して置いた、山用靴下が役に立った。これも加齢だね。(´艸`)



12月17日(金)雨・15/56

[返信・引用](#) 編
集済

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年12月17日(金)06時19分49秒

先日、

後期高齢者の運転免許適正検査を受けたが、このところ「ヒヤリ。ハット」が多い。

1. 慣れない地域の交差点で右折。右折路が90度でなく、135度くらいの鋭角。右折信号で曲がったら、そこは進入路でなく、反対車線だった。右折信号で反対車両は止まっていたので良かった。センターラインを越えて進入路に入り事なきを得た。

教訓・・・知らない土地は要注意。

2. これも慣れない地域で、少し考え事をして赤信号を見落とし、交差点直前で急ブレーキ。丁度、右手車両が交差点を通過して行った。反対車線の運転手が恐ろしい形相だった。知らない土地は、信号が何処にあるか頭に入っていない。

教訓・・・運転中は難しいことは考えない。

3. 慣れている地域だったが、左折しようとした時、横断歩道直前で高校生の自転車が猛スピードで横断歩道渡って行った。私がユックリだったので良かったが、速かったら完全に衝突だった。間一髪危なかった。あれでは若い衆の自転車事故が減らない。

教訓・・・兎に角、交差点はユックリと左右確認。

暮れに来て、自動車事故はいただけない。先日の適性検査は、認知傾向（記憶力）の把握だが、今回思ったのは、むしろ「注意力」があるか（高い）・ないか（低い）だろう。運転に不安を覚えたら、免許返上しかないね。





12月16日(木)晴・12/49

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年12月16日(木)09時15分54秒

天気が

良いうえ風もない。年末の「断捨離」にイイ日。

不要なガラクタが多い。ガラスケースの日本人形・ノートパソコン3台・子供用の食卓椅子・小型暖房機・などなど。

ただ、小型金庫とか石は何故かダメ。町の廃棄場に持参してスッキリ。ついでに床屋も行って、更にスッキリ。

スッキリした気持ちで、新年を迎えたいですね。



12月15日(水)晴・11/40

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年12月15日(水)06時42分38秒

今朝は、よく冷えた。

山の装備も、ほどほどで交換している。今回は、冬靴とアイゼン。

新しくする理由は、加齢と共に「軽量化」だ。

今までのアイゼンは、しっかりしたもので、重量は片足=500g。

新しいのは片足=450g。両足で100g軽量化。

100gって、一見、大したことはなさそうだが、結構大きい。

靴は、今までののは片足=1100gだった。

今度のは、片足=950g。この150gは非常に大きい。

雪山登山は、8時間~10時間行動はザラ。

僅かな重量の違いが長時間行動に微妙に影響する。

若いころは雪山で35kg背負ったこともある。

しかし、最近では「おにぎりの梅干しの種を抜く」くらいの軽量化に努めている。(笑い)





12月14日(火)晴・14/42

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年12月14日(火)06時46分53秒

つづき

2時間でニッ塚・上塚に上って下る。
富士山の「塚」は、寄生火山。水ヶ塚・浅黄塚・腰切塚・東臼塚など。

学術的には、70以上、明確なものだけで60、あるという。
山が大きいから、その数は、日本一という。
「塚」を巡るツアーも面白いと思う。

東側下部は雪が多かった。沢筋はイイ雪で、スキーが出来る感じだった。

下部で一人、男性が上って来た。洞門に下り、お胎内温泉下の公園で忘年会。

風がなく温かくシアワセだった。下のグラウンドで子供たちが野球の練習をやっていた。皆、ちゃんとユニホームを着ていた。

私の子供の頃は、ユニホームを着れる子とそうでない子がいた。当然、私は後者だった。カッコいい、ユニホームが羨ましかった。今は、そんな子供は、いないだろう。

掛け声が響く。のどかで平和な日本だった。豚汁で乾杯。一年の活動を振り返った。今年は今日まで、山行は61回だった。

今年も頑張った年だった。無事に終わりそうで有難い。





[返信・引用](#) [編集](#)

12月13日(月)晴 16/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年12月13日(月)05時10分51秒

土曜日は、

富士山・ニッ塚上塚(1929m)でした。コースは、洞門から往復。
天気=無風・快晴、標高差=639m、参加=6名。

恒例の忘年山行。当初、電車参加予定者もいて、足柄峠の予定だったが、不参加になったので、雪のある富士山に変更した。

この時期、富士山に雪があれば、やっぱり富士山だろう。御殿場から仰ぐニッ塚、雪は多くなかった。でも兎に角、行ってみる。洞門から出発。Kが先行し駐車スペースを確保してくれた。

車は3台あった。神奈川の若い衆がボードで来たらしいが、少雪で帰ったという。この時期、さすがにボード・スキーは厳しい。

山は寒くなかった。12月半ばにしては高温。大汗を掻いて上る。真っ白い富士山が大きい。宝永山から上は雪が多い。下部の尾根筋は雪が飛ばされているので沢を進む。

吹き溜まりには、タップリ雪があった。快晴で風はない。サクサク上る。快適快適。やっぱり雪山は素晴らしい。下からカメラを構える。イイ写真を収めた。

ニッ塚を北から上る。雪はあるがアイゼンを使う程ではない。2時間丁度で上塚に上った。標高差は、600ちょいだから、こんなものだろう。少し休んで下山。下山は、火山礫をザックザックと下る。

つづく



12月10日(金)晴・16/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年12月9日(木)18時09分47秒

つづき

お釈迦様が悟りを得た「成道会」とは・・・。

12月8日は、お釈迦さまがお悟りを開かれた事をお祝いする「成道会」の日です。お釈迦さまはシャカ族の王子として生まれ育つ中で、何不自由のない恵まれた生活を送っていました。しかしある時「人は生まれてきた以上、必ず年老いてゆくし、また病気にもかかる。

そして何より死というものは誰にでも必ず訪れる」という自然の摂理に気づかれます。

この逃れようのない苦の現実をいかに受け止め、解決することが出来るのか。お釈迦さまはその答えを求めて29歳の時に、王子の地位も、約束された将来も、恵まれた財産も、そして家族すらもすてて出家の道へと入られたのでした。

その後2人の修行者のもとで禅定を学び、また6年にもわたる苦行を続けられる

のですが、この生活ではどうしても、本当の意味でのこころの安らぎを得ることが出来ませんでした。お釈迦さまは心と体の関係を「琴」にたとえて考えました。

「琴の弦は、緩んでいては良い音色を奏でることは出来ない。これは欲望に自らをまかせた生活である。ここに本当の安らぎはない。しかし、弦は張り過ぎると切れてしまう。それは自らの命を失うような苦行の生活だ。ここにも、本当の安らぎは存在しない。」

欲望に任せた自堕落な生活でも、命を失いかねない苦行でもない「ちょうどいい張り

具合」にこそ、本当の安らぎがあるのだと感じたお釈迦さまは、苦行を離れ、身体を癒し、菩提樹の木のもとで坐禅に入りました。そして一週間の後、ついにお悟りを開かれたのでした・・・ネット

函南・平井の養徳寺は、15番・高岩院と16番・興聖寺間にある20番の寺。普通、このようなことはない。四国でも、このような例はない。6番札所・金剛寺にあった、明治初期の伊豆八十八札所版木を見ると、既に20番は養徳寺になっている。

20番・養徳寺が他所にあって、平井に越してきたは考えにくい。だとするとともに伊豆札所でなかった養徳寺が、何らかの理由で、20番札所になったのだろう。

寺の歴史は意外と分かり難い。住職は変わるし、資料も少ない。以前、チラッと聞いた話では、元々、20番は三島広小路の国分寺ではなかっただろうかの説。

現在、広小路の蓮馨寺（れんけいじ）は19番。そう考えると、国分寺が20番だったとしても不思議でない。そして何らかの理由で、20番の番号だけが、養徳寺に指定された？

そんなこんなで寺を後にした。寺の西には「天地神社」がある。境内に樹齢800年の巨大な楠がある。ブラブラ下って16番・興聖寺に向かった。

つづく





[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

12月09日(木)晴・15/46

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年12月9日(木)08時39分3秒

昨日は、

12月度・伊豆巡礼でした。巡路は、14番・慈光院～15番・高岩院～20番・養徳寺～16番・興聖寺ーバスー三島スプリング・湯郷（昼食会）天気＝雨～曇、参加＝11名

前回最終の14番・慈光院から出発。朝は冷たい雨だった。ただ、完全装備で雨は気にならない。寒いので快適。高岩院着。境内に大きな銀モクセイがある。花は一度見たことがある。銀は珍しい。

住職の話では、年に3回咲く年もあるという。正し、3回咲く場合は、全てが開花でなく、部分的に交互に3回咲くでした。お勤めを終わり、帰ろうかと思ったら、やおら住職が一本の掛軸を持って来た。。

開口一番、「今日は何の日か知っているか？」という。掛軸には、何やら難しい文字と絵が描かれていた。一堂、ポカンと口を開け誰も応えられない。強面の住職は、「こんな大切な日を知らない巡礼なんて、ダメだ」と怒った。

12月8日は、お釈迦様が悟りを得て山を下った「成道会（じょうどうえ）」だった。誕生とか亡くなったのは分かっていたが、知らなかった。で、私が難しい文字は何て読むのか、意味は？と聞いたら、住職は、何

も応えられなかった。グググググ……。住職なら、そこまで理解と
思ったが……。おあいこでした。

寺を出ると雨は上がっていた。予報通り9時だった。Aさんと、熱海と
三島の天気の違いなどを話しながら進む。右手に小学校の遠足で上って
「大仙山（だいせんざん・167m）があった。この時の遠足の写真は、
まだ残っていた。

畑毛（はたけ）を過ぎ、20番・養徳寺着。大きく立派な寺。寺には不
思議が一つあった。15番・高岩院の次が20番のこの寺。次が16番・
興聖寺。何故15番と16番の間に20番があるのだろうか……。分
からない。

つづく





[返信・引用](#) [編集](#)

12月08日(水)雨・16/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年12月7日(火)16時36分16秒

つづき

一ノ木戸を後にする。少し開けた場所に出た。駿河湾が一望できた。海がまるで雲海のように広がっていた。珍しい光景だった。上は更に展望が開け右に宝永山、その下に2352m峰が見えた。

宝永山第二火口に向かう分岐に出た。ここで止めたい誘惑に駆られる。時間は11時を回り空腹が酷かった。足も重かった。ただ、ここで止めるのは如何せん切れが悪い。標高は約2360m。新六合まで、あと約140m。兎に角、頑張る。

分岐から道は素晴らしかった。ダケカンバが広がり、足元にはコケモモが繁茂していた。同行者がこの夏、採取に来たという。物凄く収穫出来たという。GYは、それでジャムを作った。大変、美味しかったと聞いた。

11:30, 漸く新六合着。小屋の一角にドカッと座り、兎に角、空腹を満たす。こんな空腹は近頃珍しい。好天で風がなく、小屋のトタンに寄りかかっていると背中が温かくシアワセだった。

ビアを「爛ビア」にしていただく。美味しかった。昼食は豪勢だった。山はやっぱり食事が一番だ。片手で開けれる面白い、ひとくちヨーカンを買った。

それにしても今日は誰にも会わない。ま、この時期、ここに居るのは変人・奇人か??!!

G YがIの靴を見て「開いている、開いている」叫ぶ。何のことかと思ったら革靴の先のビムラムが剥がれ、パックリ口を開けていた。一回、張替は出したようだが、それ程、古い感じはしない。そんなものかも。テープで応急処置を施した。

登山靴は、山が終わって洗う時、特に靴底の点検が必要。ビムラムは、剥がれだすと急速に進行するからだ

宝永山分岐に来た。空気が澄み、山がサイコーにキレイだった。蒼穹・雲・雪・赤い宝永山のコントラストが見事だった。ザクザクザク、快適に下る。宝永山の礫と宝永第二火口の礫の色の違いが一目瞭然だった。色の違いは、噴火の時代の違いだった。

御殿庭上から一般道でなく、赤岩下を目指して下る。たまにはバリもイイ。幕岩から須山道を下って終了。今回も充実した山だった。久しぶりにG Y宅で直会。G Y手製にビアが逸品だった。

おわり





[返信・引用 編集済](#)

12月07日(火)雨・16/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年12月7日(火)06時25分19秒

つづき

道はこの先で「日沢」を渡った。「日沢」は、我々が春、スキーで滑降する沢。

今年、5月15日も滑った。今日、一緒のK, Iも一緒に滑っている。

ところが、

二人は「日沢」が何たるものか全く認識が無かった。勉強不足・学習ナシもいい

ところ。本当に情けない。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/000-61.pdf>

日沢を渡る。ここまで村山古道の印象は、見晴らしが、展望が良くないだった。

登山道が日沢沿いで尾根でない。谷なので、当然、日当たりが悪い。展望もない。

渡った上に少し平の部分があった。何故か古ぼけた「ヤカン」が転がっていた。

ダケカンバに赤いテープが貼ってあり、「一ノ木戸・2175m」とあった。

この「一ノ木戸」とは、

・・・一の木戸跡、村山古道 2150m（看板は2175m）の場所にあります。人工的な平地は倒木が倒れ込んでいますが、かなりの広さがあります。江戸時代の紀行文によると、ここに小屋があり古い草鞋を捨てて新しい草鞋に変える場所であって、門の中には役の行者堂があり、村山より役人が出張って山役銭を取っていたそう。またここに御室大日というお堂もあり、大日如来と役の行者像が安置されていたそうです。

・・・「山役銭（やまやくせん）」とは、

富士講が盛んだった江戸時代にも「山役銭（やまやくせん）」という料金を登山者から得る制度があった。

江戸時代の文書をひもとくと、山役銭は富士山の各登山道で徴収し、吉田口の金額は

122文。内訳と取り分は細かく定められ、（1）身を清めるためのおはらい料32文

（御師）（2）5合目山小屋の休息料32文（山小屋16文、御師16文）（3）山頂

の仏像のさい銭料20文（富士山本宮浅間大社14文、御師6文）一などとされた

富士講の受け入れを長く支えた山役銭だが、明治時代の廃仏毀釈（きしやく）により、

さい銭料など徴収の名目となっていた仏像がなくなるなどし、徴収されなくなった。

・・・ネット（江戸時代1文=1文=32.5円くらい。そう考えると、122文は高い！！）

近年になっては、ここにハマナシ（コケモモの実）を採る人の小屋があったようで、
その頃のものでしょうか？古いヤカンや茶碗の欠片が落ちています。また、冠松次郎
の紀行文の中に、一の木戸から須山口へ向かったと思わせる箇所があります。

（資料提供：畠掘先生）・・・ネット

・・・一の木戸、即ち村山口の一合目についた。そこには大きな小屋の
倒壊したまゝ
のが残つてゐる。茶碗のかけらなどが散乱して、木で出来たタンクがひ
つくりかへつ
てゐる。これはハマナシ小屋と云ふので、すぐ向ふの須山口の御庭〔御
殿庭〕に、
沢山なるハマナシをとる人が来て泊つた小屋である。・・・（略）

私等のこの行は、廃れた村山口を一合まで上つて、それから宝永山に向
つて須山口
の御庭へ廻り、須山口の計画路を下る予定である為に、頂上に向はずに、
沢を横ぎり、
尾根を巻いて御庭に向つたのである。「富士の古道を行く一村山道と須
山道」

『富士山の旅』冠松次郎 1949 富士箱根厚生文化協会）・・・ネット

つづく





12月06日(月)曇・14/57

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年12月6日(月)05時04分30秒

土曜日は、

富士山・村山古道（周遊道・標高約1350m）～新六合（標高約2500m）でした。天気＝快晴、参加＝5名、標高差＝1150m。

当初、計画は「ガラン沢」だった。ただ、これは私の勘違い・間違いで、正しくは「村山古道」だった。本来「村山古道」は、海拔0mの田子の浦から始まる。今回は、周遊道の標高約1350mから新六合・雲海荘までの行程。

ちなみに、田子の浦でない、千本浜から、2003年7月26～27日、2日間で富士山頂まで上った。「世界平和」「自然保護」「安全登山」幟を掲げて上った。千本浜の海水を汲んで、頂上の浅間神社に奉納した。

登山口少し上の広場に駐車。少し下って「村山古道」の立派な看板から上る。キレイな登山道が伸びていた。天気は無風快晴。良く冷えた朝。樹木の葉は全て落ちて、冬枯れの山が寒々しい。

梢の向こうに、真っ白な富士山があった。同行者が何故か「米山古道・米山古道」と五月蠅い。もう少し勉強して頂きたい。

小一時間で五合目に繋がる周遊道を横断。周遊道は既に通行止めなので行き交う車はない。ひと上りで御殿庭分岐。東に向かえば、ガラン沢ルートと合流し、更に上れば須山道に合い、御殿庭に向かう。

小休憩し空腹を満たす。同行者提供の「サンドイッチ」が美味い。聞けば、随分高い具材を使っているという。30分程上ると、ちょっとした広場があり石仏が並んでいた。

五体満足のは一体だけで、2～3体は首が無かった。あちこちで首のない石仏を見るが、一説に明治の「廃仏毀釈」で首を刎ねられたという。しかし、国のあり様とはいえ、随分、酷いことをするものだ。

満足の一体は、新しい感じだったので、古いモノではなさそう。ただ、何時ごろのもか判別は難しかった。

つづく





12月03日(金)晴・13/46

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年12月3日(金)06時30分6秒

つづき

最後のテストは、時計の丸を描き、文字を入れて、8時20分を示す針を描く。これは差ほど難しくは無かった。採点の間、「オレオレ詐欺」のビデオを鑑賞。

20分後、採点結果が来た。20名中、2名の方が最初呼ばれて、別室に行った。どうやら、良い結果出なかった様子。結果は、第一～第三に分けられる。

採点が49点～76点の方は、第一＝記憶力・判断力が低くなっている。第二＝記憶力・判断力が少し低くなっている。で、次回3時間の講習（7、950ー）を受ける。

76点以上は、第三分類で、記憶力・判断力に心配はありませんだった。私は82点だった。100点満点かどうか不明だが、こんなものだろう。第三は、次回1/19に2時間の講習（5、100ー）がある。いずれにしても講習は必須だ。

（6：37、また、地震だ。夕べ、二回あった。震源地は山梨県富士五湖地方。この辺は、震度3。山梨・大月は、5。明日、富士山・ガラン沢、噴火しなきゃイイが。ヽ(^o^)ノ）

そんなこんなで、無事講習は終わりました。先日、富士市で右折時、初めての分かり難い道で、反対車線に入ってしまった。何事もなかったが、トホホでした。

おわり





12月02日(晴)14/44

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年12月1日(水)16時45分38秒

昨日は、

後期高齢者の運転免許・認知機能検査があった。5年前、70歳時に続き2回目。場所は黄瀬川自動車学校。昨日は、20名程だった。待合で一緒だったオッチちゃんは84歳だった。

内容は前回と同じようだった。指導員の勿体ぶった説明が続く。やれ、ページを捲るな、鉛筆を持つな、時計を仕舞えと五月蠅い。一通りの説明のあと、大きなパネルに4つ絵を描いてあるものを4枚見せる。

都合、16の絵が描いてある。機関銃・牛・モロコシ・机・・・などなど。16の絵を見せて一旦終わる。次が数字が横一列に書いてあるものに、1と3を斜線で印を付ける検査。

数字の段が10段くらいあり、時間が決められているので、結構、忙しい。それを3通りくらいやった。見直さないと、見落としがある。ユックリ・確実にやる必要がある。

次が先ほど見た16枚の絵の図柄が何だったか書く。見てから10分位経過しているから、ポチポチ記憶が薄れて来る。結局、10枚しか分からなかった。どうしても野菜が何だったか分からなかった。正解は、モロコシだった。

そもそも既に、何が分からなかったのかを、もう忘れてしまった。(こらやダメだ!!!) 次は、同じものでヒントを書いているのに正解を書く。2ヶどうしても分からなかった。とほほ。

つづく



12月01日(水)雨・18/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年12月1日(水)05時07分36秒

う～む、12月かあ！！1年が速い。

つづき

Mさんは、登山者に発見されたが、既に亡くなっていた。警察に連絡されヘリコプターでピックアップされた。ただ、山岳事故死亡は「変死」扱いとされ「司法解剖」された。

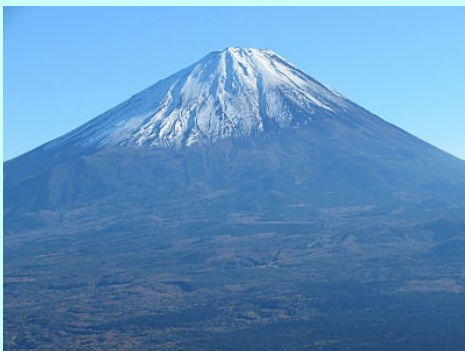
・・・ニュースや刑事ドラマなどでしばしば耳にする司法解剖は、事件性が疑われる場合に死因などを究明するために行われる解剖です。高度な専門知識をもった法医学者が執刀するのが基本で、法医解剖ともいいます。他殺体だけでなく、自殺や事故による死者の遺体も、司法解剖の対象となりえます・・・ネット

結果、当然だが事件性はなかった。司法解剖は「事件性の有無」を判断するもの。まさか山岳事故で事件性はないだろうが、必ずしもそうでない場合もあるということか。

昔、三ツ峠屏風岩で墜落事故を目撃した。事故者は約60m程墜落し下の登山道を越えて落下し即死だった。その時、下から警察官が来て開口一番言った言葉に驚いた。その言葉は何と「誰かが突き落としたことはないでしょうね」だった。つまり警察とは、何でも事件性の見方をする組織なのだ。

Mさんの突然の死は、我々にショックだった。昨夜、元気で会食をしたのに翌日、亡くなった。中でも母君は、長男を亡くした衝撃は大きかった。命日に何回か行ったが、嘆きは大きなものだった。

つづく





11月30日(火)晴・13/48

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年11月30日(火)06時48分35秒

つづき

急登に行く。

ヒノキの植林地。下草はなく上り易い。南側に来たので、日当たりも良かった。暑くイイ汗を掻く。空気は清冽で気持ち良い。その時、携帯が鳴った。

時々、車に置き忘れるが、今日は持っていた。

過去、変な時間帯の電話は、良い知らせでないことが多い。

山の仲間が丹沢で急逝した時も、変な時間で瞬間、緊張が走った。案の定、塔ノ岳・大倉尾根で、今で言うトレラン中に倒れ、ヘリで搬送されたの知らせだった。虫が知らせるものだ。

納米里のMさんだった。前夜、仲間の送別会があって会食したばかりだった。ただその時、翌日「明日、山に行く」は聞いていなかった。彼は飲酒しないので、少々、遅くなっても山に行けたのだろう。

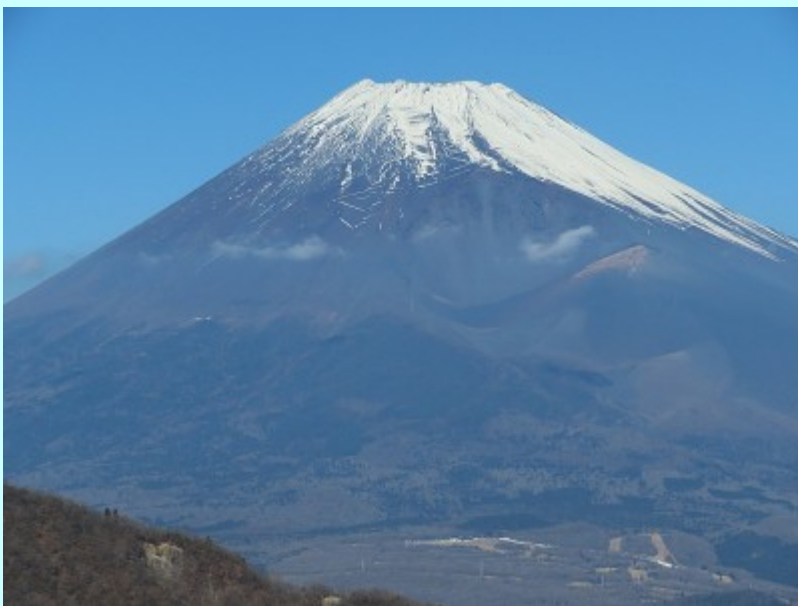
トレランは、大倉尾根を塔ノ岳まで、出来るだけ短時間で往復するもの。塔ノ岳は標高＝1491m。登山口の大倉は、標高約300m。標高差＝1200m近い厳しい尾根だ。

標高差＝1200mは、普通なら4時間以上掛かる。トレランは速い人は半分の2時間程で上るといふ。当然、体への負担は多い。先日の富士山のトレランも我々が約6時間の上りを、2時間半だった。

Mさんは単独だった。大倉から標高差約700m程上った、標高約1000m付近で倒れた。心不全だった。単独なので介助する人はなく、そのままこと切れた。単独でなく、仮に誰か仲間がいたら、状況は変わっていたかも知れない。

つづく





[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

11月29日(月)晴・12/42

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年11月29日(月)06時54分29秒

昨日は、

天城・登り尾(1057m)でした。コースは、寒天橋(車デポ)～旧道～鍋失トンネル先～南西尾根～登り尾～新山峠～寒天林道～水生地下バス停。天気＝無風快晴、標高差＝648m、参加＝6名。

毎月、第二・四週は、「ハイキングの日」。では、他の週は何か？このように決めたのは、毎週毎週、厳しいバリエーションなどはイヤの意見があった。私も毎週毎週、バリエーションは続かない。

第二・四週は、ちょうど伊豆巡礼、富士山ウォーキングがある。その週末は、軽めのハイキングにしようとなった次第。ハイキングの定義は様々だが、我が会は、「標高差が1000m以内でバリエーションでない」だ。

従って登り尾は、一応その定義通り。ただ、今回は下部林道がジグザグで長い。で、少しだけバリエーションを上った。

天城連峰で1000m以上の山は少ない。1000m峰は貴重な存在。山名も変わっていて面白い。天城は超ローカルか、そんな個性的な山名が多い。

私が2006年に発刊した「伊豆の里山・50山」（実際は61座）でも変わった名称が多い。長九郎山、十郎左エ門、猿山、猫越岳、魂ノ山、万三郎岳、万二郎岳、婆娑羅山・達磨山など、人名・動物・宗教からの名称多い。

天城・道の駅で仲間1人拾い、天城トンネルを越えて、旧道から寒天橋に車を置く。旧道を鍋失トンネルに向かう。旧道の最後のカーブにdocomoのアンテナ基地がある。

アンテナ基地先に地図にない道がある。草ボウボウ、落石の山だった。察するにこの道は、旧道の延長で現在のR414が出来る前、鍋失トンネルの河津側に通じていたと思われる。

これは歩いてみないと分からないことだった。トンネルから更に下り、標高点408.9mに達した。右手に登り尾の道の林道が伸びている。前述のように林道は長いから、破線ルートを上る。

昔の杣道。山仕事の道の様だ。登山道とは言い難い。例によって、バリエーションだから急は急だった。

つづく





11月26日(金)晴・16/45

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年11月26日(金)06時35分7秒

つづき

午後のウォーキングを開始。朝霧高原の富士山が素晴らしい。
ただ、広大な牧草地に牛がないのが残念。ちょっと前、沢山いたのに
今日はどうした。休養日もあるのかしら??!!

富士オートキャンプ場脇を通過。平日だがキャンパーが多い。トイレ休憩
をして、麓の吊り橋に向かう。キャンプ場のイチョウは、まったくなく、
全て落ちてしまった。西山本門寺の大イチョウを観に行こうと考えていた
が、

既に遅しかも。

麓の吊り橋を渡る。シッカリした橋で安心。ただ、幅20mほどの川には水流はない。何回か来ているが流れは見たことがない。火山地で伏流してしまうのだろう。この辺りの残り紅葉は、まあまあだった。

時間が大分押して来た。「陣馬の滝」までと思ったが厳しそう。井之頭小学校分校脇を通過する。以前、向かいの家に大きな犬がいて、通過時、よく吠えられたものだが、既にいなかった。ババさまが縁側に座っていたので聞いたら、「亡くなった」でした。

ちなみに、ここの地名は、井之頭と猪之頭と両方ある。読みは同じだが、ややっこしい。分校跡から富士養鱒場着。入場料はあるが、「70歳以上は無料」で、受付のオジサンは、五月蠅いことは言わなかった。

前回、支払ったGさんも、正々堂々「無料パス」だった。養鱒場は、渇水期で水は少なく、鱒も多くなかった。でも、忍野にもいた「アルビノ」も見れて良かった。ウオーキングは、ここでお終い。上り下りは少ない分、長くてなかなか厳しかったです。

おわり





11月25日(木)晴・15/41

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2021年11月25日(木)08時03分33秒

昨日は、

第7回・富士山一周ウオーキングでした。コースは、本栖湖～東海自然歩道～割石峠～あさぎり道の駅(昼食)～麓山の家～麓の吊り橋～富士養鱒場。天気＝無風・快晴、距離＝約18km、歩数＝約28000、参加＝16名

前回最終の本栖湖から9:00出発。前夜は強風だったが止んでいた。天気は快晴。東海自然歩道に行く。朝の冷気が快適。紅葉はほぼ終了。

落ち葉をガサガサ踏んで進む。

芝さくらで有名な、富士本栖湖リゾート裏を歩く。竜ヶ岳の裾だが、自然林が多くなかなかよろしい。車両の騒音は一切なかった。以前、歩いた時は、荒れていた印象だが、今回は全く問題なかった。「ホウの葉」でお面を作り、Sさん、Aさんが被った。

割石峠から更に自然歩道をと考えたが、麓の吊り橋まで110分掛かる。この時間では昼食時間を大きくオーバーするので、R139を選択。割石峠は、駿河・甲斐の分水嶺。峠から駿河湾まで、概ね「下り」が続く。

左手に蒼穹をバックに見事な富士山を愛でつつ下る。道路脇には他県ナンバーの車が盛んにシャッターを切っている。よそから来たらこの光景は「信じられない」だろう。地元の我々ですら、そうだから・・・。

道の駅着。1時間昼食・休憩。道の駅で買い物は、6ヶ=420-の極上タマゴとナメコ。ナメコは毎回買う。午後は13時発。再び自然歩道に入る。近くにワイナリーがあり、試飲できるというが、時間がなくて残念。

自然歩道脇の牧場から富士山がサイコーだった。昨日の大風で空気が澄んで、山の輪郭が際立っている。こんな富士山は、一年で何回も見れない。ここで記念撮影。脇に「マユミ（檀）」が赤い実を付けていた。

つづく





11月24日(水)晴・15/60

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年11月23日(火)14時55分5秒

今日は、

11月度・富士山一周ウォーキングです。

家のモミジが今年も紅葉です。雨が降ると、庭が「京都」状態になります。ただ、

今年は、まだ、少ないような感じ……。です。



11月23日(火)晴・17/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年11月23日(火)06時06分46秒

つづき

急登を汗だくで上る。兎に角暑い。予報では20度。暑すぎる。一体、いつになったら寒くなるのか??!!

北尾根は、急だが特に難しい場所はない。ちょっとした岩場があった。少し展望が開け富士山が頭を覗かせた。鋸岳が同じ高さになり、標高約1350mで鋸岳からの縦走路に飛び出る。

小ピークには、当会の「ブナ観察木」がある。今年はブナの実是不作だった。改めて樹木・地表を見たが実はなかった。ひと上りで位牌岳山頂。南から登山者が一人やってきた。

天気は無風快晴高温。まだ、10:22。昼食には、いささか早いので下る。

途中、標高約1350mで北に延びる、いわゆる「G尾根」を下る。ここも大沢に下る最短距離。途中、標高約1240mに「御料局」の三角点があった。

「御料局」とは・・・。

・・・御料局時代 帝室林野局の前身は、1885年12月23日に設置された宮内省御料局（ごりょうきょく）である。同局は皇室財産を確保し維持発展させることを意図し、官有であった山林・原野を御料林へと転換して管理経営をすることを目的に設置された・・・ネット

とあった。ようするに、かつて幕府直轄の広大な領地が御料地と呼ばれていた、ということのようだ。現在は林野庁・森林管理局の管理下かもしれない。11時になったので昼食にした。今回は、珍しく「ビアはなし」だった。

再び下山。これ以下が厄介な尾根だった。岩場・ロープ・迷い尾根があった。今回、新ルートの下山を画策した。標高約1150mから北の尾根を下る計画。しかし、出だしで東に寄り過ぎ、上り返して再び下ったがダメだった。

GPSでは、もう少し西の尾根を下る様だった。結局、従来の尾根を下った。難しい尾根は、一度上った方が良い。一見、簡単そうに見えても、実際はなかなか難しいものだ。

汗だくで大沢に降りる。珍しく2回転倒。ビアをやらなくて良かった。いや、普段と違うことをやったから転倒か??!!先週の疲れが、まだ残っていたようだ。疲れ切って山の神着。無事に終わり良かった。

おわり



11月22日(月)曇・17/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年11月22日(月)05時57分52秒

土曜日は、

愛鷹連峰・位牌岳(1458m)・北尾根でした。コースは、山神社～大沢北沢～北尾根～位牌岳～G尾根～山神社。天気＝無風快晴、標高差＝718m、参加＝3名。

前週の御坂・王岳北尾根の疲れが、まだ、残っているような感じ。今回は、標高差が少ない山を選んだ。久しぶりに、位牌岳・北尾根。北尾根は、大沢側から上る最短コース。

山神社発7:51。神社からの林道は北面で暗くて寒い。途中大きく崩壊していた。昨年、11月21日以来の愛鷹で、その間に崩れた模様。そんなに大きな雨が降ったかと考えたが、ひよっとして、熱海の土石流時か。

ちょっと足場が悪いので、一旦、戻り下から上り直す。大沢から北沢に入る。「生木にピンクのリボンを釘で止めたもの」が気になる。Kの話では、昨年、撤去したが、また、打たれたという。ま、やるにしても「生木に釘」はマズイ。

北尾根に取り付く。端から木を掴んで上る物凄い急登。しかし、急登故、高度はグングン稼げる。先週の影響だろうか体が重い。仲間から「また、急だね～」とクレームが入った。

つづく





11月19日(金)晴・15/52

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年11月19日(金)06時28分32秒

あと、数時間。大谷はMVPを取れるか??楽しみだ!!

今朝は、ちょっと寒かった。・・・大谷、満票でMVP獲得。涙が出た。

旧聞で恐縮だが、先日、11/2～7日、静岡市民ギャラリー（静岡市役所本館1階）展示室で第四回・南アルプス写真展が開催された。

写真展は、南アルプスの魅力・課題・問題を広く市民の方に知って貰うため開催されて4年になる。

参加団体は、日本山岳会静岡支部・静岡県山岳・スポーツクライミング

連盟

・ 静岡市山岳連盟 ・ 静岡県勤労者山岳連盟。

全体では約150点、819名来場（記名者のみ）、我が労山は14名、58点のパネルを出展した。

私も及ばずながら4点出した。写真展に触れ、皆様が南アルプスの魅力・課題・問題点などを再認識して頂ければ幸いですね。





[返信・引用 編集済](#)

11月18日(木)晴・16/51

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年11月18日(木)06時36分32秒

昨日

ダイコンを某施設に10本届けた。このままでは、臺(とう)が立ちそうだったからだ。昔は、沼津・高尾山祭典のころは、空っ風が吹き、寒かったと記憶するが・・・。

先日の御坂バリエーション登山で初めて、チェーン・アイゼンを使用した。通常、アイゼンは雪・氷の斜面の滑り止めで使用する。

だから、無雪期の山で使うのは「邪道」ではないか?!の意見がある。例えば、ストックの石突(ストック下部末端の尖がり部分)もゴムカバーがなく、そのままでは、登山道に「穴」が出来、そこに雨・露が入り、それが拡大し、登山道が痛むがあった。

ストックが流行り出した頃は、ゴム・カバーのルールがなく、登山道の至る所に穴が無数にあり、心を痛めた。最近では、時々見かけはするが、概ね、ゴム・カバーを使用し、登山道保護がなされている。

夏アイゼンも同様で、アイゼンの爪で山を傷つけかねない。ストック同様、問題が全くない訳ではない。ただ、夏アイゼンは、通常、一般道では使用しない。使うのは、一般登山道外のバリエーションのみ。

とはいえ、今回5名中使用したのは私のみ。使用しなくても、上れない

訳ではなかったことも事実。ただ、普通のアイゼンは持っていても、チェーン・アイゼンは、全員がない。Lの私としては、持っていれば「使用して貰いたかった」

今回のバリエーションは、かつて経験が無いくらいの急斜面だった。

何故なら、「安全登山のため」。結局、登山道具は全て「安全のため」にある。過剰使用でなく、適正範囲での使用は可と考える。そんなことを考えながらの今回の山でした。





[返信・引用 編集済](#)

11月17日(水)晴・18/52

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年11月16日(火)17時56分12秒

昨日のBS映画、「エクソシスト」は案外、面白かった。1973年製作だから、48年前、私が26歳(まだ、独身)時代のモノ。だが、古さは感じなかった。イイものは、いつまでもか！！

つづき

二か所にロープをフィックスし最後の難所をクリアした。陽光が溢れる稜線に出た。富士山がガーンと迫った。少し上って王岳の手前の吉沢山着。標高は1600mで王岳より少し低い。

仲間も次々と到着。堅い握手。今回は本当に厳しかった。5時間の上りがそれを物語っていた。王岳まで僅かだが、今回は誰も行く気はなかった。ドカッと稜線に座り込み、兎に角、喉と腹を満たす。

太陽は燦爛と降り注ぎ、暑いくらい。北面の北尾根と温度差が15度くらい。土曜日だが、他の登山者は少なかった。鍵掛峠まで来るが、案外、ここまで足を伸ばさない。

30程休み、重い腰を上げる。途中、富士山が素晴らしかった。皆で記念撮影。一説には、御坂山塊の富士山の展望は、王岳からが一番という。根拠は不明。ただ、富士山は、どこからでも素晴らしい。優劣は付け難いと思う。

鍵掛峠から芦川に下る。初めての道だった。落ち葉が、ガサガサと凄い。

登山道

は至る所で崩壊し悪い。芦川からの登山道は利用者が少ない。その分、整備に欠けている。

人工林は何となく薄暗い。時間は15時を回った。長い林道を下る。途中にグリーン・ロッジのキャンプ場があるが閑散。村の夫婦が野菜の収穫。軽トラで下って来た。乗せて貰い丸木橋着。

夫婦は立沢さんを知っていた。「そういえば朝、ここに軽トラがあった」と話していた。軽トラは、既に無かったので達沢さんは、帰っただろう。仲間を車で迎えに行く。長い長い山は終わった。

おわり





[返信・引用 編集済](#)

11月16日(火)晴・15/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年11月15日(月)17時10分16秒

つづき

尾股山を通過し更に上る。登山道はキレイ。だが、キツイ上りが続く。標高差1000mは、富士山・宝永山2352m峰でいつもやっている。だから問題はないように思えるが、何故だろう。同じ標高差でもキツイ所、そうでもないところはある。

標高差1000mは、我々がいつも上る山の目標値である。標高差300mは約1時間。1000mなら3時間半。下山を2時間半、休憩1時間で日帰りの山として、トータル7～8時間で丁度良い。山も10時間になると厳しい。(今回、上り=5H、下り=3H、合計=8H)

標高点1372mに達した。上りは厳しかった。ここで小休憩し腹を少し満たす。時間が11:30になっていたからだ。いただいた、サンドイッチ誠に美味しかった。標高点から100m程下る。先に「キレット」があった。

記録では、「キレット」で下っている方もいた。「キレット」から先を突入すれば、下る退路はない。もう上るしかない。止めるならここしかない。残りの標高差300mは予想はあったものの、正に地獄だった。最近、こんなヤバイ所はやっていない。

愛鷹でいえば、大岳から呼子岳の上りのようだった。私は今回、このヤ

バサの対策

で、チェーンアイゼンを用意し履いていた。他の皆はなしだった。無雪期にアイゼンは「禁じ手」だろうが、最近は夏でも、悪い沢などで使っている記録を見る。

効果は大だった。斜面は北面で枯葉の下は、霜柱がビッシリだった。稜線手前50mに達した。先は大きな岩が重なっていた。登路はあるか??上らなければ生きて帰れない。Kがトップで進路を探る。巨岩を縫って何とかルートを作る。

ただ、万がーを考え、持参したロープを二か所、フィックスした。これで安心。安全あつての山である。

つづく





[返信・引用](#) [編集](#)

11月15日(月)晴・15/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年11月14日(日)17時04分46秒

土曜日は、

御坂山塊・王岳（1623m・吉沢山）北尾根でした。天気＝快晴風なし、
参加＝5名、
標高差＝1003m。

長泉発6:00。十里木から精進湖経由で芦川村着。芦川グリーンロッジ
キャンプ場入り口で出発準備をしていると、村の立沢良直さん（80歳）
が軽トラックで近づいて来た。今回のバリエーションの北尾根に取り付く
には、芦川を渡らなければならない。

ところが予定していた橋は老朽化し板が抜け落ち、とても渡れる状態では
なかった。そんな話を立沢さんに話したら、私が作った橋があると案内し
てくれた。ところが橋は丸太を三本くくってあるだけ。しかも、下り勾配
で気を抜けないモノだった。

立沢さん、犬、K、H、が渡り、KMが渡ろうとしたら、途中でバランス
を崩し、危うく芦川にジャボンする所だった。落ちた今日はとても登山ど
ころの話ではなかった。

立沢さんは、自身の山で枝打ちの仕事に来た。しかし、我々と交流して、
「今日は枝打ちは止めて山に上る」と一緒に上ることになった。

立沢さんは、元々、芦川村の方でなく甲府在住という。ただ、自身の山が村にあるので時々来て山仕事をするようだ。山にはヒノキが植えてあった。モノになるまで80年掛かるという。現在、植林して40年。まだ、使えるまで40年。気の長い話だ。存命中、切り出しが出来るか？

犬を連れていた。甲斐犬の雑種みたいな感じだった。大人しく可愛かった。いつも一緒に上っているようだ。名前は、「だいちゃん」だった。

立沢さんと物凄い急登を行く。半端でなかった。立沢さんは「地下足袋」グングン上る。「こんな所に連れてきてしまい、申し訳ない、申し訳ない」と何度も言った。我々は、この程度の道は慣れているので問題はない。

やがて最初のピーク、尾股山（1020m）着。山名板の「また」が2万5千円と違っていた。立沢さんは、ここで下山。最後まで一緒に歩くのは難しかった。尾根はヤブはまったく無くキレイだった。右手にアカマツが多かった。マツタケは出るか？

写真上＝芦川の怖い丸太橋
中＝立沢さんと愛犬「だいちゃん」
下＝「また」が違う山名板

つづく





11月12日(金)晴・17/48

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年11月12日(金)05時50分24秒

瀬戸内さんが亡くなった。四国お遍路時、生家の仏具店に寄った。残念。いつまでもいて欲しい方……。合掌。

つづき

長源寺を辞し、山を下りる。右手に雲を孕んだ富士山が大きい。ビニールハウスは、トマトの黄色い花が沢山咲いていた。R136を横断し、狩野川堤防を進む。水量が少ない。保育園の子供が元気。

長岡温泉場に入る。右折して程なく長温寺着。本堂では住職がご婦人と

「
ご詠歌」の練習中。前回もやっていて、最後は我々にも教えてくれ、一曲(?)詠った。今回はなし。

昼になった。近くの古奈湯元公園で昼食。少し風があったが問題なし。食後は、皆さんと足湯で「混浴」。お湯の温度が丁度良く、サイコーに気持ち良い。いうまでもなく、湯後の歩きは快調だった。

狩野川放水路から北條寺に向かい。この辺りは柿畑が多い。右手の大きな柿畑で収穫をしていた。さっそくKが購入交渉。皆もワラワラ出向き交渉。結局、大きな次郎柿=1ヶ・100円で成立。

私は10ヶ+5ヶ(サービス)だった。翌日、さっそく頂いたが、柿は大きい糖分は少なかった。主は「サクマ」さんだった。また、「遊びに来て下さい」とのこと。

北條寺着。住職のワタナベさんは、境内にいたが、すぐ引っ込んでしまった。元教師の住職は、耳が遠く意志の疎通を欠く。以前は一緒に読経したが、最近はつれない。大河ドラマの影響で「五月蠅くて堪らない」と話していた。結局、住職とは何の会話もなく辞した。

狩野川を渡り葦山に入る。道が長い。寝不足で足が重かった。慈光院を少し通り越してしまった。寺の入り口の六地藏の香花がカラカラに枯れていた。ちょっと見すばらしい。

本堂は新しく、まだ木の香りが漂っていた。ご本尊もキンピカ。前回との間に建て直しをしたのか。今回はここで終了。なかなか厳しい巡礼でした。

おわり





11月11日(木)晴・18/65

[返信・引用](#) [編集](#)
[集済](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2021年11月11日(木)06時25分34秒

11月11日、今日は何の日??

昨日は、11月度・伊豆巡礼でした。巡路は、益山寺往復～バス～蔵春院一長源寺一長温寺一北條寺一慈光院。天気＝快晴・風強、距離＝約18km、参加＝11名。

最初、前回、悪天候で上れなかった、益山寺に行く。急な坂道は乾いて滑らなかった。足が揃っていて問題なし。大銀杏の紅葉は、まだ早かった。紅葉は、平均気温が9度にならないと始まらないという。それにし

ても遅い。温暖なのだ。

下山しバスで前回最終の田京・蔵春院に向かう。寺の住職は、三島広小路・常林寺の亡くなった前住職の弟さん。現在、常林寺は息子さんが継いでいる。駐車場からスタート。

天気は快晴。風が強い。気温はホドホドで歩き易い。立花台に差し掛かった。コースは山裾と峠越えがある。今回は足が揃っているなので、峠越えを選んだ。ここも全く問題なかった。誠に頼もしい。

長源寺に裏道から入る。寺は高台にあり見晴らしはサイコー。お勤め後、住職と交流。本堂の天井には花の絵が描かれている。三種類の絵を繋ぐと「ほとけ」の文字になる。住職の話では、小学生がすぐ読み解くそうだ。本堂脇に「おまたぎ」がある。「ウスサマ明王」という、火の神様を祭ってある。

・・・ウスサマは、昔、欲深くむさぼりの心が強かったという。「むさぼりの心が強い者は、燃え盛る欲望の炎になってしまう」といわれる。ウスサマは、むさぼりの心を戒めた。そのお陰で、欲望の炎は智慧の光となり仏の位にのぼることが出来た。ウスサマは、智慧の光によって、煩惱を焼き尽くす仏とし信仰され、心の汚れを綺麗にするという力から、不浄所の守護神、さらに下半身に靈験がある仏となった・・・

床にトイレを模した穴があり、それを跨ぐと、下半身の病気に掛からないと、皆さん、跨いで無病を願った。住職は若くフレンドリーな方で昔から評判。寺を辞す時も、手を振っていつまでも見送ってくれた。

つづく





11月09日(火)雨・20/70

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年11月9日(火)06時50分44秒

つづき

田沢温泉「富士屋」は、なかなか良い宿だった。平日だが、意外とお客が多かった。

温泉は、「乳の出が良くなる」温泉とかで、軽い硫黄臭の無色透明泉。昔、入ったお隣の「別所温泉」の泉質と似ていた。

料理も悪くなかった。夕食は例によって食べきれず、鍋を残してしまっただ。玄関脇に談話室があってコーヒーは無料。その奥が食堂と学習室を兼ねたような造り。

昔は分校か何かだったか。ピアノもあったが、夕食は部屋出しで気が付かなかった。

翌日、計画はブラブラ観光をして帰静の予定だったが、青木村を挟んで、子檀嶺岳の向かいの、夫神岳（おがみだけ・1250m）が気になって、結局、上ることになった。子檀嶺岳は、1223mの山だから、こちらのほうが少し高い。

ただ、登山口が高いので標高差は200mほど違う。ま、その分時間は掛からない。

宿から、登山口の「まるベリー・オートキャンプ場」に向かう。「まるベリー」とは、養蚕で知られる桑の木に実る果実。別名「マルベリー」と呼ばれている。ただ、表記が「ひらがな」で何故か不明。

8:30発。青木村の小学校が、学校登山を行っている山で道はよく整備されていた。上半分は、物凄い急登。でも、ジグザク道で上り易い。北面で暑くなく良かった。紅葉は、昨日に比べるとイマイチ。簡単に頂上着。展望もイマイチ。やっぱり人気は子檀嶺岳だろう。

少し腹を満たし下山。一時間掛からず下山。途中、ホウ葉でお面を作った。駐車場の放牧地に今度はヤギがいた。短い角だった。呼んでみたが馬ほど親密ではなかった。

道の駅で買い物。850円の半生ソバを買ったが美味しかった。松本で昼食を済ませ、「カモシカ・スポーツ」で装備を補充し帰った。慰安山行は良かった。

おわり（明日、伊豆巡礼で日記休みます）





11月08日(月)晴・16/50

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年11月8日(月)06時15分51秒

昨日は、
年一回の「静岡県連・東部ブロック交流山行」でしたが、当会は、
朝雨で予報も悪かったので、不参加でした。ところが、予報に反して
天気はグングンよくなり十分登山日和になった。予報も外れましたが、
消極的で反省。「山の天気は行ってみないと分からない」です。

05日つづき

子檀嶺岳を北面の中洞側を下る。こちらも紅葉は素晴らしかった。中部
はやはり「マツタケ山」で入札で得た山の看板が、あちらこちらにあっ
た。

林道の登山口から更に下ると民家が現れた。農家の牧場に可愛い馬がいた。大きくないので、ポニーだろうか。Kが大声で呼ぶと分かっただけ、近寄って来た。

行動食の残ったリンゴを上げる。最初は遠慮がちだったが、そのうち慣れて美味しそうにパクパクムシャムシャ食べた。大きくない馬なので視線が高くなくコミュニケーションが容易い??!!

名残惜しかったがお別れ。車道をグングン下る。振り返ると子檀嶺岳が見事だった。出発の「青木村・道の駅」着。イイ山だった。時間が押しっていたので道の駅に寄らず、車で数分の田沢温泉「富士屋」に入る。

実はこの青木村は、長泉町と姉妹都市だった。何故だが、HPでは明確な位置づけはなく、何となくだった。(´艸`)で、青木村の田沢・沓掛温泉の施設利用には、一回・3,000円の割引がある。(年一回・連泊6,000円割引)

それに気が付いたのが、出かける前日15時で、急いで役場に行き手続きを済ませた。役場も前日だったが、イヤな顔もせずやってくれた。ただ、今回のメンバーで、町民は私だけなので仲間には、ちょっと申し訳なかった。

つづく





11月05日(金)晴・15/50

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年11月5日(金)09時25分31秒

今朝は、寒かった。ストーブを入れた。

一昨日、昨日は、長野県青木村の里山・子檀嶺岳（こまゆみだけ・1223m・標高差約698m）と夫神岳（おがみだけ・1250m・標高差約520m）でした。温泉は、田沢温泉・富士屋。

3日長泉発5:20。青木村・道の駅着9:57。天気は快晴・高温。目の前に子檀嶺岳が大きい。上部に岩をいただくエグい山だった。対岸には夫神岳が対峙する。両山共、興味深い山。

道の駅から出発。好天で暑い。住宅街の車道をグングン上る。扇状地にステキな家が多い。何人かの住民の方と言葉を交わす。住宅が切れると車道に動物除けのゲートがあった。その先の左手に登山口があった。

木陰でようやく涼しくなった。急登が始まる。ただ、今回の山は、青木村の里山で標高差も少なく比較的楽な山。暑く激しかった今年の夏山の慰安山行だった。たまには里山を満喫し、温泉も楽しもうの感じ。

周りは「マツタケ山」が続いていた。入札で山ごと権利を買うという。今年は豊作だったようだ。仰々しい立て看板があった。一体どのくらい収穫があるのか知りたいものである。

右に大きな岩壁を眺めながら上る。南面故紅葉は素晴らしかった。今年は何処も紅葉は良いのではないか。ひと踏ん張りで頂稜に達し、先に祠が見えた。山頂だった。

既に二人の男性が昼食だった。一人は年配者で足立ナンバーの車があった。若い方は、我々が下る、反対から上ったようだ。

展望が素晴らしい。右からハツ・浅間山・菅平と続いていた。昼食を撮っていると三人の男の子を連れた家族が上って来た。若い方だが、山を知っているようだった。写真を何枚か撮って貰った。

「なるべく、皆さん中央に集まって」といわれた。何でも端の方は、レンズの歪みで「美人に撮れない」という。本当かなァ。そこまで考えたことはないと思った。

一時間程、ユックリし反対側を下山。こちらも紅葉が素晴らしかった。

つづく





11月02日(火)晴・19/64

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年11月1日(月)17時11分2秒

つづき

富士山・富士宮口は八合までが特にキツイ。富士山は、というか、高山は3000mがキツイラインといわれる。科学的根拠は、不明だが、恐らく、日本の山岳は、最高値が3000mが多いからだろう。

それ以上の経験が少ないから、それ以上の富士山は厳しいとなる。八合目は約3250m。確かにキツイ。これを越えると、九合～九合五勺～山頂となり

気持ち的・精神的にグッと楽になる。(あくまで気持ち・精神)肉体は

当然、厳しい。

この辺りになると、登山者は「サッサ、サッサ」と上っている人は皆無。概ね全員、下を向き黙々と牛歩の如く上っている。大げさにいえば、「三步上って、二歩下がる」の感じなのだ。

漸く九合五勺に来た。標高は約3600m。あと約一時間。今年、6月5日に上った記録に比べると約30分速かった。ルートはここで直上ルートとブルトナー荷上げトラバース道に分かれる。I君に、「ブル道を行く」と伝えてあったので、予定通りに進む。ブル道は、歩き易かった。

殆どの登山者は、このルートを知らないので、直上ルートを上る。ブル道のが少し速い。剣ヶ峰が見えた。雪は多くは無かった。風が強いので飛んでしまうのだ。

山頂は、今年初めてだった。6月は仲間が不調で九合五勺から一緒に下った。何回来ても山頂は素晴らしい。日本で絶対的な標高。日本では3776mの標高はここでしか経験できない。貴重な存在である。山頂着。5時間57分だった。

2016年05月08日（69歳）・・・5時間29分
2017年05月20日（70歳）・・・5時間14分
2018年05月12日（71歳）・・・5時間49分
2019年06月14日（72歳）・・・5時間12分
2020年・・・記録なし
2021年06月05日（九合五勺まで）・・・6時間12分（この時間は仲間）
2021年10月30日（74歳）・・・5時間57分

こうして記録を見ると、勿論、春・秋と条件は違うが、年齢を重ねても案外、大きな差がある訳でもないことが分かる。80歳まで頑張ろう??!!（`艸`）

つづく（明日・明後日、休載します）





11月01日(月)晴・18/66

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月31日(日)17時53分5秒

渋野もやってくれるね～。というか、相手が自滅??
選挙は、投票率が低いね!!

土曜日は、富士山頂でした。コース=富士宮コース、天気=無風快晴、
参加=3名(登頂2名)、標高差=約1400m、時間=上り約6H・
下り2.5H、積雪=6合から。

この時期、毎年、富士山頂に上る。手軽に一番行きやすい雪山は富士山だ。道路が通行止めになる前に速やかに上る。しかし、加齢と共に年々、厳しくなる現実。

3名で金曜日から出掛ける。天気は良かった。五合目に上がる。モーレツに寒い。ガッチリ着込んで、早々にテントに入りチビチビ。ようやく体が温まった。夕餉は、味噌仕立ての鍋。

野菜は、私が作ったハクサイ・ダイコン・シュンギク・ほか購入物のシイタケなど。夕食が終われば寝るしかない。19時ころ寝てしまった。夜半、ガキどもが駐車場でおしゃべり。五月蠅くて堪らない。我慢の限界で漸く退散。

土曜日は4時起床。モーレツに寒い。テントが凍っていた。マイナス10度くらいか。鍋を温め持参したゴハンに掛けてオジヤをいただく。なかなか腹に収まらないが、無理やり押し込む。でないと歩けない。

5時14分登山開始。試練が始まった。まだ夜が明けない真っ暗な、ズリズリなスコリア（火山礫）を上る。新六合を過ぎると早くも雪が出て来た。兎に角、今年は積雪が早い。雪はカチンカチン。本六合下でアイゼンを履いた。その方が安全で速い。

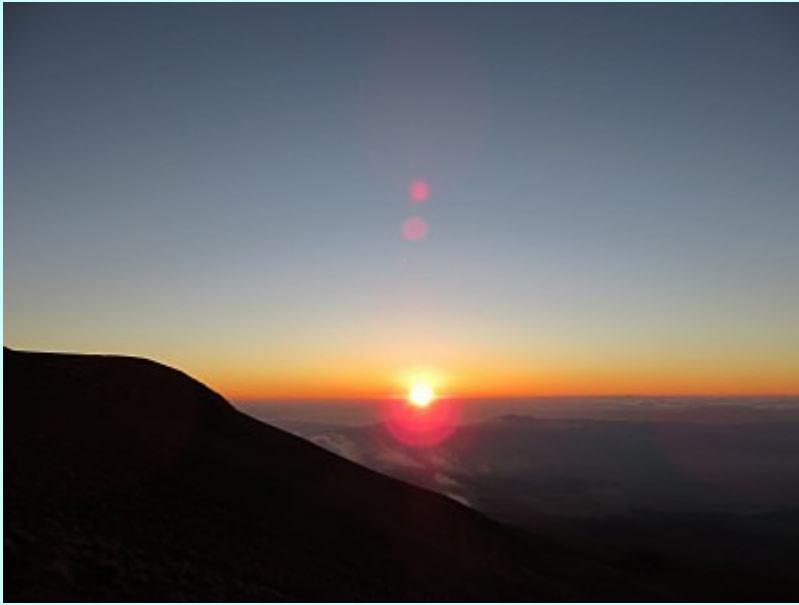
二人はグングン上る。ただ、若手のI君が不調。彼は私より二回り若い。今日は、たまたま母君の誕生日。10回目の登頂を目論んでいた。しかし、体がいうことをきかない。原因は鍛錬不足。

彼の前回の登山が10月2日のキノコ狩り。約一か月山に行っていなかった。その間、我々は、石裂山、那須10時間周回、西天狗岳・西尾根周回、ほかと、やや厳しい山をやっている。いくら若いとはいえ、鍛錬不足は否めない。

ただ、我々は那須・西天狗は平日山行。仕事がある方とは一緒に行けないが、
休日はある訳だから、それはそれで工夫して臨むべきだ。大昔は、バイクで丹沢などよく行ったものだ。人間、その気になれば、何でも出来る。

I君にはマイペースで来て貰う。七合付近で脇腹が痛くなった。朝はトイレを済ませたが、最近では珍しい。申し訳ないが小屋の裏で用を済ませた。そのままでは、申し訳ないから。全て回収した。天気は相変わらず安定していた。風はなく温かかった。

つづく



10月29日(金)晴・18/51

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月28日(木)16時58分45秒

つづき

バスにピックアップして貰い食堂・お土産の「湖仙荘」着。二階の食堂で昼食をいただく。食堂は西に本栖湖、東に富士山を望める、ビュー・ポイント。半数の方は料理を頼んだ。

鹿肉ジビエカレー・山菜ソバ・ほうとう・うどん・コロケ・ソフトクリームなどなど。湖仙荘は、サービスが良かった。ミカンを出してくれた。何よりも持ち込みOKは嬉しい。

ただ、前回、ドッカと鎮座し店を睥睨し元気だった、大ババさま(95歳)がいないのは淋しかった。高齢で今は、デイサービスで店には出られないという。残念だった。

皆さんの関心は、食後、訪れる「中の倉展望所」からの富士山の展望。食堂の窓から富士山が伺え一喜一憂。午前中はハッキリしない天気だったが、予報通り天気はドンドン良い方向に向かっていた。

ゆっくり昼食を済ませ、バスで中の倉トンネル脇の登山口に向かう。展望所まで標高差約150m・30分。ユックリ・ユツタリ上る。道は良く整備されていた。

途中、一人の若い衆に抜かれた。やがて峠で先が展望所。ひな壇が作られていた。歓声が上がる。本栖湖の向こうに、雄大な富士山が新雪を纏い佇立していた。

会員のSさんが千円札をかざしている。千円札の絵柄は、写真家の岡田紅陽が1935年5月撮影した写真を元になっている。札は「逆さ富士」がはっきりモチーフされているが、この日は風が強く確認できなかった。

頂上に雲がなびく。頂上に雲がないタイミングを見計らい記念写真。横はなかなか厳しいので、縦型も数枚撮った。ひな壇の段差が大きく、三脚から移動するに苦労した。それでも、結果は良いものが撮れて一安心だった。

つづく(日記は原則、土日は、お休みです)



10月28日(木)曇・18/70

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月28日(木)05時33分53秒

昨日は、

10月度・富士山一周ウオーキングでした。コースは、富岳・風穴～樹海（富士山原始林）～精進湖民宿村～本栖湖（湖仙荘）昼食～バス～中の倉展望所～本栖湖キャンプ村～三島 天気＝晴れ・涼しい 距離＝約16km 参加＝15名

前回最終の富岳・風穴から出発。コロナがやや収まり、小学生（中）が大型バス数台で見学に来ていた。体操をして出発。雨上がりのオゾン一杯の樹海を歩く。汗は全く掻かないで快適。

樹海は広葉樹が少ないので紅葉は少ない。それでも黄色の大型の葉は（ヒトツバカエデ？）、歩道にキレイに落ちていた。黄色は明るく好ましい。ちなみに紅葉は8度以下にならないと進まないようだ。周辺はまだまだだった。

「ミヤマシキミ」が真っ赤な実を付けていた。とても美しいが、この植物は猛毒という。鹿も食べないので残っているようだ。快適な歩道だが、いささか車の騒音が気になる。はなはだ残念。

歩道出口付近に「富士山原始林」の説明板。で、原始林と原生林の違いは？

「原始林」は、太古から人の手の全く入らない、自然のままの森林。もちろん、台風やサイクロンが来れば、寿命何百年の大木も倒れて枯れますし、落雷があれば、大木も裂け、自然発火の山火事は、誰も消火しないので、自然鎮火まで、燃え放題です。

動物も木の皮を食べ放題、鳥は木に穴を空け放題。そして、一度そうした自然災害や動物の食害などで、消失した森林は、永久に再生しない場合が多い。

これに対し「原生林」は、自然のままの森林を維持するため、人手の入った「擬似・原始林」。つまり、原始林ではないが、「原始林」に近い「自然林」。

消火作業や、獣害対策だけでなく、間伐や、場合によっては、枯れ木の除去なども含みます。

隣接して倉本聡の小屋があり、テレビ・ドラマ「北の国から」のロケのあった東大の演習林は、勿論「原始林」でなく、「原生林」。僕らは、それを見て「何と美しい自然が、手付かずに残っているのだろう」と感

動します。・・・ネット

分かりましたか。原始林は貴重なモノですね。精進湖民宿村「翠明荘」でトイレを借りて（有料一人＝１００円）再び出発。民宿村から本栖湖まで長い。湖直前で昼食時間になり、バスで食堂「湖仙荘」に向かった。

つづく



10月27日(水)晴・18/65

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月26日(火)17時19分4秒

今日は、10月度・富士山一周ウォーキングです。7～9月休んだので、実に4ヶ月ぶり。

つづき

東天狗から来たご両人は若い方と年配者だった。最近、山で「年寄自慢」をしているが、今回は絶対、勝てない感じだった。確実に80歳は越えていると思った。

しばらく歓談。なかなか、所属山岳会を聞けなかったが、やっと地元、原村のズバリ「原山岳会」と教えてくれた。年齢は??で、私は昭和22年ですと言ったら、「昭和11年生まれ」と教えてくれた。

ガビ～ン、私より何と11歳先輩だった。つまり現在「85歳!!」凄い・驚異・考えられない・こんな方もいるのだ。その辺のハイキングではない。曲がりなりにも、雪がある八ヶ岳である。

昨日は、黒百合ヒュッテに泊まったという。今日は、これから我々が上った西尾根を下るといふ。

お顔を見てもシワもない。言葉も明瞭。ハッキリしている。世の中は広い。こんな方もいらっしゃる。帰ってネットを見たら、「長野県山岳協会顧問・清水 澄さん(85歳)だった。

毎年、6月第一日曜日、阿弥陀岳で開山開き・安全登山祈願を行っている。とネットにあった。イイ方を知った。このような大先輩が頑張っているのを見たら、まだまだ、ボケることは出来ない。

つづく(日記は26日、書きました)





10月26日(火)雨・15/60

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月25日(月)16時32分46秒

つづき

西天狗岳・西尾根の唐沢分岐に上る。まだ、暗かった。同行の女子二人のヘッド・ランプが問題だった。登山で365日絶対、必要なモノは何か。

勿論、登山装備は、何一つ欠かすことは出来ない。しかし、極端な話、食料だって無くても何とかなる。我慢すればいいし、誰かに貰うことも出来る。実際、大昔、剣岳池ノ谷(いけのたん)で、食料を分けて上げたことがある。

携帯だって最悪無くても、誰かに借りることが出来る。カメラも別に無くても大丈夫。365日必要なモノとは、「代替えが出来ない装備」をいう。

ヘッド・ランプ、雨具、（私はそれにトイレ・ペーパー）だ。山は暗くなると下界のように、何となく明るくない。本当の暗闇。真っ暗である。動物は別だが人間はその状況では絶対歩けない。

山腹は北斜面なので、すぐ雪・氷の世界だった。私にとって、待望の季節到来である。何故か暑さに比較的強いが暑いのは嫌い。何故か。暑いと、それでなくとも曖昧な思考能力が更に落ちる。

暑いと、曖昧模糊なのだ。特に、「モノを書く・描く・弾く」などの行為が全くダメになるからである。何よりもイイのは、「汗を掻かない」。汗は登山で大敵。汗を掻かないと、エネルギーは大幅に軽減される。

分岐で小休憩。分岐から快適な尾根を上る。シラビソの林が続く。天気予報は午後から悪かったが、朝は問題なかった。キレイな青空が梢に広がっていた。風はない。しかし、蓼科は何となく黒雲が広がり始めた。赤岳も怪しい。ノー・テンキでノンビリは出来ない。

第一・第二展望台で展望を思うがままにして、上部の巨岩帯に突入。巨岩帯は西尾根を特徴付ける場所。巨岩を縫うように上る。まともに上ると苦戦するので右端の植物帯境に行く。

やがて頂上。雪は薄っすらあったが寒くはない。昼食はまだ時間が早い。写真を撮ったりしていると、東天狗から男性二人がやって来た。一人の方は、高齢の感じ。興味がありいろいろ尋ねてみた。年齢を聞いてビックリ仰天だった。

つづく





10月25日(月)晴・18/70

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2021年10月24日(日)17時46分46秒

参議院補選、山崎氏勝利。川勝の応援も大きかった。これで衆議院も分からなくなった。

先週、21日(木)・22日(金)は、諏訪・横谷(よこや)溪谷・八ッ・西天狗岳西尾根周回でした。天気は、21日晴れ、22日晴れのち雨。参加4名。

前回、那須連峰周回は、前日が厳しい山で、翌日の山が大変だった。この歳になると「連荘」(れんちゃん・これは麻雀用語)は難儀だ。そん

な反省で

今回の初日は、あまり知られていない、横谷溪谷で遊んだ。赤い岩床が見事な溪谷だった。紅葉は、ちと早かった。

林の中で「コガネダケ」という見事なキノコをゲットしたが、余り食べられていないの情報だった。ネットでは、美味しいキノコの代表とあったが……。キノコの未食は難しい。残念でした。

溪谷で「キノコうどん」を食べて、今日の宿、「唐沢鉱泉」に向かった。宿は標高が1870mと高い。従って寒い。すぐ温泉に行く。有り難い。ただ、ここは鉱泉なので、源泉は10度という。これでは入れない。沸かしている。

それが理由かどうか定かではないが、宿代は、12000-+消費税+入湯税で高い。ま、しかし、これまで利用したことがないので、利用も良いかと思った。

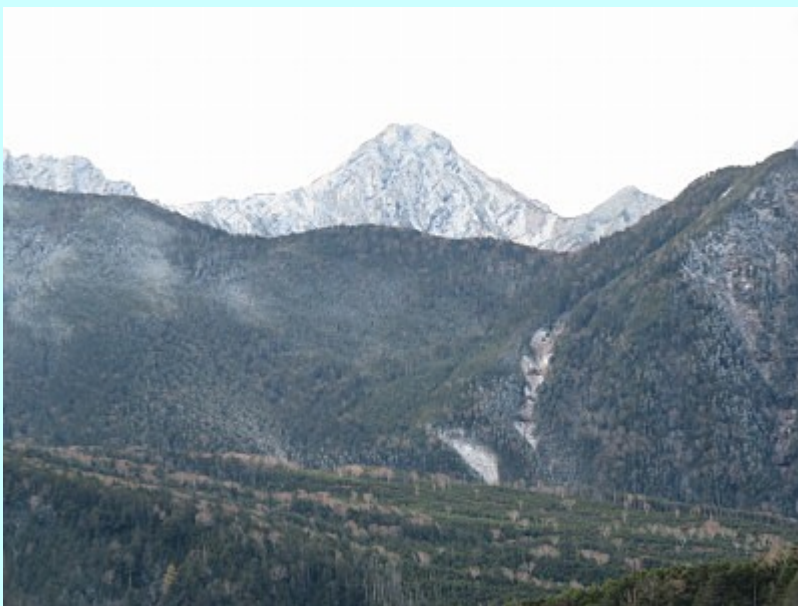
食事は、山故か「美味しい」とは言えなかった。前回の那須は、安価でサイコーだったが……。

登山は、朝が早いので朝食は弁当。早朝、4:30寒々しい食堂で弁当の朝食。弁当の質は良かった。以前、白馬山荘の弁当も良かった。ただ、折角の良い弁当も冷えたゴハンは頂けない。せめて、電子レンジがあればと思った。

下山して、そんな話を係りに注文したが、余り関心は無かったようだ。レンジサービスは、手間も掛からないのに……。外はまだ暗かった。ヘッドランプで出発。登山道は雪・氷の世界だった。

つづく





10月21日(木)晴・18/70

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月20日(水)17時57分10秒

阿蘇山噴火。油断は禁物。

断捨離で懐かしい写真が沢山出て来る。
写真は、なかなか処分出来ない。

写真は、下手な文より事実を如実に物語っている。
人物の表情などは、文ではなかなか表現できない。

背景・荷物の大きさ・服装・天気などなど。
写真は、捨てがたいですね。

写真・上 1980年12月29日～1月1日 北ア・鹿島槍ヶ岳
中 1984年12月29日～1月1日 北ア・常念岳
下 1974年12月28日～31日 南ア・茶臼岳～聖岳

日記、22日、休みます。



-1985-百年プリント



75x

10月21日(水)晴・18/68

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月20日(水)06時19分55秒

各地で初雪の便り。白馬ガイドの高久さんから白馬冠雪の便り。富士山も真っ白。季節は一気に冬に突入。

松坂の引退は寂しかったね。我々、山屋の引退はある、ない??!!

今年は、庭の柿が良く出来た。

夏は害虫発生で、一時はどうなるかハラハラしたが、何とか乗り切った。

子供の頃、近所の農家の庭の柿が凄かった。

いつも腹らっぺらして、「食いたい食いたい」と思っていたが、なかなか叶わない。「ある家」は、あっても案外、食べないもの。(と思う)

状況が許せば、庭には実のなる木がイイと思っている。

狭い庭だが、夏ミカン・温州ミカン・本ユズ・富有柿と可なり欲張り。幸い全て良く出来る。

野菜もそうだが、自前のモノを頂けるのは有難いことですね。





10月19日(火)雨・17/56

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2021年10月19日(火)06時40分27秒

今朝は寒い。17度。雨で静か。6時まで爆睡でした。(´艸`)

先日、富士山にイイ雲が掛かっていた。
富士山の目を引く雲の種類は、笠雲・吊るし雲がある。種類も多い。

・・・笠雲で20位、吊るし雲は、12位。細かい分類をすれば更に増える。山頂にかぶさったり、少し離れて出る笠雲。風下側に離れて出るレンズ状の吊し雲。どちらも現れる形は多彩で、笠雲には「ひとつ笠」「にかい笠」「かいまき笠」「はなれ笠」、吊し雲には「だえん」「つばさ」「はち」などとユニークな名前が付けられている。

気になる雨とのかかわりは、現れてから24時間以内に雨が降った割合は、笠雲が72%、吊し雲が82%と、それぞれ高い確率で雨となっている。地元の言い伝えは、確かに当たっている・・・ネット

実際今回は、翌日雨だった。吊るし雲で82%は、かなりの高率。しかし、100%でないので、雨が降らない場合もある。そんなところも面白いですね。



10月18日(月)晴・17/59

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月18日(月)06時24分52秒

夕べは、寒かった。寝ていて、頭がスースー。猛暑は終わりか??

今、畑の「シシトウ」が美味しい。

しかし、この「シシトウ」は、不思議と言えば不思議。

真夏は沢山出来て、沢山収穫できる。ただ、問題がある。

かなり辛いのだ。おおむね、10個に一個は辛い。

また、その辛さはハンパでない。超激辛。元々、唐辛子だから、ま、仕方がないと言えば、仕方がない。

仲間とバーベキューで食べる時は、ほとんど「ロシアン・ルーレット」

いつ、爆弾に当たるかどうか。戦々恐々で食べる。また、それが面白い。当たった時は、皆で「オメデトウ」で祝う。

しかし、不思議。秋になり収穫量が減ると、あらら、あの恐るべき「辛み」が何処かに行ってしまった。何故だろう。ネットでは・・・。

・・・実はししとうは品種改良の結果生まれた植物で元の植物は「青唐辛子」なのです。そのまま食べるのは難しいので辛みをなくしたというわけです。ししとうが育つ過程で、日光不足や水不足などの『ストレス』を受けると、品種改良で表に出なくなった辛み成分の遺伝子が、強く表に出てきてしまうのです・・・ネット

・・・ストレスを受けたししとうは辛みが多いです。ストレスを受けると成長が鈍化したり、それが形に表れるため、形がいびつなものは辛みが強いと言われていています。

先がやけに細かったり、不自然に細長いなど、形がいびつなものは辛い確率が高いので、避けた方が良いでしょう・・・ネット

・・・暑い土地が原産のししとうですが、夏場に昼夜問わず暑さが続くとストレスが溜まり、辛みが増すようです。参考ですが、唐辛子は気温が25℃以上になると辛みが増えると言われていています。辛いししとうを避けたい場合は、夏前に若くて柔らかいししとうを購入するのがオススメです・・・ネット

とあった。ということは現在、涼しくて、シシトウは、余り「ストレス」を感じないで、育っているのだろうか??!! そのように言われれば、今年も猛暑で雨も少なかった。一見、何でもないような野菜も、実は大

変だったんだね。ご苦労様。

そんな訳で、メデタシ・メデタシ。これからは安心して食べれそうです。ただ、この時期花が少なく、収穫量がグッと減りますね。でも、それが貴重で美味しいです。



10月15日(金)晴・21/66

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月15日(金)05時11分52秒

つづき

昼食を終えた。「ダンケ」で買い物もした。午後の巡礼を開始。
しかし、雨は止まない。予報は、午後は曇りだったのに・・・。

旧東洋醸造前を通過する。「大五郎」焼酎をまだ作っているのかな??
現在、会社は旭化成になり、東洋醸造は消滅。我が国産電機もマーレ
(ドイツ系)に買収され、90年近い社歴を閉じた。

その時、合成清酒が話題になったが、力正宗は現在、合同酒精が販売。

合成酒とは＝

香味、色沢などが清酒に類似した酒。合成酒、新清酒ともいう。ビタミンB1の発見者、鈴木梅太郎により創製されたもので、米を使用せず、清酒中の香味成分を混合、調和して、清酒類似の酒をつくったのが始まりである。すでに明治初期には、輸入アルコールによる混成酒製造の試みがあったが、1901年(明治34)の酒税法の改正で混成酒への増税が行われたため、その製造は中断された。明治末期ごろには研究はかなり行われていたが、18年(大正7)の米騒動を契機に、主食である米を酒造りに消費することを憂えて、鈴木らにより本格的な研究が始まった。21年には清酒代用飲料製造法の特許を得た。この研究と製造が理化学研究所で行われたため、酒の名も「理研酒」あるいは「合成酒」とよばれていたが、40年(昭和15)の酒税法の改正により「合成清酒」となった。

まず、アラニンなどを糖液に加えて発酵させると清酒様(よう)香気を生じるという発見が、新しい合成酒発明の糸口となり、重要な呈味成分であるコハク酸を安価に得られる製法が発明されて、酒質は飛躍的に良好となった。1936年には理化学研究所がこの特許の分権を行ったため、全国各地で製造が行われるようになった。第二次世界大戦後、米不足から清酒の製造は減少したが、これにかわって合成清酒は大きく伸びた。51年(昭和26)合成清酒に米を一部(5%だけ)使用できるようになり、また蒸留法の進歩、調合法の研究によって品質は向上し、62年までの10年間、製造量は毎年約14万キロリットル前後に達した。しかし経済の好転以来、合成清酒は名称からくるイメージの悪さ、酸味の強さ、香味の複雑さに欠けることなどから消費量が急激に減少し、「新清酒」という新名称の考案にかかわらず、75年以降は2万キロリットル程度となった。その後、品質の向上もあって90年(平成2)ごろから消費量が増加し、95年には5万キロリットルを超えている

・・・ネット

と、凄い歴史が分かった。たかが合成酒、されど合成酒である。

しばらく歩き、広瀬神社に寄った。大きく立派な神社だった。歴史的には相当古い神社であった。田京駅から蔵春院に上る。立派な寺。ここも歴史が長かった。開創は、約600年前の1439年という。山門の金剛力士仁王像も素晴らしい。寺は私が巡礼を始めたころ立て直されキレイになった。

住職は、三島広小路の常林寺の三男(?)。奥様の山田久美子さんは、以前、巡礼に参加していた方の親戚といった。依然として雨が止まないのので、寺入り口で記念写真を済ませ今回は終了。修善寺の「農の駅」で買い物をした。

雨の一日だったが、久しぶりに皆様と歩け良かったです。





[返信・引用 編](#)

[集済](#)

10月14日(木)曇・21/76

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月14日(木)06時53分24秒

昨日は、

10月度・伊豆巡礼でした。巡路は、七番・泉龍寺～六番・金剛寺～八番・益山寺～九番・澄楽寺（昼食）～十番・蔵春院。
天気＝終日雨、距離＝約18km、参加＝12名。

7・8・9月は、コロナ・猛暑で休講だった。久しぶりの実施だったが、生憎の天気。降られることを覚悟で実施。

七番・泉龍寺から出発。早くも小雨。六番・金剛寺着。寺は無住で荒れ放題。2009年、初めて訪れた時、大ババさま（杉本ふみ・当時88歳）が、お新香を出してくれたことを思い出した。

大ババさまは、ご詠歌を高野山まで学びに行ったという。免許皆伝で壁に高野山の証明書があった・・・。

また、その昔、結婚式があるから来いといわれ、行ってみると、それは自分の結婚式だった・・・。

初恋の人は特攻隊員だった。出撃するので鹿児島・知覧に見送りに行った。昭和20年8月10日、彼は南の海に消えた・・・。など、話してくれた。

この辺りの詳しいことは、拙著「伊豆八十八札所巡礼」にある。
なお、寺には、明治初期の伊豆八十八札所の版木がある。この版木が発見され、伊豆巡礼巡拝が再興したといわれる。このコピーは、巡礼修了

者にプレゼントしている。

隣の「子神社（ねじんじゃ）」は、立派だった。入り口の杉は巨木だった。子神社は、「八百万の神」を祭っているという。

また、鳥居の注連縄（しめなわ）は、痛みにくい「ビニール製」だった。しかし、大きく立派なものだった。最近では、鳥居も腐り難い材料で作られているようだ。

益山寺に向かう。雨が強くなった。採石場の音が喧しい。上りがキツイ。駐車場に着いたが、雨が強く、寺に上がる急坂は危険なので止めて、バスの中でお勤め。下って大仁に向かう。

狩野川堤防を進み、神島橋を渡る。狩野川が清冽。九番・澄楽寺着。寺は数少ない

真言宗。お勤め後、控室で昼食。寺は、何かと良くしてくれるので有難い。食後、大の字になって昼寝。

皆さんは、寺下の「ダンケ」というパン屋に買い物。巡礼は、各地を巡るので見聞が広がり、それが楽しい。

つづく





[返信・引用 編集済](#)

10月13日(水)24/65

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月13日(水)04時55分13秒

今日は、10月度・伊豆巡礼です。6月以来です。

つづき

7日、4時起床。手早く朝食を済ませ駐車場に向かう。何でも駐車場は広くないので、紅葉の最盛期は駐車が出来ず登山が出来なくなると脅かされた。確かに狭い駐車場である。幸いまだ置けた。

5時発。計画書通りである。雨は止んでいた。整備された登山道を峰ノ茶屋跡に向かう。昨日の疲れで腰が重く、左膝が痛い。二連ちゃんは、この歳では厳しいか。峠は現在、避難小屋がある。剣ヶ峰を経て朝日岳着。太陽が見え隠れする。

三本槍岳に向かう。概ね下りが続く。北温泉分岐から先は、木道の平坦地が続き、なかなか良い感じだった。霧が晴れ辺りは見事な紅葉が広がっていた。静岡の紅葉と違い、赤が多く艶やか。

三本槍岳の上りに掛かる。程なく頂上着。北の旭岳の尖がりピークが印

象的。遥か会津方面の展望が素晴らしかった。磐梯山も見えた。三本槍山名には、いわれがあった。

・・・那須連山の最高峰、標高 1,917 m の三本槍岳。三本槍の名は、江戸時代に山麓の会津、那須、黒羽の三藩の領地争いがあり、境界がはっきりしなかった山頂部に槍を立て、自藩の領地を主張したことにちなむと言われている・・・
ネット

つづく





[返信・引用 編集済](#)

10月12日(火)曇・24/79

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月12日(火)06時55分33秒

つづき

ハシゴ・クサリを辿って下ると、「奥の宮」があった。急な岩場に長い鉄製のハシゴが架かっていた。先に大きな洞窟があった。私だけ上る。洞窟に鳥居があった。

直下で再びクサリ。太すぎて掴みにくい。太ければイってものではない。東屋があり、難所は終わった。沢沿いの登山道を下る。栃木県天然記念物の「千本桂」があった。大きな桂の木であった。

グングン下れば登山口着。暑くて参った。鹿沼 IC に戻り次の那須連峰に向かう。那須まで100km。結構長い。那須は天気がハッキリしなかった。霧がかかり小雨が降っている。いわゆる「キリシヨン」だ。

標高約1500mにある、峰ノ茶屋駐車場着。風が強くモーレツに寒い。ただ、向かいの鬼面山の紅葉は見事だった。紅葉は主にナナカマド。それが緑の笹原にあり映えている。静岡にはない鮮烈な赤だった。

風が弱いロープウェイ駅駐車場に下りテントを張る。兎に角、寒い。夕食は鍋。温かいものを食べ、アルコールも入り、ようやく口も軽くなった。ただ、小雨なので女子は車泊。ヤローはテントで、結構濡れてしまった。

7日、4時起床。茶屋の駐車場は狭かった。紅葉最盛期は、満車になると車が置けず、登山が出来なくなるという。脅かされて急ぎ来たが、まだ置けた。計画書通り5時発。雨は止んでいた。

つづく



10月11日(月)晴・25/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月10日(日)17時10分30秒

先週、

6日(水)～8日(金)は、栃木県鹿沼・岩裂山(おざくやま・最高峰890m・栃木百名山)と那須連峰周回(最高峰・三本槍岳1917m)でした。天気は晴れ、参加4名。

6日、長泉発6:00。東北道鹿沼ICから岩裂山に向かう。加蘇山神社から10時出発。神社は立派だった。道標が分かり難く、林道を進み過ぎて、神社まで戻った。入り口に道標が欲しかった。

神社から沢を詰めて尾根に出る。途中、ハシゴ・クサリが沢山出て来る。この山は、岩山で信仰登山の山だった。尾根を辿ると、石の鳥居があった。12時、最高峰の月山着。

非常に空腹だった。ここで昼食。温かいラーメンとビアが美味かった。30分程休み、石裂山に向かう。ピークは、縦走路から少し外れていた。スマホの地図表示が小さいと一見、縦走路が真っすぐに見えるが、拡大すると、一旦戻って縦走路に戻ることが分かる。スマホは、ある程度大きくしないと間違いの元だ。

ピークから縦走路に戻り再開。先に長い梯子があった。50m位あるだろうか。久しぶりに長い梯子だった。ハシゴのステップは、ザラザラの滑り止めが施してあった。

両側の手摺は楕円形で、安定した掴みやすい形状。設置者は不明だが、登山者に対する優しさ・配慮を感じた。

その後もハシゴ・クサリが延々と続いた。下りの難所が多い。逆コースが良かったと反省・ネットで反時計回りを決めしたが、時計回りが良い。ネットはその辺りが分かり難い。

つづく



10月05日(火)晴・23/70

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月5日(火)05時38分1秒

家の「断捨離」が続く。とにかく、不用品が多い。「断捨離」は、基本的に1年使わないものは、破棄だろうか。

山関係は多い。スキー板は、7～8本。使っているのは2本。残りは、捨てるべきだが、中々、捨てられない。

スキー靴も5～6足。使っているのは1足のみ。古いモノは、25年前使っていた、「ダハシュタイン」

これは、ヤフオクで、6800円で売り出されていた。流石にこの靴は、もう使い物にならない。他の靴を点検したら、ローバの「ストラクチュラ」があった。この靴は、懐かしい。数々の山行を共にした。

記録を見たら、この靴は、既に2000年、八方尾根で使っていた。従って、使い始めて、少なくとも20年余り経過していた。2006年、ヨーロッパ・アルプス＝オート・ルートも、これで行った。現在ののに比べると、非常に重いが、履きやすさは抜群。特に歩きモードで、厳しい氷壁はサイコーだった。

ところが、アッと驚く、何とやらで、詳しく点検したら、靴底のプラスチックが、経年劣化でボロボロだった。残念だったが、山行中でなく良かった。苦楽を共にした、相棒だったが、感謝しつつ片付けよう。

日記、2～3日休みます。





10月04日(月)晴・23/71

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月3日(日)17時47分7秒

土曜日は、

富士山で「キノコ祭り」でした。前回、小富士の「ジゴボウ」は美味しかった。今回は、須山口を攻めた。去年は、10月11日行って大収穫だった。今回は、昨年より一週間早かったが、以後の予定もあるので敢行。

前日は台風で雨だった。本来は、雨後、2～3日が理想だろう。結果、4名で収穫はまあまあだった。

持って帰って食べるなど、野暮なことは言わないで、現場で「キノコ鍋」(ジゴボウ・キノボリイグチ)をやった。何ととっても、採りたての新鮮なものが、サイコーである。まずは、持参した水で予備洗浄・本洗浄と二回洗う。

その後、切断して鍋に投入。出汁も少し入れた。程よく煮込み消火して味噌で味を調える。

いただく、美味しかった。サイコーの味だ。ビアに合う。二杯食べた。外気温は、暑からず寒からず。カラマツの梢の向こうに、青空と白い雲。静かな山。四名以外誰も居ない。

富士山はイイ山だ。家から、たった一時間でこんな素晴らしい環境があるシアワセ。人が多い人気山は五月蠅くて堪らない。何かと騒々しい昨今。何も無い・誰も居ない・雑音がない。ないないないは、貴重な環境である。

食後は、青空を眺め昼寝。三十分ほど、うとうとしてスッキリ。早め下山。下から籠を下げた女性が二人来た。よく見れば、一人は見覚えのあるOさんだった。以前、私が主宰していたハイキングクラブに在籍していた。彼女とは、数々の登山をした。

ただ、居住が富士市だから、長泉町は何かと不便。現在は同じ系列の山の会で活躍している。収穫は、来るのが遅く、我々が採ってしまったので、あまり採れなかった。でも、中には「キノボリイグチ」があった。このキノコは、フランス料理にも使われる、サイコーのキノコ。

しばし、交流して別れた。今回は軽いキノコ・ハイキングだったが、イイ汗も掻き、健康登山でした。





10月01日(金)台風・24/67

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年10月1日(金)07時50分22秒

昨夜は、

台風接近で暑かったせいか、変な夢を見た。岩山でクマに遭遇し、岩山に逃げたら、追いかけて、すぐ近くまで来た。追い返そうと、岩を投げたら、何処かで見たような顔。良く見たら、愛犬の「ラブちゃん」だった。「ラブちゃん」は、黒い犬です。(´艸`)

先日、NHKBSで「睡眠」をやっていた。夢は「レム睡眠」で観るという。浅い眠りである。暑くて、寝苦しかったのだろうか。

10月、秋である。昨夕は、「サンマ焼き」を食べた。この辺りで、良い魚屋は、サントムーンに入っている魚屋。以前は、そうでもなかったが、今年、変わって良くなった。安くて美味しいモノが多い。

サンマは、税込みで一匹=250ーくらい。まだ、高い。アブラの乗りも、やや少ない。アブラが、ギンギンに乗ったサンマを早く頂きたいですね。



9月30日(木)曇・23/68

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年9月30日(木)06時31分55秒

28日・つづき

I君の話を聞いたり、小富士着。この小富士は、三角点（1905m）があり、地名は山名でなく、三角点名。従って、本来の小富士（峰・1970m）は、もう少し上になる。三角点は、多くは山頂に位置するが、全て必ず山の頂にあるわけではない。そもそも、三角点は山の標高を表すものでなく、国土地理院が、地球の歪（緯度・経度）など測量する場所。

だから、測量に適切な位置なら、山頂でなくても良い。三角点は、等級があり1等～4等まである。富士山頂もあるが、富士山が日本一高い山だから、1等三角点と思いがちだが、そうはいかない。富士山は、2等。

また、花崗岩の標柱が必ず埋め込まれているが、この花崗岩は、基本的に「小豆島」の花崗岩が使われている。小豆島巡礼で、小豆島を2回訪れているが、島は花崗岩の島。民家には花崗岩の立派な石垣が多い。

なお、三角点には「名称（名前）」が付いている。4等などの等級が低い三角点の名称は、測量官が付ける場合もあるようだ。伊豆・下小野にある4等三角点は、「小町」という名称。この地に流された、下小野東の娘が、「東小町」という美人で、そこから付けたという。

また、変わった名称も多い。南アルプス前衛の甘利山近くにある三角点は、何故か「絶頂」という。甘利山の山姿から想像できない名称だが、確かに北側には、崖がある・・・。

同じ「絶頂」でも、北海道・利尻岳は、「利尻絶頂」（現在は無い？）これは分かる。4等には、カタカナ表記も多い。意味不明もある。測量官が、テキトーに付けたと思わないが・・・。

つづく

写真＝三角点・小富士



9月29日(水)晴・22/66

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年9月29日(水)06時02分37秒

今、

畑は、夏から冬バージョンで忙しい。

収穫は、安納芋・サトイモ・長ナス・シシトウ・トマト・ツクネ・葉物など。安納芋は、超甘くてサイコー。電子レンジで簡単に「焼き芋」が出来る。

家中が「焼き芋臭」で充満。でも、この臭いは嫌いでない。我が家の愛犬、トイプードルの「ラブちゃん」も大ファンである。

サトイモは、やっぱり「煮ころがし」だろう。ズルズルの汁が逸品。

長ナスは、今年、良く出来た。ここに来て開花がなくなったが、まだ10本ほどぶら下がっている。ナスは、やっぱり「焼きナス」だろう。これは甘くてサイコーな味。「秋ナスは、嫁に食わすな」の格言通り、例え嫁であろうとも、他人に譲りたくない??!!

ま、この格言は、賛否両論で一方では、ナスは体を冷やすので、嫁の体を気遣う言葉でもあるようだ。(´艸`)

シシトウは、秋になると大きなものは辛い。元々、唐辛子だから食べる時は油断禁物。ただ、小さいものはOK。食べる時は、少しかじって、辛くなかったら、ガブリがコツ。

そんなこんなで、秋の畑はなかなか賑やか。で、今、一番の旬は何か?? 写真の「ダイコンのおろぬき」である。いわゆる「おろぬきダイコン」これは、本当にサイコー!!!

絶対、スーパーや八百屋に売っていない。これを食べれるのは、生産者(大げさ)だけの「特権」だ。シーチキンを合わせて、ポン酢でいただく。ちょっぴり苦くてシャリシャリ。酒の友に言うことはないですねェ!!!





9月28日(火)晴・22/60

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年9月28日(火)06時20分55秒

富士山、初冠雪、今回は問題ないようです。

つづき

小富士でのI君の逸話

先日上った「能郷白山(1617m)は、岐阜県・福井県、県境の山。登山口の山麓まで、長泉から約360kmある。なかなか上れない山である。記録・写真は下記。

報告書 <http://susono-reihou.babyblue.jp/000-107.pdf>

写真館 <http://susono-reihou.babyblue.jp/kiroku-7-63.html>

I君が岐阜県出身は知っていた。ただ、実際どの辺りかは知らなかった。小富士に上った時、I君が「実は・・・」と切り出した。話は、私の能郷白山の記録を読んでのことだった。

我々は、能郷白山に上り宿泊した宿は、「西国三十三観音結願寺（けちがんじ）華厳寺（けごんじ）」山門脇の「立花屋」。I君曰く、実は、立花屋に泊まったことがある、だった。

更に聞けば、実家は寺から車で15分位で、静岡に来る前は、家族でいつもお参りをしていたという。我々なんかより、余程早い「因縁」があった訳。更に、I君の父親の名前は「弘」で、I君は、「弘二郎」。

「弘」は、何と「弘法大師」の一字を頂いたという。う～ん、凄い。素晴らしい。知らなかった。聞くまで分からなかった。

I君は、当会現役では、一番若い上り手。私とは、二回りほど年齢が違うが、会在籍は長い。冬山も好きだし、山岳スキーもやる。やっぱり、弘法大師が取り持つ、「ご縁」があったのだろう。イイ話を聞かせていただきました。

つづく





9月27日(月)晴・21/60

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年9月26日(日)16時47分50秒

大谷、伝発。頑張れ～！！

富士山に二度目の冠雪。今回はどうかな??・・・(再発表でOKのようです)

土曜日は、富士山・小富士でキノコ狩りでした。

新しい道路のお陰で、現地までスイスイ。

小富士は久しぶりで、今回はいつだったか忘却の彼方。

標高約1415mの「グランド・キャニオン」入り口からスタート。

朝の冷気が快適。小沢を渡り、グランド・キャニオン右岸を上る。実は、ここに来たのは多分、初めて。

話には聞いていたが、キャニオンの崩壊は凄まじかった。これらが次第に発達して、大沢の様になるのだろう。下部で大規模な堰堤工事が進む。しかし、これはいくらやっても、おそらくキリがないだろう。

天気は予想外でハッキリしない。ガス漂う。

標高約1600m付近でキャニオンは終わっていた。溶岩床を対岸に渡り小富士を目指す。

傾斜は急でもなく、緩でもなく、上り易い。ただ、ガスが去来し景色が見えないのが残念。そのうち小雨がパラパラ。それでも、三角点名・小富士(1905m)着。小雨は止んだ。ここで、同行者のI君の面白い

話を聞いた。

小休憩し更に小富士を目指す。すると上から籠をショルダーしたアベックが来た。籠の中身は概ね予想できたが、案の定「ジゴボウ（ハナイグチ）」が沢山入っていた。しかも、開いていない、なかなかいいものだった。

ここで我々も俄然、キノコモードにスイッチが入った。森の中に分け入ると知らないキノコが沢山あった。これは、後で分かったが、「キノボリイグチ」という、食用・美味のキノコだった。

つづく

写真は、下土狩からの今朝の富士山





9月24日(金)晴・24/57

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年9月24日(金)05時42分24秒

大谷が頑張っている。申告敬遠は頂けない。(深刻)で、米国・日本のコミッシュナーに提案だが、「勝っているチーム」は、「敬遠・申告敬遠は出来ない」はどうだろうか??今季、敬遠が15は多すぎるし、負けているチームが一発逆転のシーンで敬遠は興ざめだ。

身延・三石山で行方不明だった、Sさんが遺体で見つかった。予想はしたが、最悪の結果。72歳では、早すぎる。

・・・行方不明になっていた元会長のSさんが遺体で発見されました。私たちが検索していた近くの様です。スマホのタイムラインが開示されたので検索会社がそれを追って見つけました。スマホのいろいろな設定やパスワード、IDなどは家族が分かるようにしておかなければなりませんね・・・仲間の連絡

タイムラインの追跡で発見できるのか、ちょっと分からないが、当日、タイムラインを使っていたのだろうか??

かつて私も何回か事故を経験した。私ではないがパーティーとして、ヘリの世話にも2回なった。最初の事故の経験は、1970年7月10～12日、南アルプス・黒桂河内だった。

まだ梅雨が空けていない沢。当時、4名登山靴で入渓。結果、一人、足首骨折、一人手首骨折だった。雨の中、沢で一晩ビバーク。翌日、

脱出して身延の病院に急行。足首骨折は、再び山に戻れなかった。事故原因・要因は多々ある。52年前の若き日の苦い経験です。

追伸・・・昨日もニッ塚で山中湖の男性が登山中、意識不明び陥ったという。ヘリ搬送だったが、暑かったのだろうか？



9月23日(木)晴・25/70

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年9月23日(木)04時31分44秒

「遭難」

って嫌で嫌いなコトバ。山はイイ。キレイで美しく、厳しく優しい。
ただ、「遭難」は、最悪。

下界では、日常的に「難に遭う」ことは稀。もちろん、様々なアクシデントは、なくはない。しかし、山岳遭難のように「死に至る」ことは少ない。

20日も富士の方が八ヶ岳・横岳で滑落(転落)し、ヘリで救助されたが亡くなった。まだ、60歳前の若い男性。横岳から赤岳に向かった途中。横岳は岩場が多く、部分的に細く厳しい岩稜が続く。滑落・転落は、十分頷ける。早朝だったが、まだ体が山に慣れていなかったのだろうか。詳細は不明。登山経験も分からない。

「遭難」に至らない方法はない。山に上る以上、常に可能性はある。いや、強いて言えば、上らないのが「遭難」しない方法かもしれない。しかし、山に上らないことは出来ないから、出来ることは何か。

我々に出来ることは、「常に備える」事しかない。技術・体力・精神力・知識・観察力・洞察力などなど。

岩場の多い山に行くなら、自身は岩場の経験があるか？同行者は、岩場の経験、または、行く山の経験はあるか？同行者に助言は貰えるか？逆に同行者に助言は出来るか？上る山のコースタイムを把握しているか？1日、最低上り5時間、下り3時間をしっかり歩けるか？上記で夏、荷物は最低10kg背負えるか？

などなど、このような設問を想定し考えることである。
想定問答中、50%問題があったら、その登山は止めた方が賢明だ。
考えられる、想定問題は一人では限界があるので、山の会・仲間・同行者と考えるのが良いでしょう。

写真＝横岳縦走路



9月22日(水)曇・25/67

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年9月22日(水)06時14分14秒

仲間の

山岳会の元会長Sさん(72歳・現在は他会)が、8/29、単独で山梨・三石山(身延町・1173m)に上り、遭難し今日現在、行方不明という。

S氏(72)は三石山に下見に行ってくると言っただけで家に何も残していかなかったのが、どのルートか分からないので新旧登山道、古道、作業道、沢などくまなく探しました。

警察はヘリから犬まで使ったそうです。まだ見つかりませんが、プロの人は転落だろうと言っています。ヤバいことに労山をやめてから地元の会の山行の都度県の日掛けの障害保険をかけていただけだそうです。

下見などのための自分の保険には入っていませんでした。プロは1人1日4万プラス管理費などと高いですからね。

資料を送りますね。携帯電波の位置から考えると帰りがけに五宗山方面に寄ったのではないかと。

搜索したルートは色の線のほかに送電線巡視路、作業道、堰堤までの沢を一昨日やっています。

巡視路も作業道も道とは名ばかりで、沢まで落ちるようなところがいくつもありました。稜線から沢までは人海戦術で面で搜索しています。

GPSというのは110番したときに警察で分る正確なものではなく、3つの基地局が受信した信号を三角法で特定した位置なので精度が低く、誤差は300m以上です。

以上が遭難概要ですが、問題は、1・単独登山 2・計画書がなく口頭だけ 3・保険が日掛けの障害保険のみ、だった。

搜索費用は、行方不明の場合、延べ人数が増えるので相当額になる。その点、労山の保険は、搜索費用が(口数によるが)ある程度、担保されている。

現在、当会は多くても5口だが、このような遭難を考えると10口でも少ないくらいだ。上記の基本3点は、他人のものでなく、自分自身のものなのです。



9月21日(火)晴・24/51

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年9月21日(火)07時53分38秒

つづき

登山口に着いた。林道は約1時間。ここに今回、初めての道標があった。立派な物だった。能郷谷に架かる簡易橋もある。手摺がロープなので、ちょっと怖い。橋も鉄板で滑りやすい。でも、これが無ければ、谷を渡るのは中々難しくなる。谷から本格的な上りになる。物凄い急登。約1時間で林道跡に出た。前述した堰堤工事用の道だ。

ここから登山道は、前山まで標高差約450mの上り。我慢・辛抱の上りだ。途中に「お迎えブナ」の標識を付けたブナがあった。天気は良く青空が広がっていた。登山道は、登山口から綺麗に刈り入れがされ歩き易かった。ただ、雑草がないので、日当たりが良くて暖かい。実はそこに「ヘビ」が何匹かいた。黒いヘビだった。種類は不明。ネットでは、

・・・身近に潜む黒い蛇(黒蛇)の秘密に迫ります。日本には「黒い蛇」として認識されているものは3種類います。シマヘビ、ヤマカガシ、マムシです。アウトドア趣味で山野を歩いていると、ときおり真っ黒い蛇に出会うことがあります。黒化型と言って、本来の蛇の体色の変異して(体色変異といいます)、黒色に変化したものです。

日本には「黒い蛇」として認識されているものは3種類います。シマヘビ、ヤマカガシ、マムシです。なかでも山野で遭遇する機会が多いのがシマヘビでしょう。シマヘビの黒化型はカラスヘビと呼ばれ、日本各地で目撃されます。目の前に黒い蛇が突然現れるとびっくりしますが、大概はヘビの方もびっくりして、急いでその場を立ち去ってくれます。ここでは、そんな黒い蛇たちを紹介します。

つづく





9月20日(月)晴・23/54

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年9月20日(月)05時32分24秒

つづき

15日＝4時起床。夕べは良く寝れた。雨は止み、星が光っていた。良かった。昨夜の鍋の残りでオジヤを作った。流動食で食べやすい。2杯食べた。昨夕のオババ、ケンちゃんがまた来た。今度は車だった。

オババは72歳といった。実際より老けて見えた。バツイチでこの地に嫁いたという。ただ、旦那様は数年前に亡くなった。現在は愛犬と二人暮らし。子供はいない。

山奥の生活だが、余り不自由は感じていないようだ。近くにスーパーはない。15分ほどの町まで車を運転して買い出しに行くとのこと。今朝は我々の見送りに来てくれた。「気を付けて」のエールをいただいた。

能郷林道のゲートから出発。朝の冷気が気持ち良い。私だけ自転車で林道を偵察。ゲートは縄を張ってあるだけなので、林道の状態が良ければ戻って皆を迎えに来るつもり。しかし、道は落石が多く路肩も崩れ危険だった。

自転車で戻って、皆と歩く。自転車は途中でデポ。林道は延々と登山口まで続いていた。地図を見ると、昔は標高1100m付近まで伸びていた。これは堰堤工事用の道だった。

頂上に上って分かったが、この山の南面は兎に角、堰堤が多い。それだけ脆弱なのだろうか。ただ、北面は殆どない。不思議といえば不思議。行政の違いだろうか。

つづく





9月17日(金)晴・23/64

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者: たかちゃん 投稿日: 2021年9月17日(金)05時50分51秒

14日～16日は、

岐阜・福井国境の能郷（のうごう）白山（日本に百名山・1617m）でした。登頂日の天気は晴れ、標高差＝約1200m、参加＝4名。

14日＝明日の天気予報は晴れ。信じて長泉6：00出発。
順調に進み白山の麓着。ここまで約360km。
明日の下見をする。天気は悪化し小雨がショボショボ降る。
結局、夜まで続いたが、明日、ホントに晴れる??!!

登山道の能郷林道は長いので、東尾根を上る予定。
しかし、取り付きに至る林道が狭く長い。
縦走設定で温見峠（ぬくみ）に自転車をデポしようと考えたが、とても無理だった。

結局、戻って能郷谷を偵察。林道は能郷根尾から左折するが、全く道標など無く、神社の公衆電話跡に登山届ポストがあるだけだった。

林道は、標高約350m付近にゲートがあった。ゲートは縄を張ってあるだけで車は入れた。ただ、道は落石・崩壊が激しい。下見を終了し、某所でテント泊。

屋根があり雨露を凌げる。ウオシュレットトイレ完備で有難い。夕方、散歩の地元のババさまと交流。「ケンちゃん」という、コリー犬と一緒に。持参した「安納芋」を上げたら喜ばれ、「もっと欲しい」の表情だった。

夕食は、飲みながら鍋をつつく。野菜・肉が豊富で美味しかった。ヤロー同士だと、こうはいかないので有難い。

テントは快適だった。ただ、外に寝たGは蚊に食われた。また、夜半にアイドリングが五月蠅かったとの報告もあった。私は気にならなかったです。

つづく





9月13日(月)晴・25/71

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年9月12日(日)17時06分47秒

このところ

天気がパツとしない。時間がある。「断捨離」を敢行。
出るは出るは。屋根裏の倉庫から、古い資料・写真・記録が続々。
さながら、タイム・スリップした感じ。

捨て難いものが多い。いちいち見ていると、「断捨離」が進まない。
「断捨離」コツは、思い切りだろう。しかし、懐かしいものは、しばし
感傷にふける。

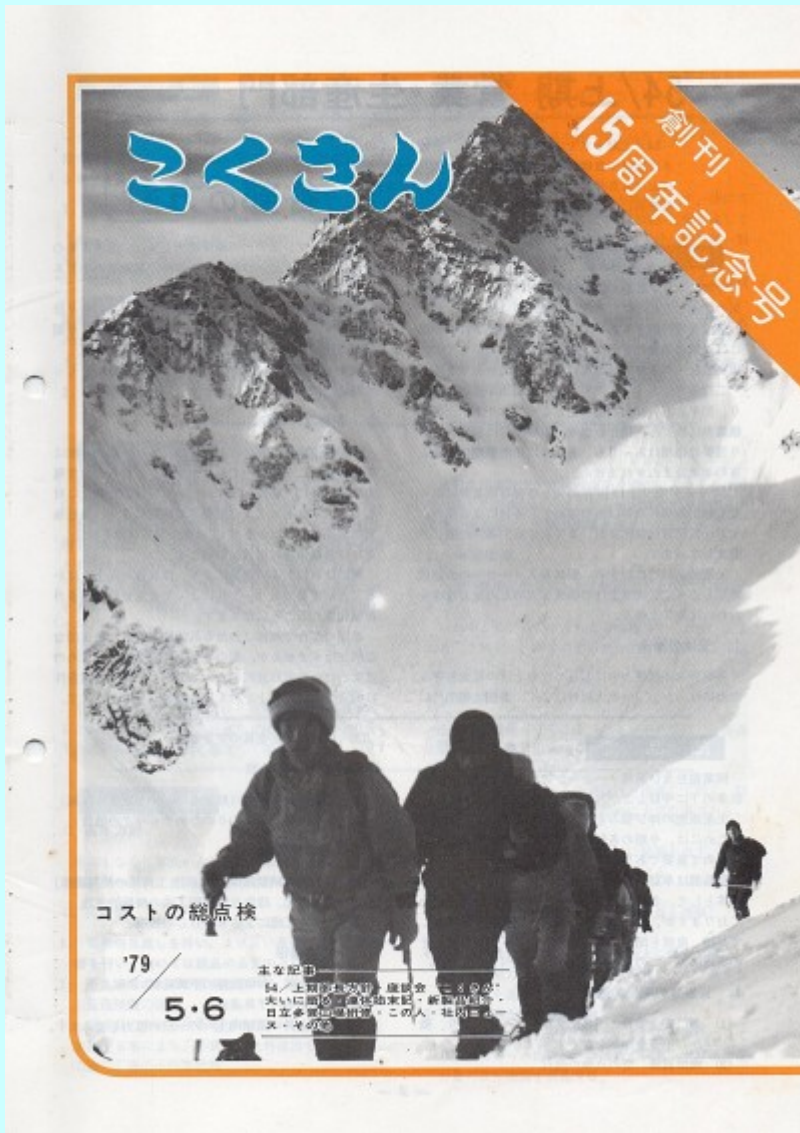
定年まで勤務していた会社に社内報があった。毎月一回発行される。
編集委員もしたこともあり、時々、山の記事・写真は提供していた。
忘れていたが、表紙写真も提供していた。

写真は、1979年5月、穂高涸沢で撮影したもの。この時は、涸沢B
Cで北穂・奥穂などに上った。懐かしい。

表紙の言葉は・・・穂高岳は男性的な山だ。特に雪がある時は
素晴らしい。写真は、北穂沢から見た前穂高岳
(3090m)。この向こうに、「氷壁」の
舞台の前穂東壁がある。左手に伸びるのが、有名な
北尾根。登山は面倒で苦しいスポーツ。だから
いい。いつまでも安全で上り続けたい。・・・

とあった。

組合の機関誌にも多数、山行記録が投稿してあった。読み直すと全く忘れたことが沢山記述してあった。やっぱり、記録は大切と感じた。



社内ニュース

●圏域創造工夫労働者として表彰される

圏域における安全衛生事業によって、団体の改善と向上に貢献し、産業界の発展、圏域に貢献した功績に対して、連中は今年度表彰の対象になっており、今年度は5社から、つぎの3名の方が表彰されました。

- 科学技術功労者賞 中野 高樹（国産機）
- 製造現場改善者賞 尾形 隆吉（国産機）
- スポーツ推進者賞 尾形 隆吉（国産機）

スポーツ推進者賞の表彰式は、本報（国産機）が主催し、尾形さん（国産機）が司会を務め、表彰状を授けられた。

表彰者（左から）尾形 隆吉、尾形 高樹、尾形 隆吉、尾形 隆吉

社内報原稿募集

社内報では、社員の仕事の喜び、悩み、成長の記録を、写真、イラスト、文章などで表現してもらいます。また、社内報の発展のために、社員の仕事、生活、趣味、旅行、旅行の記録、家族の様子、旅行の記録などを掲載いたします。

編集後記

本報の発行は、毎年10月と5月に行われます。今年度も同様に、10月号と5月号の2回発行予定です。今年度も同様に、10月号と5月号の2回発行予定です。

●お詫言

編集後記は、社員の仕事の喜び、悩み、成長の記録を、写真、イラスト、文章などで表現してもらいます。また、社内報の発展のために、社員の仕事、生活、趣味、旅行、旅行の記録、家族の様子、旅行の記録などを掲載いたします。

印刷 国産電機株式会社
編集 国産電機株式会社
発行 国産電機株式会社

こくさん No.130
国産電機株式会社発行

9月9日(木)雨・24/77

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年9月9日(木)07時51分53秒

新聞は、

以前、全国紙だったが、現在は、地方紙を取っている。
全国紙は、イマイチ、地方の動きが分からない。新聞で面白いのが（表現が適切でなく申し訳ないが）「事件・事故」のコラム。

車両事故・死亡事故・水難事故・詐欺・窃盗・強盗・泥棒・火事・盗撮・凶器携帯・暴行・火事・放火・無免許運転・酒気帯び運転・そして、山岳事故、などなど、枚挙にいとまがない。大きな記事ではないが、正に世間・人生の縮図が垣間見える。

このところ、富士山の遭難記事が目につく。死亡記事は少ないが、道迷い・歩けなくなった（下れなくなった）などなど。

今朝の記事は、79歳の男性が16時半ころ、新七合目付近で下山中、動けなくなった（下れなくなった）というもの。男性は低体温症の症状だったという。

ま、ここ5～6日、下界でも寒い日が続いた。富士山も冠雪した。そんな時期、高齢者が単独で富士山に上る??の疑問がすぐ浮かぶ。結局、山岳遭難救助隊が出動して、緊急搬送されたという。

新聞記事では、詳細が不明だが（組織登山者で、安全登山啓蒙など受けていたか否かなど）単独登山者は、自力で登山を完結できる力を備えたいものですね。



9月8日(水)晴・24/55

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年9月8日(水)08時34分20秒

今日は、9月度・伊豆巡礼だったが、コロナで休講。このところ、7月から休みが続く。ま、辛抱です。

「ガッシャ〜ン」また、やってしまった。朝食時、ジャーからご飯をよそろうとして、ちょっとタイミングが悪く、茶碗を落し割ってしまった。

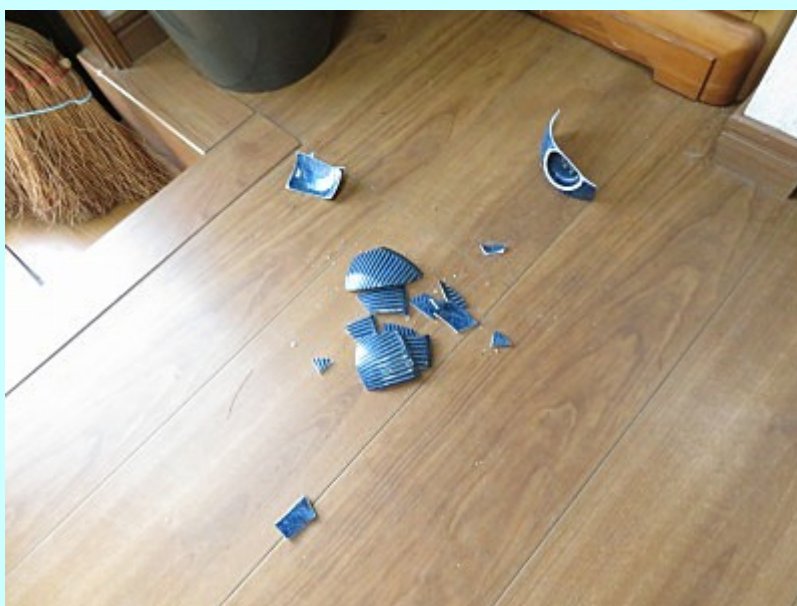
グラスや茶碗を落して割るのは、時々ある。3ヶ月に1回くらいか。この数値が、少ないか多いかは不明。

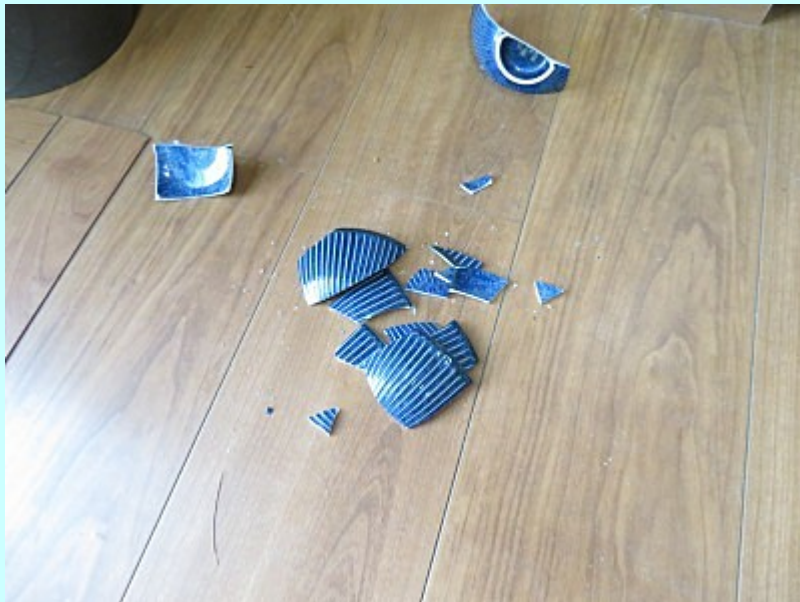
原因は何か・・・??

1. 加齢で握力が落ちている。
2. 加齢で集中力が低下。
3. 加齢で指の指紋が減って滑り易い。
4. 最近の茶碗は、食器洗浄機用のものが多く、茶碗下の指掛かりが小さい。などなど。

3までは、仕方がないが、4は構造・仕様上の問題。茶碗下の指掛かりが小さいと持ちにくい。逆に大きいと、乾燥機に逆さにいれた場合、水が溜まり乾きにくいのだ。

ま、そんなこんなで、陶器屋さんには、売り上げ協力をしています。食器も適当に入れ替わった方が、新鮮でよろしいの面もありますが・・・。とほほ。(´艸`)





9月7日(火)快晴・22/65

[返信・引用](#) [編集](#)
[集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年9月7日(火)05時53分20秒

今朝は、寒かった。朝方、うす布団を掛けた。

富士山に雪が降ったという。今年は早い。今回の場合は、現在の所、「初雪」でなく、「初冠雪」である。

・・・初雪は冬になって初めて降る雪（みぞれ、霧雪、細氷を含む）であり、終雪は、その冬最後に降った雪というのが決まり。富士山の場合、季節の変化を山頂の1日の平均気温が最も高い「最高気温日」で判断する。仮に8月中旬に雪が降った場合、その雪が初雪か終雪かの判

断は、山頂での夏の最高気温日が確定するまで決まらないことになる・・・ネット

富士山の場合、8月でも結構、降雪がある。ただその後、気温が上がったりで、

すぐ融雪する。従って、降雪はあっても、「初雪」とは、いわない。「初雪」の判定は、これは、なかなか難しい。

富士山頂で、最高気温後、降った雪が「初雪」となる。最高気温は、ある程度の期間、気温推移をみないと分からない。だから、「初雪」は、「あの時、だった」と「過去形」なるわけ。

初冠雪も、厄介だ。・・・富士山初冠雪の定義 初冠雪とは、その年の「最高気温日」を観測して以降に、「山の全部または一部が、雪または白色に見える固形降水（雹など）で覆われている状態を下から初めて望観できたとき」を指します。富士山の初冠雪を観測、発表するのは甲府地方気象台です・・・ネット

長泉町から冠雪を判断しても通用しない。「甲府地方気象台」が判断して、発表する。従って今回、甲府方面からの富士山が雲で見えなかったら、発表は出来ない。

冠雪が事実でもおかしな話だが、北と南、甲府と三島（昔はあったが）の何方かで観測できればOKのが合理的・正確とおもうが・・・。





9月6日(月)曇・26/66

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年9月6日(月)08時05分45秒

山に

行かないので、山の記事はない。こんな時は、昔の話・畑の話・雑記事である。

現在、畑は端境期。夏物が終わり、冬ものに移る。

主な収穫は、サツマイモ・落花生。その後は、サトイモが続く。

9月始めは、ハクサイの仕込み時期。夏物が終わって、2～3週間さらした畑に、畝を掘って、肥料を入れ、高さ20cmほどの畝を作る。

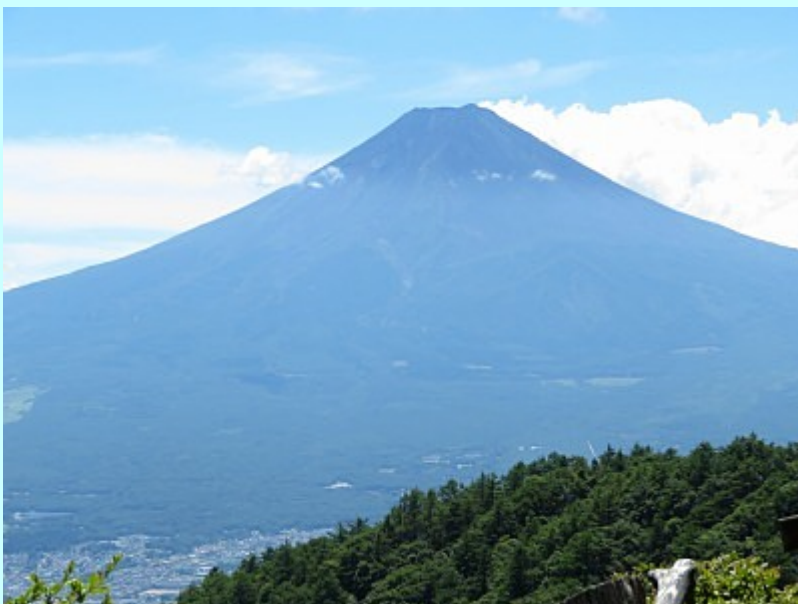
ここに保温と防草のマルチ（黒ビニール）を掛ける。次にマルチに7cm程の穴を25cm間隔で開ける。穴はひと畝に10前後。

この穴にハクサイの種を蒔く。ハクサイの種は非常に小さい。1mm、あるかないか。種の入った袋から、手のひらに乗せ、ひと穴に5～6粒蒔く。

芽は2～3日が出る。3週間ほど育て、元気のよい苗を一つ残す。ハクサイになるのは、早いもので60日、遅いもので90日ほど。ハクサイは、寒くなる冬が美味しい。

鍋もイイし、漬けても美味しい。ダイコンと並んで、冬野菜の王者だ。ダイコンは、まだ早い。11月に種を蒔く。最近は、冬の寒さが厳しくなく、野菜が育ちすぎて困る。

山の植物も、下界の野菜も、「普通の気候」が一番です。





9月3日(金)雨・23/86

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年9月3日(金)06時42分0秒

去年も

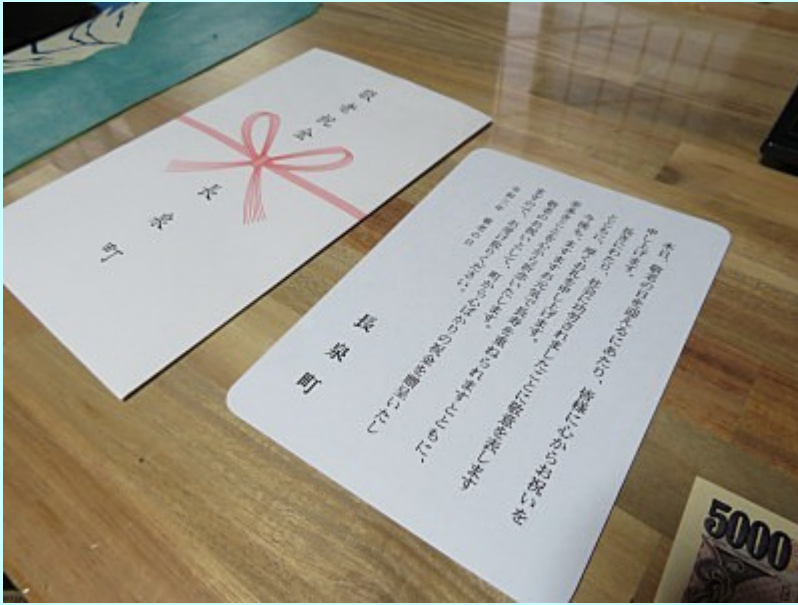
ブログで上げたが、今年も町から、「敬老祝金」をいただいた。金額は、5000円。有難いことである。

このお金は、もちろん税金。我々、老人が特に多額の税金を納めている訳ではないだろうが、祝いのハガキの文面には、「長きにわたり、社会に功劳されたことに敬意を表します」とあった。

ま、特に「功劳」をした訳でもないし、してる訳でもない。どちらかといえば、「ご迷惑をお掛けしている」のが適当か。

長泉町では、このほか、区からも「紅白饅頭（昨年まで）」が届く。町のお金、区の饅頭は、確か、前期高齢者の65歳から。他の市町村は、そんな、重厚な手当はないという。

お金も有難いが、コロナワクチン・対策なども、しっかり行って貰いたいものですね。長泉北小学校は、1日から1～4年が学級閉鎖中です。



9月2日(木)雨・25/80

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年9月2日(木)08時46分55秒

昨夜の雨は、ハンパでなかった。凄い雨だった。怖かったくらい。

御殿場の仲間が、大腸を60cm切ったという。ステージ1の腫瘍があったようだ。

大腸がんの壁深達度は、

Tis、T1a、T1b、T2、T3、T4aの6段階という。T1にもa・bがあり、浸潤距離が、1000ミクロン未満か以上で分かれるようだ。

1000ミクロンは、1ミリの1000分の1だから、軽微とを感じるが、腸内の出来事で、デリケートではある訳。しかし、60cm切除って、ハンパではない。その間が、悪かったのか。

大腸がんは、女性・西洋人に多いといわれる。女性は便秘、西洋人は肉食。やはり、便秘は良くないようだ。私は、1日2回大トイレに行くので、あまり心配はないが・・・。

ま、規則正しい食事も大切かも。当然、ストレスも大きい。ノ一天気が一番かも。いずれにしても、気を付けたいものです。





9月1日(水)曇・27/71

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年9月1日(水)05時28分11秒

9月かぁ。今朝は、涼しく有難い。

つづき

「タマゴダケ」は、最初、味噌汁でいただいた。ちょっと、コリコリ・シコシコで歯ごたえが良い。大きめに切った方が良い。

一番美味しいのは、「バター炒め」だろう。切らないで、大きいまま炒める。味付けは、さっぱりと醤油。

やっぱり歯ごたえが良く美味しい。

明日から雨なので、また、週末に期待です。



8月31日(火)晴・29/74

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月31日(火)06時41分10秒

昨日の夕刊に北海道で、「幻の魚」と呼ばれる、イトウが沢山死んでいるという記事があった。今年は北海道も高温で活動が活発になり、酸欠が原因らしい。雨が少ないのも影響しているという。気の毒なことだ。

この時期、丹沢などの山の楽しみは、「タマゴダケ」と呼ばれるキノコ。雨が少なく、クソ暑い時期に最初に出る、稀有なキノコ。最初、本当にこのキノコが食べられるのか、信じられなかった。類似キノコに、テングダケ・ベニテングだけがあるが、一見して違いは分かる。出る環境・発生時期も違う。

去年は、9月に入ってから行ったので、ちょっと遅かったので全く不収穫だった。キノコは時期が難しい。しかし、今年は大収穫だった。

つづく





8月30日(月)曇・28/77

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月30日(月)06時12分38秒

パラピンピックで選手が頑張っている。オリンピックより感動が大きいには何故だろう。ウルウルが多くて。

今夏、西丹沢で「ナラ枯れ」が酷い。「ナラ枯れ」とは、

・・・「ナラ枯れ」とは、森林病害虫であるカシノナガキクイムシが病原菌である「ナラ菌」を増殖させることで、水の吸い上げる機能を阻害して枯死させる樹木の伝染病です。ナラ類やシイ・カシ類以外の植物への影響が出た事例はなく、人体やほかの動物に影響はありません。被害が拡大すると、森林景観の悪化、木材資源の減少等が懸念されます。1980年代以降、日本海側を中心に拡大し、近年、全国的に被害が増加しています・・・ネット

2010年8月、剣岳早月尾根に上った時、立山駅で周りの山々を見たら赤ッ茶けていた。「流石、北アルプス、紅葉が早い」など、ノ一天気なことを言っていた。実はこれ、「ナラ枯れ」で紅葉と見まごうものだった。

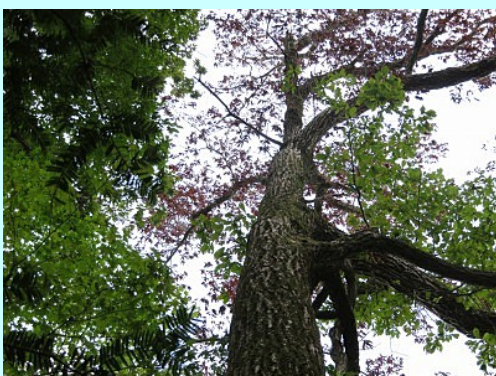
実際、檜洞岳支尾根に上ってみた。樹齢50年位の巨木の根元に、白い樹粉が沢山落ちていた。カシノナガキクイムシが樹木を食べた跡である。見上げれば、巨木の最上部分は、真っ茶色に枯れている。これが下界から見える訳である。

西丹沢の場合、丹沢湖から河内川上流に向けて、左右の山は、真っ茶色で

ある。

ほぼ、全山被害が広がっているといえる。予防策・事後策もない訳ではないが、これだけ大規模になると、なかなか手が打てない。

ただ幸い、穿孔を受けても樹木の防御反応により、全てが枯死に至るわけではないようだ。「自然の痛みは、人間の痛み」だ。この現象は、温暖化など人間への警鐘でもある。



8月27日(金)晴・28/79

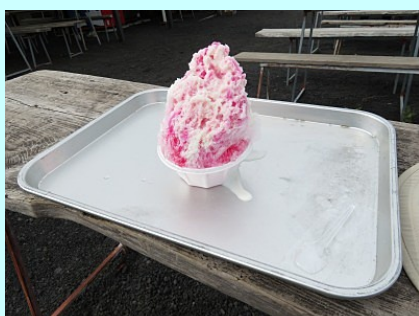
投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月27日(金)06時24分16秒

先日、

富士山・ニッ塚の上塚（1929m）に上った。
頂上から、御殿場口方面を俯瞰すると、二合目上の辺りで唯一の大石茶屋が賑やか。色とりどりの、沢山の幟が立って、何やらあたかも「お出でお出で」をしている様。街路灯に誘われるウンカの如く、茶屋に下った。

大石茶屋は、御殿場中畑の勝又敬信さんが経営している。氏は、商売人らしく腰が低く、温かみがある方。茶屋が人気がある訳だ。登山者、下山者のもとより、二合目まで車で来て涼みに来る方、外人さんで、ごった返している。一番の売りは、「かき氷」。この暑さと、あの幟を見ると、自動的に食べたくなる。

この辺境？で食べれば、一杯、500-は高くない。頭にキーンと来て、口内に冷気が広がる。「う～、まい！！」とは、このことか。茶屋は、まだ、しばらく営業しています。





8月26日(木)晴・29/80

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月26日(木)06時15分34秒

今朝は、

朝から29度以上。湿度は81%。かなり蒸暑い。昨夕は、畑でモーレツな暑さ。畑は定年前から、15年近くやっているが、こんな暑いのは記憶がない。年々、暑く感じるが、何年後か出来なくなる可能性も否定できないね。

そんな状況であるが、収穫の喜びは大きい。一昨日は、早めだが、サトイモを収穫した。結果、美味しかった。旨かった。サトイモ独特のヌメリというか、ヌルヌルは健在。この時期に、食べられるのは幸せ。

山も涼しければ行ってもイイが、低山は最悪。富士山五合目に滞在するのがイイかな。あと一か月の辛抱か??!!





8月25日(水)曇・28/83

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月25日(水)05時53分26秒

25日か。昔は、月給日だったね。

このところの、コロナ・猛暑で「巣ごもり」が多い。そんな時は、HPの整理・整備・整頓に勤しんでいる。

畑は日課で毎日行っているが、ヤルことがない無聊が、精神的・肉体的にも一番良くない。

テレビもBSは、なかなか良質なものが多く、有り難い。一昨日の「世界を変えた女性たち」は、興味深かった。戦闘機を操縦して出撃の女性には驚いた。竹やりの日本は勝てないワケ。女性に機会を与えない国は、

戦争にも勝てない。

「ヒトラーの子供たち」は驚いた。ヒトラーが、自分の意のままになる子供を各地で産ませた。凄い計画である。実際、この子供たちでないが、終戦間際は、戦争に子供が駆り出された。実際、高射砲を撃っている。

昨日のBS映画「花のあと」は、面白かった。セリフが少なく、静かな映画だった。四季の月山が映し出された。今日のヘップバーンの「暗くなるまで待って」は、ヘップバーンの映画の中でも一番といわれる。

そんなこんなで、最近山記事が少ない。ま、我慢・辛抱・忍耐ですね。巣ごもりで、やっと、秩父三十四観音巡礼記録を纏めました。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/kiroku-7-58.html>

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page437-1-1.html>





8月24日(火)晴・27/77

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月24日(火)06時30分21秒

先日の

安納芋、美味しかったので、昨日、第二弾を掘った。大きな芋が、ゴロゴロで驚いた。

一昨日は、落花生も試掘した。結果は、甘くて大変美味しかった。新落花生は、真っ白でキレイ。

昨年まで、茹でて冷凍したが、どうしても味が落ちる。ちょっと前、昨年、冷凍したものを食べたが、美味しくなかった。タンニンだろうか、殻の色も真っ黒で、見た目も悪い。

で、今年は、茹でないで冷凍し食べる時、茹でるか、それとも、水洗いした状態で、冷蔵保存した食べるか、模索です。

いずれにしても、色が美しいものを、食べたいですね。





8月23日(月)曇・27/83

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月23日(月)06時21分18秒

つづき

縦走路に出て北を目指した。何回か記憶を辿ったが、どうもスッキリしない。同行者は、毎年、初登山で訪れているので、道は間違いないという。30分ほど進み、ようやく見覚えのある、長瀬からの林道に出た。

要するに記憶は、小坂からの林道と長瀬からの林道がチャンポンだった。峠から記憶にある切り開きを上れば頂上だった。梅雨空で展望はない。

頂上にあった、ちょっと場違いだった、イチョウの大木は、2019年台風19号で倒れてしまった。ただ、驚いたことに、切られた残骸幹からしっかり青葉が出ていた。

根もなく、頂上に転がっていた、長さ80cm程の残骸幹からである。ひょっとして、この幹は、やがて根も出て、再び蘇るのだろうか？？それにしても、凄い生命力である。

確かに、イチョウ木は、他の樹木より生命力があるそうだ。樹齢が1000年を越えるものもザラ。火災にも強く、街路樹として多い。また、銀杏は、滋養強壮・栄養豊富である。（子供の食べ過ぎは、ご法度）

次回、訪れるとき、どうなっているか楽しみである。ちなみに次回は、2022初登山である。頂上は風が強かった。劇汗・弩汗・滝汗を掻いて涼しかった。昼食を食べて下山。長瀬道も考えたが、下道を小坂まで戻るのがイヤで同じ道に戻った。

下山も雨は降ったり止んだり。駐車場に降りると、草刈りのオジサン達も雨宿り。大きな山でなかったが、イイ汗を掻いて、心身ともスッキリの山でした。

おわり





8月20日(金)曇・26/84

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月20日(金)06時12分46秒

つづき

「旭滝」を見学し、「農の駅」で買い物後、発端丈山に向かう。登山口は狩野川沿いの小坂ミカン園駐車場。天気は、ハッキリせず、降ったり止んだり。

発端丈山は、標高410m。駐車場は約50m。標高差=360mの登山。最初は、連日の降雨でヌルヌル滑る林道を上る。両側のミカン園は、青いミカンがたわわに実っている。ただ、まだ食べれるものはない。

小雨の中、下刈りの草刈り機の音が響く。急坂を上り切ると平坦になる。林道の脇に見慣れない花。ヒガンバナ系だ。「キツネのカミソリ」だった。淡い朱色の花。私は初めて見た。まだ、株が少なかったが、今後、増えれば見ごたえがありそう。

蒸して、モーレツな暑さの中、大汗を掻いて上る。滅茶滅茶、暑い、これが案外、快感。いや「快汗」。暑いのは嫌いでない。ただ、後に体を拭いて、サッパリはしたい。林道が終わった。記憶では、ここから切り開きの快適な登山道と思ったが違った。

登山後、何回か記憶を辿ったら、その道は、長瀬からの道で、小坂からは、一旦、人工林を西に向かい、長瀬道に出て、切り開きを上らなければ、頂上に着かない。ここは何年か訪れていなかった。すっかり、記憶は薄れ、混乱していた。

つづく





8月19日(木)雨・26/87

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年8月19日(木)07時12分51秒

昨日は、

朝方、晴れ間が見えたので、山行を決めた。天気予報は、伊豆方面は良い。運動不足と激汗を期待してのことだ。

所が湯ヶ島に着くと大雨。天城は真っ黒な雲。こりゃ～、ダメだでUターン。大仁方面は、晴れている。発端丈山に向かう。

ただ、修善寺まで来ると、「旭滝」が、この大雨で堂々と落ちている。遠望はしているが、真近はないので見学に行く。

落差105m、柱状節理で作られた滝は見事だった。源流が気になったが、ラフォーレ修善寺辺りで、大きな山ではなかった。

途中、柏久保の産直「農の駅」に寄って、エダマメ・ワサビ漬け・黒玉スイカ(1500-)を買った。

つづく





8月18日(水)曇・27/81

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月18日(水)06時15分44秒

天気が

悪い。運動不足で体がスッキリしない。大汗を掻きたい。「山屋を殺すにゃ、刃物はいらぬ。雨が三日も降ればいい」は、まったく、言い得て妙だ。

どうも、我々の人種は、少なくとも、一週間に一回は、大汗を掻かないとダメのようだ。

大汗を掻いて、悪汁を放出し、新しく新鮮なエキスを注入する、である。汗を掻かないと、お酒も美味しくない。

天気が悪いと、畑も滅茶苦茶。トマトは、雨に弱い。割れてグチャグチャ。

キュウリは、風に弱い。ツルが風で擦れて全滅。露地は、日光が当たり美味しいものが出るが、天候の影響を受けやすい。

豪雨が影響か不明だが、庭のメダカが、気が付いたら一匹もいなくなった。過去、そんなことは無かった。雨か鳥か分からない。

そんな訳で、何事も、「イイ塩梅」「イイ加減」「ほどほど」が良い。青空が恋しいね。





8月17日(火)小雨・24/80

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月17日(火)09時37分58秒

山に行けないので、山の記事はなし。

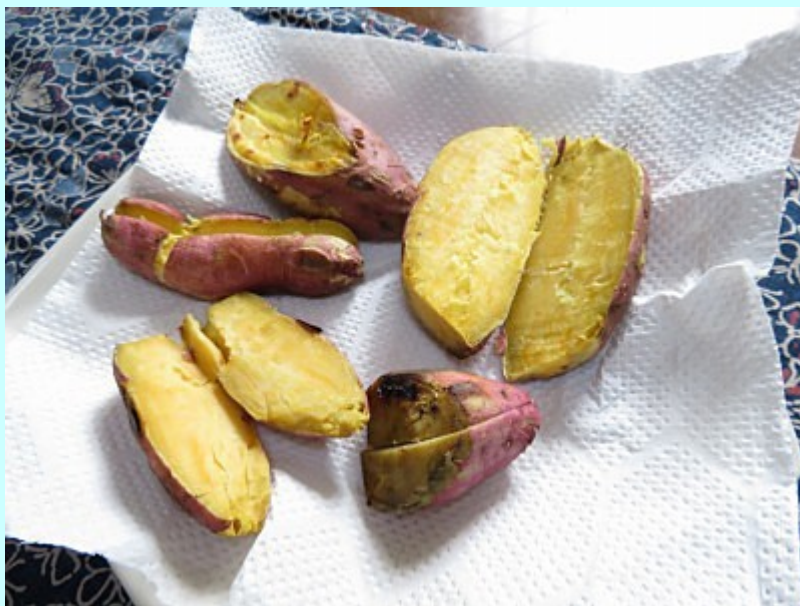
先日、畑の「安納芋」を試掘した。イモ収穫のイメージは、普通、秋だが必ずしもそうとは言えない。イモの種類もあるが、「安納芋」は、苗を植えて、110日~150日という。長ければ良い訳ではない。

今回の植え付けは、3/25だった。これで計算すると、7/25で、約120日。試掘日が8/13だから、約133日になる。

これならば、上記の収穫期間に合致する。13日から少し寝かせて（寝かせるほど良い）今朝、コンロ焼いた。結果、安納芋独特の黄色の身がビッシリだった。

味は勿論、サイコーに美味しかった。好天になったら、他のものも収穫しよう。皆様も、お楽しみに！！！！





8月16日(月)曇・23/84

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月16日(月)05時16分41秒

雨は、

もう、うんざりです。大雨は災害も心配です。雨続きで山に行けず、心身によろしくない。

「山屋殺すにゃ刃物はいらぬ、雨が3日も降れば良い」
ただ、ここ2~3日、涼しくて嬉しい。今朝は、23度だから随分涼しい。また、ぶり返しは、頂けませんが・・・。

大雨は、災害が心配。山・崖・川・海の近くは、要注意です。

幸い当地は、上記の自然災害は少ない。有り難いことです。
岡谷では、若い方が土石流で亡くなった。岡谷はしょちゅう通過
しますが、平地が少ない所。裏山は案外、怖いです。

ま、こんな時は、日ごろ、疎かになっているHPの整備をしています。
昨日は、昨年秋の小豆島おへんろ記録を整備した。半年経過すると記憶が
かなり薄れる。それでも、写真を見ながら反芻すると記憶は甦る。

写真があるとタイムが正確に把握で出来るのでよろしい。そんな風に作業
を続けていたら、一匹の蜘蛛がデスクトップ画面に現れた。何処から来た
か不明。蜘蛛は小さいものだが、見たことがないもの。色が美しいブルー・
青だった。

毒蜘蛛だったら、どうしようと思ってネットを見たら、「アオオビハエト
リ」と呼ばれる、益蜘蛛だった。名前の通り、ハエを捕食するんかね??
でも、ネットでは、蟻を食べるとあった。色が美しい。普通蜘蛛は、目立
たない色が多いが、この蜘蛛は不思議だ??

<https://www.insects.jp/kon-kumoaobihae.htm>

写真を撮りましたが、色が出ていません。肉眼では、美しい色の蜘蛛でし
た。





8月13日(金)雨・26/84

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月13日(金)06時57分0秒

夕べは、涼しく、有り難かった。クーラーなしで良かった。

今朝は、5時に起床し、沼津・光長寺に墓参り。

小雨で誰も居なかった。

涼しくて蚊もいないで助かった。

墓は父母が眠る。二人とも八十八歳で亡くなった。

我々も、その位だろうか。

ま、分からない。明日は不明だ。

墓は意外とキレイだった。
西に寺の大きな楠があるので、枯れた葉が飛来する。
それでも、今回は少なかった。雑草が少し。

我が家に庭の香花を添える。
線香を点火し、開経偈と般若心経、二巻を上げた。
小雨の誰も居ない墓地に読経が響く。

案外、イイものだ。
これは巡礼の恩恵だろう。
巡礼の間でも、般若心経を誦んじている方は少ない。
だから、冬の山頂でも、朝日を拝んで読経出来る。

家に帰り、朝風呂に入った。何事もなく、平和な日々。
有り難いことです。

墓参（ぼさん）して 朝風呂入りて 麦茶飲む
・・・これは川柳です。
麦茶は、麦泡でも可（`艸`）





8月12日(木)曇・28/78

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月12日(木)06時15分59秒

庭の

クレマチスが、また、キレイに咲いた。

また、というのは、春に一度咲いた。その後、ツルは、完全に枯れてしまった。

もはや、今年はお終いかと思ったが、ここにきて、再びツルがグングン伸びて、花が咲いた。不思議な植物である。で、ネットを見たら。

・・・クレマチスのなかには、1年に1回、スポット的に開花する一季咲きのグループのほかに、長期間にわたって花が次々と咲いたり、剪定すると繰り返し咲く四季咲きのグループがあります。

四季咲きのグループには、上を向いて大きな花を咲かせるおなじみの大輪

園芸品種のフロリダ系や、横や下向きに多くの花を咲かせる小、中輪のヴィチセラ系、チューリップ形やベル形でチャーミングなテキセンシス系・ヴィオルナ系、すらっと伸びて絡みつかず、下や横向きに咲くインテグリフォリア系などがあります。上手に品種や系統を揃えると、一年中花を楽しむことができます。・・・ネット

ということで、暫くは楽しめそうです。

他の庭の花も、一度花が終わり、再び咲くのもありました。
四季咲きは、なかなかイイですね。



8月11日(水)晴・27/68

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月11日(水)06時15分49秒

8月5日・つづき

初めての海外登山。そして富士山より高い山に上る。体力は、技術はどうか。言葉も十分できない。キャンプ場、長い共同生活はどうか。遠征が決定すると新しい心配が出て来た。

山は天候と体調が良く、一般ルートならば、それ程難しくなく、冬富士・5月前穂高北尾根・北穂高東稜をトップで務める体力、技術があれば問題ない。ただし、ひとたび悪天候になれば、降雪を見るので要注意。

高所登山（これは富士山より高いという意味）は、思った程ではなかったが、不慣れな山小屋環境、食事、習慣など、良好な体調を維持するのに気を使った。過去の経験がある、なしで相当違うだろう。

キャンプ生活は、長期になると登山以外の雑用（食料買い出し・食事の支度・片づけ・洗濯・入浴・外部折衝）で結構疲れた。登山への集中力が薄れ、安全登山上、問題があった。

長い共同生活は、会で最も個性的なメンバーゆえ、多少の覚悟はしていたものの、酒が入ってのトラブルは避けるべきだった。言いたいことは、ハッキリ言い、いつまでもグダグダ、尾を引かないことだ。

それにしても、何と気高く雄大で美しい山々。天を突く針峰群。永遠の輝きを失わない氷河。咲き誇るエーデルワイスは、あくまで可憐で美しい。微力だが私たちは、そこにちょっぴり足跡を残して来た。それは、私たち人生に永遠に光り輝く思い出となるだろう。

おわり



8月10日(火)晴風・28/71

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2021年8月10日(火)06時17分19秒
台風一過。日本海側を通る台風は珍しい。

愛鷹連峰の「ブナ活力度（春）、結実度（秋）」を観察して、既に22年になる。以前は、静岡県東部ブロックの6団体で連峰を分割し観察をしていたが、現在は富士宮・あさぎり山の会（越前岳周辺）と当会（呼子岳～位牌岳～前岳周辺）のみとなった。

その他、当会は、越前岳頂上でブナ植樹を行い育てている。何事も長く活動することは難しい。世代が交代したり、会の考え方が変わったりで、活動を中止する会が多い。

22年、ブナ観察をしての感想は、22年では大きな変化はなかった。確かに25年位前、丹沢・愛鷹などで、ブナ枯死が大きな問題となったが、その後は比較的安定し、目立った現象に至っていない。

むしろ、先週、丹沢で山が「紅葉状態」で、何かと思ったら、大規模な「ナラ枯れ現象」だった。これも何年か前、流行し大きな話題になったが、今年は、猛暑もあり再来かも知れない。

ブナ観察結果は、富山県・日本海植物研究所の佐藤 卓博士に送り集約して貰っている。博士は、日本全国のブナ結実結果を把握・研究している第一人者である。ブナだけではなく、富山県・笹川流域の森林構造なども植物を全域に渡り研究されている。

集約されたデータは、毎年博士がまとめ、文書で残している。しかし、自然の観察・研究は、何十年単位では解明できない。長ければ何百年単位だろう。若い方に引き続き、継承されることを期待します。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page006-20.html>

<http://susono-reihou.babyblue.jp/000-87.pdf>

2020年全国ブナ結実状況

佐藤 卓

日本毒植物研究所 〒939-3553 富山県富山市水橋の場195

In 2020, the Fruit Bearing of Beech (*Fagus crenata*) in Japan

Takashi Sato

Nihonkai-shokubutu Research Institute, 195 Matoba, Toyama-shi, Toyama, 939-3553 Japan

Abstract: In 2020, the fruit bearing of beech (*Fagus crenata*) in Japan was investigated by a questionnaire. Seventy-seven answers were received and thirty-six stands had been bearing fruits. The stands bearing fruits were located in all districts of Japan. Masting stand were observed in Pacific side area only. The distribution pattern of the fruiting rate was similar to the rate of 2007 and 2008.

Key Words: *Fagus crenata*, fruits bearing, masting

はじめに

令和元年に続いて、令和2年も富山県は富山県ツキノワグマ出没警報(第2報)〈富山県自然保護課、2020a)を9月2日に発令し、「クマの出没に関係の深いブナが調査開始以来初めて2年連続凶作となるなど作柄が悪く、クマが餌を求めて人里に出没する恐れが高い状況」として、平野部や人家近くでの出没に対策をとり、警戒するよう呼びかけた。

2020年のツキノワグマの目撃被害情報は、9月以降に増加し、10月には199件に達し、11月30日現在で、合計594件となっている(富山県自然保護課、2020b)。2020年の人身被害状況は11月19日現在5件6名(富山県自然保護課、2020c)で、令和元年(2019)より少ない数であった。しかし、この内3件は自宅や自宅付近など身近な場所で襲われている。また、9月10日に立山町目桑で、クマの成獣が1頭が積層の中で米を食べているのを近くに住む所有者の男性が見つけたと、北日本新聞(9月11日付27面)は報じた。

全国的なブナの結実状況を明らかにするため1993年から調査を継続的に行い、年度ごとにレポートとして公表してきた。この調査結果を彙集

することにより、結実が地域内または地域間で同調しているのかどうかや、日本海側と太平洋側におけるブナの結実リズムの違いがあるのかについて考察することができると考えられる。また、ツキノワグマの人里への出没現象とブナ果実の豊凶との関連を考察するための基礎資料として、重要であると思われるので報告する。

調査方法

2020年のブナの豊凶について、野外教材研究委員会(1994)の方法に従って、アンケート調査を行った。調査項目は①調査日、②調査地点の地名、③調査地点の標高、④調査地のブナの平均胸高直径、⑤結実可能な木(胸高直径30 cm以上を目安)10本あたりの結実本数、⑥過去の結実状況の6項目である。また、果実や殻斗の落下数や果実の成熟具合や虫食いの様子を任意に報告いただいた。

アンケートに回答いただいた多くの方々に感謝する。

結果および考察

アンケートの回答は38名の方から得られ、調査

表1 2020年ブナ結実調査結果

No.	観測者	標高 (m)	標高	緯度	経度	調査年	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地
No.	観測者	標高 (m)	標高	緯度	経度	調査年	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地
1	観測者	標高	標高	緯度	経度	調査年	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地	調査地
2	津川 正	富山県富山市水橋の場	201104	36	135	2020	富山県富山市水橋の場	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3	橋本 文男	富山県富山市水橋の場	201015	830	135	2020	富山県富山市水橋の場	5	7	3	3	7	0	0	0	0
4	和田 寛	富山県富山市水橋の場	201180	630	135	2020	富山県富山市水橋の場	45	20	20	20	20	20	20	20	20
5	和田 寛	富山県富山市水橋の場	201180	630	135	2020	富山県富山市水橋の場	45	20	20	20	20	20	20	20	20
6	和田 寛	富山県富山市水橋の場	201180	630	135	2020	富山県富山市水橋の場	45	20	20	20	20	20	20	20	20
7	和田 寛	富山県富山市水橋の場	201180	630	135	2020	富山県富山市水橋の場	45	20	20	20	20	20	20	20	20
8	和田 寛	富山県富山市水橋の場	201180	630	135	2020	富山県富山市水橋の場	45	20	20	20	20	20	20	20	20
9	河原正一	富山県富山市水橋の場	201111	800	135	2020	富山県富山市水橋の場	84	5	0	0	8	8	0	0	0
10	田中ひろし	富山県富山市水橋の場	201111	800	135	2020	富山県富山市水橋の場	84	5	0	0	8	8	0	0	0
11	田中ひろし	富山県富山市水橋の場	201111	800	135	2020	富山県富山市水橋の場	84	5	0	0	8	8	0	0	0
12	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	201120	1300	136	2020	富山県富山市水橋の場	60	6	6	6	1	2	10	3	3
13	片岡 洋	富山県富山市水橋の場	20095	1410	137	2020	富山県富山市水橋の場	63	13	9	10	5	8	10	8	7
14	片岡 洋	富山県富山市水橋の場	201120	1300	136	2020	富山県富山市水橋の場	60	6	6	6	1	2	10	3	3
15	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
16	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
17	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
18	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
19	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
20	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
21	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
22	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
23	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
24	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
25	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
26	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
27	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
28	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
29	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
30	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
31	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
32	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
33	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
34	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
35	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
36	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
37	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
38	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
39	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
40	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
41	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
42	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
43	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
44	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
45	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
46	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
47	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
48	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
49	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
50	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
51	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
52	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
53	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
54	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
55	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
56	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
57	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
58	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
59	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
60	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
61	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
62	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
63	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
64	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
65	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8	8	8
66	藤原正樹	富山県富山市水橋の場	20045	465	135	2020	富山県富山市水橋の場	30	10	7	2	8	8	8</		



写真 A：2020年11月14日 静岡県愛媛道峰・越前岳（1504m）後藤隆徳さん撮影
B：2020年8月5日 山口県徳野町長野山（1000m）眞崎久さん撮影

たりの結実量はそれほど多くはありません（田中さん）。

栃木県日光中禅寺湖では、ブナは大豊作とは言えないものの、かなりの種子が落ちていました（館野さん）。

群馬県では、県全体のブナは大凶作でした。今年は群馬県でもクマの出没が多く、有害捕獲数も過去最大数となりそうです（片平さん）。

埼玉県秩父市大滝では、豊作のように見えていたのですが、殻斗のついていない、あるいは下に落ちていない個体もちらほらありました。たくさん確認したら、もう少し率がさがるかもしれません（石田さん）。

東京都高尾山では、今年は豊作です（梅田さん）。

福井県では、2019年と同じ所では全然成っていません。昨年にもまして新世代グマ（？）が自宅近くまで出没しています（大久保さん）。

山梨県の調査地では、結実はしていますが、中は入っていないものが多くありました（西川さん）。

長野県北部はおおむね凶作です。健全堅果は確認できませんでした（井田さん）。

静岡県富士山南麓は、ブナに関しては久しぶりの豊作です。堅果の充実率もそこそこで、母樹により差がありましたが、充実した堅果もそれなりにあったようでした（中村さん）。井川時のブナは、今年は豊作でした。どのブナも結実していました。20年近くこの林分を見ていて初めてだと思います（中田さん）。

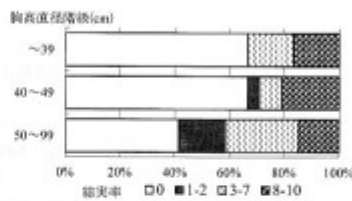


図3 2020年、林分の平均胸高直径階級ごとの結実率の分布。

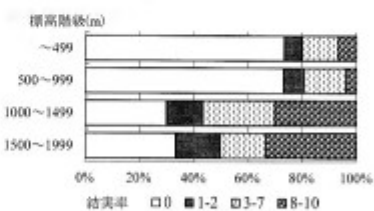


図4 2020年、林分の標高階級ごとの結実率の分布。

愛知県殺戸山では、ブナに害虫が入ったようです。そのため、木に元気がないように見られます。今回、殺戸山では結実がほとんど見られません。また、林内のミズナラも非常に結実が少ない年になりました（加藤さん）。

奈良県玉置山では、台風直後で、たくさんの落殻斗が見られましたが、中身がありませんでした（浅見さん）。

8月9日(月)台風・28/75

[返信](#)・[引用](#) [編集](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年8月9日(月)05時41分21秒
5日は、

三ッ峠山でした。「レンゲショウマ」を見に行きましたが、株は沢山あったが、何故か花がない。

一応、小屋で確認した。小屋の話では、「ここ何年か、鹿食害でダメ」とのこと。ああ、ここでもか！！

三ッ峠山は、昨年10月、東尾根を上った。しかし、西面は、2012年8月25日から上っていなかった。12年の記録を見たら、レンゲショウマの記録は残っていた。従って、この10年の間で随分、自然環境が変化したことになる。

先日、白砂山登山時、野反湖畔で大規模な「ニッコウキスゲ」の群落が見られた。近年、日本各地で鹿の食害は顕著。しかし、ここは食害がないのかと思った。バンガローの管理棟で聞けば、「食害はない」という。

察するに、野反湖周辺の山は、深い深い「クマザサ」で覆われている。たぶんであるが、鹿はこのクマザサで生活が不可能ではないのか?? と思った。

鹿の食害は、今後も大きな問題ですね。





8月5日(木)晴・27/73

[返信](#)・[引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月4日(水)16時53分57秒

つづき

日本では、経験することが出来ない「氷河」は、本当に硬いガジガジの氷だった。登山を始めて26年目にして、やっと氷河を歩けた。巨大なクレバスは、何処までも深淵でその色は、海の青さにも似ていた。

「いつかきっと富士山より高い山に上りたい」「定年後のトレッキングなんて嫌だ」「少し無理でも動けるうちに行き、絶対、山登りをしたい」そんな話を数年前から、機会あるごとにしてきた。皆もその辺りまでは乗って来るが、「ではいつにする」「期間は」「何処の山」となると、元気がなくなる。

本当に現役のうちに海外登山＝富士山より高い山に行けるのか？毎年確実に落ちていく体力を気にしながら、自問自答は続いた。

「チャンスがあれば、何処でもいい」積極果敢にアタックしてみよう」と、思い始めた3年前。岡山県連が、中国天山山脈に聳える、カシカル峰(6347m)の遠征隊員を公募していた。未登の処女峰は魅力があった。

期間は35日、費用は100万円。とにかく参加するには、会社に休暇申請をする。ダメだろうと思っていたが、意外にも社長の「どうせそういう奴は、止めても行くだろう」のツルの一声でOKになったという。

が、条件があった。備考欄には、「ただし、今回限りとする」と書かれていた。私は諦めざるを得なかった。仮にもし唯一の海外登山のチャンスを与えられるならば、やはり、今まで活動してきた、仲間と行きたかった。

そうでなければ、今までの会活動は、何であったか分からなくなってしまう。「よし、それでは、会20周年記念でヨーロッパ・アルプスに行こう」私は心に決めた。

(夏休みで2～3日、日記休みます)





8月4日(水)晴・28/78

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月3日(火)16時59分56秒

サッカーは残念だった。いい線までいったが、壁は大きかった。ボール支配率も低く、攻められっぱなしで辛かった。個人能力差も大きい。

1991年8月3日、午前8:30、私は、ヨーロッパ・アルプス最高峰、モン・ブラン(4807m)頂上にいた。天気は無風快晴。一緒に上った仲間は、毛利哲也(58・年齢は当時。2005年、飯豊連峰・石転び沢で遭難死)、山田 茂(47)、中田 明(30)、村松美喜代(42)、私(44)だった。

ALPSは、やっぱり素晴らしかった。昨日の雨は上がり、光り溢れる陽光の下、ニョキニョキと巨峰群が顔を出した。永い永い間、憧れ続けたALPS。幾度、夢見たであろうALPS。

カシン、レビュファ、ボナティ。神様のような人達が、ついこの間まで攀り上っていたALPS。写真と文字でしか知識がなかったALPSに私は遂に来たのだ。

エギュー・デュ・ベルト、グランド・ジョラスは、流石に迫力がある。アッ、あれが、ダン・デュ・ジュアン(鮫の歯)か、なるほど当たり前だが、写真と同じだ。

ツール・ロンド。いい名前だ。北壁がカッコいい。そして、なんといっ

でも盟主モン・ブラン。これは想像していたより、遥かにでかい。何だか嬉しくなってしまう。ミディ南壁。花崗岩の美しい壁だった。ヴァレ・ブランシュ（白い氷河）の衛兵のようにスックと佇立している。

つづく



8月3日(火)晴・27/77

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月3日(火)05時46分16秒

つづき

扇平上でKを待った。最近、登山が少ないといえ、こんな事は珍しい。「タベ、飲み会だった」と正せば、「そんなことはない」とのこと。私も体が重くて仕方がない時がある、多くは「寝不足」。「寝不足」は、この年齢になるとキツイ。

Kはゆっくり来るで先行した。やがて乾徳山を象徴する岩場に出る。ここで全員、ヘルメットを被った。山屋は、ハーネス（安全ベルト）・ヘルメット・手袋など、岩装備をすると、体と精神が、シャンとして山に集中出来るようになる。

しかし、岩場は特に難しいことはない。初心者用に金属製のシッカリした鎖が掛かっている。ただ、鎖がある岩場の上り方は、過剰に鎖に頼って腕力で上ってはいけない。鎖はあくまで「手掛かり」「足」で上ることが基本である。

しかし、鎖場に慣れない、GとAだが、「髭剃り岩」「カミナリ岩」とか、問題なく上ることが出来た。最後に乾徳山の顔の鳳岩（おおとりいわ）着。20mの巨大な一枚岩。真ん中に大きなクラック（割れ目）が走っている。勿論、鎖は掛かっているが、前述の通り、鎖に頼り腕力で上ってはいかない。

クラックに登山靴をネジ込んで摩擦を上手く利用する。最初に女子のAさんがアタック。しかし、数m上のクラックが中々こなせない。一度降りて立て直し。先にGが行く。Gは腕力頼り過ぎで、途中で振られたが、何とかクリアした。

Aさんが再度アタック。上った方の動作をよく観察して習うのがよい。下から

Iと私が、「右足上・左足斜め」とか檄を飛ばす。下部の難しい部分をクリア出来た。中間部から上部は、注意して上れば問題ない。Aさんは、最後まで気を緩めず、頑張って上り切った。

Aさんは、ここ2～3回の登山が「不完全燃焼だった」という。今回の山は不転の「完全燃焼」を目指した。もし、ここで鳳岩を上れなかったら、また、「不完全を引きずる」ことになる。そんな意味でも、ああ、

良かった！！

Kも到着し、結局、全員上り切った。頂上で記念撮影をして北峰で遅い昼食。昨夕、収穫したトマト・エダマメ・ビア2本がサイコーだった。ただ、今回車両係りのIは、飲めないので残念。山は「頂上でビアをやらなければ、意味がない」??!!をモットーとしているだけに、今回は我慢・忍耐だった。

下山は、水のタル（タルは、たるみの意味。一種の峠）から下る。物凄い、荒路。グズグズの岩・沢・泥が続く。いい加減、ウンザリした頃、漸く国師ヶ原着。頂上で会った方が昼食だった。

暑い暑い道を辿り車着。道端に清水が流れアイシング。気持ち良かった。Gがなかなか来ない。15分遅れで到着。聞けば、「途中で林道に入ってしまった」という。スマホで事なきを得たようだ。ま、行方不明にならずやれやれ。

標高差1000m以上・超暑い・往復約6時間の山に、今日は全員「完全燃焼」でした。

おわり





8月2日(月)晴・27/70

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年8月2日(月)05時38分42秒
土曜日は、

山梨・乾徳山(2031m)でした。コースは、徳和登山口～扇平～頂上～北峰(昼食)～水のタル～国師ヶ原～登山口。天気=晴れ・蒸し暑い、標高差=1033m、参加=5名。

長泉発6:00。何故かSさんが来ない。家まで行ったが、まだ就寝中?なのか結局、会えなかった。昨夜、悪天候予報だったが、連絡が上手く伝わらなかったようだ。意志疎通がツー・カーといかないジレンマ。

5名で出発。新東名で向かう。少々、お金は掛かるが、河口湖まで随分、楽になった。徳和から登山口まで林道を走る。以前に比べ道が荒れ、入るでなかったと後悔。何とか凌いで、登山口発8:45。暗い人工林が続く。全く風がなく、「完璧な蒸風呂状態」。汗を掻くは嫌いではないが、余りに酷い。

程なく下からの林道に出る。下山時、ここで問題発生。登山時、登山道分岐はしっかり把握して置くこと。冬山で早朝登山時、暗くて地形が頭に入っていないで下山。過去、何回か何人か、ベースキャンプに戻らない「事故・事件」があった。

錦晶水着。いい水が出ている。水温は10度以下??手をかざすと、10秒で指が痺れた。男子は頭から、この冷水を被る。サイコーだ。ただ、私は昔、ネパールで雪解け水を被り、その後、降雪で「大風邪」を引き、カトマンズまで下山寸前だったことがある。

山中で40度近い高熱は死にそうだった。しかし、現地の方に、「ニンニク・スープ」を頂いたり、大いにお世話になった。そんなことを思い出しながら、国師ヶ原から扇平に上がる。富士山が雄大な場所だが、生憎、ガスで見えない。花も少ない。Kが久しぶりの山でやや不調。遅れたので待った。

それにしても、今回は登山者が少ない。上りでは1名しか会っていない。人気のある山だが、こんなことは初めてだ。やはり、コロナの影響だろうか??山が空いているのは、有り難いが・・・。

つづく





7月30日(金)晴・27/72

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月30日(金)06時22分57秒

今朝は涼しい。

楽だ。昨夜は何故か20:15に睡魔が襲い就寝。
朝までグッスリ爆睡。歳かな～。5時起床し、新聞をチェックしながら
お茶を二杯。セミの声だけ響く。この時間が一日で一番イイ。

先日、テレビで福島避難指示区域で強いて避難せず、10年以上生活を続けている方の模様を伝えた。ライフラインはストップ。水は沢水使用。電気は自家発電か太陽発電だった。

彼は今年10年ぶりに、初日の出を拝みに行った。近くの海だ。昇る初日に向かって彼は、「普通」を祈念したという。何も特別なことを願った訳ではない。極めて当たり前な「普通」を願った。

我々が日々送っている日常生活。一見、何も無いようでも、いろいろある。厄介な問題も多々ある。面倒臭い事も少なくない。しかし、少々事は乗り越えられる。

だが、「天災」は避けられない。「普通」でなかった。普通の生活・モノ・命を奪った。それはとても受け入れることが出来ない出来事だった。長いようで短い人生。特別な事は不要。極めて「普通」でいい。しかし、「普通」は、案外、難しい事かも知れない。

追伸・・・今朝、庭に水やりで柿の木を見たら、葉が食われている。「イガラ」という毛虫のようだ。沢山、実がなっているのに、ギャ～だ。「普通」でなかった！！今からジャンボに行って、殺虫剤で「普通」に戻そう。





7月29日(木)晴・28/73

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月29日(木)04時31分15秒

オリンピックが凄い。体操・卓球・水泳・柔道・ソフト・野球・サッカー。これが本当の日本の実力か?? 自国開催の強みもあるだろう。異国と自国では、やっぱり生活環境が違う。ただ、実力があっても敗退する方もいる。勝負は最後まで分からない。最後に「大谷」もやっています!!

登山靴を新調した。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page180.html>

前は、2019年1月。スカルパ・ミラージュを購入。価格は、33,000-だった。今回は、ローバー・ターホープロ2GT。価格は、46,200-しっかりした、イイ靴だが高価。

ま、しかし、登山靴は登山で一番重要な装備。少々の出費は覚悟の上。これで安全登山が良くなれば、お金では比較出来ない。

登山靴は、昔、革製がだった。革は重く、保温性・防水性が悪かった。メンテナンスも厄介。

1969年、初めての本格的冬山だった、南ア・甲斐駒、摩利支天中央壁右ルート、甲斐駒・水晶沢、仙丈ヶ岳は、ヘンケの革靴で上ったが、右足親指が軽い凍傷にかかり、今でも違和感がある。現代は、冬が余り寒くないもあるが、当時の革靴は足指が寒さでいつも痺れていた。

現在は、素材の改革で軽く、上記の問題は改善された。冬も昔程、寒くはなくなった影響もあるが・・・。



7月28日(水)晴・26/82

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月28日(水)06時39分23秒

台風一過。今日は、富士山ウオークでした。晴れるのは分かっていたが、暖気が入り暑くなるので、中止しました。

今年は、畑で「モロコシ」を栽培した。過去も作ったことがあるが、台風で倒れたり、散々だった。今年は、天候に恵まれ、いまのところ問題はない。

家庭菜園で割合作る方が少ないが、理由がある。

1. 作物が大きいから、面積を必要とする。
2. 作後、ゴミの始末が厄介。
3. モロコシは、茎1本で、モロコシ1本しか収穫できない。
ま、効率が悪い。

で、嫌われるようだ。そんなこともあるが、今年は挑んでみた。家庭菜園は、八百屋で販売していないモノを食べれる。今回は、「ヤング・コーン」を食べた。

モロコシは、普通、茎1本に実が3本出来る。大きく育てるのは、一番上のものだけ。下の2本は、「ヤング・コーン」として、早めに収穫する。

「ヤング・コーン」が、特別美味しい訳ではないが珍しいモノ。調理方法も色々だが、美味しく頂きました。





7月27日(火)曇・27/72

[返信](#)・[引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月27日(火)06時31分39秒

スポーツの勝負で、人間が判断し採点するのは、スッキリしない。昨日の体操団体は、0.1の差で銀だった。0.1の差が、実際何であったか全く不明だが、5年努力を重ねたアスリートには、忸怩たる思いだろう。

言えることは、更に心技体を磨き、圧倒的な差で勝つしかない。まだ若い、3年後のパリで捲土重来。

オリンピックで登山はない、と昨日書いたが、実はオリンピックの正式種目ではないが、1936年・ベルリンオリンピックの際、ヒットラー

が直前の夏、アイガー北壁初登攀者に金メダルを授与すると約束した。

しかし、結果は惨憺たるものだった。壁に挑んだ4名、全員が遭難死した。アイガー北壁は、その2年後、1938年に初登攀された。

ただ近年、スポーツ・クライミングが隆盛。これは登山でないが、登山的な要素はある。我々も昔、悪天候時、新幹線のガード下でクライミングの練習をした。今は、懐かしい思い出、笑い話ですね。

私自身、「何故、そんなに山が好き」か、実は良く分からない。「好きだから好き」というしかない。特定な人間を好きの理由と同じで、特に理由は必要ないだろう。

強いて言えば、誰もが持っている、「原始回帰」が、人一倍強いかもです。冗談で良くいいますが、「山に行く」でなく「山に帰る」のです。
(´艸`)

会報「れいほう」8月号発行しました。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/>

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>





7月26日(月)曇・26/70

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月26日(月)05時27分30秒

オリンピックが凄い。メダル量産。感動・感激・感涙の嵐。スポーツは素晴らしい。ただ、登山は観客がいないスポーツ。感動・感激・感涙は、仲間と分かち合う。

つづき

下掘沢を上る。早朝の清冽な大気の中に、霞沢岳・乗鞍岳が浮かぶ。静かな山。山が一番美しい瞬間。下掘沢は、花が少なかった。南面なので、とっくに終わってしまったようだ。

仲間に「ネバリノギラン」を教える。この植物は、指で挟むと「ネバネ

バ」しているから、簡単に覚えられる。

南の肩が近づく。ここはいつも水蒸気が噴いている。いい南東の風が吹いているので、こちらに流れず有難い。若い男女がいた。見覚えがないが、中尾峠からか。

北の肩に達した。頂上はすぐだ。この辺りは、以前、水蒸気が多かったが、今回は全くなかった。活火山は怖い。速やかに上りたい。同行者の二人は元気イッパイだった。今回は標高差が多くないので少し楽。900m以下の上りならキツくない。

頂上に達した。誰もいない。青空が大きい。風が快適。笠・槍・穂高・常念・霞沢・乗鞍の大展望。同行者がバンザイ。時間は丁度、7時だった。3時間掛からなかった。いいペースだった。

何人か上って来た。活火山は油断が出来ない。すぐ下る。下からゾロゾロ上って来る。森林限界の上で朝食??!!オニギリ・キュウリ・エダマメが美味しかった。高山市に親戚があり、今日上って来た女子の写真を撮ってあげる。

「uber Eats」(ウーバー・イーツ)のザックを背負ったオジサンに会った。このザックは、食材などを宅配時使うザック。「何で??」と聞いたら、「受け狙い」と笑った。同行者は、「頂上に何を届ける?」と本当に思ったらしい。(´艸`)

この時間になると、下から凄い人数が上って来る。犬連れの方・子連れの方・団体登山などなど。しかし、陽が昇り暑くなってきた。涼しい時間に上って良かった。

登山口上で登山道下刈りの方が2名いた。下から物資補給の女子も来た。聞けば、中の湯の方たちだった。自主的か委託か聞きそびれたが、有り難いことだ。このような方がいるから、登山道は荒れないで保たれている。

9:37、登山口着。速攻でイイ山だった。大汗を掻かなかったので、温泉もパスし帰静した。

おわり



7月24日(土)晴・27/70

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月22日(木)15時43分44秒

2020・オリンピック開会式かァ。

つづき

焼岳登山。天気=快晴、涼しい。標高差=793m。参加=3名。

3時起床。朝食は弁当。無理やり一ヶ食べた。それで料金は、13200-+入湯税150-。目立ったサービスもなく、ちょっと高い。昔は、民宿のババさまなど、3時でも4時でも起きて支度をしてくれたものだが・・・。時代は変わった。

夕べは、いささか飲み過ぎた。部屋に戻り、後ろに転倒し尻と上腕を強打した。朝、痛かった。後ろに倒れるのは危険。頭を打ったらアウト。階段だったら、更にヤバい。今回は300kmを一人運転で疲れたいたのだろう。飲み過ぎは、その反動だろうか。無理は禁物だ。

それでも、目覚ましなしで、一発で目が覚めた。相方の二人も、しっかり起きた。宿から車で少し上に移動し登山口に向かう。登山口に車は数台。涼しくイイ風が吹いている。既に1名出発するばかりだった。我々も4時11分出かける。

薄暗かったがランプを使う程ではない。先行者の鈴の音だけ聞こえる。暗いうちにイヤな下部を上るのは得意だ。若いころ、冬山は12時起床、1時発などザラだった。ただ冬山は、上りの地形をしっかりと把握して置くことが肝心。往復登山の場合、時々、帰還できない方がいる。

森林限界を抜けると焼岳が見えた。秋みtainな澄んだ青空に佇立していた・下掘沢(しもほりさわ)に出る。冬はスキーで何回か訪れている。随分、道が荒れている。ま、ここもオーバー・ユースなどだろう。

冬の焼は夏上る北峰に上らない。上部で雪崩リスクがあるからだ。冬は夏、登山禁止の南峰に上る。その場合、下掘沢でなく、南峰・南尾根をたどることになる。南尾根は、なかなか厳しい尾根。しかし、スキーは素晴らしい。

つづく



7月22日(木)晴・28/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月22日(木)09時50分33秒

20日・21日は、
乗鞍高原と焼岳でした。天気=晴れ、参加=3名。

今回は、忘れ物はなかったか??!!

20日は、ゆっくり出発。松本でソバの昼食。食後、乗鞍高原に向かう。
一ノ瀬園地から善五郎ノ滝を目指し、周遊するつもりで出発。

園地は、標高約1500mだが、午後の陽光はすさまじく、モーレツに暑かった。道標に従って行く。ただ、途中で林道みたいな感じになり、それを上ったが道は途中で無くなった。

下って別な道を上ったが、どうもスツキリしない。そこを下って、もう一本の道を辿ったが、そこもダメ。乗鞍でそんなことがあるだろうか??時間も15時半なので、今回はそこで終了。

下山していくと、何と善五郎に向かう道標が道端に転がっていた。上る時は全く気が付かなかった。そんなこともあるのか。本格的な山は、そんなに登山道があるわけではないので、余程のことがない限り、道は間違えない。

難しいのは、ちょっとした里山的な山で、様々な道が錯綜している。中には登山道でなく、生活道路もある。そんな山だったが、案外、花が咲いていた。「ウツボクサ」「イチヤクソウ」「ナツツバキ」「ホタルブクロ」「ノアザミ」「ヤマオダマキ」「サラシナショウマ」「ノコンギク」などなど。

園地に戻り、中の湯に向かうが、どうしても、ヤナギランを見たくて、バスターミナルに戻ると、やっぱり咲いていた。これを見ないと、夏は始まらない。隣にド派手な「シモツケソウ」が満開だった。

中の湯は久しぶりだった。玄関に向かう、階段脇に「クガイソウ」「ヤマハハコ」が咲いていた。クガイソウも、夏を象徴する花です。

つづく



7月20日(火)晴・28/70

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月19日(月)15時01分57秒

つづき

レストランで遅いランチ。ビーフシチューがお勧めらしいが、知らなくてボルシチとビアを注文。ボルシチは、やや薄味だったが美味しかった。自家製のパンも付いていた。ビアも美味かった。女将に見送られて下山。女将は一年中、ここに居るといった。今度は、スキーで来ますと挨拶。

野反湖（のぞりこ）に移動する。サンダルでは、「のぞき」への急坂は下れないので、私だけスキー場を渋峠に下る。車は相方に頼んだ。スキー場は、傾斜が緩く楽だった。しかし、5～6分のリフトが、1200ーとは高い。

野反湖までは遠かった。20kmくらいあるか。グーグルで見たら41kmあった。初めての、弁天山峠から俯瞰する湖は素晴らしかった。色が良く周りの岸が花崗岩みたいな白で青空に映える。周りの草原は、ニッコウキスゲが満開だった。湖は、自然湖かと思ったら、人工湖だった。

キャンプ場の受付に行く。今夜はバンガロー泊り。一棟＝7150ー。一応、4名用だが、4名ではやや狭い。シャワーが完備。10分＝200円。有り難い。しかし、ここで、第二のトラブルだった。何と「予約は受けていません」だった。

メールは3回貰い、バンガローも「N0.3」と連絡が来たのにだ。旦那が黒人の新婚3ヶ月のアルバイトの女子は、「予約受付とここは別で何故か分からない」と、こちらが分からないことをいう。一体、この情報管理はどうなっている??!!

怒っても仕方がないので、「兎に角、バンガローは空いているか」と正せば、何故かN0.3は空いていた??!!。すぐ掃除をして貰って一件落着。ま、油断も隙もあったモノではない。以下、メール。

On 2021/07/15 11:11, 後藤隆徳 wrote:

明日、バンガロー1棟、2名、よろしくお願い致します。
静岡県駿東郡長泉町下土狩1541-12 後藤隆徳

後藤 隆徳様

野反湖キャンプ場のご予約ありがとうございます。
以下のご予約内容をご確認ください。

到着日：2021 7月 15日（チェックイン After 13:00 時）

出発日：2021 7月 16日（チェックアウト Before 10:00 時）

メールをよく見た。私が宿泊を依頼したのは、7/15で「明日」と送った。つまり16日にお願いした。ところが、何故か返事は、「16日」でなく、「15日」だった。これが予約が入らなかった原因。私も前日で忙しく、良くチェックしなかった。大いに反省。

つづく（日記、21日、休みます）





<http://>

7月19日(月)晴・28/69

[返信・引用 編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月18日(日)16時33分47秒

週末は、

本白根山・横手山(2307m)、白砂山(日本二百名山・2140m)でした。天気=両日晴れ、参加=2名

山行にあたって、「絶対忘れものをしない」が鉄則。いつも気を付けているが……。昔、登山靴を忘れ、御殿場から戻ったことがある。仲間も忘れたことがあり、「長靴」で上ったことがあった。少々のもものでは問題ないが、大物はそうはいかない……。

今回は、蚊取り線香・ひげ剃り・ライター・包丁など念には念を入れたはず。往路は関越で行くので、相方の裾野まで車で向かった。参加が二人なので、経費が掛からない、プリウス・プラグで行くことにした。この車は、ガソリン1リッター=25km走るといふ。モータを併用している車である。

裾野に着き、荷物を乗せ換えている時、何と「ザックが無かった」ガビ～ン！！座敷に置いてあったままだった。長泉まで取りに戻る。これで約1時間半のロス。結果、初日予定だった、本白根山に上れず、相方には申し訳なかった。

一度あることは、二度・三度とあるのが世の常。これが、今回の「トラブル」の始まりだった。関越から長野原～草津温泉～本白根は遠かった。ランチを横手山レストランで頂く予定が、大幅に遅れてしまった。

ランチ締め切りの14:30まで間に合わせるべく、「のぞき」から標高差200mを上る。しかも私は、「高を括って」サンダル履きで上ったので、急登に悪戦苦闘だった。レストランの女将は、「えええ～、サンダルで上って来た」と驚いていた。

レストランまでは、渋峠からリフトが5分くらい上っている。しかし、料金が何と片道=1200-。往復=2400-という。これでは馬鹿らしく乗る人はいないと思いきや結構、乗っている。しかし、途中で会ったご夫婦は、余りに高いで、「歩いて下っいます」と、言っていた。

レストランの回りは、大型の黄色い花・黒百合が咲いていた。聞けば、黄色い花はシナノキンバイというが、何か背丈が大きすぎて、ピンと来なかった。

つづく





7月16日(金)晴・26/75

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月16日(金)05時31分23秒

先日、

浅草岳（新潟・福島、1586m）に上った仲間が、この時期咲く、美しい「ヒメサユリ」の花の写真を送ってくれた。

学名は、「乙女百合」と呼ぶようだ。別名が「姫小百合」「姫早百合」らしい。知らなかった。

「乙女百合」より「姫小百合」のが知られているようだ。
静岡には自生しない。ちょっと「笹百合」のような感じがする。
いずれにしても、キレイな花ですね。





7月15日(木)雨・25/86

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2021年7月15日(木)07時39分1秒
先日、

富士山で「サンダル履き」のランナーを見たが、実はメキシコに「サンダル履き」の部族がいる。

https://www.ntv.co.jp/gyoten/backnumber/article/20170808_03.html

部族は、「ララモリ」と呼ばれている。「ララモリ」は、現地語で、「走る民族」という意味らしい。サンダルは、手製で「ワラッチ」という。廃タイヤで作るようだ。

ララムリは、山奥で走る力を身につけた。1966年、アメリカで160km走るウルトラマラソンで、突如現れ優勝と上位を独占。

以来、「世界一長距離走が得意な民族」と呼ばれ、様々なレースで結果を残して来た・・・。ネット

詳しくは、URL を見て下さい。このような方にオリンピックに出て貰いたいね。





7月14日(水)晴・26/78

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月14日(水)05時51分50秒

今日は、7月度・伊豆巡礼でしたが、酷暑で休講でした。

定年前から畑を勤しんでいる。新鮮な野菜は美味しい、生き物を育てるのは、心身にイイ。現在は、モロコシ・安納イモ・落花生・里芋・ほか夏野菜が頑張っている。

斜め隣の畑は、同じ会社に勤めていた方だった。年齢は私より多く、4歳くらい上だった。時々、奥さんも現れ、除草などもやっていた。家がやや遠いので毎日とは来ていなかった。一週間に一回くらい来るので、「何だ、生きていたのかね」とか冗談を言ったりしていた。

ところが6月から全く姿が見られなくなった。畑は夏草がボウボウ。こんな事は今までなかった。何かあったか??と思っていた先日、畑に知らない若い方が居た。何か風貌が似ていた。聞けば息子さんで、「父は6月末、亡くなりました」だった。

ガーンだった。一番恐れていた結果だった。「急性の大腸ガン」といった。10年前に一度手術をしたという。その後、問題なかったが、急に悪化したという。残念だった。ポチポチだが、仲間が失われていく。

昨年末もやはり畑をやっていた、町会議員のKさんが、突然倒れ逝った。私より若かった。いやはや、一寸先は闇である。先のことは分からない。

最近、時々「死」を意識することがある。出来れば「死にたくない」しかし、それは叶わないこと。

出来ることは、命ある今を精いっぱい生きるしかない。 合掌



7月13日(火)晴・26/80

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月13日(火)06時29分7秒

つづき

素晴らしい景観の御殿庭から、宝永山2352m峰を目指す。この部分の標高差は約200mちょい。広大な砂漠の中の登行で実に気持ち良い。ただ最近、温暖化で唐松の侵略が著しく、砂漠が森林化している。森林が砂漠になるのも、逆も好ましくない。

「変わらない」「普通」が一番だろう。砂地をガシガシ上る。後ろで声ですると思ったら、ランナー団体がやって来た。彼らは若く殆ど空身なので速い。上部で抜かしていった。第二火口で「ベニバナイチャクソウ」を期待したが、今回は咲いていなかった。

2352m峰に到着。ランナーもそこにいた。残りの3～4名がまだ後ろにいた。集合写真を撮ってくれで、スマホで撮って上げた。団体名を聞いたが、ハッキリしなかった。勝手に「カバチタレ軍団」「アンポンタン軍団」にした。

我々の写真を撮るといふからお願いした。そうしたら、「好きなタイプの女性を選んで入れたら」といったが、「ああ、そうですか」とはいかなかった。皆さん贅肉が一切ない方で、「マルポチャ」は居なかった。

ランナーと別れて御殿庭に戻り遅い昼食。塩が利いたキュウリと枝豆が美味しかった。下山は、御殿庭下沢(仮称)を下った。久しぶりに下ったが、礫の押し出しが増えた感じがした。ザックザックと快適に下山。下りきれば水ヶ塚歩道に出る。そしたら、またランナーと会った。今日のご縁があった。

須山登山口着。御殿場のオジサンと歓談。年齢は私より多かった。夫婦で辺りに涼みに来るのが楽しみといった。今回は、比較的涼しかったので、温泉もナシで帰着。久しぶりに、1000m上り体は喜んでいた。

N労山のEさんは、「筋肉痛」だったとか。私は、「キのキもなかった」。益々の精進を期待ですね。

おわり



7月12日(月)晴・26/70

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月12日(月)05時32分39秒

昨日は、

富士山・宝永山2352m峰でした。コース＝須山下山口往復、天気＝晴れ、風は涼しい、標高差＝約1000m、参加＝3名。

近場だから、朝はユックリだった。幕岩下沢は、現在、大量の土砂を浚渫（しゅんせつ）中なので、須山下山口から出発。近く槍ヶ岳に「テント泊」予定のN労山、Eさんは、歩荷訓練で荷物が10kgと重かった。

爽やかな風の中出発。緑がキレイ。春セミが賑やか。途中でランニングの連中10数名に会った。驚いたことに、中の一人の女性は、ランニング・シューズでなく、サンダルだった。

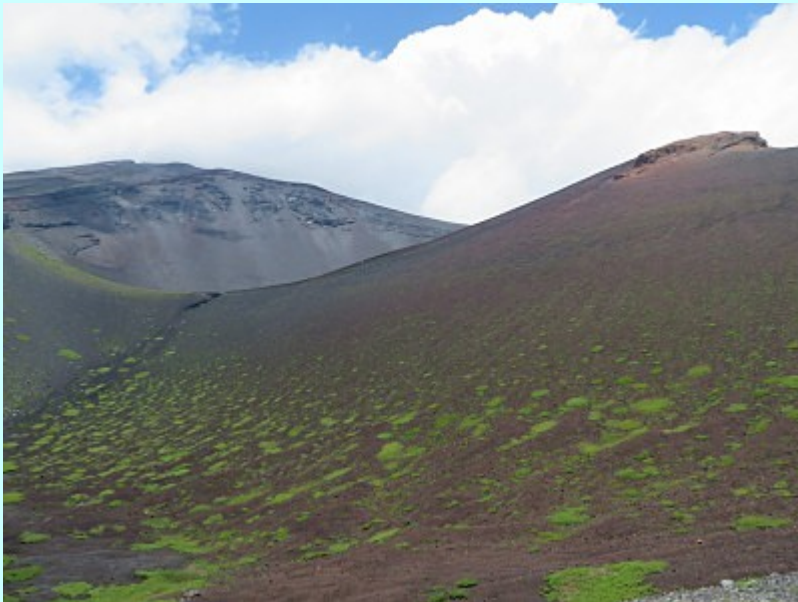
ちょっと前にBSで観た、アンデスの方の「サンダル履き種族」と同じだった。幕岩から三辻を經由して御殿庭下沢を渡る。ここでAさんは疲れて、荷物を少しI君に持って貰った。しばし、休んで再び出発。

しかし、10分ほど上って再び休憩。ここで完全に「バテてしまった」ようだ。山は一ヶ月ぶり、最近、重たい荷物は担いでいない。そんなことで、すっかり疲れたようだ。

更に荷物をI君に持って貰う。しかし、大分疲れているので、御殿庭まで、もう少しなので、ゆっくり上って貰うことにし、I君と私は先行する。御殿庭で朝会ったランニングの連中が再び上って来た。中に「富士山は初めて」で、御殿庭の素晴らしい景観に「シビれて」いた。

つづく





7月9日(金)雨・25/86

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月9日(金)06時21分24秒

つづき

新六合からのルートに達して、宝永第一火口に降りる。ここから仰ぐ、赤岩は見事。ナイーブな曲線が美しい。雪の富士も素晴らしいが、夏も捨てがたい。

火口には、巨石がゴロゴロしている。こんな巨石が飛んできた??!!でなく、上部から転がって来たのか。家族が岩陰で食事中だった。ベンチもあり、なかなか良い所。

宝永山の上りに掛かる。次第に風が強くなる。宝永は、とにかく風が強い所。冬は、小石がバンバン飛んでくる。地形的には、丁度、西からの風が東に抜ける先端のような感じ。言ってみれば、赤石山脈を越えた風が、モロに当たる、のか。

上から若い衆が一人降りてきた。「上の風はハンパない」とのこと。確かに強い風。宝永が近づくと、よろける様な風。昨年12月、唐松岳で経験したような風だ。稜線に出ると、下手をすると、宝永の東斜面に持っていかれそうな感じだった。夏でもこんな感じの風が吹くのか……。油断は出来ない。

荷物が重いと思ったら、余りの風の強さに、同行者が私もザックをしっかり掴んでいた。(´艸`)。すぐ下山。100mほど下り、ようやく風は収まった。先ほどの若い衆が、年配の女性を連れて、また、上って来た。「上まで行きますか？」と聴いたら、「行く」だったが、結局、すぐ戻ってきた。

第一火口から樹林帯に下り、遅い昼食。犬を二匹連れた夫婦、若いアベックなどゾロゾロ通過。二合目から下界に降りれば、蒸し暑くムンムン。富士山は、寒いくらいの別世界。有り難い上界ですね。

おわり





7月8日(木)曇・27/82

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月8日(木)05時49分35秒

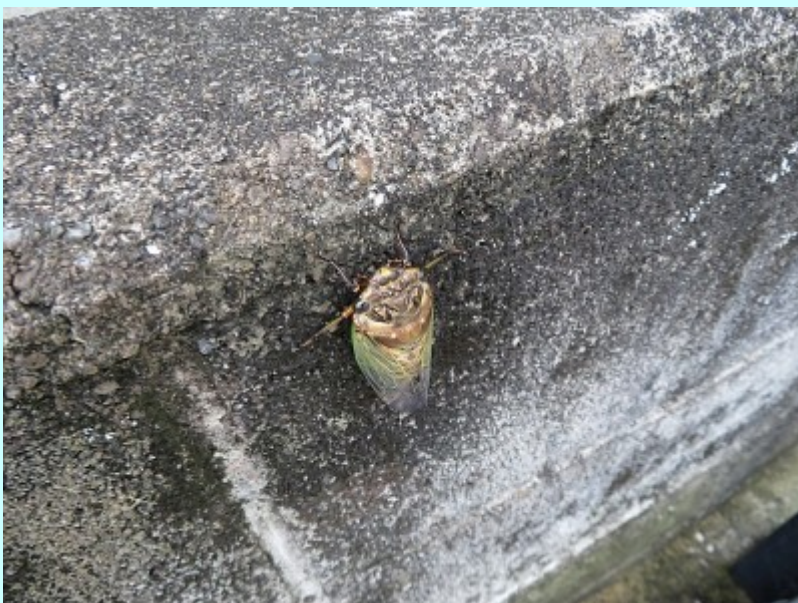
昨日、

駐車場をソージしていたら、セミの抜け殻と、羽化したセミがいた。
雨続きで、うとうしい時期ですが、自然界は確実に真夏に向かっている。

セミの初鳴きは、毎年、いつ頃だろうか??
羽化しても、天気が悪く、雨ばかりでは、鳴くに鳴けない。
晴天で羽が乾かなくては、鳴けない??だろうね。

そんな訳で、「初鳴き」を期待だが、ネットでもハッキリしない。
ただ、昨年、梅雨が明けたのは、「8月2日」で遅かった。

今年まだ暫く明けそうもない。我慢の日々ですね。



7月7日(水)曇・26/83

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月7日(水)06時01分45秒

2名の仲間が、すでにエアコンを使ったという。拙宅は、いまのところ未使用。タベも問題なかった・・・。

昨日は、梅雨の合間を縫って富士山でした。(参加=3名、標高差=313m)当初、宝永山2352m峰の予定だったが、御殿場に着くと富士山がバッチリ現れた。しかも上空は青空だった。

やった～、今日はいただき！！で急遽、五合目から宝永山に変更。この辺りは、臨機応変、フットワークの軽さ。五合目に上がる。車はほどほど。10日から夏山開山で一般車両は、通行止めになる。最後の好天狙いか。

五合目は寒かった。10度くらいか。ヤッケ・手袋が必要だった。風もある。下界の蒸し暑さとは、無縁の世界。工事車両と山小屋関係車が目についた。小屋関係は、ブルで荷上げに忙しい。

10:20出発。まずは宝永の肩を目指す。大きなダケカンバを縫って進む。花は「フジハタザオ」が目立つ。前回、ニッ塚で沢山観察した、「イワツメクサ」は見られなかった。何故だろう・・・。

2352m峰と新六合からの道の中間の肩に立つ。赤岩が見事。風が強い。上から一人降りてきた。ここから宝永山第一火口を目指す。

つづく





7月6日(火)曇・25/89

[返信・引用](#) [編](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月5日(月)18時17分42秒

熱海の惨事は目を覆うばかり。逢初川は、伊豆ウォーキングで通っているし、伊豆巡礼では、24番・般若院のすぐ脇。今回は、「人災」の可能性もあるか??!!

つづき

モーレツな風の中、12:15、御殿場口頂上に着いた。風は西風が東に変わった。兎に角、凄い風。手摺りに掴まっていないと立っていられない。長い間、登山を続けているが、こんな風は、なかなかない。

余りの風に翻弄された。剣ヶ峰は断念。一昨年不調で上れず雪辱を果たした加藤、62歳で信じられない上りだった、スーパー姉御・高岡とガッチリ握手。30分で下山。直下で山本勝に会った。単独で頂上に向かった。

更に下の風よけ「トーチカ」で大根田と合流。ますます強くなった、ブリザートのなか下る。小石がバンバン飛んでくる。冬富士は本当に怖い。アイスパーンを慎重に下って行く。振り返れば、我々を十二分に、弄んだ富士山は、何事もなかったように雪煙を上げていた。今年も終わった・・・。

おわり





7月5日(月)雨・24/85

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月5日(月)06時28分24秒

大谷がまた打った。31号。まだ、前半戦というのに。山に例えれば、なんだろう。毎回、エベレスト登山だろうか??!!

富士山・3

冬富士N0/3は、1999年12月04日。ルートは、御殿場二合目～頂上往復。メンバーは、後藤隆・加藤・高岡（3名頂上まで）大根田・山本勝・山本正・後藤歌。

前夜、二合目に泊まった。21時就寝、翌日は3時半起床。山本勝は朝来た。朝から風が強かった。山本正・後藤歌は宝永山登山。（ちなみに、後藤歌は、私と婚姻関係はない。笑い）

七合から九合のキツイ上りが続く。K氏に借りたビデオを回す。大根田・山本が遅れだした。後日、ビデオを見たら、確かに大根田の足が上がっていなかった。この時、大根田は、63歳11ヶ月だった。

現在の私の年齢より10歳若い、二合目から冬上るのは、やっぱり厳しい。むしろ、それより若い連中がだらしない。九合から、加藤・高岡・私が先行する。いよいよ、風は強く、山全体が咆哮している。間欠的に容赦なく突風が襲う。

測候所用の「手摺り」を掴んで上る。「手摺り」がなければ、この風では、上れない。風速はどのくらいだろうか。ちなみに、人間は風速40

mで「飛ばされる」といわれる。マッキンリーで冬遭難した、植村直己は、一説には、風で飛ばされたといわれる。

北極圏のマッキンリーの冬は、ジェット気流が吹き、50m近い風が吹くという。植村も飛ばされた可能性は否定できない。私もかつて、冬の飛騨乗鞍岳・槍でモーレツな風を経験したが、乗鞍では、立っていられず、「匍匐（ほふく）前進」を余儀なくされた。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/000-77.pdf>

つづく





7月2日(金)雨・23/80

[返信・引用](#) [編](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年7月1日(木)16時34分45秒

大谷は酷かった。このところコントロールがない。二刀流は無理か??!!

つづき

我々の前後に各2名の登山者がいたが、前の一人は調子が出ない仲間を置いて一人で先行した。カチカチの長田尾根右の沢を快適に上る。

既に黒々とした宝永山は足下になった。12時、七合五勺の小屋に着いた。標高は約3100m。二合目から標高差1660mを6時間掛かった。本来なら、標高差1800mくらいだから、ペースはやや遅い。ここで昼食。

上から先行した若者が降りて来た。頂上まで行ったかどうか不明。風が強くなって来た。手袋を交換し、フードを被った。当時あった、長田尾根の「手摺り」(現在は撤去されない)を掴んで上る。後ろの二人は、撤退したようだ。

長田尾根には、所々、トーチカ風の風よけがある。「手摺りとか風よけ」は、測候所職員が冬上る時のものだ。当時は、まだ山頂で気象観測を行っていた。職員は、3ヶ月交代だった。

昔、長泉にFさんは測候所長として勤務していた。御殿場のN君は賄いで勤務していた。Fさんは、山の会で気象の講習をしてもらった。測候所には、面白い話がいろいろあった。

鹿が頂上に上って来たが下る事が出来ない。下りは苦手らしい。結局、死んでしまったので「食べた」という。鹿は「落とし物」として扱ったそうだ。ほか、荒天時、死にそうな方が何人も来たという。ただ、測候所は山小屋でないから、宿泊は出来ない。丁寧に介護をして上げたという。

直下で小休止して一気に山頂に立った。14時45分だった。二合目から標高差約2336mを約9時間掛かった。まあ、結構苦労した。それでもビアを一本やった。卑しいね。

風は強かったが快晴。記念写真を撮影し下山。三合辺りで暗くなり、ランプを点けた。18時、二合目着。上り=9時間、下り=3時間だった。往復=12時間。長い一日は終わった。

(土日は、日記、休載しています)

<http://susono-reihou.babyblue.jp/000-73.pdf>

<http://susono-reihou.babyblue.jp/000-74.pdf>





7月1日(木)雨・24/74

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月30日(水)17時47分7秒

大谷は凄い。当たればホームラン。そんなことってあり??!!

つづき

富士山は厳しい冬に上るのが意味がある。ま、富士山に限らず、夏の山は「遊び」。厳しい冬にこそ、山岳の真の姿がある。

冬富士登山は、そもそも、周遊道は閉鎖だから、道路は利用できない。我々、静岡県東部の人間の場合、御殿場登山道が冬のルートになる。御殿場口・太郎坊は、昨今、冬は閉鎖しているので、周遊道の「洞門」が出発口になる。

「洞門」の標高は、約1280m。頂上は、3776mだから、標高差は、約2496m。日帰りの標高差では、日本一である。ただ、下記の記録当時は、冬でも御殿場口二合目までは入れた。この場合、標高差は、2336m。

冬富士は、何回か往復したが、1989年12月16日の登山は、鮮明に記憶

している。私は当時、M勤労者山岳会に居た。42歳。同行者は、同じ会のNさんで43歳。何故、同行者がNさんだったかは不明。ただ、当時いつも一緒に上っていた、Yさんは仕事で行けなかった。

御殿場口二合目から6時発。まだ暗いのでランプを点ける。現在は撤去

された、三合目下の測候所小屋跡からアイゼンを履く。天気は良く、温かい日差しが溢れていた。

大野原（おおのっばら）で、「ドンドン・パチパチ、ドンドン・パチパチ」と演習の轟音。アイゼンの音しかない富士のしじまを破る砲音だった。いつまでも安心して登山が出来る平和な日本を願った。

つづく





6月30日(水)雨・24/71

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月29日(火)17時25分18秒

富士山の

思い出は数々あるが、最も鮮烈なのは、やっぱり1972年3月19日の大量遭難だろう。当時、私は25歳だった。(勿論、独身!!) 2月12日～13日、宝永山第一火口壁をやったばかりだった。が、ただ、連休は天気も良くなかったので、何故かその時は入山しなかった。虫の知らせだったのだろうか・・・。

18日は土曜日、19日は日曜日、20日は祝日の3連休。多くの勤労者は、数少ない連休で富士山・御殿場口に沢山入った。記録によれば、7パーティー、4名の単独行を合わせて、55名入山していたという。

19日は午前中は快晴だった。しかし、天候は午後から急変、寝袋に入るころは強風が吹き、ミゾレに変わったという。

20日は、ミゾレ混じりの吹雪。下山を強行した何人かは、低体温症・雪崩(雪代)で次々倒れた。結局、この事故で18名が死亡、6名が行方不明という大惨事になった。その中には、私の友人でヒマラヤを目指して訓練していた、静岡・頂会(いただきかい)の裾野のS君もいた。

その時、私は会社の寮で山行記録を纏めていたが、半端な天候ではなかった。しかし、富士山でそんな修羅場があったなど知る由もなかった。

原因は何だったのだろうか。1972年というと、第二次登山ブームのころ。多くの勤労者（学生）は、ようやく休暇を登山に使う余裕が出て来た。隔週だが土曜日も休日になった。

とはいうものの、まだ、車はもてない時代で、三連休とはいえ、遠路の山は行けなかった。従って、富士山は雪が豊富で近くて入り易く、雪訓練には山だった。当時の装備は、まだまだお粗末だった。ゴアテックスの雨具などない時代。また、天気予報も現在のように、ピンポイントで正確でなかった。何処まで、天気を読んでいたか不明。

遭難者の多くは、悪天候時、無理に行動した登山者。小屋・テントなどで避難・待機した人は問題なかった。過去、私も富士山の下山時、「ラッセル」を強いられたことがある。下山時、グズグズの雪で太ももまで潜った。下山でも大きな体力が必要だった。

雪崩（雪代・スラッシュ雪崩）は、大量の水分・土砂を含んだ雪崩であるが、土石流にも似て驚異的な爆発力を持つ。これに遭ったら人間など、ひとたまりもない。当時の写真を見ると、二合目駐車場の車が、見事にひっくり返っている。雪代によるものだった。

我々の仲間の清水勤労者山岳会も、この事故で11名中、10名が犠牲になった。私が50年以上、山をやっていて生き残っているのは、ただ単に「運が良かった」ということだろう。





6月29日(火)雨-25/68

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月29日(火)05時56分49秒

ようやく梅雨らしくなった。野菜、(^o^)。

富士山に初めて上ったのは15歳だった。当たり前だが、登山は全く知らなかった。何を着て、何を履いて、何を持って行くのか全く不明。

指導者に教えられたのは、「兎に角寒い」「バテたら塩を舐めろ」だった。59年前のことだから、余り覚えていない。アプローチは、たぶん御殿場からバスで御殿場口二合目に行って上ったと思う。

お盆前の八月?のその日。10余名で御殿場口七合か八合辺りで宿泊。小屋は、それほど混んではいなかった。でも、やっぱり寒かったような

感じ。

翌日、頂上を目指した。たぶん、天気は良かったと思う。キュウリに塩を付けて食べたような気がする。無事登頂し下山。「砂走りが凄かった」と何となく記憶。

午後の早い時間、家に帰った。疲れは、ほどほどだったが、「モーレツに眠かった」と覚えている。当時は、写真も貴重な時代で、残念ながら写真は無い。

何故か不明だが、頂上の印象とか全くない。15歳では、まだまだ、そんなものかと思った。59年後の現在も富士山は、スキーも出来る近くて高いイイ山。

愛してやまない富士山。静岡に生まれ育ち良かったと感謝するこの頃です。





6月28日(月)晴・24/68

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月27日(日)16時55分48秒

雨は何処に行った??野菜が悲鳴!!

土曜日は、富士山・ニッ塚上塚(1929m)でした。
コースは、洞門～上塚往復、天気=曇り・低温、参加=単独。

金曜日、二回目のワクチンだった。会場は前回より空いていた。
医師が来る方を待っているような状態だった。従って、前回、小一時間
掛かったが、30分で終了した。

翌日、副作用は全く感じられなかった。天気は良い。汗を流したいので、
富士山・上塚に向かった。洞門着。相模の軽が一台。気温は低く快適。
ワクチン後なので、無理せずゆっくり上る。

春セミが五月蠅い。富士山は五合目以上がガスっていた。今回は登山者
が少なかった。火山礫をガシガシ上る。砂浜を歩いていると同じで、脛脛
にイイ訓練になる。

下・上塚コルから南に向かい、上塚を迂回する。風が冷たかった。南の
斜面に「イワツメクサ」が一面に咲いていた。派手な花ではないが可憐
だ。昨年見た小さな「ホタルブクロ」は、まだ見ていない。

洞門から頂上まで標高差は約649m。約2時間。本当は、あと300
m欲しいところだが、ま、時間が無い時の訓練場所としては最適。一番

良いのは、全く藪・ブッシュがないこと。少々の雨でも快適に歩ける。

また、山が火山礫なので、雨でも足元が全く汚れない。これも有難い。天気が良く温かければ、上塚で下界を眺めつつ昼寝もお勧め。下山すればお胎内温泉・美人の湯があるのも嬉しい。

上塚で昼食。寒くヤッケ・手袋が必要だった。標高は約2000m。油断は禁物。ヤッケ・手袋は常に必要だ。頂上には他に男子が1名いた。何となく雷が発生しそうなので早々に下山。洞門に着けば暑いくらい。なかなか難しい。

今回は、よいトレーニングでした。





6月25日(金)曇・23/71

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月25日(金)06時16分40秒

つづき

昨日、鈴木茂子さんから、湖畔に「オオヨシキリ」という、渡り鳥がいたと報告がありました。何か新しい観察があったら、報告をお願い致します。

大石公園で1時間半休んだ。北に大石小学校があった。校庭の大きな横断幕に、

<学校教育目標>

「いいちえ」をみがく子ども

「いいあせ」を求める子ども

「いいところ」を育む子ども・・・とあった。これは大人も同じだ。

午後、再びウオーキング。大石公園は大きく、様々は花があった。珍しい名前が分からないものが多かった。皆さん、あれがイイ、これがステキ、と忙しい。歩道が終わるところに、立派な「保養所」??があった。随分、立派な建物だった。

北岸道に行く。車も多少通るが、全体的に静か。ここは穴場かも。釣り人も多い。午後、約1時間余り、5kmで河口湖の西側、長浜着。簡易郵便局があった。本来、ここから西湖に歩くが、文化洞峠があり道も長い。

今回の新コースは、前回に比べると長く、上り下りが多い。全て歩くと相当の時間が掛かり、最終予定の富岳風穴に16時に着かない。従って、長浜から西湖民宿村まで5kmバスに乗る。時間は僅か20分くらいだ。

蝙蝠穴でトイレを済ませ、西湖民宿村から、樹海に入る。途中、竜宮洞穴があるがパス。樹海は、春セミが「ギューギュー・ガーガー」賑やか。Kさんが「春セミって夏はどうなる??」だったが、明確な答えは分からなかった。ただ、春セミと夏セミは違う。調べてみた。

「春セミと夏セミの違い」

3月末・・・・・・・・・・イワサキクサセミ　* 沖縄特産・砂糖キビ畑・日本一小さい

5月末・・・・・・・・・・ハルセミ（本州・四国・九州）
* 昼間明るい時、ギーギーギーと鳴く・黒褐色

6月末・・・・・・・・・・ヒメハルセミ（関東～西日本）
* ギーオギーオギーオと鳴く・昨日のセミはこれです。

* 鳴き声＝

<https://www.youtube.com/watch?v=PUZKPoA4ETM>

7月中旬（目安）・・・・・・・・ニイニイセミ

下旬・・・・・・・・・・クマセミ・・・・・・・・ヒグラシ

8月上旬・・・・・・・・・・アブラセミ・・・・・・・・ミンミンセミ

中旬・・・・・・・・・・ツクツクセミ（ボーシ）

9月中旬以降・・・・・・・・・・チッチセミ

ということで、日本のセミは結構多い。ひとつ勉強になりました。つづく





6月24日(木)晴・25/60

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月24日(木)08時09分31秒

昨日は、

6月度・富士山一周ウォーキングでした。コースは、河口湖高校前～河口湖～河口湖大橋～河口湖北岸遊歩道～大石公園（昼食）～長浜簡易郵便局～バス

～西湖民宿村～西湖樹海～鳴沢氷穴～富岳風穴（見学）～三島。天気＝曇り～晴れ、距離＝約18km、参加＝18名。

前回最終の河口湖高校前から出発。涼しくて快適。通学の生徒が多い。自転車の女子が飛ばす。郵便局から裏道を辿る。「イチイの生垣」「溶

岩石垣」を見学。河口湖を大橋で渡る。大橋を歩くのは、人生初めて。湖は水が多かった。

対岸に渡ると産直があった。道路の反対側で横断歩道がなかったが、皆さんも「寄りたい」で入った。モロコシ・トマト・ズッキーニ・などなど購入。モロコシを1本200円で5本購入。帰着後、すぐ食べたが柔らかかった。私は昔の硬いのが好きだが・・・。

湖岸を歩く。なかなかイイ雰囲気。平日で静か。途中に「ホワイト・ハウス」みたいな立派な建物。1階がレストランで2階が住居。どんな方が住んでいるのかね??!!遠くでカッコウが鳴いていた。

富士山が見えた。見えるうちに記念写真。ソバ屋に庭に「ナツツバキ」「ハマナス」が咲いていた。遊歩道は次第に北側に移る。歩道脇に「クワの実」が、たわわに実っていた。実は完熟だった。皆でワラワラ頂いた。懐かしい味だった。

この先で、更に大きくなった富士山を入れて、再び記念写真。大石公園着。広大な敷地に様々な花が植えてあった。産直もあったが、既にお終いだ。テラスで昼食。ビアが美味しい。曇っているのが快適で、寒いくらいだった。

つづく





6月22日(火)晴・23/66

[返信・引用](#) [編集](#)
[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月22日(火)06時14分19秒

今、大谷が凄い。今日も打つか??!!

会報「れいほう」7月号発刊しました。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/>

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>

雨飾山で観察した主な花々

1. 水芭蕉（花っでなく苞・白）
2. 二輪草（白）
3. 田虫葉（タムシバ・樹木・白）
4. 大亀の木の花（オオカメのキ・樹木・白）
5. 岩鏡（朱）
6. 舞鶴草（白）
7. 棲取草（ツマトリソウ・白）
8. 山荷葉（サンカヨウ・白）
9. 衣笠草（キヌガサソウ・白）
10. 猩々袴（ショウジョウバカマ・朱）

つづく





6月21日(月)曇・24/72

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2021年6月21日(月)04時58分43秒

静岡県知事選挙で川勝氏が勝利。南ALPSの貴重な自然は守りたい。

つづき

急な岩峰を上れば頂上着。この日トップで、約4時間だった。雪が多い年は、3時間半位で上れる。今回は、全く雪がなかった。天気は良く温かい。ビアを一本やった。夏は赤トンボが多いが、今回はまだいない。

軽く食事を済ませ、記念写真で下山。ポチポチ上って来る方がいる。下山は、比較的順調だった。途中、Kが急斜面をものとせず、行者大蒜をゲット。途中に小さな鎌を持った地下足袋のオヤジがいた。山菜取りのようだ。話しかけると何故か嫌がり「早く行け、行け」と手で払った。

犬を連れた夫婦？が上って来た。犬は暑そうだった。聞けば、「人間より元気」というが、本当だろうか??何か動物虐待って感じ。更に下で、ご年配の男女に会った。例によって「年寄自慢」。

聞けば、女性は昭和17年生まれで79歳。私より5歳上だった。男性は昭和13年生まれで83歳。私より9歳多かった。元気である。長野の方のようだが、毎年、上っているという。いずれにしても、山麓に前夜宿泊でないから、なかなか大変だろう。いやはや、今回は完全に脱帽でした。

上には上、凄い方がいらっしやる。お元気でと別れた。

荒菅沢には簡単に着いた。時間は11時だが、まだ、ゾロゾロ上って来る。今日、宿泊だろうか。Kが先行して山菜を探しに行った。上り切った所で、大量の独活を持ったKがいた。雪解けの荒菅沢の斜面に出ていたようだ。これは後日、テン普拉と味噌炒めで頂いたがサイコーだった。雪が多い山のこの時期の楽しみは、山菜でもある。

暑い中、駐車場着。長かった。帰り支度をしていると、さっきとは違う何処かのオジサンが、ポケットから、根曲がり竹をゴソゴソだしてKにくれた。ザックが満杯で根曲がりが入っているようだ。聞けば、商売で売っているという。オジサンは、

そのうち、また戻って来て、今度は「淡竹（はちく）」をくれた。これは山菜でなく下界のもの。お礼にビアを一本上げた。根曲がり竹は、焼いて食べると甘くて美味しい。生でもイケル。熊も大好きで、しばしば熊とのトラブルがある。

車で山田旅館に戻り温泉。サッパリして帰着。何処かでソバと思ったが、生憎時間が半端で休憩中。下山後のソバ・熱燗・馬刺しがサイコーなのだが・・・。平日で車は空いていた。須走からの新しい道のお陰で、時間も随分短縮された今回も好天に恵まれイイ山旅でした。皆様に感謝・多謝。

写真・下 今回の山菜・・・手前から独活（ウド）、落の臺、根曲がり竹、

行者大蒜（ニンニク）

おわり





<http://>

6月19日(土)雨・24/71

[返信・引用 編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月19日(土)05時48分55秒

つづき

大海川登山口着。車は数台。若い衆が4～5人キャンプをしていた。天気は良い。朝の冷気が気持ち良い。前回、2017年6月10日、我々もここでキャンプしたが、翌朝、車のフロント・ガラスが、ガチガチに凍っていた。6月でも油断は出来ない。その年は雪も多かった。

5時少し前出発。花を愛でつつ、ブナ巨木を縫うように上る。早朝でま

だ、春セミは鳴いていない。荒菅沢に着いて驚いた。雪が殆ど無いのだ。結局、アイゼンなしで渡れた。何回か来ているが、アイゼンなしは初めて。こんな年もあるのだろうか？

沢を渡り、黒沢尾根を上る。前回、雪に滑った方もいたのに、ここも全く雪が無かった。上り下り共、ある程度、雪があった方が楽だし、時間も掛からないのだが。。黒沢尾根は、結構、急。こんなに急だったかなと思った。岩場も多い。

樹林帯を抜けるとモーレツに暑くなる。白根葵（シラネアオイ）が現れた。行者大蒜（ニンニク）もあった。背後に妙高が大きい。左に荒々しい焼山が見えた。更に後ろには、頸城（くびき）の山々。

参加者の荷物が重そうなので持った。ピッケル・アイゼン・水2本。これで随分楽になり以後、順調になった。笹平で休憩。まだ、我々の前に誰も居ない。今日は、トップで上っている。なかなか、気分がよろしい。

一旦、少し下り本峰に向かう。毎回、白山一華（ハクサンイチゲ）が咲きそう笹平だが、やっぱり雪解けが早く、見ごろはギリギリだった。所が北アルプス北部に目を転じれば、白馬方面は真っ白だった。今年は、4月に入り低温が続き、高山は雪が続き積もった。温暖化だろうか、富士山・飛騨乗鞍も同じ現象と感じた。

荒菅沢源頭着。1977年5月、ここを滑降した連中は、相当な兵だった。斜度は、富士山頂上直下より急かもしれない。コルの白根葵・片栗が素晴らしく良かった。ただ、下界の「タンポポ??」が多く意外だった。

2000mで積雪が多い山だが、寒さに強いのだろうか??こんな高山で沢山のタンポポを見るのは初めて。これも温暖化の影響か。すぐ上に期待していた、「雪割草」が可憐に咲いていた。

・・・山地の湿った岩場に生育する[2]。高さは10 cmほどになる。葉はだ円形で根生し、幅1-1.5 cm、長さ3-10 cm、表面は緑色でしわが多く、ふちには波状のゆるい鋸歯があり、やや裏側に曲がる[2]。「また、葉の裏面は淡黄の粉がある」。花茎は高さ7-15 cmになり、その先に3-20個の淡い紅紫色の花をつける。花の径は10-14 mm。苞は線形になり、基部は袋状に膨らまない[2]。花期は5-6月・・・ネット

俗称的には、「三角草（みすみそう）」が、雪割草と呼ばれているが、

実際はそうでない。

三角草が春一番で咲くので、そのように呼ばれるだけで、本当の雪割草ではない。ま、そもそも花が違う。雪割草のポイントは、上記、ネットの「葉の裏が淡い黄色」である。確かめたら、事実、そのような色だった。

写真・上 白根葵（日本だけの固有種）
・中 雪割草
・下 片栗

つづく





6月18日(金)晴・23/62

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月18日(金)06時08分9秒

つづき

昨夜、別件で山田旅館から電話があったので、1977年時の旅館代金を正した。話では、いくら44年前でも、「4000-はあり得ない」朝食なしとか、何かあったのではないかという見解でした。

また、夕食は「食べきれないので、減らして欲しい」と言えば、対応しますとの事でした。夕食前、部屋でイッパイ。仲間が作った、新梅の「ショウユ漬け」がビアに美味しかった。「ショウユ漬け」は、珍しいが、なかなかの逸品。夕食後、もう一度、温泉に入る。今度は展望風呂。基本的に泉質は変わらない。

入浴後、談話室に新潟県連理事長のS氏が陣中見舞いに来ていた。S氏とは長い付き合い。白馬岳から親不知のいわゆる、「日本海オート・ルート」山岳スキー時、親不知に迎えに来て貰ったり。瑞牆山登山時は、拙宅に宿泊もした。新潟と静岡は、「フォッサマグナ」で結ばれている。と、交流が続いている。

家は有間川だから、距離は80km近くある。よく来てくれた。差し入れに、新潟名物の「笹寿司」を頂いた。この寿司は、大きさが手ごろで、酢飯なので、山の行動食に最適。とても美味しかった。私は飲み過ぎで疲れていたもので、早々に休んだ。

15日、4時前起床。両隣の仲間は、既に起きたようだ。温泉に入りたかったが、時間がなかった。朝食は弁当。小さな宿は、早朝対応してくれるが、大きな所はダメ。山の宿なのだから、そのくらいはヤレといつも思うが・・・。本来、朝食をシッカリ摂り、トイレを済ませ出発したい。

途中の山中で大キジ（大トイレ）は、自然保護の立場からも避けたい。私はこの日「快腸」で、朝食前に済ませた。弁当は、行動食に回し、夕食時いただいたゴハンで「お茶漬け」を流し込んだ。

つづく





6月17日(木)曇・23/70

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月16日(水)14時05分27秒

白馬・大雪溪で観察した主な花

ノビネチドリ（延根千鳥）・・・写真・1
ニリンソウ（二輪草）
サンカヨウ（山荷葉）
アケボノツツジ（曙躑躅）
キヌガサソウ（衣笠草）・・・写真・2
ショウジョウバカマ（猩々袴）
シラネアオイ（白根葵）・・・写真・3
エンレイソウ（延齡草）
タチツボスミレ（立坪堇）
ミズハウズキ（大葉溝酸漿）
など

車で小谷温泉・山田旅館に向かった。山田旅館は、14年振りだった。最初に利用したのは、1977年5月、30歳だった。その時は、単独で妙高山から雨飾山まで縦走した。

今回の宿泊費は、13300円。44年前は4000円だった。下記の記録にしっかり領収書があった。それにしても安い。当時は車ではなく電車・バスで往復。

記録では、帰路、小谷温泉8:00、長泉17:50とある。いやはや

大変な時代だった。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/999-10.pdf>

すぐ温泉に向かう。ここの温泉は、兎に角、素晴らしい。温度は、熱からず温からず。泉質は、ナトリウム・炭酸水系で入浴後は、サッパリしている。不思議な温泉だった。基本的に44年前と変わっていない。

ただ、旧館建屋は昔のままで、湯治湯風で部屋の回りは廊下が走る。音は筒抜けで、プライバシーはない。ま、旅行ではイヤな方も居るだろうが、登山なら問題はない。夕食は、多すぎて食べきれなかった。ジジ・ババは、減らして安くして貰った方が有難い。

つづく





6月16日(水)曇。23/70

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月16日(水)09時15分58秒

14日、15日は、

白馬・大雪溪、頸城（くびき）・雨飾山でした。
天気は曇り・晴れ。参加は5名。

14日、長泉発6:00。計画は、当初、15日は、飛騨・乗鞍岳予定だったが、天候がハッキリしないので、好天が予想される、頸城・雨飾山に変更した。

そんな関係で、14日は、白馬・大雪溪に向かった。猿倉は久しぶりだった。駐車場の車はたったの2台のみ。猿倉荘はまだ開いていない。林道を上る。天気は上空は霧が去来。気温は高い。

小日向山から年配者が数名降りて来た。登頂はしなかったようだ。林道脇には花が多かった。ただ、毎回見られた「ザゼンソウ」は、小さな株が1株のみ。既に終わったようだ。

林道終点から整備された歩道を上る。白馬尻小屋下、標高約1500mから雪溪が始まった。慣れない方が2名いるのでアイゼンを装着。上から4・5名降りて来た。アイゼンは履いていなかった。へっぴり腰で降りている。

雪渓を快適に上る。寒いくらいの気温だ。15分ほどで白馬尻小屋。夏は賑わう小屋だが、今日は誰もいなく静か。そもそも小屋はまだない。この小屋は冬は雪崩を避けるために、一旦、解体される。去年は、コロナで未営業。今年は、どうなるか??

ここで昼食。ビアを一本やった。いただいた「チクワ」「キュウリ」が美味しい。記念写真で沢筋に移動したら、上からの風がモーレツに寒かった。早々と下山。今日の宿、小谷温泉・山田旅館に移動した。

つづく





6月14日(月)雨・25/62

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月14日(月)03時37分21秒

土曜日は

富士山・ニッ塚でした。天気は晴れ・高温・風なし。登山者多し。午後から、御殿場の友人宅に用事があり、午前中、ニッ塚登山。11時過ぎ、ニッ塚頂上で休んでいると、下塚方面から男性が来た。男性は、私の顔を見るなり、「ゴトーさんだ」「ゴトーさん」と叫んだ。私は男性が誰だか分からなかった。

恐る恐る、以前、ここで会った沼津の方ですか??と聞いたら、「井上のアキヤマ」ですと答えた。「井上」で、やっと男性が誰だか分かった。

「井上」とは、我が山の会の仲間だった。「アキヤマ」とは、以前、私が主宰していた、「さわやかハイキング」の「秋山さん」で、「井上」と同じ会社だった。

しかし、容姿がちょっと違った。聞けば、5kg痩せたで、頬はこけ、全く誰だか分からなかった。この場合、最初に自身を名乗るべきだろう。その方が分かり易い。

その後、女性が二名上って来た。一緒らしい。女性遠藤・秋山(?)さんだった。遠藤さんは、井上君から山の情報を得て、HPを見ているらしい。

会社も一緒だった。リップ・サービスだろうが、「ゴトーさんに会えて
光栄」といった。先日の富士山スキー・先週の富士登山の話で、しばし
盛り上がった。

頂上で一緒に写真を撮ったりして別れた。意外な場所で、意外な方に
会った一日だった。

(明日、日記休みます)



6月12日(土)晴・25/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月11日(金)18時07分31秒

つづき

午後の熱気の中、泉龍寺に向かう。
遅れた女子を途中で待つ。Hさんが、何やら手にしている。
聞けば、途中で畑仕事のオジサンに貰った「プラム」みたいのを持っていた。

「食べて」と言われたが、案外、酸っぱいので躊躇した。ところが仲間が食べたら「甘くて美味しい」という。では、頂きましょうとHさんをお願いした。所が最初、「上げない」と意地られたが、結局、頂いた。確かに甘くて美味しかった。疲れた体に、染み入りました。ありがとう・・・。

今日は何だか頂き物が多い日だ。この後、決定的な頂き物をするようになる。狩野川公園から、小一時間で寺着。疲労困憊だった。境内に上がって行こうとすると、バスで先行した女子が騒いでいる。

何かと思ったら、境内に沢山実っていた梅を大量に頂いたようだ。住職は、「特に必要なし」で、積極的に採ってくれたという。Kに至っては、「10kg」くらいゲットしたのではないか??!!ま、バスで先行した「ご利益」って所か。(´艸`)

ということで、今回の巡礼は、「ビワ・金豆(きんず・キンカン)・プラム・ウメ」と、貰い物が多い(お接待??!!)旅でした。超暑い中の巡礼。これも、仏様のご慈悲と考えましょう。お疲れ様でした。

おわり





6月11日(金)晴・24/61

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月11日(金)06時38分27秒

つづき

下白岩から大見川に沿って修善寺に下る。5番・玉洞院まで約8kmと長い。11時を回り気温はグングンと上がった。この日、三島では31.7度だった。6月にしては暑すぎる。

柏久保の「農の駅」で休憩を楽しみにしていた会員が多かったようだが、時間に追われ通過。ソフトクリームはお預けとなった。牧之郷駅手前で昼食時間となりバスで狩野川公園に向かい1時間ランチタイム。狩野川の脇で寒いくらい、涼しかった。

午後は、牧之郷駅手前で右折して寺に向かう。路傍に「極小のキンカン」が見事に実っていた。小指の頭ほどの大きさ。余り見たことがない。

ネットを見たらあった。・・・ウオーキングの帰り友のお庭拝見、驚いたことに極小の蜜柑らしき盆栽、実は鈴なりでした。友に果実の直径が1センチほどの極矮性みかんのキンズ（金豆）です。小さいという意味で豆というのでしょうか食べられるのかな？・・・ネット

2～3粒頂いたが、物凄く甘く美味しかった。これは逸品ですね。玉洞院はコロナがあり外でお勤め。住職の話では、最近は団体の巡礼は珍しいとのこと。そもそも巡礼に来る者が少ないようだ。寺を下ると道路脇で、オバさま方が、赤シソを絞っていた。聞けば、梅を漬けてボランティアの資金にするとのこと。ご苦労様です。

牧之郷から狩野川左岸を歩き大仁橋東の「水晶山（標高60m）」に上る。山名は、かつて水晶が採れたからとのこと。頂上に「神武天皇遥拝所」とあった。眼下に狩野川が涼しげに流れていた。下って狩野川堤防を歩くと、堤防の草刈り作業。堤防が大きいので、専用の機械でやっていた。

狩野川公園脇から、熊坂集落に向かう。午後の余りの暑さに、何人かバスの人となった。モーレツな熱気の中、7番・泉龍寺までダラダラ上りが続いた。

つづく





6月10日(木)晴・24/50

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月10日(木)06時42分4秒

昨日は

6月度・伊豆巡礼でした。

順路は、中伊豆・宮上地先～3番・最勝院～4番・城富院～5番・玉洞院～7番・泉龍寺。天気＝晴れ・猛暑、参加＝11名、距離＝約18km。

前々回、最終の中伊豆・宮上地先から出発。天気は快晴・高温。ただ、湿度は低く、朝方は案外、爽やか。すぐ最勝院着。寺は立派で大きい。この辺りの寺の総元締め。

本堂でお勤め。大きな本堂にお経が流れた。前々回分の集合写真を済ませ4番に向かう。山門の近くに「大きな鳥」がいたとの情報だが、すぐ、何処かに行ってしまったという。フクロウだろうか??

大見川を渡り、八幡（はつま）地区を通過。この地名は、読めない。4番・城富院着。ちょっと高台で渡る風が快い。住職は若い方だが、体格が立派。

寺を辞し裏街道を修善寺に下る。上白岩地区を歩いていたら民家から大声。「そこのビワ、取ってもイイよ」だった。見れば、道端に大きなビワ木。たわわに実っていた。皆でワラワラ頂く。小粒だが、まあまあ美味しかった。

この先の断崖で、「下白岩のレピドシクリナ化石」を見学。ジオ・ガイド資格があるTさんが教え説明してくれた。ただ、化石は見られなかった。有名になり、盗掘が多いという。

つづく





6月8日(火)晴・23/67

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月8日(火)05時53分17秒

つづき

五合目駐車場発6:32。気温は低く強い風が吹いていた。予報は、風速1mだったのに……。やや厚手のズボンに着替え、上っ張りも一枚余分に着込んだ。

今回、登山者は少なかった。悪天候予報だったからか。ま、スキー・シーズンは、終わったが……。新六合～六合～七合と歩を進める。雪は、前回5月15日より少なく、登山道は、殆どなかった。

七合から八合は厳しかった。鉛を引きずっているようだった。今回は、Kが不参加だったが、後ろから引っ張っているかのようだ。タベは、良く寝れなかった。やや睡眠不足。

やっぱり、前日、五合目に泊まるのが理想だ。富士山登山の記録を2012年・65歳から残してある。

データバンク =富士山山頂

●2021年06月05日(土)日帰り・男3、女1・74歳4ヶ月・
風強い・雪普通

五合目発6:32～九合五勺11:14～(参考=頂上2名・12:44)九合五勺まで=4時間42分、頂上まで=6時間12分

- 2021年05月15日（土）日帰り・男2、女1・74歳3ヶ月
 ・スキー・4K
 五合目発6：46～九合五勺11：14
 九合五勺まで＝4時間32分

- 2020年 記録なし

- 2019年06月14日（金）五合目泊・男3（1名雪不慣れ）女1・
 上部やや風あり・雪多し 72歳3ヶ月
 五合目発5：30～九合五勺9：34～ブル道～頂上10：42～五
 合目13：25
 上り＝5時間12分、下り＝2時間43分

- 2019年05月26日（日）日帰り・男1、女1・無風快晴高温・
 スキー
 五合目発6：30～九合五勺11：51 九合五勺まで＝5時間
 21分

- 2018年05月12日（土）日帰り・単独 71歳3ヶ月
 上り＝5時間49分、下り＝2時間30分
 五合目発7：11～八合9：43～九合五勺11：32～ブル道～引
 き返す～再登12：00～富士宮頂上12：40～剣ヶ峰13：00
 ～五合目15：30

- 2017年05月20日（土）男2、女1・70歳3ヶ月
 上り＝ 5時間14分、下り＝2時間27分

- 2016年05月08日（日）単独・スキーなし・69歳3ヶ月
 上り＝5時間29分、下り＝2時間30分

- 2015年05月27日（水）男2・女1名・68歳
 上り＝5時間25分、下り＝1時間56分

- 2015年05月17日（日）単独・スキーなし・68歳
 上り＝5時間1分、下り＝1時間48分

- 2014年06月29日（日）日帰り 2名（8合から1名）67歳
 上り＝4時間33分、下り＝1時間53分

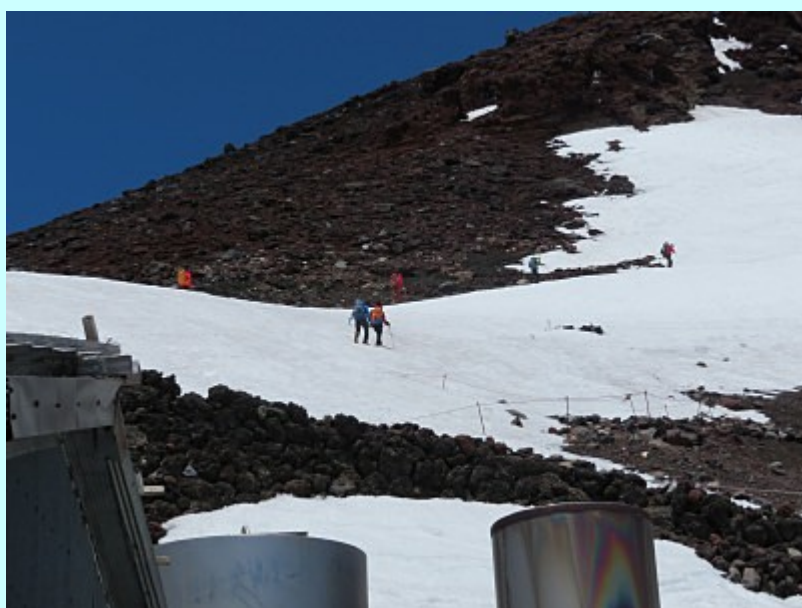
- 2014年05月17日（土）日帰り 男1、女1・67歳
- 2014年05月04日（日）日帰り 男3 スキー・67歳
- 2013年06月09日（男2、女1＝雪不慣れ）・66歳
上り＝4時間45分、下り＝2時間40分
- 2012年05月23日（雪多し男2、女1＝雪不慣れ）・65歳
上り＝5時間13分、下り＝3時間18分
- 2012年05月19日（男3＝スキー背負って）・65歳
上り＝5時間50分、下り＝1時間30分（スキー滑降）

ちんたら登山は、誰でも・何処でも・いつでも出来る。真に厳しい登山こそ、登山の本道・真髄である。四国お遍路などを通じるものがある。

出来なくなったら、無理をすることはないが、それが出来る可能性があるうちは、追求・積極果敢に攻める。あと6年、80歳まで頑張ろう!!!

つづく（明日、伊豆巡礼で休みます）





6月7日(月)晴・23/75

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月7日(月)04時41分31秒

土曜日は

富士山でした。先日は、スキーでしたが、今回は登山。天気は晴れ・強風。富士宮五合目から往復。参加者4名。

この時期、上る訳(理由)がある。勿論、開山前で登山者が少ない時期狙いはある。

最大の訳は、下山にある。富士山は、上るのは比較的楽。一本調子の道だが、我慢して上っていれば、意外と高度は稼げる。最大の難所は、「下

り」にある。あのゴロタ道を疲れた体で下るのは最悪。そこで出てくるのが、「雪溪の下降」

今の時期だと、富士宮頂上から、日沢を七合目まで、雪溪を利用出来る。残雪期の雪溪の下降は、「快適極まりない」。

足場を見極めることなく、自由に大胆に「ザックザック」下る。中には、「尻制動」(シリセード)」で滑る輩もいる。しかし、あれは「恰好(滑降)が悪い」私はやらない。

そんな訳で今回は、「何故、今、富士登山か」を説明致しました。
(´艸`)

つづく





6月4日(金)雨・23/67

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年6月4日(金)05時49分27秒

つづき

4日目＝8月1日(晴にち曇)

高度順化でツール・ロンド(3792m)を目指したが、ミディからエルブノネルのロープウェイが強風で運休。かわりに、モン・ブラン・タ・キュル(4248m)に変更。

初めてミディのロープ・ウェイに乗る。富士山山頂とほぼ同じ標高まで上るロープウェイは、最後が垂直で、「よく作ったものだ」と驚いた。

上界は一面の雲海で素晴らしい大展望だった。遂にレビュファやボナッテイが活躍した舞台にやって来たのだ。バアレ・ブラッシュ氷河(白い谷＝ここはその後、2006/4/20、スキーで滑降する)の源頭を上って行く。所々に大きなクレバスがパックリ口を開けている。

参加の女子Mが不調なので途中でお終い。YとNには、モンブラン・タキュルまで上って貰った。ただ、二人はサングラスが不備で、夜半、「雪盲」で目が痛いと言った。

5日目＝8月2日(晴)

両名の「雪盲」は、Nが酷かったが、モン・ブランに出発。天気は良かった。

ケーブル最終駅から頂上まで、標高差は2435mある。ちなみに、富士山御殿場口二合目から頂上まで、2326mとほぼ同じ。

宿泊するグーテ小屋まで標高差は約1400m。この標高差も富士山・富士宮五合目から頂上までとほぼ同じ。妙に符合する。ま、絶対標高は違うが、富士山は、イイ訓練が出来る山。

小屋は富士山とほぼ同標高。富士山同様、物凄く混むので早く上り、予約を取る

必要がある。部屋が取れない場合は、食堂・廊下などで寝る。日本の小屋と同じだ。小屋には14:00前着。5時間掛かった。まあまあタイムだった。ビアをやったりユッタリ過ごす。外国の美しい女性と交流を図るが、言葉が途中で詰まって、残念な状態だった。

つづく

写真・上=バアレ・ブラッシュ氷河にて。バックは、モン・ブラン





6月3日(木)晴・22/56

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月3日(木)06時28分10秒

つづき

1日目・7/29(晴)成田に前泊。

2日目・7/30(晴)

10時、フライト。ソウル～フランクフルト～チューリッヒ21:37ーホテル「ポーリー」(泊)

ヒコーキは、ソウルから最新型の747。翼の先がピッと折れている。広大なシベリア大地を飛んでフランクフルト着。兎に角、長かった。空港で「ドイツのビア」をやった。

スイスで入国は、フリーパスだから、入国スタンプはない。ただ、仲間がヒコーキにパスポートを忘れ、待っている間、私だけスタンプを貰った。ホテルでビアをやって、バタン。キュー～。

3日目・7/31(雨)

チューリッヒの朝は、路面電車の「ゴー・ゴー」で明けた。5時頃から動いている。バスでシャモニに移動。天気は良くなった。何処かの峠で停車。白銀のアルプスが見えて、皆で歓声を上げる。シャモニに着いて、ロベール・キャンプ場に向かう。また雨が降って来た。キャンピング・カーが多かった。BC(ベース・キャン

プ) は、ブルー・シートで雨は問題なかった。ビア・焼肉で、BC
開所祝いの乾杯！！！！

写真・上 バス移動中

- ・中 バス移動中。ノッポは、ドライバー。
- ・下 シャモニ・ロジェールキャンプ場

つづく



6月2日(水)晴・23/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月2日(水)05時26分9秒

ワクチンの副作用は特にナシ。ただ、注射跡の上腕が少し痛い。接種は、何だかんだで約1時間。極めて円滑だった。

つづき

大きな山（遠征）は、1. 時間（ヒマ）2, 資金（お金）3. 体力（馬力）が必要。この時の日程は、7/29～8/15だった。約2週間。お盆休みを入れても、残りは有給休暇が必要。

会社に休暇願を提出したが、意外にもOKだった。ただ、この場合、上司はOKでも、一番「割を食うのは」同僚で、私の仕事を負担しなければならない。そんな意味では、同僚に一番感謝しなければならない。

社長は、事実かどうか不明だが、「どうせそういう奴は、止めても行くだろう」とOKしたという。ただ、条件があって、「ただし、今回のみ」だった。しかし、実際は、数年後、またヒマラヤに出かけた。

資金は当然少ない。予算はギリギリ詰めた。モン・ブラン、マッターホルン、モンテ・ローザ、ミディ～プラン縦走、など全てガイドレス（なし）。宿泊はシャモニ・ツエルマットは全てキャンプ。当然、荷物は多い。米・味噌・醤油・塩などなど持参で約30kg。それに手荷物もある。それでも、当時、ヒコーキは乗せてくれた。イイ時代だった。

体力・馬力は全く問題なかった。全盛期のバリバリの現役。モン・ブランも快適だった。ただ、同行の女子は、全体的に不調だった。モンテ・ローザでは、下山途中、氷河に迷い込むアクシデントがあった。

写真・上＝三島駅

・下＝渡航機内

つづく





6月1日(火)晴・22/58

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年6月1日(火)04時57分2秒

今日は、第一回・ワクチン接種です。

1991年8月3日、私と仲間4名は、快晴のヨーロッパ・アルプスのモンブラン(4807m)頂上にいた。

今年は、あれから丁度30年になる。私は44歳だった。記録は下記に詳しい。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/1-17.pdf>

昔の岳人(山屋)の夢・憧憬は、「1. 処女峰(未踏峰)に登頂 2. 氷河を歩く 3. 山の本を出す」だった。

1. は、かなり難しい。 2. は、日本では極めて小規模な氷河は存在するが、ここでいうのは、海外登山になる。氷河がある山に上りたいである。氷河がある山で、一番行きやすいのは何処か?? (山の本は、その後、出版)

やっぱり、ヨーロッパ・アルプスだろう。30年以前は、海外渡航は外貨の制限があり、なかなか困難だった。新潟からナホトカ経由でシベリア鉄道にてヨーロッパ・アルプスに上った諸先輩は多かった。

30年前は、それ程ではないにしても、まだまだ、海外登山は、夢の夢、そのまた夢だった。しかし、イイ登山をするに、定年になってからは、体は既に「賞味期限」を過ぎている。

どうせ行くなら、バリバリの現役中に行きたい。山行後の反省会で飲むたびに、その気持ちは、どんどん膨らんで行った。

写真上＝エギュー・デュ・ミデイ連峰

中＝連峰縦走

下＝連峰からメールド・グラス氷河を俯瞰

つづく





5月31日(月)晴・22/51

[返信](#)・[引用](#) [編](#)

[集](#) [済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年5月31日(月)05時15分43秒

つづき

山神社は、北口本宮・浅間神社のすぐ近く。なのに、平日でも凄く賑わっていた。不思議。正式には、「新屋山神社」。地元では、「ヤマノカミサマ」と呼んでいるという。祭神は、大山祇命、天照皇大神、木花開耶姫命。

神社を後にして、浅間神社に向かう。途中、民家に見慣れない花があった。Sさんがスマホで検索したら、「藪一華」(ヤブイチゲ)。確かに葉は、一華の感じだった。花も大きくイイ。

ただ、名前が気の毒。何方が命名したか(牧野博士??)「藪」は、ないのではないか。せめて、「野一華」とか。ネットでは、外来種とあった。それゆえ、冷遇か。

浅間神社着。宮司に説明を受ける。早口で折角の説明も素通り。いつも1時間くらい受けるが、30分で半分だった。まだ、火祭りの神輿とか、木造では日本一大きい鳥居とか、いろいろ、あるが……。印象に残ったのは、お辞儀には、三種類あること。神様には、90度腰を折る、だった。

種類は、①会釈(角度は15度)②敬礼(角度は30度)③最敬礼(角度は45度~90度)の3種類があるという。つまり、最敬礼である。また、拍手も、左右合わせず、右は手の平までずらして打った後、合わせると

教えられた。これも意味ある所作だ。

神社から吉田の街を西に向かう。午後の日差しが暑かった。神社で長く動かなかったので、調子が出ない。途中、富士急ハイランドのジェット・コースターを仰ぐ。1台やって来たが、コロナ禍であったが、楽しんでいる方もいた。コースターは、「年齢制限」がある。「ドドンパ」は、64歳まで。私は対象外だ。(´艸`)

道を2回間違ったり、ようやく県立河口湖高校(3K)着。時間は16時近くなった。本日はここまでとした。河口湖まで、あと3km。ま、無理をすることはない。バスを呼んで帰着。今回もよく歩いた。皆様、本当にお元気！！

おわり





5月28日(金)晴・25/70

[返信](#)・[引用](#) [編集](#)
[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年5月27日(木)17時09分22秒

つづき

東海自然歩道から、R139に出た。
途端に車が多くなった。しばらく歩き、富士吉田・道の駅着。

まだ新しくキレイ。ここで昼食と休憩。美味しい「富士山ビール」、
山の店「モン・ベル」がある。なかなか、イイ道の駅だ。

富士山ビールをいただいた。ピルスとデュンケル。味は良く分からなかった。店の前のテーブルで昼食。天気は良く、空気は乾いているので、極めて快適。食後、「モン・ベル」を覗く。品揃えが多かった。私は、モンベルのウォーキング・シューズの靴底の減りが早いので相談した。

聞けば、ウォーキング・シューズは、滑り難い柔らかいゴムを使っている
ので減りが速いとのことだった。午後は、裏山の「小倉山」経由で浅間神社に向かう。夏空が広がり陽光が溢れていた。

山は賑やかだった。「ギュー～・ギュー～・ギャ・ギャ」と何か鳴いている。
知らない方は、「カエル」と思うが、これは「ハルセミ」だった。土曜日、丹沢で鳴いていなかった。3～4日で急に目覚めたのだろうか？

小倉山は渡る風が気持ちよかった。珍しい「ギンラン」が多く咲いていた。
簡単に上り、下山。山麓の「山神社」に寄る。大きな神社でないが、

本殿は立派で巫女さんもいた。参拝者も多い。凄い「田舎力」だ。

つづく



5月27日(木)雨・22/59

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年5月27日(木)06時40分38秒

昨日は、

5月度・富士山一周ウォーキングでした。

コースは、最初、バスで山中湖北岸道に行き、残雪の富士山を鑑賞。
その後、山中湖・花の都公園発8:29ーハリモミ純林ー浅池9:04
ー忍野八海9:47ー桂川沿いの歩道ー森の中の水族館10:29ー東
海自然歩道ーR139ー富士吉田・道の駅11:19~12:45ー小
倉山13:06ー富士山北口・浅間神社13:55~14:41ー河口
湖高校先16:00ー三島

天気=晴れ涼しい、距離=約18km、参加=17名

先月、山中湖北岸を歩いたが、富士山は、生憎、雲の中だった。
今回、朝、富士山はバッチリだったので、バスで北岸を走り鑑賞。
この時期としては、やや残雪は少ない感じだったが、皆さんは喜んでく
れた。

花の都公園から出発。辺りに群落する「ハリモミ」を鑑賞。

・・・モミは、日本では、モミ、ウラジロモミ、シラビソ、オオシラビ
ソ、トドマツの5種類が自生します。ハリモミ(学名:Picea torano)
は、マツ科トウヒ属の常緑針葉樹である。特徴は、樹形や葉の形状がモ
ミ属に似るが、葉先が針のように尖っているためこの名がある。日本特
産種で、福島県から鹿児島県の高隈山までの冷温帯に分布する。太平洋
側に多く、日本海側の多雪地にはほとんど分布しない。日本のトウヒ属
中もっとも低高度・南方まで分布する種類である・・・(ネット)

歩いていると、車から声を掛けられた。山仲間だった。4名で忍野の裏
山の杓子山に上るといっていた。ま、皆さんも元気イッパイである。

その後、「浅池」に寄る。名前の通り、深くない池だったが、キレイな
水面が広がっていた。富士山が良かったが、「電柱」が邪魔だった。
ルピナスが多い道を辿り、忍野八海着。余りに閑散とし驚いた。土産物
のジイさんもヒマそうだった。

忍野の集落の家にお飾りがあった。これは、「ヒイチー」と呼ばれるも
ので、祭の後、各家庭で下げ、請け魔除けとしているようだ。

ここでお目当てのマロン・ソフトクリームが欲しかった、女子軍だった

が、無かったようだ。桂川沿いの、イイ感じも歩道を進む。釣り人が数人頑張っていた。聞けば、「朝は釣れたが、今はダメ」とのこと。何処かで「カッコウ」が鳴いていた。「ああ、夏だな〜」と思わずうなづく。

山梨県立「森の中の水族館」前を通過し、東海自然歩道をR139に向かう。木漏れ日が爽やかな歩道だった。

つづく



5月25日(火)曇・22/67

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年5月25日(火)05時30分58秒

つづき

頂上は、寒かった。とても、ビアをやる気温でなかった。あまりに寒いので、カップをはおり、フィードを被った。気温は、10度前後か。

そんな中、半そで・半ズボンの中年男女がやって来た。聞けば、山ランナーだった。「寒くない??」に、動いていれば、寒くないとのこと。ランナーだが、やっぱり花が目的の様だった。

そこそこに頂上を辞す。東峰から林道に下り、山市場分岐に至る。ここから下山のバリエーションが始まる。まずは、標高点(・)867mを目指す。巻道があったので巻いた。

北のコルに出て今度は、・843mに着く。ピークから、ほぼ90度東に折れ、・648mに向かう。腰くらいのササがあった。最近では珍しい。しかし下は、人工林ですぐなくなった。

・648から平山集落の神社を目指す。尾根がハッキリせず、やや苦戦。西に行くと崖があるので注意。足元は凄い量のフカフカの落ち葉だった。

落ち葉は、昨日の雨で、中はシットリしていた。結果的に、ここで「事件」が発生した。

ガンガン下り、鹿柵を潜り、平山集落に出た。茶畑が広がる日当たりの良い集落。若い夫婦と歓談。ただ、二人は「サンショウバラ」を知らなかった。何処か田舎臭い方でなかった。都会から来た方か??

河内川の橋の脇に梅の木があり、女子が少々いた。その時、後ろのIとHが、何やら騒いでいる。聞けば「足・首にヒルがいた」で、Iの足は血だらけだった。

Kも足を調べたら、やられていた。しかも、靴の中には、まだヒルがいた。ワーワー・ギャーギャー大騒ぎである。最近の山は、結果的に温暖化の影響だろうか、ヒル・ダニ・ブヨなどが多い。

Gと私は、「スパッツ」を履いていたので、「被害」はなかった。それにしてもこの時期としては、ちと早いか。ヒルに吸血されると血が止ま

らない。温泉後もダラダラ流れ、始末が悪かった。

裾野に着き、Gベースで直会。花がなくヒルの山でしたが、充実した一日でした。皆様に感謝です。

・・・人は出血すると、フィブリンという血液を凝固させる物質が働き、かさぶたとなって血を止める。しかし、ヤマビルが吸血中に出す「ヒルジン」という物質はフィブリンの働きを妨げるので、「少なくとも1、2時間は出血し続けてだらだらと血が流れる」（谷主任研究員）。吸血されている間は、蚊に刺された時のように気付くケースはほとんどないという・・・

(ネット)





5月24日(月)晴・21/68

[返信](#)・[引用](#) [編集](#)
[集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年5月24日(月)06時40分22秒

昨日は、

西丹沢・不老山(928)でした。コースは、バリエーションで、山市場～

ヒウチ沢～東尾根～林道～一般道～不老山～一般道～山市場分岐～・867m峰

～・648峰～平山～山市場。

天気＝曇り～晴れ、標高差＝728m、参加＝5名。

「サンショウバラ」観察で不老山を計画。花は例年6月初旬に開花する。4月から低温が続いたので、開花は微妙だった。

山市場の某所に駐車し7:39出発。眼下でオジサンが、田んぼの「代掻き」をしていた。聞けば、やっぱり最後は「手作業」といった。河内川の吊り橋を渡り、ヒウチ沢を越えて、尾根に取り付く。天気は曇りで蒸し暑かった。人工林が続いた。湿った火山礫のような砂地を上る。

・643m峰から・813m峰に至る。北に50m程下り、上り返して荒れた林道に出る。ここから一般道を辿り不老山着。期待の「サンショウバラ」は、まったく咲いていなかった。まだまだ、固い蕾状態だった。

不老山は、東峰と西峰からなる。東峰は神奈川県で展望はない。西峰は静岡県で晴れていれば、富士山の展望がある。西峰に向かい、花は期待

で出来ないので、ちょっと早いが昼食にした。

この日も寒くて、手袋が必要だった。早く下って温泉に入りたい心境だった。それでも、男子はビアを2本やった。やっぱり「卑しいかな」??!!

つづく



5月21日(金)雨・23/80

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年5月21日(金)05時58分8秒

富士山

で、初めてのスキーは、1975年2月11日だった。
今から46年前。28歳だった。

当時の板は、2mくらいの長いもの。沼津のスポーツ店「ナガハシ」
(??)の抽選会で当たったもの。
ビンディングは、ジルブレッターのワイヤー式で、セフティはない。
従って、転倒時、解放されないので、とても危険だった。

シールは、糊で貼るものでなく、左右から紐で縛った。従って、雪が
隙間に入り、いろいろ問題だった。靴は、ヘンケの革登山靴。登山靴
は、足首が固定されないので、エッジングが利かなかった。

今から考えると、当時の装備でよく「滑った」と思う。むしろ、「滑る」
というより、「歩く」だったか。

当時の富士山ゲレンデは、御殿場スキー場と呼ばれ、ニッ塚にリフトが
あった。しかし、リフトは火山礫上の「砂上の楼閣」で、春の雪代(ゆ
きしろ・火山礫を含んだ雪崩・土石流)で、しばし倒壊し、1990年
廃止となった。

<http://old-skier.seesaa.net/article/365915905.html>

当時、車は持っていなかった。富士山まで、どうして行ったか、記憶・
記録になかった。





5月20日(木)曇・23/79

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年5月20日(木)05時56分20秒

土曜日、

富士山で外人さんが、標高3000m以上で、上半身ハダカ、また、半ズボンの方がいた。まだ夏ではない。

気温は零下でないが、標高3000mは、下界の温度に対して、約18度低い。つまり、御殿場で気温が18度なら、3000mは丁度、0度くらい。

それに風があると、体感温度は、風速1mで-1度感じるという。幸い

当日はほとんど風はなかった。それにしてもである、外人さんの薄着は、山以外でも結構見られるが、一体「体温が我々より高い」のだろうか？？

また、科学的根拠はあるか。一般的に女性は男性より体温が低いという。我が娘も若いころ、11月ころ「しもやけ」が出来ていた。先日も、我が家に来て、「寒いので暖房を入れて」だった。

個人差もあるだろうが、ちょっと「異常」か。外人さん（この表現は正確でないが）の場合、食べるものの違いも、あるかも知れない。

体温が高く、寒さを余り感じなければ、装備を減らすことが出来る。一度、その辺を聞いてみたいものですね。それにしても「変な」外人さんでした。（`艸`）





5月19日(水)曇・23/72

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年5月19日(水)05時58分49秒

つづき

頂上に未練はあったが滑降に移る。体はガタガタで、「新4K」だった。

1. 厳しい 2. かったるい 3. 勘弁して 4. 帰りたい

上から3名滑って来た。キレイなイイ滑りだった。ビンディングの調子が悪く、靴のセットに手間が掛かった。

私がトップで飛び込む。傾斜はマアマアあるが、雪が腐っているので問題はない。雪面はそれ程荒れていない。イイ感じで落ちていく。上りの「新4K」が報われる瞬間だった。

山岳スキーは、兎に角、「99%地獄、1%天国」。それが分かっているけど毎年やってくる。その心境は何なのか。

仲間もイイ感じで落ちて行く。姉御も頑張る。転倒もなく安定した滑り。「ギネスの滑り」である。I君は2年半？振りというが、下手ではない。歓喜の滑りで落ちて行く。

日本の最高地での最高級のスキー。これは経験した者でなければ、分からない「痺れる」時間だ。日沢？を滑り、隣の沢に移動。ここは少し歩く。移動して六合五勺まで最後の滑り。

雪はやや荒れていた。疲れも相まって今回は2回転倒した。以前は絶対転倒はなかったが、最近はずっと転ぶ。ターン後、大腿部の制御が弱い。疲れから来るものと思われる。

雪渓の末端まで完全に滑り終了。いい滑降だった。ここからスキーを背負って夏道を歩く。雪が多ければ、五合目まで滑れるが、スキー後の歩きは辛い。埃にまみれ駐車場着。

飲まなかったビアで喉を潤す。見上げる富士山は、紺碧の空をバックに凜と佇立している。富士山は我々にとって、いや、日本人にとって、「上(かみ)」の山だ。

おわり





5月18日(火)晴・24/75

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2021年5月18日(火)06時06分51秒

つづき

外人に囲まれて更に上って行く。相変わらず、天気は良い。霧も出ない。どうやら、今日は、「4K」のようだ。だんだん、上りが厳しくなる。スピードは上がらない。上げると、腿・腰に来る。

八合までが急で特に厳しい。標高は、既に3000mを越え、3250mだった。最近、鼻呼吸が話題だが、苦しくなると、鼻呼吸でなく、口呼吸になってしまう。他の二人は問題ないというが、私は構造が違うのだろうか。いずれにしても、有名なヒマラヤニストも、鼻呼吸といていた。

八合から九合、九合から九合五勺と進む。ほとんど「牛歩」の如くだ。周りの人たちも似たようなものだった。九合五勺で標高は約3550m。記録を見たら、2019年6月の富士山頂以降、3000m以上の山に上っていなかった。

薄い空気と重荷と高高度で体は悲鳴を上げていた。九合五勺から上は雪がベッタリと付いていた。この状態は最近では珍しい。いつも富士宮頂上の鳥居下は岩が出ていることが多い。今年は、4月から低温が続き、降雪が多かったようだ。今回は、頂上からスッキリ滑降するチャンスだった。

しかし、今回は九合五勺までの計画だったし、そもそも、体が既に「ダメ」だった。小屋の屋根で休んでいると、下で交流した、八王子の二人が上って来た。聞けば「お鉢を滑りたい」と頂上に向かった。元気が良い。年齢差を感じた。

それと遅くなると雪がズタズタで最悪になる。たまには、イイ雪で滑りたい。ここで昼食を済ませ滑降に移った。

つづく



5月17日(月)雨・22/73

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年5月17日(月)06時01分44秒

もう梅雨ですか。早いね～！！土曜日はラスト・チャンスだった。

土曜日は、富士山山岳スキーでした。コースは、富士宮口五合目～八合目～九合五勺。天気＝晴れ、標高差＝1200m、参加者＝3名。

去年はコロナで滑れなかった富士山に行く。天気は、下界は曇り(雲海)だが、上界は好天だった。五合目発6:46。スキーは背負って行く。仰ぐ富士山の雪は例年のごとく、六合五勺までだった。

新六合でベンチに座っていた八王子の方2名と会話。年配の方は、私より9歳若い63歳、相方は60歳だった。私の年齢を聞いて、驚いていた。しかし、さらに驚くのは、この日、約100名くらいの登山者がいたが、熟年の女性は一人もいなかった。

熟年女性が重いスキーを背負って、空気の薄い、標高差1200mを上り、滑る。これは、「ギネス・ブック」に申請したほうがよいだらう。その点、我がKは、稀有な存在である。八王子の二人は、頂上まで行きたいといっていた。

この日は外人さんが多かった。軍関係・埼玉のガイド登山とかだった。中に上半身ハダカの男、半ズボンの男がいた。確かにモーレツに寒くはないが、上半身ハダカはありえない。体温が高いのだろうか？

それと連中は、よく喋る。そしてよく笑う。実に賑やか。男同士で、延々と喋っている。そんなに話題があるのかと感心してしまう。ただ、話の内容がまったく分からないのが残念。

天気は良かった。風もない。富士山スキーの場合は、「4K」が必要。

1. 好天 2. 高温 3. 風がない 4. 霧が出ない。

中でも「霧」が一番のポイント。スキーの場合、スピードが速いので瞬間の判断が肝心。霧で先が読めないと、スキーにならない。過去、霧で何回か苦労している。霧で僅かの距離も進めない・下れないことがある。

つづく



5月14日(金)晴・21/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年5月14日(金)06時23分21秒

つづき

昼寝をして元気が復活。旧R1から林道を辿り、函南原生林に向かう。この林道は、一昨年、台風19号で大規模な土砂崩れがあり、通行に難儀をした。

上の県道も道路が寸断され、しばらく通行不能だった。お陰という訳でもないが、箱根稜線を迂回して、新しい発見があった。時間があれば、車道より稜線のが良い。

原生林を上り、県道に出た。原生林の上りは皆嫌がるが、私は自然道で好きだ。むしろ、ここから十国峠レストハウスまでの車道、そしてその先の日金山の急登が嫌だ。

県道を進む。道は穏やかに下っているので楽だが、車・バイクが多い。特にバイクは、カーブでギリギリ道路脇を攻めてくるので危険極まりない。また、何処かのおバカが、ホンダのスポーツカーで、爆音を上げ、行ったり来たりで「石でも投げたく」なった。(´艸`)

それでも、県道を進めば、十国峠のケーブルカーが少しずつ近くなる。県道は7km近くあるから半端でない。レストハウスでトイレを済ませ、最後の上り。皆さんも、喘ぎ喘ぎ上り終了。時間は、15:49。休憩時間を除き、実働7時間半掛かった。やっぱり、箱根は最大級の場所だった。

しかし、皆さんの顔は、満足感で溢れていた。伊豆巡礼、最大の難所が無事終わり、感謝でした。

おわり





5月13日(木)雨・20/60

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年5月13日(木)06時35分44秒

昨日は、

5月度・伊豆巡礼でした。巡路は、21番・龍澤寺～22番・宗福寺～23番・東光寺入口。天気＝晴れ・涼しい。参加＝12名。距離＝22km。

伊豆巡礼、最大・最難関の「箱根越え」を実施。伊豆には、「箱根越え」「戸田峠越え」「宝蔵院越え」が三大難所。四国も難所が多いが、伊豆も例外でない。

本来なら、先月続きの中伊豆だったが、近く予定の「箱根越え」が、暑い時期と重なるので、少しでも涼しいうちで、前倒し実施した。

三島・龍澤寺7：38発。標高は約50m。目的の東光寺入り口は、約750m。従って、標高差は、約700m。加えて距離は、20km以上。標高差は、「戸田峠越え」と変わらないが、何ととっても距離が長い。

龍澤寺から富士見台～加茂団地～山田中学校を通過し、山田川から塚原新田の22番・宗福寺着。住職は、不在と聞いていたが居らした。外でお勤め後、記念写真を収め、次に向かう。

東海道旧道を上る。旧道は完全に繋がっていないので、時々、旧R1号を道路を横断するが、現在は、バイパスが出来、嘘のように車がなく、安全に渡れるようになった。道路わきに民家も、随分、静かになっただろう。

途中、松雲寺に寄った。富士山が上部だけ雲間に見えた。聞けば、ここに参加者のご母堂のお墓があるという。こちらの出身のようだ。道々、珍しいサボテンの花・小さな可愛いバラ・天城シャクナゲなど、花のオン・パレードだった。

11時、山中城跡着。12：30まで昼食。広大な芝生広場で、したたる新緑が、実に気持ち良かった。食後、男性陣は横になり昼寝。ここまで行程は約半分。午後は厳しい箱根の上りが始まる。

つづく





5月12日(水)曇・21/54

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年5月11日(火)17時43分58秒

つづき

極めて快適にガンガン下って行く。先に雪崩があった壁がある。雪の状態が悪いと、厳しい場所だが、今回は問題なかった。イイ感じで下った。

下りきった所で大休憩。風がなく陽光が溢れシアワセ。休憩後、ツアーコースを飛ばし、ゲレンデ上の壁。ここも、中々、難しい。横滑りでこなしてゲレンデに入る。ゲレンデは中壁に雪がなく歩いた。

最下部のゲレンデを滑って終了。先行していた方を最後に抜かした。スキーの場合、交通機関まで、「如何に歩かないか」が問題。最上級のスキーをやっても、車まで1時間も歩いたら楽しくない。

最近は少雪でおおむね難しくなったが、以前は、富士山・富士宮口スキーは、完全に五合目駐車場まで滑り降りえた。頂上から滑降して、歩行は0m。完璧な山岳スキーだった。

しかし、昨今の温暖化で昔の様相はなくなってしまった。兎に角、雪が少ない。

スキーは、山岳でもゲレンデでも、雪が多くないと全うできない。車に到着しラーメンで空腹を満たした。インスタント・ラーメンだが、実に美味しい。勿論、雪塊で冷やした、ビアもである。

隣の車の方が降りて来た。我々より出発は早かった。肩の小屋までといった。聞けば、一人の方は「静岡市」だった。静岡労山も知っていた。名刺を渡したが名前は失念した。（メールが来れば判明だが）

今回は、久しぶりの乗鞍岳だったが、サイコーの山岳スキーを堪能できた。また、行こう！！

（12日分かったが、この日、歩きで静岡労山のSさんも上ったという。交流出来ず残念だった！！やっぱり、事前情報が必要だね）

おわり





5月11日(火)晴・21/54

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年5月11日(火)05時23分28秒

昨日、眼医者に行こうと思ったら、先方から電話。聞けば、2回目のワクチン接種で、看護婦さんが何人か発熱したという。こんなこともあるようだ。

つづき

壁を抜けて位ヶ原に出た。広大な雪原が広がる。ここはいつも風がある。今回も晴れているが風が強い。地形的なものだろうか。それでも傾斜は緩くなり、上りは楽になった。

真っ白い乗鞍岳が圧倒的。多くの登山者が、蟻のように、上に上にと上って行く。さながら蜘蛛の糸の亡者のようだ。右手奥に建屋が見える。夏、バスが終点の「肩の小屋口」だ。標高は約2650m。

多くの登山者が休んでいる。本来、トイレがあるが雪で塞がって使えない。行儀は悪いが裏で済ませた。トイレを我慢するのは良くない。特にスキーの場合は、瞬間的に膀胱に大きな負荷が掛かるので、満タンだと危険といわれる。

ここで下る方もいるが、標高約2780mの肩の小屋まで頑張る。小屋下は風が強いことも相まって、雪面はカリカリに凍っていた。今回はここで終了。バス運行停止が分かっている、あと2時間早く出れば、頂上に行けたらろう。ちょっと残念。

滑降に移る。最初は慎重に下るが、すぐ雪が良くなって、大胆に攻める。ザラメのサイコーの雪だった。このところスッキリしない滑降が多かったが、今回は超サイコーだった。雪が適当にホドホドの抵抗があって滑り易い。

ガンガン攻める。スキーをやっていて良かったと思うのはこんな時。ま、しかし、山岳スキーは、99%地獄で天国は1%だ。ただ、その1%に救われる。

12時を回ったが、それにしても、多くの方が上って来る。いささか遅いじゃないでしょうか??ある意味、上って来る方を見ながらの滑降は、快感といえば快感。ちょっと嫌みったらしいが、「ご苦労さま～」の感じである。

つづく





5月10日(月)晴・20/50

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年5月10日(月)06時26分16秒

つづき

それでも、三本滝を7:30に出発出来た。ゲレンデ最上部からツアーコース頭は、急登なのでスキーは背負って行く。天気は、無風快晴。やや硬い雪を踏む音だけがザックザックと耳に残る。

ゲレンデを上り切り、ツアーコースの壁を越えて、シールで上る。雪が締まっているので、スキーのが楽だ。ゾロゾロゾロ、多くの方が上って行く。乗鞍岳は、昔よく通った。最初に訪れたのは、1994年3月だった。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/1-2-2.pdf>

私、長岡、加藤（貫）、香取の4名。M 労山で山岳スキー。記録を見たら、国民宿舎から頂上まで標高差＝約1526m。上り時間は約7時間だった。この時は、鳥居尾根～位ヶ原経由だったので、大回りで時間が掛かった。それでも、3月によく頂上を落した。下りは、2時間だから、やっぱりスキーは速い。

笑ったのが帰路で、遅くなったので、安曇湖畔でテント泊して、家帰着は、6:00の朝帰りだった。安曇湖の記憶は全くないが、何処にあるのか調べたら、古代はあったらしいが、現在は存在しないようだ。

湖があった証拠に現在も、島々・島内・渚・海渡などの名称が残る。そういえば、先日入った温泉の看板に、安曇人は九州から来た、海族とあったが……。しかし、何処にテン泊したのだろうか？

位ヶ原に上がる壁に達した。ここで今年3月15日、大きな雪崩があり、1名亡くなった。ここは以前から、雪崩要注意箇所。以前にも雪崩があった。雪崩は、偶然でなく、毎年・毎回、同じ個所で発生する。だから、ある程度は回避できる。

上る時は、沢中心でなく、左手の尾根を上れば、例え雪崩に遭遇しても、大事に至らない。山の事故は、「過去に学ぶ」ことが大切なことだ。

つづく





5月8日(土)曇・20/67

[返信・引用](#) [編集](#)

[集積](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年5月8日(土)05時32分43秒

つづき

「天狗岩」のクライミング記録を検索しなかった。思うに、ここまで上ってクライミングは、歩きが長くて、なかなか厳しいだろう。相当のマニア?でなければ・・・。

昼食を済ませ下山。前述のように、フカフカ道で下山は楽だった。簡単に登山口林道着。林道の土手で「コゴミ」と「フキ」を収穫。「コゴミ」は、夕食時、マヨネーズで頂いたが美味しかった。乗鞍岳に移動。見上げる乗鞍岳は、真っ白で真冬の様相だった。

4日は、天気予報通り、無風快晴高温だった。位ヶ原山荘までバスが入る予定なので観光センターで待機。大きな駐車場に車は40台くらい。ちょっと少ない感じ。何故だろう？

そうこうしている中、何台の車が上に上って行く。ちょっと変だ？何処かの方が

バス停で何かを凝視している。何だろうと思い声を掛けた。バス停には、一枚のビラが風にユラユラしていた。ビラの文面は、「3日・12:00現在 位ヶ原までの林道の積雪状況が不明なので、4日(この日)9:30まで、運行は休止します」とあった。

ガビ〜ン！！なんちゅ〜ことだ。こんな大事なことは、もっと大きな表示が欲しい。事務所に電話したら、「これから道路を調べて、0kなら、10:30から運行です」の返事。これでは何時に出掛けられるか分からない。これで、上って行く車の理由が分かった。車は、この上の三本滝駐車場まで上って、そこから歩くのだった。

我々も即決断。三本滝まで上った。観光センターに車が少ない理由が分かった。殆どの車がここまで上っていたのだ。最初からバス使用予定はなかったのだ。理由は、ハッキリしていた。この時期、乗鞍岳に上るには、二つのコースがある。

予定していた、位ヶ原山荘は、標高約2350m。頂上まで約700m。時間は約2時間。短くて楽だが、しかし、その分滑降は楽しめない。三本滝は、標高約1800m。位ヶ原山荘と標高差は550mもある。その分、滑降は長い。

ただ、三本滝は標高が低い分、雪解けは早い。雪が上部に繋がっていないければ使えない。

しかし、しかし、雪は駐車場から見事に繋がっていた。これなら使える。例え、バスが使えても、時間が遅いので、頂上を狙う方は、早朝、ここから歩いた方が早い。標高差550mなら、2時間余分に歩けばOKある。

しかも、往復3000-の高いバス代金が「儲かる(?)」もっと、早くビラに気が付くべきだった。いや、というか、バス利用は、そもそも戦略が間違っていた。最初から、三本滝から上るべきだった。乗鞍の5月連休は初めてで、それが分からなかった。経験不足が否めなかった。

つづく



5月7日(金)晴・22/67

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年5月7日(金)05時51分25秒

つづき

登山道に入る。元々は、鉄塔の巡視路のようだ。すぐ、道が崩壊していた。しかし、注意すれば問題はなかった。

今回は、標高差が1200m近くある。通常、この標高差だと、4時間掛かる。

ただ、登山道が完璧に「ジグザグ」（ちなみに、ジグザグは英語＝“zig-zag”）で、とても上り易かった。加えて、登山者が少ないので、岩などの露出がなく、膝に優しかった。

花を期待していたが、「エンレイソウ（白）」くらいで、多くは見られなかった。頂上下で「梓川ふるさと公園」からの道と合する。真っすぐ行けば、金松寺山を巻いていた。下山時、巻き道利用がよろしい。

9:29、金松寺山着。2時間ちょっと掛かった。山頂標識はなかったが、三角点でない標柱があった。少し下って更に進む。前方に天狗岩（山）の三角ピークが見えた。相変わらず、気持ち良く、上り易い道が続く。

下からも確認できた残雪と新雪があった。残雪は、北面にベツタリあった。新雪はササの間にあった。この時期、春だ春だで、しっかりした心構えがない登山は怖い。案の定、槍・谷川で大きな事故があった。この時期過去の事故例は多い。そもそも、ビギナーは、それらの事故例を知らない。無知は最悪。

天狗岩とおぼしき岩峰が左手に見えた。上空は気温が低いらしく、「風花」が盛んに舞っていた。明るい空から舞い降りる雪は、不思議な感じだった。頂上に着いた。下から3時間半だった。

頂には三角点があった。立派な看板もある。頂上のちょっと下に「天狗岩」があった。眼下に島々谷が俯瞰できた。標高差は、約1300mある。落ちればアウト。ここで昼食。足元を見たら、「ハーケン」が3本あった。クライミングをやっているようだ。

つづく



5月6日(木)曇・20/70

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年5月6日(木)05時05分59秒

連休は、

山の遭難が多かった。今年は4月に入り、気温が低く、高山は冬の様相。下界は春だが、油断は禁物。槍で亡くなった方がいたが、普通、あの天気では突っ込まないでしょう。私は冬の槍を北鎌尾根・中崎尾根をやっているが、天気が悪くなければ、全く問題は無い。山は天気で決まる。

連休は、何処の山にするか、なかなか決まらなかった。理由は悪天候。通常、この時期は、3日間くらい好天が続くが、今年はダメ。好天が長続きしないと、大きな山は出来ない。

特に東北が悪かった。当初、山岳スキーで鳥海山・尾瀬燧ヶ岳など予定したが、結局、予定が立たず、3・4日で信州・里山、飛騨乗鞍岳で決定した。

3日は、まだ寒気が残り、風も強く、スッキリした天気は望めなかった。これでは、乗鞍岳は無理なので、安曇野の里山=天狗岩(1964m)、標高差=1199m、に上る。

最近では、2山する場合、なるべく1山は、未踏の初めての山を選択している。50年以上、山をやっていると、知らない山が貴重になる。未踏の山は、何よりも、新鮮で登行意欲が旺盛になる。登山口は、梓川の金松寺駐車場。同名の山が途中にある。7:04発。風はなく天気は良い。

寺脇の農道を上る。下山時、分かったが周りはソバ畑だった。水源地の動物除けのゲートを開いてフキの多い、尾入沢の林道を進む。土手に「コゴミ」がチラホラ。帰りが楽しみ。約1時間で林道は終わり、本格的な登山道になった。入り口には、手製の看板があり、迷うことはなかった。

つづく





4月30日(金)晴・19/61

[返信・引用 編](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月30日(金)05時36分5秒

つづき

山中湖遊覧船は、スワン船と水陸両用のカバがある。スワンは一周約30分で料金は1000ー、カバは3000ー。カバは結構高い。今回はスワン。旭ヶ丘棧橋から出発。3名は利用しなかった。

富士山はかろうじて半分見えた。富士山が見えないと、画竜点睛を欠く。棧橋には鯉が凄い。(ス、ゴイ!!) 餌をねだり、わんさか押し寄せる。口をアングリ開けてパクパクしている。観光客用のエサが100ーで売っている。

船を待つ間ブラブラする。湖に下って来る歩道に見慣れないツツジが咲いていた。色がピンク系でイイ。花が八重だった。八重のツツジは見たことがない。なかなか素晴らしい花だった。

30分後に皆さん帰着。「凄く寒かった」が一声だった。トイレの脇で目ざといSさんが「コゴミ」を見つけた。よくこんな所に生えているものだ。東大演習林で採り貰ったコゴミは、昨朝、味噌汁で食べたが、美味しかった。

バスで平野・長池親水公園に向かい昼食。外で食べたが、いささか寒かった。トイレは

立派でキレイ。午後は、山中湖北歩道を歩く。ここは今まで歩いていない新コース。北歩道は、常に富士山が正面に見える。富士山が見えればサイコーだが、生憎、半分雲が掛かっていた。上空は晴れているのに……。

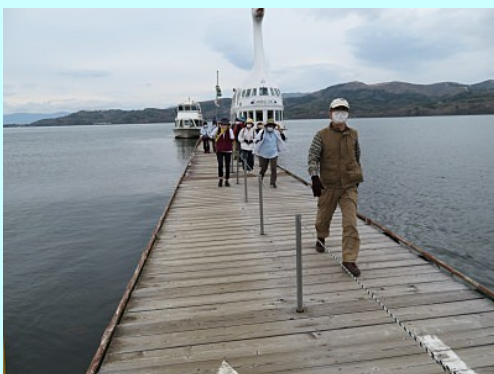
築尻から桂川に沿って花の都公園に向かう。桂川は、富士吉田を経て大月に下るが、山中湖が源流。天竜川の源流が諏訪湖と似ている。元々、富士山噴火で山中湖が出来る以前は、川であったでだろう。

イイ感じの田舎道を辿り、花の都公園着。今回は入園料が600ーと高い。聞けば、

展示草花で入園料が変わるようだ。今回は、目玉が「ネモフィラ」だから、高いのかな??ネモフィラと菜の花の前で記念写真。様々な色のチューリップも良かった。黄色のものは目立つ。

15時で退園し欲張って、遠路、富士宮・下之坊に「藤」を見に行く。私も何回か下之坊は行っているが、「藤」を見るのは初めて。長く垂れさがる種類は少なかったが、まだまだ見れる時期で素晴らしかった。今回は、盛りだくさんで、内容があるウォーキングでした。

おわり





4月29日(水)晴・21/57

[返信・引用](#) [編集](#)
[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月29日(木)06時11分11秒

昨日は、

4月度・富士山一周ウォーキングでした。コースは、須走・浅間神社～籠坂峠～東大演習林～山中湖村役場～旭日ヶ丘棧橋～スワン遊覧船～バス～平野～北岸遊歩道～花の都公園～バス～富士宮・下之坊～三島。天気＝晴れ、距離＝約16km、参加＝15名。

天気予報は芳しくなかったが、午前中、晴れと読んで実施。前回、最終の須走・浅間神社で先月撮影忘れた記念写真を撮って8:00発。籠坂

峠を目指す。仰ぐ富士山は半分雲の中だった。

路傍には、結構花が咲き飽きない。マメザクラ・コブシ・ヤマブキ・マムシクサ・スミレ・キブシ・ヤマイモの花、などなど。とりわけ、ヤマブキの色は見事だった。ヤマブキは、「七重・八重・・・」の句で有名だが、八重は、やはり結実しないようだ。一重は結実するという。

途中で反対車線に人影を感じた。ザックを背負って速い速度で歩いている。日本人でなかった。そんなに大柄でもなかった。「何処に行く」と聞いたら。「カワグチコ」といった。英語圏の方の様だ。今朝、何処から来たかは不明。足早に消えて行った。こんな時期、奇特的な方もいるものだ。

丁度、2時間弱で峠着。神社から標高差約300mあるが、案外、楽だった。加古坂神社は寄らず、東大演習林に入る。以前はなかった、進入禁止のロープがあったが無視。5月はヤマボウシの花が見られるが今回はなし。そのかわり、「コゴミ」が食べごろだった。

山中湖村役場着。ここでトイレを借りる。玄関にランプが3台吊るしてあり、火が燈っていた。オリンピック記念で、三つ願いを掲げてあった。聖火の火ではなかった。

バスで旭日ヶ丘棧橋に向かい11時のスワン船に乗った。平日でお客が少ない場合、定刻になっても船は出ない。採算人数があるのだろう。

つづく





4月28日(水)曇・17/40

[返信・引用](#) [編集](#)
[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月27日(火)16時42分3秒

先日、

天城で「ヤマシャクヤク」の開花したものを見たと言報告済ですが、我が家の庭の「ヤマシャクヤク」は、中々、開花しません。

天城より下界のが温かいと思いますが、何故でしょう??!!



4月27日(火)晴・17/40

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月27日(火)05時17分16秒

今朝も寒い

つづき

標高1180m峰から北東に下る。6年前より藪が少なくなった気がした。以前は苦労したが、簡単に林道に出た。ただ、何故か手前の「コマドリ歩道」が分からなかった？

少し林道を歩き、青スズ台に取り付く。北面はブナ巨木が林立する。南面は馬酔木が多い。マメザクラ（ヒメザクラ）が満開でキレイ。小さな花が下向に咲いている。何とも愛らしい。ソメイヨシノもイイが、これは素晴らしい。

何処かの親子が5名、上っていた。林道を車でやって来たらしい。昔を思い出した。程なく頂上着。ここも6年前に比べ、馬酔木ランドになってしまった。以前は南斜面が広がり、相模湾が遠望できたが、馬酔木が伸び過ぎた。これ以上大きくなると全く展望がなくなる。馬酔木が異常に繁茂する理由は何だろう？

北のマメサクラの下でお花見昼食。無風で陽光が溢れ温かく幸せ。「体調が優れないと、先生の許可をいただき、点滴を注入」しかし、会員の意見は、「点滴は、美味しくない表現」とクレームがあった。

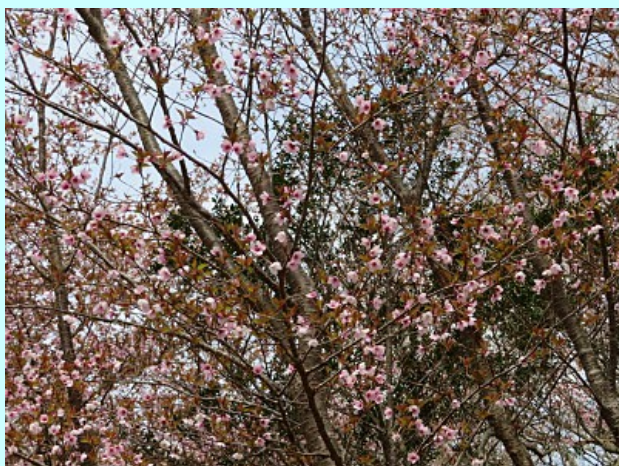
回って来た、サンショウとフキが逸品だった。時間があつたので30分昼寝。ところが例によって、周りが五月蠅くて、寝てられない。12:30下山開始。八丁池に寄らずバリを快適にグングン下った。

水生地からの林道に着いたら、上から山梨N0の乗用車が2台下って来た。林道は下の橋に
¥ゲートがあり、通行止めになっている。鍵は数字を合わせる方式。車を止め話を聞いたら、「釣りがどうのこうの」と言い訳を言っていた。恐らく合せ番号を知っているのだろう。

大した山ではない。歩くのが本筋だろう。一応、私も静岡県自然保護委員を務めている。一言、文句も言いたくなる。こういう輩が盗掘を行ったりする。伊豆森林管理署も、たまに鍵を交換しなければいけない。本来、関係者のみの情報が何処から漏れるのか。

無事駐車場着。車は更に増えていた。湯ヶ島の温泉に入る。露天もあり
770ーは安い。ついでに清水町でソバもいただいた。ゲストのSさん
も、良く頑張った。イイ、一日でした。

おわり



4月26日(月)晴・17/34

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月26日(月)06時36分21秒

今朝、富士山が真っ白だった。この時期、高山は油断禁物。

土曜日は、天城・青スズ台（1237m）でした。

コースは、水生地下駐車場～旧天城峠～バリ・コース～1180m峰～こまどり歩道～青スズ台～下り御幸歩道～駐車場。天気＝快晴、標高差＝580m＋137m、参加＝6名。

当初、北八ッ・横岳の計画だったが、諸般の事情で変更。6年ぶりの青スズ台だった。水生地下駐車場は車が多かった。県外車が目立つ。まさか、既に連休モードでは、ないでしょうが・・・。

旧天城峠まで急登。左手に「ヤマシャクヤク」の群生。白が素晴らしい。拙宅庭にもあるが、蕾でなかなか開花しない。長泉のが温かいと思うが。トンネルから更に急登。気温が低いので有り難い。

峠にブナの巨木。正確に計測はしていないが、見た目、300年程か。江戸時代から見下ろしている感じ。急斜面で根の露出が痛ましいが、長生きして欲しい。

峠から登山道はあるが、強いてバリ・コースを上る。途中、これまた巨大な「ヒメシャラ」がある。この木は、触ると気持ち良い。木肌がスベスベしているが、木肌の温度が低く、ヒンヤリする。水分が多いのだろうか。

上ったり下ったりしながら進む。周りはブナ巨木が林立する。良く見ると、既に開花は終わったようだ。ブナの花は小さく目立たない。急登をしのぎ、標高1180m峰着。6年目に比べ、馬酔木（アセビ）が増えていた。これでは、馬酔木山になってしまう。馬酔木は、馬も食べないから、鹿も食べないのだろうか。

「タコブナ」と呼ばれる、タコの足のような、独特なブナ巨木が数本ある。頂に山頂表示板はなかった。頂から地図読みしながら、北東に下る。

つづく



4月23日(金)晴・20/30

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月23日(金)09時13分59秒

今日は、寒い感じ。湿度が低い！！

山の会の機関誌「れいほう」5月号が出来ました。
1994年から、27年で通算、237号になった。
ま、積み重ねですね。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>





4月21日(水)晴・19/48

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年4月21日(水)06時28分25秒

信州など

雪の多い地方は、春一番に「福寿草」が咲く。黄金色の希望溢れる美しい花。これは、すでに報告した。

同じころ、咲く花に「菊咲一華（キクザキイチゲ）」「東一華（アズマイチゲ）」がある。

これらの花は、「春のはかない草花」＝スプリングエフェメラルと呼ばれる。仲間にフクジュソウ、カタクリ、ニリンソウ、エゾエンゴサク、ショウジョウバカマなどがある。天気が悪ければ花は開かず、首を垂れる。

ただ、菊と東は、良く似た花。見分け方は葉。多くの花の種別は葉で分かる。菊は、名の通り、葉は菊に似ている。東は、葉が丸い感じ。ちなみに、写真は「東一華」。

植物の見分け方は、案外、難しいですね。



4月20日(火)晴・17/43

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月20日(火)06時56分5秒

先日、

妙高山岳スキーの折、燕温泉の「黄金の湯」を訪ねた。
温泉は、標高1000mくらいの山中。
車道終点から、歩いて15分掛かる。温泉は、無料で利用できる。

まだ、周りは雪が多くズックでは難儀する。
そこは良くしたもので、最終土産物店の軒先に、長靴がズラ〜と並んでいる。嬉しいことに、無料で貸してくれる。

そうすると、多くの方は、帰りにお土産を買うから、商売が上手い。
店番のババさまも、温かく優しい。温泉は白濁し、湯加減は丁度よい。

天気が良く風はない。浴槽から上げば大きな空が広がり、ノンビリ雲が流れ野鳥が鳴いている。露天風呂の良さが十分味わえる。家族連れも多い。

隣は女性用で上から丸見えだが、皆さん、そんなことに気を留める様子はなく、大らかに温泉を楽しんでいる。登山の楽しみは、そんなところにもある。





4月19日(月)晴・17/40

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月19日(月)08時15分55秒

先日

伊豆巡礼で湯ヶ島の二番札所・弘道寺に行った。
その日は丁度、本堂で葬儀があり、ゆっくり出来なかったが、境内に珍しい花があると聞いて見に行った。

井上靖が奈良・唐招提寺からいただいたものだという。

・・・・鑑真和上の御廟のそばと、御影堂供華園では、和上の故郷、中国揚州から送られた瓊花（けいか）の花が、春の終わりと夏の到来

を告げるように、小さな白い花を咲かせます。

日 時：毎年4月中旬～5月上旬 9時～16時

※花の状態によって、期間を決めています。

場 所：御影堂供華園

鑑真和上の故郷である、江蘇省揚州市の名花で、ガクアジサイに似た白い可憐な花を咲かせる「瓊花（けいか）」の見頃に合わせ、御影堂供華園が特別開園されます。

現在、花を咲かせている瓊花は、鑑真和上遷化1200年の昭和38年(1963)に記念事業の一環として、中国仏教協会から贈られた一株の子です・・・・・・・・

唐招提寺ネット

一見、何処にでもあるような花だったが、そんな高貴なものとは、思わなかった。日本には、ほんの数本しかないという。





4月16日(金)曇・15/48

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年4月16日(金)05時44分55秒

つづき

弘道寺で昼食時間になった。本来は、本堂でいただくが、今回は近くのコンビニに行った。昼食の条件は、「絶対、トイレがあること」。バス内で昼食を終わり、午後に移ったら、外は青空が広がっていた。

弘道寺から国土峠まで、標高差300mを上る。最初は、遮り物がない道路でギンギンに暑かった。梅雨明けみたいな感じだった。何でもこの日、西の方は真夏日だったという。

それでも30分上ったら、樹林帯に入りイイ風が渡り涼しかった。雨上がりでオゾンも一杯だった。1時間ちょっとで峠着。ここで大休止。皆さん、よく頑張った。峠を越えれば下るのみ。筏場でワサビ田を見学。ワサビの花が咲いていた。

更に下って、ワサビ店「たか惣」で待望の「ワサビ・アイス」だったが、既に店は廃業??だった。その下のワサビ屋も廃業。コロナの影響もあるかも知れない。いずれにしても、この山奥で貴重な店がなくなるのは残念。

ドンドン下って、貴僧坊・水神社で休憩。皆さん、大分疲れて来た。16:00まで頑張ることにした。結局、3番・最勝院手前の戸倉野で終了した。今回は、

20km以上の巡礼で試練そのものだった。2017年は、1時間遅れだったが、「たか惣」で終了だった。それを考えれば、皆様、よく頑張ったと思います。

おわり（土曜・日曜日、日記はお休みです）



4月15日(木)晴・12/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月15日(木)13時13分31秒

昨日は、

4月度・伊豆巡礼でした。巡路は、88番・修禅寺～1番・嶺松院～2番・弘道寺～国土峠～筏場～3番・最勝院手前。天気＝午前小雨～午後晴れ、
距離＝約20km、参加＝12名。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-127.pdf>・・・2017年の記録

小雨の修禅寺を出発。指月殿に寄る。狩野川を遡る。まだ、鮎釣りは早い。雲金で近藤鋼材のトイレを借りる。裏に現在、狩野川で唯一の吊り橋がある。大きく立派なもの。軽なら通行出来そう。

名前を思い出せなかったもので、近藤鋼材で聞いたら、「雲金橋」というが、2017年の記録を見たら、松ヶ瀬橋だった。確かに雲金集落にも掛かっているが、名前は狩野川西側、左岸の松ヶ瀬だった。

更に狩野川右岸を進む。(川の右岸・左岸は、上流から見て、右・左)ダラダラ上っていて厳しい。日曜日の丹沢登山の疲れが、まだ残っていた。やがて、1番札所・嶺松院。寺は、何かと五月蠅い。

サポーターでご朱印係りのKは、「あーだ、こーだ」と、文句を言われたそう。従って、お勤めも小声で簡略した。しかし、今回は、ダメもとでご朱印を頼んだら何故か貰えた。前回、B班の時は、居るのにくれなかった。その件を4番札所・城富院で話したら、住職は後輩なので、話をして置くだった。それが功を奏したのか??

雨は止んだり降ったりを繰り返している。2番に向かう。途中、湯ヶ島手前のトイレの神様と呼ばれる、明德寺売店で、Tさんが、「ヨモギ饅頭」を買った。一つ頂いたが、アンコが美味しい饅頭だった。

約3時間ちょっとで弘道寺着。電話で聞いた通り、葬儀中だった。亡くなったのは「浅田光政」さまだった。私と同じ年だった。本堂で葬儀だったので、ここも、小声、簡略のお勤めだった。丁度、出棺の時、般若心経だった。そうしたら、参列者の年配の方に、「送っていただき、ありがとうございます御座いました」とお礼の言葉をいただいた。

つづく



4月14日(水)晴・19/66

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月13日(火)19時21分48秒

つづき

昼食後、踵を返し、先ほど確認した、標高1310m峰に戻った。そしたら、そこに、3名の男性が昼食を食べていた。聞けば、山伏峠から水ノ木沢に降りて、本流を上って来たという。

確かに、道端に「沢足袋」が放り投げてあった。年恰好は、70代・60代・50代くらいだった。一番年配者に歳を聞いたら、私と同級生だった。ただ、私は2月だが、彼は3月だった。

それにしても、この時期にその年齢で、「沢登り」をやるとは、頑張っている。

「何処の何方ですか」と聞いたが、どうしても答えなかった。ただ、「一応、有名」と自身のことを言った。そこまで言ったら、身分を明かせばよいものを、気持ち悪い。スッキリしなかった。

60代の方は、山岳スキーをやるで、私の先日の頸城・高松山の話をしたら、

「あそこは、私が開拓した」と言う。う～ん、分からない。本当かしら??!!

ま、本人が、そのように言うから、そうだろうか別れた。我々が1310m峰

から下るのを見て、「バリエーションですか??」と聞いたから、「そうです」と

答えた。

バリエーションは、下降が難しい。頂稜部で左右1m違ったら、下に行くほど

行き先は大きく離れて行く。ちょっとした尾根の分岐は要注意。地図読み学習

で参加したEさんを先頭に、肅々と下る。ヤブは殆どなかった。最初は、すぐ後ろで

Iがサポートした。

地図で概ね分かっていたが、今回は大きな難しい所はなかった。急な下降を経て無事、三ヶ瀬川林道に降りた。約1時間だった。歩き難い沢の一般道を下るより、余程早かった。長い林道を経て、無事、山荘「水之元」駐車場着。

女将に「風呂はOKか」と聞いたら、入れると言う。しかも、料金は3000円。
ラッキー！！下山後、すぐ入浴できるのは、本当に気持ち良い。今回は、往復バリエーションの山が無事終わり、充実した山だった。丹沢は、「近くてイイ山」です。

おわり





4月13日(火)雨・17/47

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月12日(月)18時09分22秒

つづき

標高1130m峰を南下する。南斜面で陽光が溢れ、「マメサクラ」が咲いていた。

マメサクラは、ソメイヨシノのように、決して「派手」ではないが、いかにも山岳のサクラの感じ。花は全て下向きに咲いている。何故だろう。陽光をいっぱい受ければイイのにと想着ってしまうが・・・。

イイ感じの尾根を辿る。先には急登が待っていた。確か前回も厳しかった。それでも数分で北西尾根に飛び出た。そこに丁度、手製の道標があった。前回も見たモノだった。ただ、Iが「釘で文字を表している」と言った。

よく見ると確かにそうであった。前回は気が付かなかった。「これで、クギリがついた、のだろう」とオヤジギャグを言ったが、誰も笑わなかった。理解していないのだろうか??!!
尾根を数分で一般縦走路に出た。

菰釣山はすぐ先だった。下山道の北尾根B（北尾根は、A・Bの二本ある）を確認しながら行く。

当初、ここと思った尾根は結果的に違った。先のピーク、標高1310mが下降尾根だった。どうも、2万5千円のイメージと違った。

程なく頂上着。6名いた。無風快晴。富士山が大きい。山中湖の向こうの富士山は新鮮だった。

ここで昼食。ビアが美味かった。ただ、Iは2本持参したが、何故か1本で終わり。聞けば、「今日は楽で汗を掻かなかった」からという。

しかし、2本やってしまった私は、残りの1本が気になって仕方がない。ツマミも新タマがある。結局、Iをそそのかし、二人で1本やってしまった。要するに、私は「卑しい」のだ。のん兵衛はこれだから困る。

ただ、地図読みで参加のEさんの会は、「絶対山で飲まない（飲めない??!!）」という。仲間の他の会でも、事故を起こして、行動中はご法度、の会もある。

以前、八ヶ岳で行動中、山小屋でビアを買おうと思ったら、「行動中でしょ」と、たしなめられた。正論である。

皆さんは、品行方正なのだ。ただ、槍ヶ岳で、1杯千円の大ジョッキを3杯をやっても全く酔わない。むしろ、栄養があるビアは元気になる。Iが「それは点滴だね」と、上手いことを言った。皆さんは大笑い。しかし、ビアは冷えていて美味しかった。

つづく



4月12日(月)晴・15/47

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月12日(月)04時35分0秒

松山、やったね～、凄い。山ならエベレストに上ったくらいか??!!

昨日は、道志山塊・菰釣山（こもつるしやま・1379m）でした。今回も北東尾根を上り、北尾根を下る、バリエーション・ルートの研究。天気は無風快晴。参加者4名。標高差＝649m（ただし長い）

3年前、女の子が行方不明になった、道志の森キャンプ場から登山開始。取り付きの標高は730m。最初から厳しい上りが続く。小1時間で三角点・三ヶ瀬（1055.73m）着。

基本的に登山道はないが、山仕事で使う、いわゆる「杣道」は、ハッキリ・シッカリしている。従って、五月蠅いやブもなく快適。イイ感じの尾根をグングン上る。1000m上辺りから、ブナが出て来た。

程なく、標高1130mの丸い平らなピーク着。日光がサンサンと降り注ぐ、明るく温かいピークだった。はてな??どこかで見たようなと思ったら、実は2019年5月12日に通っていた。その時は、女子班・男子班に分かれて、菰釣山を目指した。

その時、男子班は、ピークから北西に伸びる尾根を上った。それに、ここで気が付くは、我ながらノンビリしたものだ。ルートは、この先、南に向かう。尾根が広く大きいから2万5千図、コンパスで方向をシッカリ、見定めなければならない。

バリエーション・地図読み山行、初参加のEさんが、目を凝らして「地図を読む」。
この場合、「地図を見る」でなく、「読む」と表現する。

つづく



4月9日(金)晴・17/40

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年4月8日(木)17時40分47秒

今、

長野・新潟、あたりは春爛漫。
野山は、サクラをはじめ、草花が咲き乱れている。

その中で、春一番の花といえば、やっぱり「福寿草」だろう。
幸せを呼ぶ黄色い花・大きく太陽をイッパイ浴びている・群落を作り見事に広がりを見せる。

どこからでも、それとすぐ分かる佇まい。やっぱり、春一番は、「福寿草」
だろう。今回の山旅で沢山見た。
ただ、最近は人間が植えたモノも多い。

ここは、あくまで「自然のモノ」がポイント。
昨今は、自然園とかいう、人工園が多い。

自然のモノは、人間の手によるモノでは意味がない。
自然のモノは、人工的なモノとやっぱり違う。

民家の土手などに、自然に生えているモノが一番素晴らしい。
また、そこに居住する、ババさまも優しく温かい。
北国の田舎はイイ。

写真は、長野県・柵池、白馬で撮影





4月8日(木)晴・17/50

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月7日(水)17時20分8秒

先日、

頸城（くびき）山塊・高松山で仲間のアイゼンが壊れた。
壊れたのは、チタン製のアイゼンで、山岳スキー靴専用のものだった。
アマナ平を歩行中に突然壊れた。

壊れた箇所は、アイゼンの前と後ろを繋ぐピンが折れていた。
ピンが折れると、前後を繋ぐものが無くなり分解する。
4ミリくらいのピン一本で、前後が繋がっているのは、いかにも脆弱。

壊れた場所が本格的な上りでなく幸いだった。

仮に氷化した急斜面だったら、滑落する恐れがあった。
不幸中の幸いだった。応急処置は、3ミリのナイロンで留めたら案外、
上手くいった。

このアイゼンの設計は、アイゼンを靴の大きさに簡単に合わせられるよ
うになっている。
ピンのところがバネで上げれば、調整は簡単に出来る。
ただ、ピンは細くそこに全荷重が掛かる。長年、使っているとピンに疲
労が溜まる。

我々の登山靴は、冬靴・春靴・夏靴（劔岳など、夏でもアイゼンを使う
山がある）・
ハイキング靴と使い分けている。アイゼンもその靴に合わせたアイゼン
が数台ある。
だから、アイゼンの調整は必要ない。調整はピンでなくネジでしっかり
固定したアイゼン
が望ましい。

山中でアイゼンのトラブルは、下手をすると遭難になりかねない。
帰静し、さっそく修理に掛かった。ピンのバネを除去し、ピンの代わり
に、ジャンボ・
エンチョーでステンレス製の5ミリの雄・雌のネジを購入した。

雌ネジは、座付きで緩みにくい仕様だ。結局、時間は30分、経費は1
00円程度。
今度は絶対、バレルことはない。むしろ、何処かが強くなると、弱い部
分に負担が
掛かるのが心配くらい。

そんなことで、当分このアイゼンのトラブルは回避できそうだ。ただ、
次回から出発時、
しっかり点検することが大事なことでしよう。

写真・上 ナイロン紐で修理のアイゼン
中 ちょっと分かり難いが、ピンが折れた状態
下 5ミリのステンレスネジで修理完了



<http://>

4月7日(水)晴・18/46

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月6日(火)17時09分13秒

つづき

「ライチョウ」の足跡を観察しながら上る。暑い。汗が吹き出る。余りの暑さに、「股引」を脱いだ。脱ぐといっても簡単にいかない。面倒なスキー靴を脱いで、片足ずつズボンを下して、股引を脱ぐ。

4月の好天時は、朝と昼の寒暖が大きい。朝は相当冷えるから、やっぱり股引は必要。ただ、昼はモーレツに暑い。登山は出来るだけ汗を掻かない工夫が必要だが、こればかりは、どうにもならない。脱いだ股引は汗でグジャグジャだった。これで、また荷物が増える。

頂上に目を凝らしたら、何と2名先行していた。下山後、笹倉温泉で交流して分かったが、地元のY沢・K藤さんだった。聞けば我々より早い4時半に出たという。しかし、若いうえに地元の山には精通している。速いのは、当たり前といえば、当たり前かもしれない。

山には昨日会った方と思われる、スキーの跡があった。急な尾根なので、雪が悪いと難しそう。尾根の向きが北から東に変わる上がスキーの滑降ポイント。標高は、ちょうど1500mだった。

ポイントの上が標高1560m。窪地があり、夏は池塘(ちとう)が出来ると地形だった。窪地から頂上まで約165m。細く急な雪稜が続いていた。見上げると頂上まで3段に見えた。この重い荷物で上るのは難儀な感じだった。しかも、何故か相方が、ピッケルを持参しなかった。

昨年末、八方尾根を上った時、ピッケルは使ったが、山によっては、ストックで上れると自負していた。私もそれを聞いていたので特に注意はしなかった。し

かし、頭上の急峻

な雪稜は、やっぱりピッケルがないと難しく怖い。

私は例えスキーで反対側の一ノ倉川を滑れなくても、荷物をここに置いて空身でピーク

をピストンも考えた。山に来た以上、ピークにこだわるのは当たり前だ。

そのこだわり

が無くなったら山登りは止めた方がよい。簡単に「敵前逃亡」してはいけない。

だが、私は加齢と共に「山が怖く」なることが多い。無論、ピッケルがない相方を

置いて、単独で上る勇気はとてなかつた。昔から、臆病だったが最近輪をかけている。

つづく





4月6日(火)晴・16/44

[返信・引用 編](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月6日(火)05時46分1秒

つづき

苦しい登行が続く。兎に角、急な尾根だった。
天気は無風快晴高温。絶好の登山日和だが、やや暑すぎる。
標高は1200mくらい。大分、高度を上げて来た。

高松山は、北側故、真っ白だった。
目を凝らせば、焼山台地に3名見えた。下部で我々より先を歩いていたが、
現在は、こちらのほうが高度がある。それだけ、こちらの尾根が急ということ。

盟主・火打山、焼山が大きい。

初めてこの山塊を訪れたのは、1977年4月28日～5月2日で44年前。

妙高～火打～雨飾を単独でやった。しかも、私はその年の3月20日結婚した

ばかりだった。考えれば、随分、無茶をしたものだ。今では、とても考えられない。

その時、前後して歩いていた3人組は、雨飾山で荒菅沢をスキーで下って

行った。アッという間の出来事だった。私は黒沢尾根をタラタラ下った。

夕方、やっと山田旅館着。スキー組は、既に温泉を済ませ、盛り上がりビア

をやっていた。

実に悔しかった。スキーを上手くならなきゃと感じた。当時、山田旅館は、

一泊二食で4000円だった。44年前ならそのくらいだろうか。翌日は大雨で、

逃げるように帰静した。

雪面にちょっと変わった足跡があった。余り見ない形だった。帰って調べたら「ライチョウ」らしい。頸城山塊に「ライチョウ」がいることは

知らなかった。過去の記録に記述があった。

写真・上＝右が焼山

・中＝火打山と焼山台地

・下＝北東尾根を上る

つづく



4月5日(月)雨・20/72

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年4月4日(日)17時27分54秒

昨日の、池江さんに貰い涙。感動したなァ。

先週は、春山スキーで、頸城（くびき）山塊・高松山（1725m）と妙高・神奈山

（1909m）でした。

1日、長駆、糸魚川から笹倉温泉に向かう。笹倉温泉は、標高約480mだが、

積雪はまだ1m以上ある。サクラは咲いていない。笹倉温泉は、2019年3月

以来。その時は、大雪で途中の集落で帰った。

駐車場にいたら、二名の方が山から降りて来た。聞けば、我々が明日行く、高松山

を上り滑って来たという。ただ、コースは、我々が希望している、北尾根～頂上～

一ノ倉川でなく、尾根往復といった。

頂上は上らなかったという。いや、上らなかったでなく「上れなかった」ようだ。

何故の質問に「雪壁・雪庇（せっぴ）」といった。雪庇とは、雪の庇（ひさし）で

風下に形成される。大きいと崩さないと突破出来ない。「ふ～ん、厳冬期なら、

いざ知らず、この時期でもそんな状態か」と思った。何となく素人っぽく、一人の

方は、障害を持っているようだった。そんなことで、私は少し見くびった。しかし、

結果は、忸怩たるものだった。

2日、ようやく明け始めた5：23出発。天気は良く風はなく温かい。雪がカチカチ

なので、スキーは背負って行く。前はシールで上ったので苦労した。急な林道を

こなすと、ようやくなだらかになる。正面に高松山が大きい。雪がベッタリ付いている。

とても、1700mの山に見えない。

林道が終わると、アマナ平と呼ばれる平坦地に出る。ここでアクシデント。相方のアイゼンのピンが折れて、前後に分解しまった。アイゼンがないと上れない。カメラ落下防止のナイロン製の太い紐で応急処置。案外、上手く固定出来た。

焼山川を渡る。水流は出ていない。標高は約1000m。笹倉温泉から500m上った。頂上まで、まだ700m以上ある。夏でも2時間以上掛かる。3時間みなければならぬだろう。しかも、物凄い急登だ。

急登に入る。荷物が重く苦しい。スキー登山の場合は、普通の登山比べ、10kgほど多い。スキー板・靴・シール・スキーアイゼンなどだ。スキー滑降はサイコーに気持ち良いが、登行は最悪で地獄だ。

つづく





3月31日(水)晴・19/57

[返信・引用 編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月30日(火)19時19分33秒

つづき

佐々木さんは、西島病院で手術をし3週間くらい入院したという。
私はその事実を今日まで知らなかった……。それは、講師として恥ずかしい
最悪・最低の失態だった。

しかし、お話の中で、今元気でやっていることは、「仏のご利益」かも知れないと
佐々木さんが語った時は、内心ホットした。物事の責任を他人に課することなく、

自身で昇華した心に感心し安堵した。

また、話が伊豆巡礼・四国お遍路から、小豆島巡礼・秩父巡礼に及んだ後、
佐々木

さんは、故郷が「秩父」で「武甲山」の麓だったが判明した。武甲山は、
昨年秋上った

ばかり。これも何かご縁を感じた。

今回のこの話を聞いて、その時、私自身も瑕疵があったことを思い出した。
この事故の日は、日曜日。実は、その週の木曜日、母が亡くなった。八十八歳だった。

（巡礼か??ちなみに、父も八十八だった）金曜日が通夜、土曜日が葬儀。
そして

日曜日が巡礼だった。

私は長男で喪主を務め、疲れ切っていた。しかし、巡礼を休むことは出来ない。

猛暑の巡礼を何とかこなし、バタンキュー。

しかし、月曜日、ベットから起きれなかった。メニエール症候群で歩くことも出来

なかった。過剰な疲れでリンパが腫れ、三半規管が正常に働かなくなった。
結局、

3日間ベッドに臥した。

そんなこんなで、この日の巡礼は、私自身も忘れられないものとなった。

ただ、

今もなお、佐々木さんが私に好意的にいてくれたことは、とても嬉しかった。

人間の縁・因縁は、目視は出来ないが、何か運命的なもので繋がっていると強く

感じた。私は、佐々木さんに感謝の気持ちを大きくした。

（日記、以後、今週休みます。再開は、来週、月曜日です）



3月30日(火)晴れ・19/66

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月29日(月)17時43分30秒

世の中、

意外なこと、が時々ある。予想だにしないことだ。

昨日、11時頃、電話が鳴った。

(現在は)知らない方だった。というより、結果的に、忘れてしまった、のが正しいだろうか。

年配の女性の電話は、「四国お遍路の本を欲しい」というものだった。自費出版なので、値段が高くなっています、でも、「良い」という。先日、静岡新聞で紹介されたが、安くないので、希望者は多くない。

そんな話をしていたら、ご婦人は「以前、後藤さんに世話になった」という。

えええ～、だった。

聞けば、昔、伊豆巡礼に参加したという。

お名前は、佐々木幸子さんだった。

私は今年で17年、伊豆巡礼をやっている。修了生は、200名以上になる。

単に、「佐々木さん」では、分からない。

ただ、電話で「怪我をした」と言われ判明した。

記録を調べたら、佐々木さんは、私が伊豆巡礼を始めた、2007年(本当の最初から)

第3回・7月から参加していた。当時は、参加者が多く、何と、大型バスで45名いた。

事故は、第4回・8月26日、超蒸し暑い日に起こった。

その日、伊豆長岡、13番・北條寺を暑い中出発。14・15・16・17番

を歩き、10時ころ函南・畑毛地先のコンビニで休憩時、熱中症で倒れた。すぐ

救急車を呼んで、三島の病院に搬送された。その時、養護教師の経験がある、S

さんが付き添ってくれた。

事故時、佐々木さんは独居で、何方に事故を連絡すべきか分からなかつ

た。結局、
息子さんが山梨在住で何とか連絡が付いた。それがキッカケで以後、会
は「レスキュー
カード」を作り、緊急時に備えるようになった。

佐々木さんは、その事故で巡礼は辞退した。ただ、今日、改めてお会い
して
分かったが、事故後、頭痛がし異常を感じ、西島病院で手術をして、3
週間くらい
入院したという。私はその事実を今日まで知らなかった・・・。
それは、講師として恥ずかしい最悪・最低の失態だった。

つづく

涼しい本堂でゴロゴロ昼寝

第3回巡礼 2007年7月22日（曇のち晴）

巡礼距離 約22Km 参加者 24名

巡礼寺 狩野川畔～9番札所＝伊豆の国市・澄楽寺～10番札所＝伊豆の
国市・蔵春院～11番札所＝伊豆の国市・長源寺～12番札所＝伊
豆の国市・長温寺～13番札所＝伊豆の国市・北條寺



13番札所＝伊豆の国市・北條寺にて



ここで会員の
佐々木さんが
貧血で倒れる

これは倒れる
寸前の写真で
佐々木さんは
左の鉄柵に寄
掛かっている

この後、手前に
倒れた

救急車を呼んだが
大事に至らなかった
良かった！！

救急車には陶山
さんが付き添って
くれた

ありがとう！！



3月29日(月)晴・19/70

[返信・引用 編
集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月28日(日)07時07分5秒

昨年秋、

長泉町・クレマチスの丘でクレマチスを三株買った。
クレマチスは宿根で冬は枯れる。春の芽吹きを楽しみに庭に植えた。

この所の温かさで芽吹きが始まった。ただ、待てど暮らせど一株が
芽吹かなかった。交換確認のためクレマチスの販売店に連絡。
販売店の店員は、返品は「一週間以内、レシートも必要」という。

冬は枯れ春にならないと、根付いたかどうか分からない植物は

今でないと結果が出ない。結局、店員では埒が明かない。しかし、何故か電話が店主に変わったら、「分かりました、交換します」だった。

店主の言い方は、全く淀みなく、嫌みを感じさせなかった。自然に「ス〜と気持ちに入ってくる」感じだった。こうなると不思議なもので、「交換だけでなく、追加をもうひとつ買おう」の気持ちになる。正に商売の極意「損して徳を積み」とはこのようなことであろう。

クレマチスの丘の販売店まで行った。我が家から車で15分程。30歳くらいの女性店主は、物凄く感じが良い方だった。普通、こんなクレームがくると「嫌な顔の一つや二つする」ものだ。それが普通だろう。しかし、全く「それを感じさせない」言動だった。

枯れたクレマチスは1000円位だった。1000円のが無かったので、交換品は800円の物に決めた。追加はいいブルーの2000円の物に決めた。断っておくが、私はこの時「下ごころ」があった訳ではない。純粹のそのように思い決めた。

会計をした。だが、店主は2000円品を交換で、購入は800円品で良いという。しかし、それでは申し訳ないし、私の気持ちが収まらない。しばし、交渉したが、店主は、「どうしても、そうさせて下さい」と譲らない。

結局、申し訳なかったが、そのようにさせて貰った。帰路、サクラがキレイだった。昨今の索漠とした世の中。なかなか捨てたものではないと感じアクセルを踏んだ。



3月26日(金)晴・15/57

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月26日(金)05時58分4秒

つづき

バスでトイレに向かった方を見送り、残った方は、歩を進める。
旧国産電機・電子工場前で合流。国産電機は、私が定年まで勤めた会社。
ただ、現在はドイツのマーレに買収された。

・・・マーレ (Mahle GmbH) は、ドイツの自動車部品メーカー。1920年設立。

本社はドイツ・シュトゥットガルト。

自動車エンジン用のピストンに強みを持ち、ピストンメーカーとしては世界シェア No.1 を占めるグローバルサプライヤーである。リケンやボッシュと

提携を進めるなど高水準の技術力を保有する。そのほかシリンダ部材、バルブトレインシステム、空気管理システム、液体管理システムのサプライヤー

として多くの有名自動車製造企業に知られている。・・・ネット

私が定年なった数年後のある年の1月1日、唐突に発表された。正に「初夢」

ならぬ「正夢」だった。大規模な希望退職が始まり、若い多くの従業員が野に

下った。中高年では、再就職はままならず、営業マンは、ヨーカ堂の駐車係り、

はたまた居酒屋の店員など苦汁を味わった。私自身、生まれ育った会社が無くなり、

何となく寂しい思いをした。

合流後、更に北上し板妻の「斎藤精肉店」に寄る。ここは富士山登山の帰りによく

寄る店。店主の奥様は愛想が良い。売りは「馬肉」。新鮮で美味しい馬肉。産地は

御殿場でなく、愛知とかが多い。

皆さんは、11時と空腹も相まって、「焼肉コロッケ」を購入。辺りは、揚げたての

香ばしい香りが充満。ちょっと、行儀は良くなかったが、店前でムシャムシャと頬ばった。

ちょっとビアが欲しい瞬間だった。

店を後にし、12時前まで歩き、バスで滝ヶ原・桜公園に移動し昼食。
公園は春休み
の子供たちで賑わっていた。中には、半そで半ズボンの子供もいた。豆
桜みたいな
やや小ぶりの桜が満開で、ウオークに花を添えてくれた。ただ、風がち
よっと強く、
新タマネギに掛けようとした、オカカが半分位、何処かに行ってしまった。
(´艸`)

つづく





3月25日(木)晴・19/50

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月25日(木)06時24分9秒

昨日は、

第二回・富士山一周ウォーキングでした。コースは、御殿場・時の栖～瀬戸タマゴ店～二子湧水～矢場居～板妻・斎藤精肉店～滝ヶ原・桜公園～

須走・浅間神社。天気＝晴れ・風あり、距離＝約21km、所用時間＝約7時間（昼食含む）、参加＝14名。

前回、最終の時の栖、8:00発。黄瀬川左岸（右岸・左岸は上流から下流を

見て、右・左）の農免道路に行く。途中、戦没者を祭る、清さん神社に寄る。

約1時間で瀬戸タマゴ店着。新鮮なタマゴ購入だが、開店は9:30から。開店

を待つのは時間が勿体ないので、ドライバーのNさんに購入をお願いした。

農免道路を下って、黄瀬川の橋を渡る手前を右折して「二子湧水」を見学。

大きな池にコンコンと清水が湧き出ていた。湧水の脇にしだれ桜が咲き、

後ろに真っ白な富士山がなかなか絵になった。

黄瀬川の左岸で湧水は箱根山系からと思ったが、ネットでは、富士山系

とあった。

湧水は、地区の田畑を潤している。稲作は勿論だが、マコモダケ・水菜作りが盛んだ。

ここにも富士山の大きな恩恵があった。

黄瀬川を渡り、旧246を超えて、御殿場線を見送り、中清水地区を歩く。

地名から、ここにも湧水があるかも知れない。芝生畑で休憩。富士山が次第

に大きくなる。

林・森が多い、静かな環境を進み、東名・246バイパスが交差する、矢場居

着。トイレがなく、女子が困ったので、バスでトイレに向かう。この点、バス

利用は有難い。

つづく





3月24日(水)晴・16/50

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月23日(火)17時42分25秒

つづき

再び単調な道を上る。延々と唐松林が続いたが、上部にはシラビソが現れた。

道はこの時期、特有の「ガジガジの氷道」だった。この時期というのは、このころ高山では雪でなく雨が降る。雨が雪を溶かし、低気圧が通過後、急激に冷えると、氷道になる。

その氷は、半端な硬さでない。ツルツルの油断できない氷だ。そんな道が

延々と1時間以上続いた。そして荷物が重かった。一昨日、宇佐美・巢

雲山

に上ったばかり。巢雲も重荷だった。

重い原因は、昼食に「ラーメン」を食べるため、お湯とか持参したからだ。

この年齢では重荷は応える。それにビア2本もである。ビアなど、よせば

いいのにとと思われるが、ま、大汗を掻くので、補給の意味もある。ただ、2本

やっても、全く影響がないのは、何故だろう??!!

ようやく、やっと、何とか、頂上に着いた。途中、不調者を待ったりもしたが、

3時間半掛かった。標高差が1000m以上あるので、時間的にはマアマアだった。

それにしても、長く苦しい登山だった。

久しぶりの西岳頂上。編笠・権現・赤岳・硫黄が大きい。今回、ガイド登山

だったが、相方は、慣れない氷道でよく頑張った。昼食は下の二人と一緒に

約束だったが、12時を回り、余りの空腹に耐え切れず、ビア1本とパンを

少し食べた。食べたら急に元気が出た。現金なものである。

下りも神経を使った。昼を過ぎても氷は一向に柔らかくならない。こんなこと

ってあるだろうか。途中、下の2名と合流。Sさんは、その後体調が回復して

元気イッパイだった。ただ、サポーターのKは、Sさんののに荷物も背負ったようだ。

兎も角、一安心。陽だまりでゆっくり昼食にした。食べるものが多すぎて消化が

大変だった。1時間で高原着。甲府南の「みたまの湯」に入り帰った。

(24日朝、多忙なので23日夕方書きました)



3月23日(火)晴・16/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月23日(火)08時31分9秒

昨日は、

八ヶ岳・西岳(2398m)でした。コースは、富士見高原～不動清水～西岳

(往復)。天気=晴れ、標高差=約1048m、所用時間(昼食含む)=約7時間、参加=4名。

富士見高原スキー場8:41発。天気は良い。上空はゴーゴーと風。スキー場は

まだ雪があった。ここで、Sさんが手袋を落したが、下山時あった。唐松林を上る。

下部は雪がない。不動清水着。水は流れていた。

単調な上りが続く。Sさんが不調。心臓がバクバクするという。寝不足らしい。

久しぶりの早朝発の山で、よく寝られなかったらしい。我々も、寝不足が一番辛い。

決定的な解決方法はない。睡眠導入剤を飲む方もいるようだ。

兎も角、早く寝ることだが、主婦の方は、なかなかそうもいかないだろう。山のトラブル

で怖いのは病気。骨が折れた・擦りむいた・グレったなどの怪我は、ある程度、我々、

素人でも対処出来る。

ただ、病気は素人では、いい加減な対処は危険だ。こんな場合「潔く下山する」のが

ベストである。以前、私も新穂高で眩暈・嘔吐・ふらつきで、歩けなくなったことが

ある。私は槍登山は諦め下山した。しかし、歩いて下山が出来ない。何とか林道まで

辿り着き、新穂高の登山指導所に車で来て貰い救助された。

その病気が未だに何であったか不明。私は民宿の食中毒と思っている。ただ、同行の

3名は、全く問題なかった。だから、病気は難しい。指導所は「熱中症」では、だったが

私は暑さに物凄く強いので、そうは思っていなかった。

結局、Sさんは1時間程上った所で登頂は諦め、休み休み上ることとした。登頂は、残った2名で向かった。

つづく





3月22日(月)晴・15/50

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月21日(日)18時07分6秒

土曜日は、

宇佐美・巢雲山（581m）でした。コースは、宇佐美駅—阿原田—三角点・大丸山（だいまるやま）—巢雲山—生仏の墓いち—別荘地—宇佐美駅—民宿「鈴幸」（温泉）—三島駅。天気＝晴れ・高温、参加＝7名。

2018年以来の巢雲山。宇佐美駅から出発。三島駅からここまで、510円。
車で来ることを考えると安いだろう。

前回は、仲川を詰めて尾根に上がったが、今回は最初から尾根を上った。途中、ミカン畑は多いが、ミカンは既に食べれるモノはなかった。

オジサンが二人、畑仕事。聞けば「1万円の仕事」という。それはてっきり、紙幣の原料のミツマタの植樹かと思ったが、実は長イモ・山イモを作るという。
イモは、いい値段で売れるようだ。

静岡新聞から携帯が入った。「この人」のコラムに、来週の頭に出ること。
これで3月に入り、新聞掲載は3回目。ちょっと出過ぎかと思った。ただ、イヤ

とも言えない。

大丸山に上った。三角点があった。ただ、展望はそれ程良くない。一旦、下って
巢雲山の上りに掛かる。標高差約80mある。上りければ広大な草原が
広がる
頂上。気持ちの良い頂上だが、残念ながら雲が多く、富士山は見えなかつた。

悔しいので、7名で富士山の恰好をして記念写真を撮影した。昼食は頂上ドーム
で風を避けて頂いた。ビアが美味しかった。程なく1時間遅れでMが到着。義母が
デイ・サービスで送り出してから参じた。これで連続3回目。その努力・情熱には
頭が下がった。

つづく（月曜朝多忙なので、日曜夕方書きました）





3月19日(金)晴・17/54

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月19日(金)04時54分23秒

今週は

山岳スキーに絶好の天気だったが、諸般の事情で行けなかった。
加齢とともに、自身の問題外で動けないことがある。家族全員が元気でないと
遊びも、ままならない。

で、兎も角、運動不足。汗を流したい。
近場で雪がある山は、富士山しかない。そうだ、富士山に行こう。

しかし、今年は、というより、今年も、富士山の雪は少ない。

雪が多い少ないの目安は、スキー回数で分かる。
今年は、ギリギリ、1回。それも御殿場口・二合目上まで歩いた。

去年は1回、一去年は3回。
昔は、12月に宝永山から滑ってこともある。
昨日もそうだったが、「雪線（せっせん）」が高い。

つまり、雪線とは、山で一番下の雪のラインだ。昔は周遊道の1300m付近だった。
昨今は、2000m付近。2000mはニッ塚（通称・双子山）の上。
昨日は、更に上の2300m付近だった。

これでは話にならない。スキーどころか、スノー・ハイキングも出来ない。
原因は何か。やっぱり「温暖化」だろう。3月に入り、温かい日が続く。
温暖化は、畑にも微妙な影響がある。

季節は、異常であってはならない。普通に「三寒四温」望ましい。





3月18日(木)晴・16/50

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年3月17日(水)16時08分53秒

昨日は

極早生のタマネギを3ヶ収穫しました。
植えたのは、昨年、10月22日。何故分かるかというと、「畑日記」
を
2008年から付けているから。

畑は、15年位やっているのだから、ある程度、経験値で出来る。
しかし、タマネギを昨年、いつ植えたまでは、分からない。
やっぱり、それは記録して置かないとダメ。

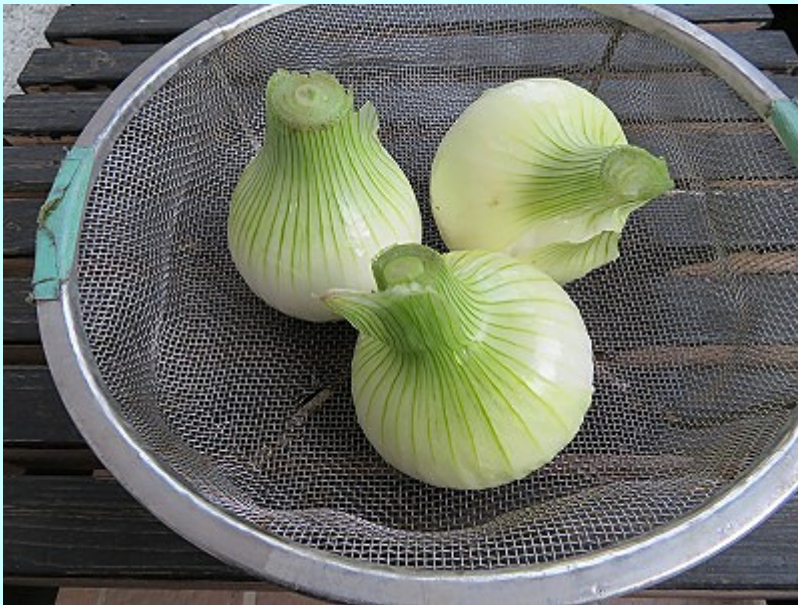
約5ヶ月で収穫。中成・晩成は、5月だから、極早生は、やっぱり早い。新タマは、味は勿論、サイコーだが、色がキレイ。透明感がある真っ白で
艶やかな色は、感動ものです。これは、作物を作っている人間しか分からない。

一番美味しい食べ方は極めてシンプル。
タマネギを八方に切れ目を入れる。バターを頭に乗せる。レンジで（今回
は3分。大きさに異なる）チンする。

チンしたら、ユズポンを掛けていただく。
これが美味い。新タマの甘さと柔らかさ。バターとユズポンが相まって
それは、言うことなし。ご馳走様でした。

土・水・太陽に感謝・多謝ですね。

（明朝、多忙なので、17日書きました）





3月17日(水)晴・17/55

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月17日(水)06時42分48秒

15日つづき

竹藪の急斜面を上る。頭上で、ゴージャスな音が凄い。上に新東名の鳥手（とりで）山トンネルがあった。上る尾根は、トンネルの上だった。尾根はスギの植林地で、北面なので暗く寒い。

標高500m付近に林道があった。林道と言っても、大規模でなく、軽トラが通れる程度だった。標高550mで空が開けた。ようやく、人工林から解放され自然林になった。防火帯のような空間が広がっていた。

やっぱり自然林はイイ。開放的で明るく温かい。標高641mのピークに「立山」のプレートがあった。樹木に木ねじで留めてあった。木ねじは、自然保護的ではない。色あせて、ギリギリ読めた。相当、古いモノだろう。

ひと上りで、鳥手山（665m）着。これで今回の未踏の部分は終了した。過去、2回、この西側の尾根は上っている。50mほど下り、ちょっとした鞍部から再び急登が始まる。この辺りは、自然林の巨木が林立し、とてもイイ感じ。

急登を200mしのぐと、三角点の「鷹落場」着。ちょっと変わった三角点名。以前、伊豆の三角点の山を調査し、本にしたがその時、四等三角点など、等級が低い三角点は、主たる測量者が命名出来るということが分かった。（当時）

従って、「鷹落場」は、鷹が撃ち落され場所、みたいな感じの命名がなされたと推察される。三角点ピークは、展望が良く、明神・明星・矢倉・相模湾が展望された。ここから矢倉岳まで細かい経路を辿り頂上着。谷峨から約3時間半。標高の割に厳しい山だった。

昼食時間まで早かったが、空腹と疲れに耐え切れず、昼食とした。頂上には、他に7～8名いた。殆ど矢倉沢方面から。こちらは2時間程で上れる。矢倉岳は、兎に角、展望が素晴らしい。特に富士山は秀逸。前述のように新雪が光輝いていた。30分もすると多くの登山者が、ゾロゾロと来る。概ね、ご年配が多い。ま、私もその類だが、3時間半掛けて来る方はいない。

昼食後、足柄峠に向かう。峠まで、上りがあり厳しい。かつ、足柄峠から足柄駅までも長い。1000mに満たない山だが、このコースは、毎度厳しい。結局、

足柄駅着 14:00。7時間掛かった。

しばらく来なかった足柄駅は、新装なってキレイだった。オリンピックの自転車

関係だろうか。しかし、皆の意見は、以前の鄙びた駅舎が良かったとのこと。SL

は既に走っていないが、もし走ったら、これでは似合わない。

御殿場線を使い、大縦走できる山。訓練の山として、有り難い山である。





3月16日(火)晴・14/50

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月15日(月)17時39分39秒

定年前から

やっている「畑」。冬作物は終わり、春～夏バージョンに移行。
そんな訳で「ダイコン」もお終い。

今日は、最後の5～6本片づけた。
ところが、最後の一本が凄かった。

計量したら、秤が計量できず、12Kgオーバーだった。
畑は十数年やっているが、こんなのは初めて。
しかし、こんなに大きくなるものか??
感動ものでした。

捨てるのは、残念なので、畑の隣の「ストーリーズ」に
「展示」してあります。(´艸`)



3月15日(月)晴・13/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月15日(月)06時04分20秒

昨日は

箱根山塊・矢倉岳(870m)北東尾根でした。コースは、御殿場線・谷峨駅～北東尾根～前山～鳥手(とりで)山～鷹落場～矢倉岳～足柄峠～御殿線・足柄駅。天気=晴れ・上部強風、距離=約15km、歩数=3万、標高差=約845m、時間=約7時間、参加=3名

ただ、このコースは、標高差は少ないが、距離は長い。従って、訓練山行として最適のコースである。

久しぶりに、野郎3名で御殿場線山行。過去、矢倉岳バリエーションは、谷峨駅から2回行っているが、今回は最終回の総仕上げ。車中、富士山が素晴らしい。昨日の雨が雪になり、光り輝いていた。

ただ、この時期の雪は要注意。水分が多い重い雪で、しばしば雪崩事故が起きる。電車でそんな話をしていた。帰宅し夕方のニュースで驚いた。やっぱり雪崩事故があった。飛騨・乗鞍岳だった。写真を見ると、我々もいつも通過する場所だった。

ここは以前から危険な場所だった。乗鞍岳スキーエリアは、多くは東面にある。スキー場外の山岳スキーエリアも東面が殆ど。東面は、冬の強い西風で雪が積り溜まる。

事故現場は、沢のどん詰まりで急斜面が100mくらいの場所。最上部にスカイラインが走るその下の断崖。そのような急斜面は、特に危険。急斜面を避け、左の尾根を巻くように上らなければならない。

しかし、写真を見れば大規模の雪崩でどこまで避け得たか不明。昨日の

ように

ドカ雪の後は、兎に角、要注意である。犠牲者のご冥福を祈るしかない。

谷峨駅に着いた。谷峨駅は無人駅。駅から旧246を歩いた、北東尾根の

取り付き着。地図では、のり面が上れるか心配したが、問題なかった。

竹藪

の急斜面を上り始めた。

つづく





3月12日(金)曇・17/54

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月12日(金)06時43分4秒

つづき

巡路は、北又集落から修禅寺・奥の院に向かう予定。
ただ、既に昼食時間。歩いて奥の院に向かうと、小1時間掛かるので、バスを呼ぼうと携帯をしたが出ない。

携帯のアナウンスは、「電源を切らないといけない場所なので連絡は出来ない」だった。30分やっても駄目だったので、事故の可能性も大で大仁警察署に連絡して確認したが、事故確認は出来なかった。

ショートメールも入れて待ったが、やっと連絡が取れた。運転手曰く「携帯電源が知らないうち切れていた」だったが、そんなことがあるだろうか。

運転手などの業務は、携帯が命。時々、チェックをする機転が大事だ。何とかバスに乗り、奥の院でお勤め後、昼食。寺の裏が梅園で、ちょうど
梅は満開。ブルーシートを広げ昼食。

結願祝いだったので、サポーターのKが腕を振るい、「キノコ汁」を作った。
これは美味しかった。中には昨年秋、富士山で採った「ジゴボウ」も入って
いた。「ジゴボウ」は、いい出汁が得られる。

「般若湯」も頂きお祝い。暑いくらいの好天で花を添えてくれた。昼食後は、
結願者4名の挨拶。おのおの、2年半の感想を述べた。中でも、裾野のNさんの
巡礼動機は、海外のゲリラ人質事件で亡くなった上司の供養だった。

そんな事情は、今日の今まで知らなかったが、Nさんは今回、結願したことで
心の整理がついたと語っていた。Nさんにとって伊豆巡礼は、なかなか
厳しい
ものだったようだが、無事終了して良かった。

昼食後は、修禅寺に向かう。相変わらず周りは牧歌的雰囲気。早咲きの
後の
サクラが素晴らしい。ルンルンで下っていく。修禅寺着。静岡新聞の記者が
待っていた。結願者が取材を受ける。私は寺で「巡拝畢（じゅんぱいひつ）」
と呼ばれる、結願証を購入。これは結願者に私からのプレゼント。

「巡拝畢」の畢とは、一つのことが終わり、また、始まるの意。本堂で
お勤め後、
表彰式。皆様の感動は極まった。私も一連の行事が終わり、ホット一息。
長いようで
短い2年半でした。





3月11日(木)15/39

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2021年3月11日(木)06時31分16秒

昨日は、

3月度・伊豆八十八札所巡礼でした。
巡路は、真城峠分岐～戸田峠～ダルマ山レストハウス～キャンプ場～
山路～北又沢分岐～北又～北又集落ーバスー奥の院(昼食)～修禅寺(結願)

天気＝晴れ、距離＝約16km、参加＝18名。

朝、バスの中で3.11の黙とう。10年前の前日も奇しくも、戸田峠越え
だった。今回は、3名の方が2年半の巡礼の結願。奥の院でお祝いを予

定
している。

前回最終の真城（さなぎ）峠分岐から出発。天気は良い。端から急登が続く。

途中、2～3回休憩をして戸田峠着。約1時間。1.5時間と見たが、予想より速かった。

峠から下り。ダルマ山レストハウスに寄る。更に下りキャンプ場の山路を行く。

土の道で快適。春はワラビが豊富なようだ。下りきって北又川分岐の林道を進む。林道は落石が多い。

北又川を下る。のり面に粗大ごみが多い。今朝の新聞に不法投棄で逮捕の記事

があった。このような行為は理解できない。サクラ・コブシ・ウメ・菜の花が

満開の北又集落を進む。ここは素晴らしい「桃源郷」だ。

下りきれば、いつも寄る、シイタケ業者宅。この時期、予想通り、今朝、シイタケ

を収穫したようだ。早速、主人に交渉し、2kg=500円で分けて貰った。

シイタケは、細かく切って、軽く干して冷凍する。夏にソバのイイ出汁になる。

おばさんも手つきが良く、一発で2kg軽量するのには驚いた。10名ほど購入。

30分ほど掛かったが嬉しい。毎回見るこの下のサクラは見事でした。

つづく



3月10日(水)晴・14/55

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月9日(火)15時45分15秒

今日は、伊豆八十八札所巡礼です。

10年前の3月10日も伊豆札所巡礼だった。
しかも、奇しくも、今回と同じ「戸田峠越え」だった。
当日は、やや寒かったですが、天気に恵まれ、翌日も大地震など
全く予想だにできなかった。

そして11日、未曾有の大地震だった。
私はその日、パソコンで昨日の巡礼の記録を纏めていた。
そして、その時。14:26。

居た所は1Fだったが、最初から、揺れが違った。
長く大きな揺れが続いた。私も異常を感じたが、6歳の愛犬、
トイ・プードルも恐怖を感じたらしく、いつもと違う異様な態度
に感じた。

「地震・雷・火事・オヤジ」と言われるが、地震は本当に怖い。
二度とこのような事がないことを願うが、日本では現実的ではない。
「ある」ことを想定し、備えることが出来ることです。

(10日は、巡礼なので9日に書きました。)





3月9日(火)曇・13/53

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月9日(火)06時29分22秒

この

日記は、2010年4月16日、スタートした。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-15.html>

おおむね、10年続いている。

時々、紐解いて、昔のことを確認することもある。

昨日、そんな作業をしていて、気が付いた事があった。

知っている方は、ご存じだろうが、私は知らなかった。

それは、1年のカレンダーの曜日だが、うるう年でない年は、元旦と大晦日の曜日が同じということ。つまり、元旦が日曜日なら、大晦日も日曜日。

実際、調べてみると、

2021年・・・1/1金曜日	12/31金曜日
2020年・・・うるう年	
2019年・・・1/1火曜日	12/31火曜日
2018年・・・1/1月曜日	12/31月曜日
2017年・・・1/1日曜日	12/31日曜日
2016年・・・うるう年	
2015年・・・1/1木曜日	12/31木曜日
2014年・・・1/1水曜日	12/31水曜日
2013年・・・1/1火曜日	12/31火曜日
2012年・・・うるう年	

という具合。

1年は365日。週7日だから、 $365 \div 7 = 52$ 週（364日）+1日。で、元旦が日曜日の場合、12/30日は、土曜日で、+1日の31日は、日曜日になる。

うるう年は、1日多いから、その場合、月曜日になる。昨日は、そんな収穫??!!がありました。（笑い）





3月8日(月)雨・16/44

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月8日(月)08時30分55秒

このところ、悪天候で山行がままならない。

2月19日のつづき

ブナ林をグングン上って行く。周りにミツマタが咲き始めた。今上っている、(下)権現山の西に有名なミツマタの山、ミツバ岳がある。

花の時期は、3月下旬から4月上旬。草花でなく樹木の花。下向きに咲く花で色は、白・薄い黄色。どちらかと言えば、地味な花。ただ、

沢山咲いていると、それは見事。

ミツマタは、和紙の原料でもあり、今でも紙幣にも使われている。ただ、このミツマタの木、余り大木を見たことがない。見るものは大きくても樹高2mくらい。

山の会の会員が庭で、育てていたが、ある日、パタッと枯れてしまったという。ネットでは、寿命は、概ね10年程という。樹木で10年は短いと思う。理由は何でしょう??

最後は岩混じりの、物凄い急登り。下山はちょっと苦勞しそう。最後はなだらかなブナ林を上れば頂上だった。平日なので誰も居なかった。直下の急下りが嫌なので、昼食は、そこを済ませてからにする。

何処の山でもそうだが、緊張感があるうちに、厳しい場所を済ませたほうが、安全と考える。途中、物凄いブナの根っこを発見。感動的??!! な根っこだった。普通、見えない根っこは、地下でこんな頑張っている（笑い）と思った。

急下降を済ませ、ミツマタが咲く、陽だまりで昼食。煙がモウモウのイワシが美味しかった。ダムまで難しい所もなく無事下山。今回は、西丹沢で数少ない初見の尾根を往復出来て収穫はあった。





3月5日(金)曇・13/51

[返信・引用](#) [編集](#)
[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月5日(金)06時44分43秒

今朝の

静岡新聞に私の「四国八十八箇所」の記録本が紹介された。
「あとがき」を紹介します。

あとがき

なかなか、ようやく、遅ればせながら、で、やっと発刊のはこび。
やろう、やろう、
と思っていたが、なかなか出来なかった。

この手の本は、既に 2006 年に「伊豆の里山・50山」
(実際は、61山)・

A4版・172p、2013年に「伊豆八十八札所巡礼」

A4版・232pを出版している。本は今回で3冊目。

お遍路が終わったのが、2014年だから、いささか遅すぎた感
は否めない。この手の仕事は、思い立ったら、一気に完成に進めることが
肝要。遅くなれば、記憶は薄れ、感動もなくなる。

今回、その気になったのは、コロナ禍で在宅が増え、時間が十分あった
こと。それと「信念・意志・意識」を持って望み進めば、必ず道は開け、
願いは成就するということです。

ここまで延びたのは、年齢を重ね、目も悪くなり、気力も低下した。
それでも、全ての記録・写真を完璧に残してあったので編集は、まあま
あ楽だった。

6年前のお遍路だったが、鮮明に一場面、一場面、思い出された。
出来れば、可能なら、「もう一度歩きたい」気持ちはなくはない。
しかし、憧憬は憧憬で残すのもいいだろう。

最後に多くの仲間・バス会社・家族・地元の宿・寺・お接待の多くの方々
に感謝する次第です。合掌。



3月4日(木)晴・11/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年3月3日(水)17時27分45秒

昨日と

同じく、富士山一周ウオーク時、御殿場・神山で「フキのトウ」を見た。道路傍の民家の庭にあったが、それはキレイだった。

ま、欲しかったが、民家のものでは諦めた。が、仲間のKがその近くの土手で何個か収穫した。帰宅後、改めて見たが、その色が美しいのには驚いた。フキのトウが今までこんなに鮮やかだったとは・・・。

食べてしまうのは、いささか抵抗を感じたが、結局、採取し貰った責任で「テンプラ」で食した。

私は、味噌汁も好きだが、温かいテンプラは美味しかった。

フキのトウは、思い出があって昔、5月連休に糸魚川の山登りに行った時、雪解けの田んぼの畔に、これでもかとフキのトウが出ていた。そうしたら驚いたことに、農家の方が、「草刈り機」で、フキのトウを「刈っていた」。

ところが、雪解け後に出た、フキのトウは、濃厚な味でサイコー。オジサンに断って大量に貰って来た。山仲間へ上げた、大いに喜ばれました。

(この日記は、3日夕方書きました)





3月3日(水)曇・15/60

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2021年3月3日(水)06時17分10秒

木口さん、投稿を有難うございました。今後ともご愛読をよろしく
お願い致します。投稿は、大歓迎です。

さてさて、クイズですが、この写真は、先日の富士山一周ウォーキング
時、裾野市の公文名（くもみょう）で撮影したのですが、一体なんで
しょうか??!!

最近では、やや少なくなったような気がしますが、裾野市や御殿場市は、
「芝生」の生産地です。だだっ広い畑で芝生を作っています。

この写真は、その芝生を出荷する前のものです。以前は、50cmくら

いの四角形で出荷していたのは、良く見ましたが、このようにロール状は初めて見ました。

多分、用途が違うんでしょうね。少なくとも家庭用ではなさそうです。例えばサッカー場とかゴルフ場とか、大型の施設でしょうか。

芝生の出荷は、この地方の冬の風物詩です。





Re: 3月1日(月)晴・10/43

[返信・引用](#)

投稿者:木口 投稿日:2021年3月1日(月)22時04分47秒

たかちゃんさんへのお返事です。

こんばんは木口です

日記、楽しく読ませていただきました

雪山登山なんてすごいですネ!!!

わたしは日曜日に松崎の三浦歩道を歩いてきました

初級コースと言われて参加したのですが、わたしにはかなりキツかったです

また日記を読ませてください

楽しみにしています

3月1日(月)晴・10/43

[返信・引用 編](#)

[集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2021年3月1日(月)05時23分14秒

土曜日は、

富士山・御殿庭でした。コースは、須山下山道～幕岩～三辻～御殿庭下沢(仮称)～御殿庭。天気=晴れ・強風、標高差=789m、参加=4名。

幕岩下沢(仮称)を上る予定で、周遊道に行く。ところが、沢は以前から、火山礫が堆積し、橋下が詰まりそう。堆積物を大型ショベルカーが数台入り、取り除くため(浚渫・しゅんせつ)工事中で沢に入る

のは危険だった。

沢は諦め、須山下山道を上る。2～3日前の降雨で登山口から雪がくるぶし位までであった。硬さが程よく上り易い。まだ、誰も歩いていなく、真っ新なバージン・スノーだった。この表現は、最近は余り聞かないが、ひょっとしてセク・ハラか??

須山お胎内を通過し幕岩に達した。雪は相変わらずキレイで素晴らしい。今回のメンバーは、会員3名とN労山・Eさんの4名。Eさんは雪山指向で今回は訓練登山。ここからトップを担って貰った。

天気は素晴らしかったが、風が強く、ゴーゴーと梢を揺らしていた。三辻から御殿庭下沢に向かう。この辺りは東斜面で積雪が多い。めげずにガンガン上る。

途中、一人降りて来た。ランナーみたいで、極めて軽装だった。富士山を舐めてはいかんで。沢を渡り、御殿庭下の斜面を上る。新雪の下が氷だったが、アイゼンを使う程ではなかった。

途中で一人降りてきた。今日二人目の登山者。上りければ御殿庭。しかし、風がハンパでない。目的は、頭上の宝永山2352m峰。御殿庭から標高差=約200m。

時間にして30分。無理をすることはない。写真を撮り、即、下山。すぐ下ったところで昼食。全く風がない。不思議だ。

お昼は、美味しく楽しい。山は食事が一番の楽しみ。私は朝作った「玉子焼き」を振舞った。

下山は楽しい。新雪に程よくブレーキが利いてルンルン下る。この場合、わざわざ登山道なく、林間を下る。これが雪山の醍醐味で楽しい。ルート・コースは自由。トップの裁量に任される。ちょっと、動物になった感じ??(´艸`)

途中、余り遊びすぎて、須山下山道をちょっと外した。スマホで確認し修正。今は、楽になった。これで道間違いの遭難は減少しただろう。無事、登山口着。イイ山だった。この時期、やっぱ「雪山逍遥」ですね。!!!



2月26日(金)雨・13/45

[返信](#)・[引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年2月26日(金)06時44分5秒

つづき

再び、農免道路に出て湖尻峠の道まで歩いた。ここでバスに乗り、深良用水の西口を見学した。何方かが、釣りをしていた。聞けば(とって

も、ろうあの方だったが) ワカサギらしい。エサ釣りでなく、引っ掛けのようだ。この釣法は本来、禁じ手と思ったが・・・。

見学後、再びバスで農免道路終点に下り、岩波風穴に向かう。風穴は小さいが、まあ、珍しいものなので、初めての方は、ヘッドランプで潜った。中は恒温で冬は暖かいが感想だった。(夏は涼しい)

風穴から最終ラウンドで、時の栖を目指す。住宅街の中に沢山、フキのトウが出ていた。庭先のは貰う訳にはいけないので、庭外のを5～6個、Kが貰った。田舎道を進むと丁度近くの神山小学校の下校時間で、元気な子供がやって来た。挨拶もなかなか元気があり良かった。

左手の黄瀬川に「カンコラ淵」あり、見事な溪流美が見られた。溪流は三島溶岩から成っているが、溶岩は浸食がされ易く、渓谷は深いものになる。時の栖に到着。45分時間を取り、買い物をした。今回は、ウォーキング新参加の方が数名いたが、皆さん良く歩き頑張ったと思いました。





2月25日(木)晴・10/41

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年2月25日(木)06時43分23秒

昨日は、

2021・第1回富士山一周ウォーキングでした。コースは、三嶋大社―桜堤―裾野・偕楽園―文明寺～バス～興禅寺(昼食)～バス～文明寺―大庭源之丞墓―深良用水―岩波風穴―御殿場・時の栖。天気＝晴れ、距離＝約18km、参加＝17名。

先月は、コロナで延期。2021年、最初の富士山ウォーキング。まず、三嶋大社で、ボランティア・ガイドの説明を1時間受けた。駐車場の満開の桜に見送られ出発。

大場川を遡る。桜堤の桜並木は見事。来月は満開の桜が凄いだらう。裾野に入り、茶畑から借樂園に寄る。名前の通り、梅が見事だった。公文名から文明寺着。

ここで、11時半になったので、近くの興禅寺にバス移動して昼食にした。伊豆巡礼で岩波に住む、Nさんからお菓子の「こっこ」の差し入れがあった。有難うございました。寺はイイ雰囲気環境。境内の脇で弁当を広げた。トイレもあるので有難い。

午後は、バスで文明寺に戻り、ウォーク開始。農免道路を進み、大庭源之丞墓に寄る。ところが、参加者17名中、源之丞を知らない人が5～6名居たのには驚いた。ここはジックリお勉強で、立て看板を読んで、説明して上げた。

つづく





2月22日(月)晴・15/44

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年2月22日(月)05時37分40秒

長泉町

町会議員だった、木下章夫さんが亡くなっていた。
いた、というのは、長泉広報に掲載されて分かったからだ。
まだ、64歳。私より10歳若かった。
自宅で一人飲んでいて亡くなったという。家族が気が付いたときは、
既に手遅れだったという。

木下さんとは、特に懇意にしていた訳ではない。
木下さんは、原分で喫茶店・外食の「ストーリーズ/STORYS」
を経営していた。

私の畑が、2018年、薄原から原分のストーリーズ横に移った時、
木下さんも畑をやっていて知り合った。
酒を飲んだ訳でもないし、ただ、それだけの間柄だったが、時には、
畑で政治談議??を交わしたり、私のHPが話題だった。

それにしても、「最近、見ないな～」とは思っていたが、2ヶ月も事実
を知らなかったとは、我ながら呆れてしまった。これもコロナが影響し
ているだろう。

毎月、会報「れいほう」は、送っていた。記事を見て、自然保護・雪山
・スキーの話で盛り上がった。特に重荷で何時間も上ったり、下ったり

することが驚異と映っていたようだ。

登山を知らない木下さんに、山の説明をいろいろした。やはり町会議員で山にも上っていて、町会議員在職中、亡くなったSと懇意だったらしく、彼の山の話もよく出た。同じ革新系で話が合ったのだろう。

木下さんは保守系でなく、革新系の議員だった。既に決まってしまった、長泉町・裾野市との火葬場の件で裁判を起こしていた。筋が通らないことは、曲げない議員であった。

諸行無常・諸法無我。世の中は、思うようにならないし、思いがけないことが多いのが常。しかし、2ヶ月前まで元気な方がいないのは寂しい。残念無念の一言だった。



2月19日(金)晴・11/30

[返信・引用](#) [編集](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年2月19日(金)08時04分38秒

昨日は、

西丹沢・権現山(下の・1018m)でした。

コースは、丹沢湖・永歳橋から往復。

天気=無風・快晴、標高差=668m、参加2名。

西丹沢に権現山は二つある。一つは、丹沢湖の北。一つは、西丹沢自然教室の

西。同じ山域に同名の山は、ややこしいので、便宜上、「上・下の権現山」と呼んでいる。従って、今回は「下の権現山」登山。

下の権現山は、ミツマタの花で有名な、ミツバ岳の延長戦の北にある。ミツマタの花見学のついでに上ることが多い。ただ、今回は丹沢湖・永歳橋から直接、南尾根を上った。西丹沢は、若いころから多く訪ねているが、このルートは、初見だった。

50年以上、山に上っていて、まだ初見ルートがあるとは、幸せなことだ。車はダムサイト駐車場に置いた。最初から物凄い急登。グングン高度を稼ぐ。昨日までの強風は収まり、南面故、陽光が溢れる。

先週は、一日雪山だったので、このように「乾いた温かい山」は、「楽しく・嬉しく・安心・安気」だった。人工林が終わると、いいブナが続いた。左手に富士山が現れた。この日は、本当は、富士山でスキー予定だったが、先日の大雨で下部は大分溶けてしまった。

つづく





2月18日(木)晴・7/32

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年2月18日(木)05時11分41秒

今朝は、久しぶりに寒い。

昨朝、NHKBS「グレート・トラバース」で、田中陽希が雪庇下・東面（風下）に雪洞を掘り利用しました。

しかし、あれは間違いです。過去、雪庇下・東面（風下）に雪洞を掘り利用したが、雪庇が崩れ死亡した事故が過去何件かあります。

確かに、東面に雪洞を掘るのは楽です。何故なら積雪量が多いからです。雪が多いから簡単に雪洞が掘れる訳です。

田中はそれを知らないのか??もし知らないのなら、彼は「素人」です。

もし、知っていて掘り出し、それを報道した NHK は、何も知らない、視聴者に誤った報道をしたことになる。

NHK もそれを知らない連中ばかりなのか?? NHK は、訂正なり、陳謝なり、釈明をすべきです。

あんな放送をする NHK、また、間違っことを平気でする田中には、ガッカリした。





[返信・引用 編集済](#)

2月17日(水)晴・強風 11/42

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年2月17日(水)06時16分51秒

つづき

展望が開け元気が出た。
雪庇が大きい雪稜をサクサクと上って行く。
傾斜が次第に強くなった。ここで、ストックからピッケルに変えた。

私は強い斜面では、ピッケルでないとダメ。ピッケルを刺して、右足・左足がリズムが出来る。ストックは、雪面に首まで刺さらないので、安定しない。K嬢は、この傾斜でもストックでOK。何処がちがうのか??

三叉峰に上がると、縦走路に出た。右手に横岳頂上が見えた。去年は酷いホワイトアウトで最初の梯子で断念した。頂上まで、わずか5分。白内障で雪面の凹凸がハッキリせず止めた。今年は先日、両目の手術が終わった。好天も相まって素晴らしい雪山を楽しんだ。

頂上に立った。素晴らしい展望。特に赤岳・阿弥陀岳は凄い迫力。ただ、今回は他の登山者は居なかった。四人で記念写真を収めて下山。三叉峰の下りは、全く問題なかった。

約2600m付近で登山口で会った、元会員のYと相方がいた。相方は「もう上れない。ここで終わり」といった。時間は12時を回っている。ちょっと遅い。Yはどうするか思案気味だったが、初心者を一人、置い

ていくわけにはいかないだろう。

更に下って展望台で遅い昼食。梅酒+ワイン+ビアが美味しかった。温かいカップラーメンを流し込んだ。天気は相変わらず安定していた。そのうちYも下って来た。Yも断念したようだ。山におけるパートナーは重要である。順調な場合は問題ない。何かあった時は、一蓮托生である。

つづく





[返信・引
用 編集
済](#)

2月16日(火)晴・13/40

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年2月15日(月)17時35分4秒

つづき

別荘地の道路を上って行く。道路は、カチカチの凍っている所以要注意。以前、スキー仲間が転倒し、頭を打って3~4年不調だった。頭部の過度な衝撃は、要注意である。

別荘地の道路は錯綜して案外と分かり難い。しっかりチェックして置かないと
帰路、迷う場合がある。事実、今回、I君は一人遅れ、迷ってしまったようだ。
林道が終わると、東屋があり、そこから山道になる。東屋の屋根の積雪量で
今年の積雪量が判断出来る。

北沢の丸木橋を渡ると、本格的な上りになる。山岳の尾根は、末端が急だ。
末端が、それだけ浸食されている。しばらく急な上りを凌ぐ。それでも、1月中旬で積雪量が多いので楽だ。少ないと、樹木の根っこが露出して、アイゼンが引っ掛かり、転倒が怖い。

標高約2400mのテント場まで、標高差600m余り、時間にして約2時間が
実に長い。歩けど歩けど、上れど上れど、同じような樹林帯が続き、飽

き飽き

してくる。東面の杣添尾根は、西面に比べ、森林限界が高いのだ。

腹の調子がイマイチで、ここでトイレをしてしまった。山中でやるのは、気が

進まないが仕方がない。せめて、最低ペーパーは持参した。この上の急登を

上りきれば、ようやく大展望が広がる。

背後に奥秩父、左に富士山が大きい。赤岳がナタでバツサリ切ったように凄い。

正面は、三叉峰から横岳・硫黄岳が続く。しかも、この日は無風快晴高温。

一年でそうざらにある天気ではない。

大阪から来たという、中年男性が抜いて行った。ここまでアイゼンを履かないで

来た。ただ、何故か下山は最後まで履いていた。逆だと思うが・・・。

この日の

登山者は、10名くらい。ま、若い衆が多い。我々のような70歳代は稀有だ。

つづく





[返信・引用](#)

2月16日(火)晴・13/40

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年2月15日(月)17時30分49秒

つづき

別荘地の道路を上って行く。道路は、カチカチの凍っているの要注意。以前、スキー仲間が転倒し、頭を打って3～4年不調だった。頭部の過度な衝撃は、要注意である。



2月15日(月)雨・16/56

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年2月15日(月)06時05分29秒

先週土曜日は。

八ヶ岳・横岳(2830m)・杣添(そまぞえ)尾根でした。
コースは、海ノ口登山口から往復。標高差=1079m。
天気=無風快晴高温。参加=4名

毎年、冬に上る横岳。一年ぶりの杣添尾根だった。メンバーは昨年と同じ。今年、昨年と違うことは、弩ピーカン・高温だった。そして毎年、同じことをやる大切さ。過去の記録を調べた。

2021、2・・・7:40~12:00=4時間20分
2020、2・・・7:45~12:00=4時間15分
2019、1・・・不明
2018、1・・・8:35~11:53=3時間18分
2017、1・・・7:50~12:09=4時間19分
2016、3・・・7:00~11:10=4時間10分
2015登山なし
2014、3・・・6:30~11:05=4時間35分
2013、1・・・7:05~10:55=3時間50分

登山口で昨年も会った別荘のご夫婦とバッタリ。聞けば、ご夫婦は和歌山県の方だった。別荘は大きく立派。冬は零下20度になるこの地では、管理人に頼めば、到着前に暖房をオンしてくれるそう。使っている車は、ピカピカのボルボ。まだ若いように見受けるが、このような方は、一体、どのような生活を送っているのか・・・。

男女2名の隣の車が沼津ナンバーだったのでお声がけをした。話してみたら、男性は元会員、裾野のYだった。退会したが山は続けているようだった。ただ、相方の女性が笑ってしまった。

Kが「そのアイゼン、変わっているね」と問いただしたら、何とアイゼンを前後に装着していた。私も長く山をやっているが、そんな光景は初めて見た。つまり本来、飛び出ている12本目の爪は、つま先方向に装着するが、何故か「かかと方向」を向いていた。いやいや、それでよく装着出来たと、「妙に感心してしまった」が、そんな方が冬山志望なのかと、考えてしまった。

7:40 出発。温かくヤッケは不要だった。原則、アルパイン（アルペンの登山）は、月1回実施だが、ここ2回、昨年12月・1月と悪天候で痛めつけられていた。しかし、今日は素晴らしい天気。こんな冬山は、大歓迎だ。

つづく





2月12日(金)晴・12/49

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年2月11日(木)09時38分55秒

一昨日は、

2月度・伊豆巡礼でした。

巡路は、井田入り口～大瀬崎～西浦・江梨～85番札所・航浦(こうほ)院～

バス～井田(昼食)～バス～戸田～87番・大行寺～真城(さなぎ)峠分岐。天気=晴れ、参加=14名、距離=約15km(上り多い)

早朝、だるま山高原レスト・ハウス(実際は、金冠山)から富士山が素晴らしかった。一同、感動・感激。前回最終の県道R17の井田集落入り口から9:00出発。まずは、井田集落に降りて行く。

ここからも、駿河湾の向こうの富士山が海拔0mから佇立していた。白い漁船が水面に浮かんでいた。まるで一枚の秀逸な絵画のようだった。伊豆七不思議で淡水の明神池を渡り海岸に出る。ダイバーが数人、潜る準備をしていた。

再び、R17に戻る途中、桜並木が続き、既に桜は満開状態だった。種類は不明だが河津桜系統だろう。結局、昼食は、ここで「初お花見」でした。(´艸`)R17出口にポンカンなど販売していた。帰路、皆さん購入した。

出口から井田トンネルまで標高差約200m厳しい上りだった。ここ

は、伊豆ウオークでは何回か歩いているが、巡礼では初めて。ウオークは、戸田から歩いて来るから、昼食後の暑い午後でいつも厳しかった。しかし、今回は、低温も相まって、「厳しいが、比較的楽だった」

井田トンネルを潜り、大瀬崎に下る。ウオークは、西伊豆歩道を下るが、巡礼は道路を利用した。R17から大瀬崎を俯瞰する。崎が蛇のように北に伸びている。説明板によると、何万年掛けて北へ北へ、少しずつ伸びていったとある。

その原動力は、西からの強い波という。大瀬崎の西海岸は、丸いゴロタ石がゴロゴロしているが、それらが波の力で堆積していったのであろう。崎から進路は、急に北進から東進に変わる。この地形変化も興味深い。

つづく





2月10日(火)晴・11/30

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年2月9日(火)06時33分46秒

あとがき

なかなか、ようやく、遅ればせながら、で、やっと発刊のはこび。
やろう、やろう、
と思っていたが、なかなか出来なかった。

(A4版・オールカラー・国土地理院電子地図付き・P228)

この手の本は、既に2006年に「伊豆の里山・50山」(実際は、61山)・A4版・172p、2013年に「伊豆八十八札所巡礼」A4版・232pを出版している。本は今回で3冊目。

お遍路が終わったのが、2014年だから、いささか遅すぎた感は否めない。この手の仕事は、思い立ったら、一気に呵成に進めることが肝要。

遅くなれば、記憶は薄れ、感動もなくなる。今回、その気になったのは、知人のS氏が、2016年から2020年のお遍路記録を纏め、小冊子を出したこと。後発の方に先を越され忸怩たる思いだった。

ま、それだけ歳を重ねたということか。目は悪くなり、気力も低下した。それでも、今回、全ての記録・写真を完璧に残してあったので編纂は、まあまあ楽しかった。6年前のお遍路だったが、鮮明に一場面、一場面、思い出された。

出来れば、可能なら、「もう一度歩きたい」気持ちはなくはない。しか

し、
憧憬は憧憬で残すのもいいだろう。
最後に多くの仲間・バス会社・家族・地元の宿・寺・お接待の多くの方々に感謝する次第です。合掌。

希望の方には、お分け致します。



2月8日(月)晴・11/40

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年2月8日(月)06時29分1秒

富士山は

静岡県で唯一、山岳スキーが出来るエリア。
スキーの場合、まず雪があり、ブッシュがなくて、ほどほどの
傾斜が条件。

富士山は、ほぼその条件を満たしている。

ただ、雪が難点。

今年は冬型が強いので、雪が少ない。

先日ちょっと降ったが、ここにきて、また、冬型が強い。

3月なれば、南岸Lがバンバン来るか??!!

期待するしかないね。





2月5日(金)晴・11/40

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年2月5日(金)07時05分21秒

昨日は、

富士山で山岳スキーでした。
雪は少なく、二合目駐車場上までスキーを背負いました。

1月29日の荒天は、雨だったらしく、雪でなくテラテラのアイスバーン。しかし、スキーは沈まないのも楽は楽。

ただ、昨年はコロナで全くスキーは出来なかった。
1年ぶりのシールの上りは、重くて重くて、こんなに重いのかと改めて認識しました。

アイスバーンだったので、ギリギリの上塚コルで上りは終了。
ここから滑降。
さすがに、最初はぎこちなかったが、徐々に調子を上げた。
中間部の大斜面はサイコーの滑りだった。

1年ぶりの山岳スキー。良かった。やっぱり、スキーはイイ。
大石茶屋まで滑り込んで終了。
雪はやや少なかったが、快適な今季初スキーでした。



2月3日(水)晴・12/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年2月3日(水)06時42分59秒
今期は、

安納芋をよく食べた。
初めて10苗作ったが、美味しい芋だった。
今年は、20苗作ろう。

そして、皆に食べても貰いたい。





2月2日(火)雨・16/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年2月2日(火)07時13分22秒

つづき

音・キレツは、ある意味、雪崩を知らせるサインだ。
つまり「雪・自然の声」だが、無視は出来ない。

上って行くと、また、若い衆が降りて来た。
聞けば、やはり「雪崩が心配だった」という。
無理もない。ここ何週間か雪が少なく、山の積雪は多くなかった。
そこに、ドカッと雪が降った。

音・キレツは、典型的な「新雪表層雪崩」の可能性がある。

注意に越したことはない。

下山した方々が到達した最高点に着いた。

標高は、約2500m。

そこは吹きさらしで風は強い。従って極めて寒い。先は誰も歩いていない。

ラッセルは厳しい。時間は12時・・・。

今回もここで、戦闘意欲がなくなった。

お山は厳冬期で厳しかった。

即、下山。

下山も、やたら長く感じた。最近、「道が長く感じる」

これも「老化現象か??!!」

渋ノ湯は、特に問題なかった。

グッド・バイ、バアさん。また、来よう。

おわり





2月1日(月)晴・12/31

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2021年2月1日(月)06時24分11秒

つづき

そんなこんなで、何とか駐車し登山開始。

「いじわるバアサンは、何処にもいるのか??」

結局、その日、もう一台駐車したので、収入は、-2000円。

昨今、コロナで宿の客は多くはないだろう。

己の首をわざわざ自身で縛ることはないと思うが・・・。

そこまでの拘りは、何か不明だ。

久しぶりの黒百合ヒュッテの道だったが、長く感じた。
渋ノ湯から約2時間半掛かる。
やっぱり3時起床は、体に厳しいのか。

ヒュッテに着くと、早くも空に雲が広がり始めた。
ヒュッテには、登山者が何人かいた。
黒百合ヒュッテは、昨年、会員のTが就職したが、3ヶ月で退職した。

在職時に訪問を楽しみにしていたが、何で辞めたか不明。残念だった。
天気は下り坂。これは、モタモタ出来ない。
中山峠を越えて、急な上りに入る。峠を越えると風が強くなる。

東天狗と西天狗が目の前に広がった。まだ、完璧に白くはなかった。
昨日の大雪で深い雪に足を取られる。
上から若い男女が降りて来た。下山が早い。
聞けば「この上を上っている時、ポコッと音がして、キレツが走った」
という。
しかも、二か所という。

つづく





1月30日(土)晴・8/40

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月30日(土)05時14分58秒

白内障手術後で辛いのは、最低一週間の禁酒。ほか、3日後まで入浴出来ない。試練の一週間だ。勿論、山も・・・。

つづき

山小屋の不条理・理不尽・無配慮・非常識は他にもある。

2018年1月、八ヶ岳・赤岳鉱泉に泊まった。

小屋は標高約2200m。1月だから周りは氷の世界。

小屋に入って驚いた。スリッパがないのだ。決して「床暖房」をしている訳ではない。まさか、そんなことはあるはずはないで、スリッパは持参しなかった。ま、それが普通だろう。

足が冷えるのは辛い。食堂で飲んでいても、何か落ち着かない。小屋の外は、マイナス15度くらい。室内でもゼロ度近い。

ところが、更に驚いたのは、そこで働いている従業員は、何としっかり「スリッパを履いていた」これは「虐待」だ。「虐待」のほか何物でもない。しかし、ここまでの「常識のなさ」は、一体何だろう。日本人もここまで落ちたか。

また、2006年12月、北沢峠・こもれび山荘に泊まった。小屋はおおむね自家発電。だから、就寝時間は早い。だいたい20時には消灯する。従って皆様、その時間に休む。

その時は、床が二階だった。翌日は仙丈岳登山だから、20時を過ぎてすぐ寝たが、何故か階下で「おしゃべりが続く」。しかも、そこに小屋番が加わっていた。小屋を管理する小屋番がこれではマズイ。

30分過ぎてもおしゃべりは続いていた。ここで私の我慢もブチ切れた。

「この野郎、今何時だと思っている。消灯時間は20時だろう!!!」静かになり、スッキリした。これで快眠。

と、まあ、3日間、文句ばかりズラズラ書いた。それは事実だから、仕方がない。ただ、山小屋・山荘・ロッジなどは、当たり前だが、感じが良い所が多い。不快なのは一握りのところだ。

前述したが、そもそも、ほとんどの小屋は国・市からの借地で成り立っている。最初に書いた、渋ノ湯駐車場は、国からの借地。いってれば、我々の税金が使われている訳。ならば、もう少し「謙虚な姿勢」があってもしかるべきではないのか。

小屋は、登山者に便宜をはかったり、手助けをしたり、時には啓蒙したりが、望ましい本来の姿。そこのところを忘れてしまった昨今の山小屋は何としても残念である。

つづく



1月29日(金)晴・11/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月29日(金)06時09分4秒

昨日、2回目の白内障手術。今朝は「片目」で日記。
午前通院で、眼帯が取れる。世の中が、ますます明るくなればイイ。
ただ、イヤなことも見える。(´艸`)

昨日のつづき

過去、山小屋・山荘・ヒュッテのトラブルは何件かある。
おおむね、理不尽・横暴・理由不明と感じる。

古くは、甲斐駒・黒戸尾根の五合小屋（現在は無い）のF小屋オヤジ。
この方は、既に故人だが、「悪名は高かった」。同じ南アルプス、
農鳥小屋のオヤジ。この方も「最悪の評判」だった。何故か南アルプス
が多いような気がするが、思い過ごしか・・・。

記憶に新しい所では、2001年4月、北アルプス・蓮華温泉。詳しく
は、
下記 URA だが、こんな山小屋もある。この時は、正に「ふんがい」した。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/925.pdf>

<http://susono-reihou.babyblue.jp/926.pdf>

また、2007年10月、甲斐駒・黒戸尾根～甲斐駒～北沢峠の時、
仙水小屋の対応にも驚いた。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/223.pdf>

十数名で仙水峠から仙水小屋に下って来た。秋で喉が渴いた、小屋前の
水場にホースから冷水が流れている。飲もうと思ったら「勝手に飲むな」
の看板。この時点で「ム・ム・ム」だった。

小屋の敷地の入り口に、何故かロープが張ってあった。ま、小屋などは
「来るもの拒まず」だから、ロープは何の意味??だった。小屋のオヤジ

が顔を出したので、

「女子のトイレを貸して下さい」というと、

「ダメ」

「お金を払います」

「ダメ」

「北沢峠にあるので（歩いて約1H）そこで、やってくれ」

この間、理由はいわない。

「ったく～」

次に、

「ビールを売って下さい」

「ダメ」

「何故ですか??」

「俺がアンタにビールを売って、それをアンタが飲んで、酔って転んで怪我をして、俺が訴えられたら最悪だ??!!」

だった。

それから先は、もはや会話にならなかった。

つづく





[返信・引用 編](#)

[集済](#)

1月28日(木)曇・12/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月28日(木)07時03分58秒

一昨日・昨日は、

八ヶ岳・天狗岳と富士山・上塚でした。

25日は、L通過で大雪。当初、富士山予定でしたが、好天が期待され、急遽、天狗岳に変更。

3時前起床。長泉発4:30。寝不足感はなかった。天狗岳は西尾根が希望だったが、唐沢鉱泉まで除雪がないので、黒百合ヒュッテコース。渋ノ湯発下7:48。

渋ノ湯の「下」発は訳があった。元々、7:20ころ渋ノ湯着。天狗岳はここ何年か唐沢鉱泉から西尾根を数回上っている。渋ノ湯から上るのは、2013年2月以来だった。そんな訳で駐車場などどのように行かうかよく分からなかった。

唐沢鉱泉は、駐車場は無料で道路わきに適当に置く。赤岳方面の赤岳山荘は

駐車場有料だが車で行って置けば、係りのオバさんがやって来て料金を払う。

今回もそんな感じで、いつもの駐車場の「ロープを開けて」車を置いた。

その間、相方が渋ノ湯に行って料金を持って行った。ところが（以前か

ら
何かと五月蠅かったバアさん) が凄い剣幕でやって来た。曰く「手続き
は
渋ノ湯に車で来てやれ。ロープを勝手に外して駐車は不法侵入だ。警察
に
届ける・・・」

8年振りで駐車方法は分からなかったから、手続き前にロープを外して
駐車したのは確かに申し訳なかった。しかし、そんなに問題だったの
か??!!

とにかく駐車できないことには、登山が始まらないので、相方は平謝り。
しかし、バアさんは「頑として受け入れず、その辺に止めるなり、好き
なように
しろ」だった。ジジイも出てきて、何としても翻意しない。

以前から「問題があり、必ずしも評判が良くなかった」渋ノ湯だが、こ
こまで
とは思わなかった。こちらが決して高圧的な態度をとった訳でもない。
結局、
他の山移動もあったが時間が勿体ない。仕方がないので、林道を下った
ら、
カーブの所に除雪スペースがあって車は置けた。

やれやれである。山に上る前にこのようなアクシデントで、すっかり疲
れて
しまった。

つづく





1月25日8(月)晴・11/40

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2021年1月25日(月)09時17分46秒

今朝の

富士山は、久しぶりに素晴らしい。
富士山は、こうでなきゃいけません。
明日、上る予定です。



1月22日(金)晴・11/40

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月22日(金)06時22分56秒

今年の

富士山は雪が異常に少ない。

長い間、富士山を見ているが、これほど少ないのは珍しい。

雪が少なければ、今後の地下水も心配である。

お陰で先日の富士山は、雪煙ならぬ「土煙」だった。(写真)

原因は少雨。今年はラニーニャ現象で冬型が強い。

裏日本は雪雲ばかりで豪雪だが、表日本は雲が発生しない。

しかし、明日・明後日は、南岸にLが発生し雨が降りそう。

畑も砂漠でカラカラ。

早く雨が降って欲しいのは、人間だけでなく、野菜も同じだ。

明日・明後日の雨に期待！！





1月21日(木)晴・11/40

[返信・引用 編](#)

[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年 1月21日(木)06時45分2秒

悶々とした日が続く。

片目を白内障の手術をして丁度一週間。この一週間は長く感じた。
何故か??

まだ、禁酒（断酒??!!）なのだ。一週間禁酒は、2000年
5月、盲腸の手術以来だから、21年振りだ。

デリケートな目だから、飲酒で血管が膨張したり、酔って転倒とかは
マズイ。登山ももちろん、過激な運動もダメ。ここは、辛抱・我慢・
忍耐しかない。

私の飲酒歴は長い。若いころは、ウイスキー一本やったこともある。もっともその時は、3日死んでいた。日本酒も一升空けたこともある。今では、そんなバカ飲みはしないが、毎日欠かしたことはない。

要するに日が暮れると、口が寂しい・口が卑しいのだ。何となく飲みたい。

ほろ酔い加減で JAZZ を聞きたい。そんな生活をズッと続けて来た。それが

まだ当分続く。来週は、左目の手術だ。

この試練！！に耐えられるか？？。見ものですね。（`艸`）



<http://>

1月20日(水)曇・11/40

[返信・引用](#) [編集](#)
[集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月20日(水)07時15分38秒

先日、

富士山・ニッ塚でS山の会、Sさんに会った。
Sさんは竹原在住。以前、わが会に在籍した。
年齢は不詳だが、60歳代でしょう。

彼女は、障害があって耳が十分機能していない。
しかし、ユックリなら、かなり会話は可能。
でも、登山・自然は大好き。この日も同じ障害がある方と
二人で来ていた。軽い雪山なら上りたい、意欲十分なのである。

時々、山で障害がある方を見る。大昔、高妻山で耳が不自由な方が
危うくブロック雪崩に巻き込まれるところだった。耳が不自由なので
どうしても察知が遅れる。

一昨年、冬の赤岳登山時も障害の方と出会った。その方が文三郎新道を
上っている途中、ザック脇に入れたあったペットボトルが落ちて、私の
顔面をよぎった。その時、注意をしたら、障害を持つ方と分かった。

健常者でも冬の赤岳登山は厳しい。そこを上る意欲・気力・挑戦心は、
気高いものと思った。

Sさんには健常者の娘さんがいて、お孫さんも生まれた。知り合ったこ
ろは
子供だったが、大きくなるにつれ、何かとSさんの手助けをした。頼も
しい
限りである。娘さんも登山をする。先日も越前岳でお二人にお会いした
が、
羨ましい光景でした。

Sさんのますますの活躍を期待する次第です。



1月19日(火)晴・10/40

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月19日(火)06時46分38秒

先日、

八丁池で「伊豆ハイキングクラブ」の方々、5名に会いました。
LのNさんは、県連理事として奮闘している。
会長のKさんは、昔、麗峰にも在籍していた。

伊豆ハイクは、昔、M労山に在籍していた、Tさんが25年ほど前に
興した会。当時、私もM労山にいた。伊豆を中心に活動しているが、
会員は多い。

皆さま中・高齢ですが、元気イッパイ。
お酒でなく、「お汁粉」をご馳走になりました。





1月18日(月)晴・10/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月18日(月)06時25分43秒

つづき

白内障の手術の経費は、片目17000—程度だった。安いか高いか結果をみれば安いと思う。高齢で保険が利くから大分、安くなっているだろう。

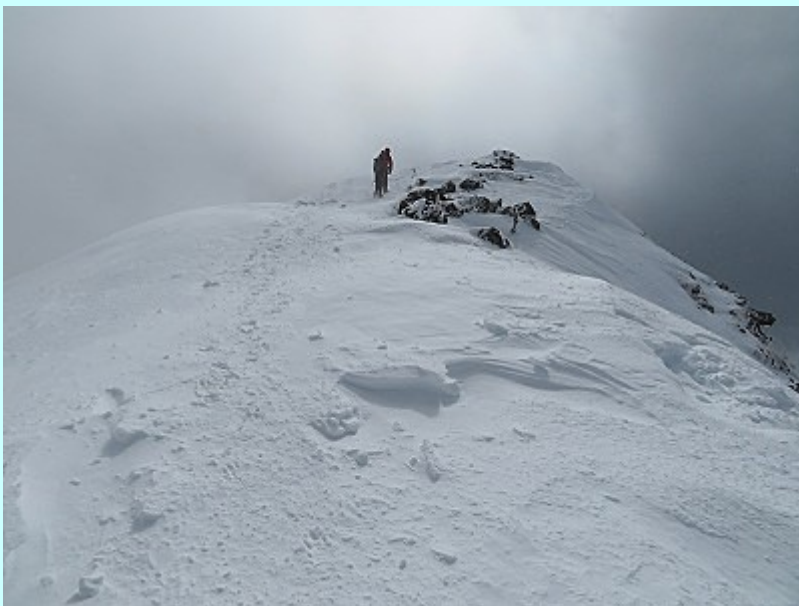
ただ、待合で他の方の会計を聞いていたら、2名のご婦人が50000—程だった。年齢はさほど変わらないから、何故だろうと考えたら、恐らく挿入するレンズが違うのだろう。

事前の説明時、挿入レンズは四種類あるらしい。遠景・中景・近景、中心のレンズと全体景を網羅するレンズがある。前者の3種類は、保険が利くが後者のレンズは、別会計と聞いた。一般的には、中景レンズを入れる。まあまあ、遠・中・近をほどほどカバー出来る訳。ただ、レンズは相性もあり、必ずしも高価なものが、良い結果となるとは限らないようだ。

「世の中が明るくなった」「女性が美人に見える」は、喜ばしく楽しいことだった。まだ左目だけで、来週、右目も行う。両目が終了したら、どうなるか杞憂もある。

今までより一番見易くなったのは、この日記を書いているパソコン。色が濃く、文字が鮮明。余りに明るいので照度を大分落とした。ほか、壁紙の汚れが気になった、黒い愛犬の白髪が目立った、床の小さなゴミが目についた、などなど・・・。

ま、それでも、やっぱり「世の中は明るい」方がよろしい。一番は冬山でガス・霧のホワイト・アウトが改善されれば嬉しい。一昨年、冬の横岳で足元不明で頂上直下で撤退、昨年暮れも唐松岳頂上まで36mで撤退。これらの改善が期待されますね。



1月16日(土)晴・11/53

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月16日(土)06時05分44秒

土曜日、家に居るのは何故だろう。理由があった・・・。

何て表現したらよいのだろうか??!!

青天の霹靂・鬼の攪乱・アッと驚く為五郎（ちと古いか）
いや違う。兎に角、世の中がこんなに明るく美しかったか。

実は一昨日、白内障の手術をした。今回は右目。二週間後、左目
を行う。

長年の懸案だった。山でガスると足元がおぼつかない。道路標識が
直前になるまで判読できない。信号もイマイチ、ハッキリしない。
新聞がハズキルーペ+天眼鏡を使わないと読めない・・・などなど。

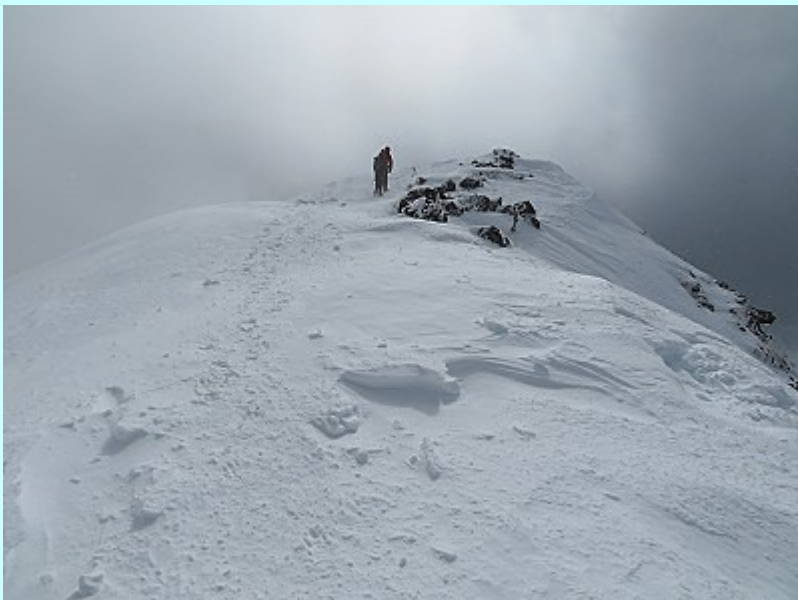
手術をした方の話を何人かに聞いた。メガネなしで新聞が読める。
wのシワの多いのにビックリした。（己の老いも再認識だが）
家のゴミが目について困る。期待は大きかった。

手術の際、先生が「白内障が最悪5だとしたら、4.5だった」
「よくここまで我慢したね」「明日、スッキリしたらイイね」
と泣けることを言ってくれた。若い先生だったが（私より・当たり前）
感謝・感謝だった。

昨日、検眼で眼帯を取った。今までぼやけてハッキリになかった、例の
検眼マークがスッキリ見えた。とにかく見えにくくて、イガイガしたの
が
霧が晴れたようだった。

何よりも「世の中が明るかった」「若い看護婦がやたらキレイに見えた」
（`艸`）だった。

つづく



1月15日(金)晴・11/45

[返信・引用](#) [編集](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2021年1月15日(金)10時47分1秒
八丁池

北面で観察した大ブナは、
「精霊ブナ」と呼ばれているらしい。
立派なブナ。一見に値いしますね。
天城でブナが元気なのは、
嬉しい限りですね。





[返信・引用 編](#)

[集済](#)

1月14日(木)晴・10/40

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月14日(木)06時00分56秒

昨日は、

伊豆巡礼がコロナで中止になったので、天城・八丁池でした。
コースは、水生地～本谷林道～下り八丁池歩道～八丁池～
下り御幸歩道～本谷林道～水生地。天気＝晴れ。

前日、南岸をしが通過し、静岡東部に降雪が期待された。朝、富士山は期待されるほど雪はなかった。愛鷹山は、まあまあだった。ただ、少し前、八丁池凍結のニュースがあったので、結局、八丁池を決定。

水生地から本谷林道を上る。雪は全くなかった。八丁池は様々なコースがあるが、今回はあまり歩かれていない、北面の「下り八丁池歩道」を選んだ。

北面故、ブナ・ヒメシャラの巨木が期待される。

「下り御幸歩道」分岐あたりから雪が出てきた。岩尾林道分岐上は素晴らしい

ブナ・ヒメシャラ林がつづく。「精霊ブナ(??)」と呼ばれる、ブナ巨木があった。森の巨人だった。

上部は雪が多かった。しかし、天気は良く風はない。降ったばかりの新雪が

眩しかった。尾根を上りきると、眼下に八丁池が見えた。ほどなく到着。

池は完全氷結でなかった。二か所くらい少し水面が見えた。ここで昼食。

午後下山。池のほとりに見覚えのある方々がいた。I ハイキングの方、5名

だった。お酒でなく、お汁粉をご馳走になった。記念写真を撮って別れた。

「下り御幸歩道」上部は、平坦の道が続き歩き易かった。こちらもブナ・ヒメシヤラが凄い。

林道を水生地に下り終了。凍った八丁池と新雪。ブナ・ヒメシヤラが良い

山でした。





[返信・引用](#) [編集](#)

1月13日(水)晴・9/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月13日(水)05時57分19秒

今日は、

1月度・伊豆初巡礼でしたが、コロナで中止。困ったものです。

登山・巡礼・ウオークがある時は、いつも、卵焼きを作る。
家用はタマゴ2個、行事用は3個。

最初、タマゴを溶いて、砂糖・ネギ・白出汁で混ぜる。
2個の場合は、次の1個をあまり溶かないで合わせる。
余り混ぜると、空気が逃げて、ふっくら出来ない。

フライパンに入れた、最初、やや強火。あとは弱火で調整。
好みによるが、中が完全に固まらないうちに、一つにして完成。
中が半熟くらいがよろしいですね。



1月12日(火)曇・9/40

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月12日(火)06時39分32秒

つづき

峠から、人工林の上りが続く。
人工林は北面で陽が差さない。従って極めて寒い。
下を向いて上っていたら、眼前に人が現れた。犬を連れた年配者だった。

農道に駐車していた方らしい。登山でなく、犬と散歩の様子。
犬は馴染みがない小型犬で足が短かった。短足で急な階段をよく上り下りする。
気温が低いので、しっかり着物を纏っていた。

上りきれば大丸山。鉄塔があり大展望が広がる。天気は無風快晴。
快哉を叫ぶ。大平山に向かう。1時間掛かると思ったが、30分で到着。大平山は広場が気持ち良い。以前は富士山が見えたが、樹木が大きくなって見えなくなってしまった。ここで昼食。

広場は誰もいない貸し切り状態。新年第二土曜日で無風快晴。
ハイカーが多いと思ったが、そうでもなかった。やっぱりコロナの影響か。

昼食は煮込みうどん。うどんは太かった。細いのが食べやすい。
この日は、忘年山行と違い、温かく幸せ。鉄器で焼いたモチも美味しかった。ホットビアもいただいた。うどんが少し余った。

撤収で片づけていたら、義母を送り出し遅れたMがやって来た。
道を間違え遅くなった。周辺は林道・登山道が多く案外難しい。
うどんが余ったが、間に合えば丁度良かった。残念。

下山は、いつも富士川駅に降りるが、今回は新蒲原駅に降りる。
途中に「シモバシラ」（という名称の植物）を観察。最近、余り見ない。
車道が続く道だが仕方がない。駅には1時間半で到着。コロナで反省会もなく解散でした。

おわり



1月11日(月)晴・9/37

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月11日(月)06時58分16秒

昨日、今日、
寒い日が続く。昨日は庭のメダカ水槽と水撒ホースが凍っていた。
こんなことは、近年、珍しい。

土曜日は、山の会の初登山で蒲原・大丸山～大平山でした。
コースは、蒲原駅～霊光禅院～大丸山～大平山（昼食）～新蒲原駅。
天気＝無風・快晴、参加＝5名。

会として初登山。久しぶりの大丸・大平山。蒲原駅から左手上に大きな
観音像が見えた。ただ、色が何となくスッキリしない。理由は、後で分
かった。
東名を潜って林道を上る。

途中に霊光禅院がある。大きくキレイで立派な寺だった。蒲原駅から見
えた
大きな観音像が佇立していた。やっぱり色はスッキリしない。観音像は
一般的に
白が多い。このくすんだ色は、たぶん「緑青（青銅に発する一種の錆）」
と思った。
ただ、女性班は懐疑的。

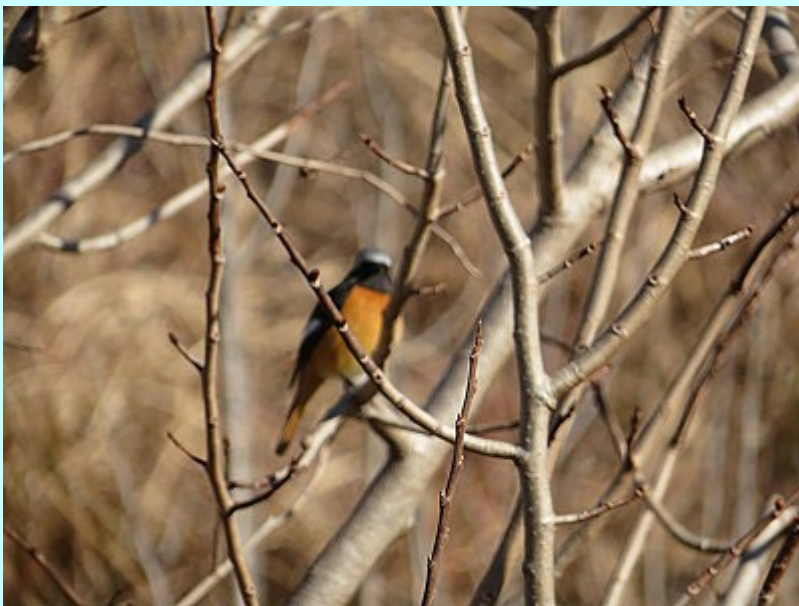
寺を辞して再び歩くと、地元のオバサンがいた。すかさずKが観音像の
色を
訪ねた。結果は、やっぱり「緑青」だった。

両側がミカン畑の農道を上る。天気は無風快晴。気持ちが良い登行。
駿河湾・伊豆半島・静岡市方面が雄大。残りミカンを適当にいただく。
頭上に大丸山が大きい。本当に丸い山だった。

ミカン畑に冬鳥がいた。胸がオレンジで頭が青い美しい野鳥だった。
帰って調べたら「ジョウビタキ」だった。キレイなのはオスで、メスは
地味という。ミカン畑には、桜もチラホラしていた。

農道脇の流水が凍っていた。朝は相当気温が低かったのか。乗用車が
一台駐車してあった。農道から登山道に入る。峠で一休み。いただいた
ミカンを頼張る。荷物が重いので、Kと交換した。こちらは軽かった。

つづく



1月8日(金)11/40

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月8日(金)06時29分12秒

つづき

尾根から稜線に出たら、モーレツな風。いや、モーレツな風というより、「爆風」だろう。かつて、富士山・槍ヶ岳・飛騨乗鞍岳・同じく八方尾根で爆発的な風を経験した。

冬山の歴史は「風の歴史」でもある。唐松岳の場合、富山湾のY字地形で集約された大気が、モロに山脈に当たる。唐松岳からほぼ真西の富山湾まで約40km。明日、Lが通過だが、既にその先端が届いているのだろう。

長泉で言えば、富士山頂まで約30kmだから近いは近い。風は唐松山荘から少し下った、最低コルが一番強かった。風速30mくらいだろうか。「恐怖を感じる風」だった。尾根が広いからまだ良かったが、狭かったら歩けない。

先行者が1名頑張っていた。しかし、頂上直下で動かなくなってしまった。我々の標高は2660m。頂上まで「あと36m」だった。そうこうしていたら、後ろから若い衆2名に抜かされた。しかも、この強風だが、何故か雪はフカフカで実に上り難い。

稜線に出て既に20分。夏なら頂上に立っている時間だった。その時、「無理をすることはない」と思い感じた。若くない。無理・無茶・無謀は禁物。それが冬山55年の経験値だった。

残念で悔しいが、やるだけはやった。悔いはない。最高到達点は、2660m。「頂上まで、あと36m」。また来年、捲土重来。唐松岳は2月に登頂したこともある。山は天気次第である。

下の樺でテン泊の若い衆と再会。登頂したという。他の方とも話をしたが、登頂は半々だった。八方ヶルンまで下ると、山は既にガスっていた。下山は正解だったと感じた。

おわり



1月7日(木)晴・10/40

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月6日(水)17時08分25秒

5日つづき

山荘の朝食は6:00。6:45出発。天気は良く、五竜が見えた。夜半のモーレツな風は止んだ。ワカンはずックに入れ、アイゼンで出発。雪はあの風で飛ばされラッセルはない。ただ、雪は全く締まっていないので
フカフカだった。

八方池までひと上り。石神井ケルンの脇にテントが二つあった。昨夜はさぞかし大変であっただろう。もう雪の中でテント泊は出来なくなった。

下の樺にテントが二つ。若い衆が出発準備をしていた。二人パーティーだがテントは別々。一緒のが寒くないと思うが・・・。

下の樺上の急登で4~5人の列が出来ていた。北斜面で吹き溜まりなので

ラッセルだった。先頭の若い衆はワカンだった。乗っ越せば快適な尾根になり上の樺に導かれる。上の樺の上りも北側で雪がフンワリ積りラッセルがあった。

若い衆が2名先行しオジサンが2名続いていた。しかし、結局、全員やる気がなくなり、女性のKがトップに立った。ったく~、70歳以上に

ラッセルをやらせるな~!!!(´艸`)

上に出れば、再び快適になる。どこまでもキレイな白い尾根が続いている。天気も安定していた。このままなら上れる可能性が大きい。期待は

膨らんだ。丸山上でストックからピッケルに変えた。ただ、雪が締まって

いないのでピッケルはあまり役に立たない。

尾根から縦走路に出る最後の壁がどうか懸念したが、ロープと網があり全く問題なかった。ただ、縦走路に出て驚いた。稜線はモーレツな風だった。

八方尾根は風下で殆ど風がなかった。この差はなんだ。

つづく



1月6日(水)曇・10/40

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月6日(水)15時54分21秒

昨日は、

初登山で、富士山・ニッ塚でした。

天気は、曇り。

頂上は、風が冷たかった。

下山途中、S山の会のSさん、他に会った。

Sさんは、耳・口が不自由だが、登山は大好き。

60歳は越えたが、まだまだ、元気イッパイだった。





1月5日(火)晴・10/40

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月5日(火)07時11分54秒

つづき

結局93年は、翌日、暴風雪で上れなかった。出発すら出来ず、11時下山した。

96年4月は、丸山手前まで。

98年4月は、不明。

99年は、下の樺まで。

01年は、丸山上まで。

04年2月は、厳冬期だが登頂し、スキーで滑降した。

05年4月は、丸山上までで、ガラガラ沢を滑降。

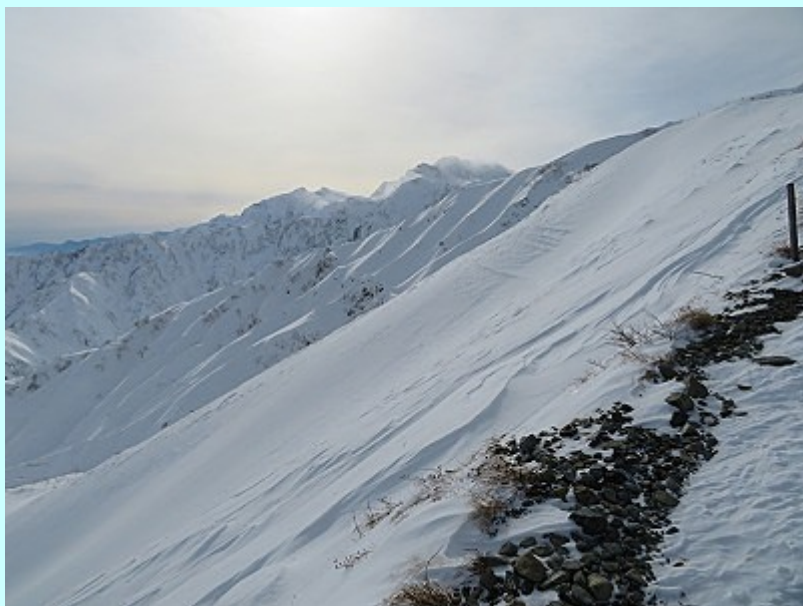
06年3月は、丸山上までで、ガラガラ沢を滑降。

15年3月は、登頂。スキー滑降。

16年4月は、ホワイト・アウトで、唐松山荘まで。

20年12月は、爆風で頂上まで36mだった。

つづく



1月4日(月)晴・9/36

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月4日(月)05時13分16秒

つづき

八方尾根は、過去、10回上っていた。今回で11回目。
10回は、全て雪山だった。要するに夏は上ったことはない。
一般的に冬山は、12月～3月。雪山は、更に5月まで伸びる。

11回中、冬山は6回、雪山は5回。データを見るに、八方尾根は冬・雪山で上りやすい山となる。理由は、後立山の2700mの山だが、尾根はなだらか、アプローチはなく、ゴンドラ・リフトが利用できる、だろう。

ゴンドラ・リフトを乗り継いで上る。天気は早くも崩れていた。
山はガスで覆われ、風もあった。最後のリフトを降りれば、八方池山荘は目の前。山荘は11000-+暖房費500-。決して安くない。
しかし、宿泊者が少なく個室で、入らなかったが、風呂もある。ま、年配者には有難い施設ではある。

夕食は18時から。時間があるので、ゆっくり過ごす。外は真っ暗で風が唸ってきた。福岡から来た若い衆と交流。この年末、唐松岳に上るだけで福岡からやって来た。電車代も結構掛かるだろう。明日アタックするが、この年末、唯一最後のチャンスといていた。

夜半は山荘を揺るがすモーレツな風だった。八方尾根は、兎に角風が強い。富山湾のY字地形に集約された西風がモロに唐松岳に当たる。
従って尾根は樹木が極端に少ない。

93年12月、下の樺でテン泊した時は、テントの天井が寝ている顔に当たるくらいだった。

つづく



1月3日(日)晴・8/14

投稿者:たかチャン 投稿日:2021年1月3日(日)06時06分55秒

年末は、

北アルプス・後立山(うしろたてやま)・八方尾根唐松岳(2696m)でした。

28日=長泉発9:10。結果的にこの時間は、ちょっと遅かった。雪の八方尾根・唐松岳は、過去何回か上っている。今回はコロナで各山小屋は、未営業が多い。

年末の山を何処にするか、12月になっても決まらなかった。雪が少ない山域選択もあったが、やっぱり「雪山」に上りたい。また、この歳ではテント泊は厳しい。

山小屋が使える山域が相応しい。ハヶ岳の案もあったが、ハッは少雪だし厳冬期に行きたい。能郷(のうごう)白山もあったが、白山は残雪の山だ。結局、諸条件を満たす、唐松岳に決定。

28日は低気圧通過で早くも山はガスだった。午後、八方からゴンドラに乗る。小屋は遅くとも15時に乗るように指示された。しかし、携帯で会社に確認したら、最終リフトは15:20という。最終リフトまで20分は掛かるので乗り遅れる可能性があった。

再度、小屋に確認すると15時、10分前に乗ってくれといった。最初からそのように指示してくれと思った。その10分は大きい。最悪、最上部を歩く覚悟だったが、幸い何とか間に合った。

ゴンドラ・リフト代金は高い。往復2980-する。切符売り場にいた、「東大卒業」といっていた兄ニ-も、「ボロ儲け」だな~、と呟いた。記録では、ゴンドラ・リフトが未動時、ゲレンデの標高差約1050mを歩く方もいる。立派なものだ。

つづく



2121 年 1 月 1 日(金)晴・10/33

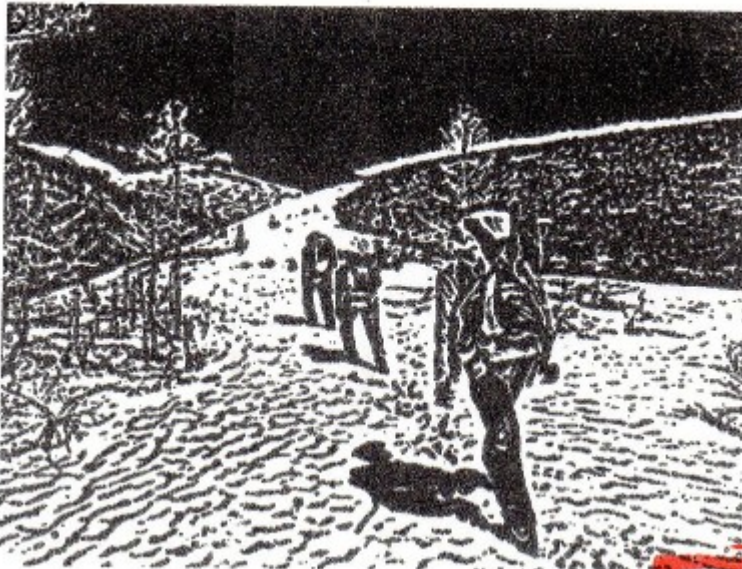
投稿者:たかチャン 投稿日:2021 年 1 月 1 日(金)06 時 59 分 3 秒

あけまして

おめでとう

ございます

今年もよい年にすべく、皆さまの智慧で頑張りましょう。



2020/5/2 宝永山 御殿庭

あけまして おめでとう ございます



コロナ禍でしたが、登山は51回。泊まり少。日帰り多。歳か。通算回数は1898回。2千まで、あと2年余。伊豆巡礼は順調。春の第2回小豆島は秋実施。伊豆ウオークは、25回で2年余が終了。今後、富士山一周に移行。2月で74歳。ゆっくり頑張ります。本年もよろしくお願い致します。

411-0943 長泉町下土狩 1541-12

後藤隆徳・あい子

12月28日(月)晴・15/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月28日(月)08時59分12秒
2020

日記は今日で終了。
一年、ご愛読、有難うございました。
良いお年をお迎え下さい。

写真・上 上高地(2月)
・中 御嶽山(8月)
・下 経ヶ岳





12月26日(土)晴・12/38

[返信・引
用編集
済](#)

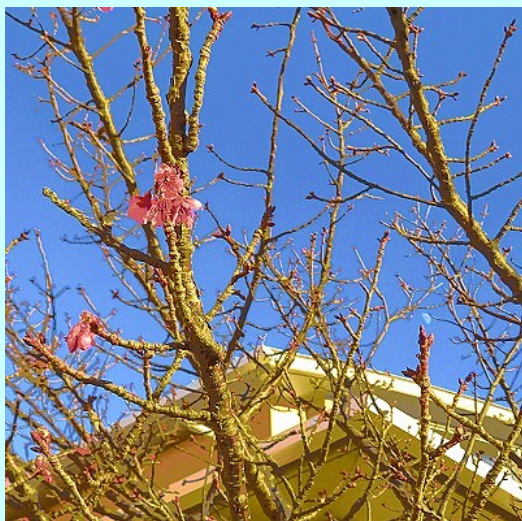
投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月26日(土)06時55分7秒

先日、

伊豆ウオーキングで、旧土肥小学校に寄って、
「土肥桜」の開花を確認した。

開花はわずかで数輪。
花は大きくなく小さい。

それでも開花は開花。
1月末が楽しみです。





12月25日(金)10/50

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月25日(金)06時27分12秒

今年も

大詰め。しかし、余り切迫感はない。自由人故か。
今年の登山は、来週で50回。
コロナの割には多かった。近年、50回はなかった。

ただ、宿泊登山は少なかった。ま、コロナを考えれば
仕方がないか。先日、黒戸尾根を上げて、七条小屋に宿泊の
友人は、シュラフ・食料持参が宿泊条件だったという。
どこもコロナ対策で必死だ。

200名山は、大日ヶ岳・経ヶ岳・武甲山に上った。
200は、まだまだ厳しい山が残っている。来年は、
楽しみつつ上りたい。

伊豆巡礼は順調だった。酷暑の休講はあったが、特に
大きな事故もなく無事終えた。オプションの第二回・
小豆島お遍路は、コロナで春実施が秋に延期されたが、
順調に終わった。

伊豆ウォーキングは、2018年4月から約2年半で今月
完歩・結願・満願成就した。参加者は、平均15名程度
だが、完歩は1名だった。2年以上の行事で、全て
参加は、なかなか難しいもの。

ほか、念願の四国お遍路報告書を年内に編纂終了と考えて
いたが結局、多忙・欲が出て、来春に持ち越しとなった。
ま、時間を掛けて良いものをのスタンス。

そんなこんなで今年も静かに終わる。





[返信・引
用 編集
済](#)

12月24日(木)晴・9/53

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月24日(木)07時02分36秒

昨日は、

12月度・伊豆一周ウォーキングで下田・爪木崎した。
同時に、2018年4月25日から二年半続いたウォーキングの
最終回でした。

当初の計画は、柿田川公園～源兵衛川～三嶋大社の予定でしたが、
爪木崎のスイセンがよいで、急遽、計画変更になりました。

今回は、ウォーキングがないので、ユックリ出発。まず、修善寺
JAに寄って農産物の買い物。天城峠を越えて、爪木崎着。風が
なく陽光が溢れ気温は高い。

無料駐車場から少し歩いてスイゼン畑着。スイセンは、場所に寄って
咲き方に差はあるが、おおむね花盛り。周囲には、いい香りも漂って
いた。

灯台まで歩きバスで無料駐車場に戻り昼食。今回は、女子班が
「スイトン（スイセンでない・笑い）入りお汁粉」を作ってくれた。
無風・高温の有り難い環境下で皆さん、舌鼓を打った。お汁粉は、
久しぶりだが、小豆が美味しかった。

2年半で女子班は、都合3回料理を提供してくれた。下田・青野川、

お花見は＝豚汁、大室山・桜公園＝お汁粉、そして今回。手間・労力と面倒だが、いつも奮闘をいただき感謝・感謝でした。

午後は、蓮台寺・金谷旅館＝千人風呂で温泉もあったが、コロナで断念。婆沙羅峠を越えて松崎に入り、梅月園でスイーツの買い物を済ませ、西海岸を土肥に向かった。

土肥では、旧土肥小学校の早咲き「土肥桜」を確認した。まだまだ、数輪だが、確かに開花していた。余りに早いのは、11月の高温が影響したのだろう。隣の清雲寺は、初めて訪れましたが、なかなか立派なお寺でした。日蓮の板絵は一見のお価値があるそうです。

そんなこんなで、伊豆ウオーキングは無事終了。数々のトラブルもありましたが、大きな事故がなく幸いだった。1月からは、新たに、「富士山一周ウオーキング」が始まります。





12月23日(水)晴・9/52

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月23日(水)05時31分10秒

つづき

(追伸)昨日、書き忘れたが、頂上で会員のMさんが谷峨駅から上って頂上で合流した。Mさんは、義母がデイサービスに行くので、9時前は家を出られない。この日、義母を送り出してから、はせ参じた。その情熱に敬意を感じた。

兎に角、寒かった。高山の冬山でも、こんな寒さはあまりない。しかし、誰一人「帰ろう」をいう方はいない。理由は、「空腹でお腹を満たしたい」だった。

しかし、この極寒の中で二名の方が、しっかり「ビア」をやっているのには驚いた。私も持参したが、さすがに躊躇した。やっとモチも焼けノリを巻いて、一人一個振舞った。カップラーメンを持参したお湯で流し込んだ。ゲストは何とか、ぬるい鍋焼きうどんを食べた。

この寒さの原因は、雪が舞う気温もあるが、風だった。風は気温より寒さを感じさせる。それでも粘りに粘って1時間の昼食だった。頂上で記念写真で下山。

ところが、下山してすぐのトイレ付近まで下ったら、何と風が全くなく、朝食場所より寒くはなかった。風は東からだったが、

樹木があり遮られていた。場所の選択がまずかったと反省。

下山の谷峨道は、階段は多いが、自然道で山北道より、はるかに良かった。遅い時間だったが、多くの方が上って来る。谷峨駅で電車の時間があったので、頂上で作れなかったお汁粉を振舞った。ローカル駅は有り難い。

この日は、長い林道、極寒の昼食だったが、長く記憶に残る山になるだろう。おわり



12月22日(火)晴・8/44

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月22日(火)05時57分46秒

つづき

炭焼き小屋を後にした。先に林道から上がる登山道があった。山北駅にあった通行止めの看板が下がっていた。二か所崩壊してるようだ。

無視して上ったが、すぐ上に再び通行止めのトラロープ。山の会だけなら突破だが、今回は一般の方が二名参加している。結局、おとなしく林道に行くことにした。

下山後、山レコを見たら、何とか通行できた報告があった。今回は、大野山だからで事前調査をしなかった。仮に報告を見ていたら、突破しただろう。ただ、林道コースは初見でそれなりに新しい発見があった。それはそれで収穫だった。

林道は長かった。上からゾロゾロ多くの方が下って来る。この登山者は、谷峨→山北だろうか。ま、首都圏の方はそうかもしれない。我々、静岡は山北→谷峨である。

途中、工事中だが立派な「かやぶき」の民家があった。周りは人家が多かった。大野山上部に、こんなに人家があるのは知らなかった。半分くらい別荘だろうか。確かに日当たりは良好で、晴れていれば富士山は大きい。

林道を上り切り、いよいよ登山道かと思いきや、結局、車道はほとんど頂上まで続いていた。予定より30分プラスだった。時間は、すでに12時近く、多くの登山者が昼食中だった。

展望は素晴らしい。ただ、雲が多く、富士山・丹沢の山はハッキリしない。しかも、風があり寒い。陽だまりを期待して来たがガッカリ。とにかく、空腹なのでベンチで昼食。

そうこうするうちに、何と「雪が舞って」来た。手がかじかんで調理が出来ない。低温でガスが十分噴出せず、熱燗が冷たかった。モチがなかなか焼けなかった。

つづく



12月21日(月)晴・10/40

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月21日(月)06時03分15秒

土曜日は、

忘年山行で、西丹沢・大野山(723m)でした。
コースは、山北駅～洒水の滝～大野山登山口～共和小学校跡～
林道～大野山～谷峨駅。
天気＝曇り(頂上は雪が舞い極寒だった)。参加＝5名＋1名

2020忘年山行。久しぶりに御殿場線で行く。御殿場線は、
私が登山を始めたころは、蒸気機関車だった。電化は昭和43年
(1968年)だった。

その件を初参加のIさん・Hさんに話したら、ちょっと驚いたようだ。
当時、岩波・富士岡には、スイッチバックがあって、御殿場まで、
1時間掛かった。

山北駅で下車。駅に登山道崩壊で通行止めのビラがあって気になった。
朝の挨拶。今回は先日、裾野広報で募集した前述の2名が初参加。
洒水の滝に向かう。

洒水の滝の落差は、69m＋16m＋29m＝114mという。
以前、夏に来た時は、女性が白衣で水行をしていた。冷たくて
5分入るのがやっとという。

滝は工事中で核心部まで行けなかった。ただ、数年前の前回も工事中
だった。去年の台風の影響かも知れないが、随分、長い工事だ。それに
しても見事な滝である。

踵を返し大野山登山口に向かう。高くない山だが、結構な急坂が
続く。古宿の集落には、凝った人形が出迎えてくれた。集落の外れに
前回も頂いた「ユズ」の大木がある。

頂上の料理に利用しようと、少しだけ頂いた。登山道分岐手前で
地元の方が炭を焼いて出釜をしていた。雑炭で畑に蒔くそうだ。炭が
畑に有効は初めて聞いた。

つづく



12月18日(金)晴・10/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月18日(金)08時01分6秒

昨日は

富士山・ニッ塚でした。
今季、初雪山。
雪の感触が嬉しかったです。



12月17日(木)晴・10/42

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年12月17日(木)06時05分27秒

先日

塩ノ山登山時、塩山市内で見た花。
ツバキ??サザンカ??

調べたら、サザンカのようにです。
それにしても、凄い。





12月16日(水)晴・9.8/50

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月16日(水)05時17分44秒

今朝は、
室内で9.8度と今季一番の寒さだった。

昨日の富士山は、笑ってしまった。
最初、富士山におかしな雲が掛かっていると思った。

しかし、よく見ると雲でなかった。
雲と思ったのは、雪だった。

あんな片肺みたいな雪を見たことは記憶がない。
TVでは、雲が御殿場方面しか発生しなかったため、
と言っていた。

それにしても、おかしな雪でした。





12月15日(火)晴・14/50

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2020年12月15日(火)08時37分19秒

狛犬

狛犬（こまいぬ）とは、獅子や犬に似た日本の獣で、想像上の生物とされる。

像として神社や寺院の入口の両脇、あるいは本殿・本堂の正面左右などに一対で向き合う形、または守るべき寺社に背を向け、参拝者と正対する形で置かれる事が多く、またその際には無角の獅子と有角の狛犬とが一対とされる。

飛鳥時代に日本に伝わった当初は獅子で、左右の姿に差異はなかったが、平安時代になってそれぞれ異なる外見を持つ獅子と狛犬の像が対で置かれる

ようになり、狭義には後者のみを「狛犬」と称すが、現在では両者を併せて

犬と呼ぶのが一般化している・・・ネット

武甲山の狛犬

横瀬町の武甲山の登山道入り口（表参道）に2対居ます。

狛犬は向かって左側の方が「阿」形で右側が「吽」形です。

歳はとってもまだまだ若いモンには負けないぞ！という感じの狛犬です。

昭和二年（1927）奉納

向かって左側「吽」形、顔が苔で覆われてしまっています。

苔を落としてやりたいが勝手にやってよいものなのか？・・・

そのままにしておいた。

・昭和十四（1939）年奉納

武甲山山頂の御嶽神社に居る狛犬（狼型）。

愛嬌あります。

首から上だけを見ると恐竜みたいな顔。

優しいような顔だから草食恐竜かな。・・・ネット





12月14日(月)晴・風 15/50

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年12月14日(月)06時16分28秒

深山日本百名山

で、全て冬上った方がいる。

福岡大学つ山岳部・新開忠孝氏。年齢は72歳。私と同じくらい。
2010年、62歳から始め、8年掛かった。

「冬山」の定義は、ヨーロッパなどは、冬至日から春分の日前日
だが、氏は(日本)は、12月1日から3月31日としている。

ただ、昨今の温暖化を考えると、春分の日から31日までの

10日余は、ちょっと「冬」と呼ぶには、微妙な10日間。

ちなみに、その時期に上った山は、10峰ある。幌尻・薬師・白山・飯豊・五龍・白馬・越後駒・利尻・妙高・美しヶ原。いずれにしても厳しい山だが、それにしても他の、90座は、「正しい冬」上っている訳で、全体の価値が落ちる訳ではない。

ちなみに私は、36座しかなかった。夏の百名山は、多くの方が夢中で上る。(ただ、全ての方が、深田と同じコースではない)

冬は真の山岳が存在する。そこを上るのは稀有。素晴らしい偉業だ。冬の百名山をおとした方が現れたことは、大いなる驚異と同時に、仲間として大きな喜び。共に祝福を捧げたい。





12月11日(金)晴・15/54

[返信・引](#)
[用 編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月11日(金)05時53分32秒

つづき

酷い山路を下ると、集落の最終地でミカン畑が広がる展望が良い場所に出た。時間は既に12時を回った。これ以上の歩行は厳しい。ここで昼食とした。ただ、女子はトイレがないので辛いところ。

Iさんの干し柿、Wさんの「竹炭ピーナッツ」、Wさんの柿、とか回って来た。今日は、何故かビアは一本。午後は、戸田に下り、大行寺に向かう。

お勤め後、住職のお話。寺の歴史とかの中に「?会一処(くえいっしょ)」があった。寺は浄土宗。

・・・俱会一処とは、浄土教の往生の利益の一つ。阿弥陀仏の極楽浄土に往生したものは、浄土の仏・菩薩たちと一処で出会うことができる、という意味である・・・ネット

終了後、住職を交えて記念写真。本来、12月は、午後から「一年のご苦労様会」

だが、コロナで中止。温泉もなしで、午後も歩く。途中、「戸田歯科医」があった。

「へだ(へた)」では、お客様は、少ないかな??でも、山上で見晴らしは良さそう。

沢海（たくみ）から展望台に上がると、御浜岬（みはま）が大きく美しかった。

時間がまだあるので、更に頑張る。結局、井田への降り口まで歩いた。私は

何故か「力が余っていた（??）」ので、最後は走ってしまった。（´艸`）

二年以上続いた伊豆巡礼は、2月に3名結願（けちがん）する。長い長い2年だった。

おわり





12月10日(木)晴・18/50

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月10日(木)06時42分23秒

昨日は

12月度・伊豆巡礼でした。

巡路は、土肥・86番安楽寺～小土肥～舟山～舟山峠（仮称）～戸田・87番

大行寺～井田入り口。天気＝曇り、距離＝約15km、参加＝13名。

先月、最終の土肥・安楽寺から出発。天気は曇り。

旅人峠から小土肥に入り、ショート・カットで県道を渡る。

余りに暑いので着替えをした。ところが人数が3名少ない。

トイレ時、はぐれたようだ。この日は、サポーターのKが休みでラストの点検がなかった。2名はすぐ分かったが、Nさんが行方不明。県道を左に行くべき所を右に下ってしまったようだ。

すぐバスに連絡して、拾ってくれるよう依頼。しかし、そのバスが道路を歩いている会員を見落として拾えず、再びUターンして拾いに行った。

全員結集して再び出発。舟山手前で休憩。ここでTさんが、「ワビスケ」の枝を採取。家に植えるとのこと。道路工事を経て、戸田への峠道に入る。11時過ぎで、昼食を何処でと迷ったが、結局、持参で行く。

峠道を20分程上ったが、Nさんが不調。「気持ちが悪い」という。ちょっと良くない状態。すぐバスを呼ぶが既に戸田・道の駅に行ってしまった。すぐ来て貰う。携帯が通じて良かった。Nさんをバスに乗せ、峠を越える。

路が酷かった。全く手入れナシ。樹木が散乱し、汚れた落ち葉が堆積していた。看板は新しいのだが、整備まで予算がないのか。西伊豆歩道で売り込んでいるので、慣れない方が歩いたら大変なことになる。

つづく



12月8日(火)晴・15/58

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月8日(火)06時52分34秒

つづき

駐車場から妻坂峠に向けて出発。駐車場には多くの登山者がいたが、峠経由は他にいなかった。峠まで標高差約338m=1H。路は古の雰囲気を残したもので、実に感じが良かった。

高度が上がり峠が近づくと、風がゴーゴー騒ぎだした。峠はどうやら、風の通り道のような。すぐ上っ張りを着込んだ。峠から大持山(1294m)に向かう。

急登りを過ぎると、イイ感じの自然林が延々と続いた。路もイヤに幅広く、昔は牛馬が通ったのだろうか?? 大持山着。樹木が多く展望はスッキリしない。ただ、この後、すれ違った地元の方の話では、「富士山が見える」だったが、展望場所は気が付かなかった。

大持山から小持山は、小さなアップダウンが続いた。難しくない岩場もあった。反対側の武甲山方面から何人かやって来た。いつも思うが、周遊登山の場合、右・左周りは、どのように決めるのか興味がある。

今回の場合は、我々のコースはゼロ。反対の武甲山からは、10名以上いた。愛鷹連峰・越前岳なども、割石峠を上る時計回り、割石沢を下る反時計回りがある。私の思いは、最後にそのコースの最高峰を上って下る、というのがポリシーだが、皆さんの思いは不明。

小持山から、穏やかな路を経て、最低コルの「シラジクボ」着。コルから標高差約200mの上りで、武甲山に向かった。

つづく





12月7日(月)晴・15/58

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月7日(月)04時54分10秒

金曜日

・土曜日は、秩父・武甲山（日本二百名山・1304m）、山梨・塩ノ山（553m）でした。天気＝両日晴れ、累計標高差＝1010m、参加＝2名。

朝、車は氷でガジガジだった。秩父は盆地で標高約300m。晴天時は放射冷却がキツイ。

武甲山は「自然破壊」で名をはせた山。セメントの材料の石灰岩

採掘は、明治時代始まったという。山の北側は、大きくえぐられ
およそ「山」とは呼べない山容に変貌した。

2017年～19年まで三年間、秩父三十四観音巡礼を行った。
その時、武甲山は常に秩父の街を睥睨していた。同時に早朝から
ガラガラ、採掘の音が響いていた。

そんな武甲山だが歴史は古く・・・日本武尊が、自らの甲（かぶと）を
この山の岩室に奉納したという伝説が元禄時代の頃から定着した・・・ネ
ット
という。

頂上も本来は、1346mだったが、頂上すら破壊され、現在の
標高は、三角点が1295m、頂上表記は、1304mである。
しかし、民間の企業で頂上を破壊するすることが出来るのだろうか？
そもそも、武甲山の持ち主は、誰・何処のものか。

そんな事を考えながら登山口に到着した。駐車場に鳥居があり
大きな狛犬が二対、四体あった。真っ黒な「狼」で、今まで
見たことがない狛犬だった。

つづく





[返信・引
用 編集
済](#)

12月3日(木)晴・14/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月3日(木)08時04分10秒

つづき

位牌岳でブナ観察を終え前岳・北尾根を下山。
尾根は、以前「山オヤジ尾根」とか、ローカルネームで呼ばれていた。

尾根はかなり急だ。上りはいずれにしても、ハイカーには、下りはなかなかキツイ。
確かにキツイが、ユックリ下れば問題はない。岩場もない。

しかし、今回、下って驚いた。キツイ部分の尾根、標高約300mに固定ロープが完璧に張ってあった。
ロープもチンケな物でなく、掴みやすい、やや太いものだった。

この規模になると、労力・時間・資金は相当掛かる。
従って個人では出来ない。組織的なものだろう。
裾野市の山岳界重鎮・K氏に聞いたら、たぶん須山の振興会??
ではないかだった。

近年、南ALPSなどでも、かつて聖域とされていた山域に梯子・鎖設置が目立つ。一概に前岳と一緒に出来ないが、山岳が余りに「人工的・公園的」にするのは、いただけない。

南ALPSの場合、我々は、梯子・鎖なしで十分安全にやって来た。
それを考えれば必要はない。登山のレベルを低下させるだけだ。

前岳は、一度設置したら管理をしっかりしなければならない。
老朽化し荷重が掛かったら破損したでは、下手をしたら損害
賠償にもなりかねない。設置した以上、当然、責任が伴うことを
忘れてはならない。

(日記・2-3日、休みます)



12月2日(水)晴・15/44

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月2日(水)07時05分27秒

先日

位牌岳にブナ観察で上った。

下山時、

ところどころに「赤布（実際はナイロン）」があった。

「赤布」は、山のコースの目印で通常、木の枝とかに結ぶ。積雪が多い山域は、夏見ると、遥かに高い位置にあったり、その山域の積雪量が、うかがい知れる。

今回の「赤布」は、枝に結んでなかった。

何と「木ねじ（金属製）」で樹木に留めてあった。

．．．．これはないよね．．．．

と思ったのは、私だけだろうか？

何処の誰がこの赤布を留めたか分からない。

しかし、シカやイノシシではないだろう。

やったのは、やっぱり人間だろう。

自分が体に木ねじを打たれたらどうか。やっぱり痛いだらうね。

今度行ったら、対策を考えましょう。





12月1日(火)晴・15/53

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月1日(火)04時52分33秒

12月かあ〜・・・。

先週、雨が降ったら、庭が「京都状態」??!!になった。
一雨ごとに、モミジの葉がバサバサと落ちますね。

全て落ち切ると、冬がまじかになる。



11月30日(月)晴・14/55

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月30日(月)05時13分35秒

つづき

狩野川堤防を遡り、港大橋を渡り、魚市場着。
昼食にするが、コロナ問題があり、テイクアウトか入場か
個人に任せた。

17名中、入場は5名だった。他はテイクアウト。マグロ
づくし丼を頼んだ。1200ーほどだった。バスで千本公園隣
に移動して芝生の上でいただいた。トンビが食べ物を狙っている
らしく、時折、低空飛行をする。

天気は快晴無風。食後は昼寝を楽しんだ。暑いくらいで日傘で
日陰を作った。ヘリが行ったり来たりで五月蠅い。

午後は、バスで「花月」に寄って、ロール焼き菓子を買った。
ほぼ、全員が購入。20本くらい出たか。店も驚いた。帰り際、
主人が飛んできて、お菓子の端っこを二袋持ってきてくれた。
バス団体ならではであろう。

港大橋から午後の部。香貫の八重坂峠を越え、香貫大橋を
渡り、柿田川公園着。子供のころは、湧水に入り遊んだ。
現在はそんなことは絶対できない。

記念写真を撮影し終了。12月は三嶋大社まで歩き、2年の
「伊豆一周ウォーキング」を終了する。完歩は1名の予定。
やっぱり、2年完歩は案外難しい。

おわり





11月27日(金)晴・17/57

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2020年11月27日(金)06時41分22秒

つづき

防波堤バリゲートを突破して牛伏山公園着。牛臥山の標高は丁度70m。立派な山だ。ババさまが掃除をしていた。キレイなトイレが維持されている。夜間は入場禁止も、キレイな理由かもしれない。

小島でウミウが群れていた。東の香貫山が大きい。オジサンが二人談笑。岬から海岸を回り込むと別天地。車道がなくここまで来る人は少ない。故に良好な環境が保もたれている。

道のない岩場へ進入。潮がだいぶ上がって来た。通過できるギリギリのタイミングだった。足元に不安な方は前に出してもらおう。「へつり」は、上に上がり、下から下から攻めるのがコツだ。

しかし、5分歩いたら、半分の方は概ね私のルートを辿ったが、半分は、もう上を歩いていた。これではいけない。なるべく水際を歩いたほうが良い。

最後の「へつり」が、やや難しかったが、無事終了。良かった。先の八幡神社に希望者が上った。展望が良かったとのこと。我入道の狩野川河口を遡る。このあたりに、土日は、「我入道渡し」がある。しかし、未だ乗ったことはない。残念。

近くに美味しいお菓子やがあるが、昼食時間が迫っているので、後で寄ることにした。

つづく





[返信・引
用 編集
済](#)

11月26日(木)晴・18/70

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月26日(木)14時07分5秒

昨日は

11月度・伊豆巡礼でした。
コースは、狩野川放水路～御用邸記念公園～牛臥山公園～海岸～
八幡神社～沼津港食堂（昼食）～八重坂峠～香貫大橋～柿田川公園。
天気＝晴・やや暑い、距離＝約19km、参加＝17名。

前回最終の狩野川放水路から出発。天気は曇りだった。狭い獅子浜
の道路を進む。時々、裏道を通過する。静かでよろしい。
道が不明になると地元の方に聞く。朝早いので、年配の方が「海を
眺めている」シーンが多い。

別に何をやる訳ではない。ボーっと眺めているだけだが、それだけでも
「癒し効果」はあるのだろう。（海を見ていたジョニー（ジョ爺）
（`艸`）??!!）

江の浦に「津波避難マウント」があった。人工の山だ。上ってみた。
高さは10mほど。上ってから会員に言われたが、無用な登山は
ご法度らしい。ま、これもお勉強。

前回、七輪で焼いた美味しい魚をいただいた、「増米」に寄った。
時間が早く、七輪はまだ準備中で火は入っていなかった。残念。
店番の若い女性は、申し訳なさそうな顔だった、Aさんが買い物

を済ませた。

県道を避けて海岸沿いの裏道を進む。砂浜が沼津御用邸記念公園を
経由して、牛臥山公園まで続いていた。砂浜を歩く。やっぱり自然の
道は気持ちよい。

波は穏やか。ただ、潮が次第に上がって来た。この後、今日のポイント
の牛臥山海岸をへつる（横歩き）ので、少し気になった。

記念公園の裏口に着いた。公園に入るか入らないか皆さんに聞いたが
「特にナシ」でパスし、牛臥山公園に向かった。手前は大規模な
防波堤工事中だった。

つづく





11月25日(水)曇・18/70

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月25日(水)05時27分38秒

11月13日つづき

SS, Mさんと合流して清滝山境内に上る。標高は約500mで展望は良い。

詩吟は寺番の方だった。毎日、13番・栄光寺から上ってくるようだ。

寺は立派・大きな岩山の下にある。境内を上った所に、お釈迦様が寝転んでいた。

ただ、多く見られるような横向きでなく、上向きだった。

このようなお釈迦様は初めて見た。境内の奥に大きな不動明王像があった。右側の岩は相当、大きなものだった。

14番から、車道を延々と下り、15番・佛ヶ滝でお勤め終了後、更に車道を下り、

寒霞溪(かんかけい)分岐から、16番・石門洞に上る。ちょっと厳しい上りだった。

上から比較的若い男子が一名降りて来た。

周りは、何とか岩と様々な名称の大岩が林立し

ていた。寺には名称のになっている「石門」があった。かなり大きなものだった。

ここも本堂は岩山内だった。サルが入るので(お参りするの??!!)扉はちゃんと

閉めて下さいと看板が下がっていた。

岩屋内はカビ臭かった。外に車があるので、何方かいるようだ。
お勤め後、山を下ると途中でバスが待っていた。有り難い。昼食時間なので、ここで
昼食とした。今日のランチは、「きな粉餅」だった。空腹に美味しかった。

昼食後、再び山を下る。寒霞渓湖を經由して、17番・一の谷庵に向かう。山里の庵で分かりにくかった。でも、雰囲気は良い庵だった。檀家の方が、チェーンソーでお墓の草刈りをしていた。再び下って、16番・極楽寺に向かう。

途中、オリーブを収穫していた。聞けば、実り方。オリーブの種類で化粧用・
食用とか分かれているらしい。寺は小高い丘の上だった。しかし、実に立派な
寺だった。

いってみれば「お城のような寺」だった。寺の前面に大きな池が左右にあった。
池を渡って参道が続き、境内に導かれた。シビレルような寺だった。
今回はここでお終い。時間はあったが、どのみち、もう一度来ないと終わらない
ので止めた。

今回の小豆島は終わった。宿の小豆島・国民宿舎に向かう。過去、国民宿舎は
問題が多かったが、今回はビンゴだった。小高い山上に建ち、展望はサイコー。
風呂もよかった。3人部屋で二人は、コロナ対策??翌日、帰静した。

おわり





11月24日(火)曇・20/47

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月24日(火)06時48分23秒

今日は、昨日と気温は変わらないが、寒く感じる

つづき

スマホ紛失に気が付いたのは、上り始めて1時間後。
選択肢はいくつかあった。

1. ここから二人で下って探す。
2. ここからGYだけ下って探す。
3. 予定通り歩き、下山後、探す。

1. は、予定のブナ観察ができない。

2. は、GYは初見のコースで支尾根が多く下れない。
3. 時間は掛からないので可能。

結局、予定通り歩き、下山後、探すことにした。
しかし、GYは、その喪失感で、心穏やかでなかった。
位牌岳に上り、昼食。

登山者が一人、食事中だった。
曇りでやや寒かった。
頂上の観測木・愛称=かがみは、豊作だった。
下から仰ぐと、枝先に独特の「殻斗（かくと）」が沢山
見られた。

寒いので下山。途中から段々晴れて来た。
観察木=10は分かったが、9-1が分からなかった。
10は看板があるから分かるが、9・9-1は、看板がなかった。
人為的に外されたかも??!!

前岳の愛称=ちよ、の殻斗は見られなかった。落ちてもしなかった。
やや、樹木が元気がないので心配だ。
前岳北尾根を下る。しかし、驚いた。全コースにフィックス・ロープ
が張られていた。

北尾根は、確かに急でロープがあれば安心だ。しかし、全コースに
設置は経費・労力・時間が、相当掛かったであろう。I山の会・K
さんに聞いたら、須山の振興会ではないかの話だった。

無事下山し、再びG尾根を上る。最初の急な沢が怪しいとおもったが
なかった。尾根も丹念に見たがなかった。ある程度、重くツルツル
しているので、枯葉の中に潜ってしまったかも……。いずれにしても、
雲を掴むような感じだった。

喪失感満タンで下山。仕方がない。どうにもならない。せめて機内
モードでなければ、発信音で発見できたのではないかと、残念だった。
以後、気を付けるしかない。

私も今年、帽子とストックを忘れた。落とし物ではない。そんなもので
よかったが、車のカギとか、年齢とともに気を付けなければいけない……。

おわり



11月23日(月)20/67

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月23日(月)06時10分33秒

土曜日は

愛鷹連峰・位牌岳でした。コースは、大沢～G尾根～位牌岳～前岳～山オヤジ尾根～大沢。天気は曇り～晴れ。参加は2名。

目的はブナ観察。わが会のブナ観察区域は、大沢～割石峠～呼子岳～割石峠～鋸岳～位牌岳～前岳。しかし、いつも鋸岳通過が大変。

今回は鋸岳をパスして位牌岳に上った。大沢中ほどの堰堤からG尾根に入る。G尾根は仮称で正式名ではない。堰堤でGYのスマホでルートを確認。この後、大問題が発生。

昨日の大雨で珍しく流れがある大沢を渡り、苔むしたゴロタ石の沢を詰めて進路を左にとり、G尾根に乗る。G尾根は以前何かと利用したが、最近上り下りはなかった。

北面で位牌岳に上るルートは、1. 鋸岳 2. 北尾根 3. G尾根 4. 前岳がある。

1. の鋸岳は前述のとおり厳しく危険。2. はそれほど危険でないが上りが厳しい。3. G尾根は、上りもマアママで位牌も近い。4. は、一番安全だが長い。

結局、G尾根が一番上り勝手がよい。急登だが尾根が踏まれていないのでむしろ上り易い。

しばらく来なかったので、いくらか藪が増えたような気がした。

1時間ほど上って後ろのGYが、驚くべきことを発した。

「スマホがない」だった。大沢でルートを確認後、チャックのないズボンのポケットに入れた。しかし、急登で膝を上げた際、落ちた??!!かも知れない。

GYは顔面蒼白。エライことになった。実はGYは、先日の小豆島おへんろ

時、高松港で財布をトイレで無くした。気が付いたのが、既にフェリーで小豆島に渡った後で、大騒ぎになった。

結局、誰かいい方が拾い、高松の警察署に届けられた。被害はなかった。

取りに行くのは大変なので、警察に後日、着払いで送って貰った。
以前も財布行方不明事件があった。最近、歳で集中力が散漫になったか
・・・??!!

つづく

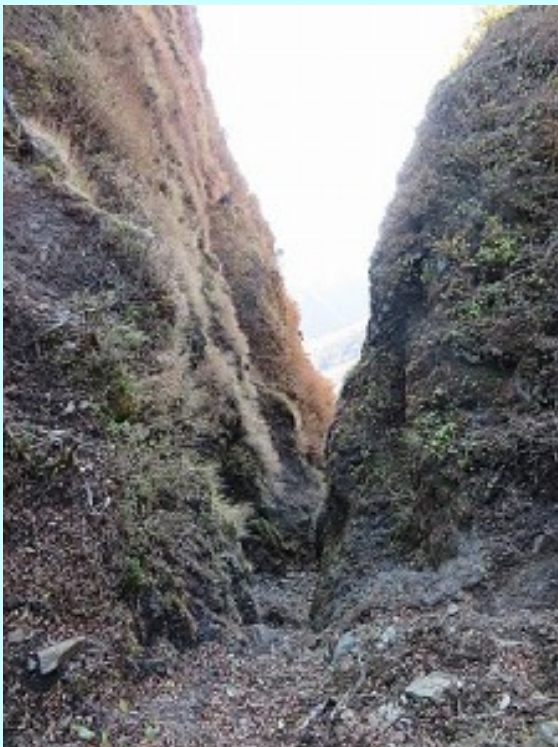


11月20日(金)曇・20/70

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月20日(金)06時36分40秒

山岳会の
会報「れいほう」12月号を発行しました。
ご覧ください。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>





[返信・引
用 編集
済](#)

11月18日(水)曇・18/69

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月18日(水)07時10分33秒

つづき

ブナ観察は、2000年からだから、ちょうど20年になる。実績表を見れば分かるが、いい年、そうでない年がある。愛鷹連峰の場合、地が火山性で急峻なので土壌は瘠せている。毎年は厳しいかも知れない。

今年、春上った時、開花が沢山見られた。花が咲けば結果、結実は豊富になる。毎年、観察を行うのは、わが子を見るように愛しく楽しい。結果が良ければ嬉しいし、悪ければ落胆する。

越前岳では、同時に頂上西側をロープで仕切って、植生保護を実施している。こちらも19年になるが、当時、丸裸だった斜面は、現在、豊かな植生に変わっている。

いかに登山者の踏み込みがストレスを与えるか実証された。同時に頂上で土壌流失が著しく、ここ20年で平均40cm、最大1mほど減少した。

主因はオーバーユース。余りに登山者が訪れ過ぎた結果だ。赤土で粘土質の土壌は、登山靴に付着しやすい。特に冬は顕著で霜柱でぬかるんだ頂上に登山靴で踏み込むと、土壌が

持ち去られ易い。

私が登山を始めた50余年前の越前岳は、ブナが生い茂り展望はむしろ悪い山だった。頂上に樹木があれば、土壌流失は少ない。

50年前に戻すのは、既に不可能だが、これ以上の流失は何としても防がなければならない。近く土地管理者の裾野市に働きかける予定である。

写真・上、中=2001年越前岳頂上西。樹木はまったくない。
下=2020年。樹木は多く茂っている。





[返信・引
用 編集
済](#)

11月17日(火)晴・18/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月16日(月)06時40分37秒

14日は、

愛鷹連峰・大沢～呼子岳～越前岳でブナ観察でした。
ブナ観察は、2000年から行っている。
春は葉の活力度、秋は実の結実度を観察する。
今回は、結実度。
ブナも他の植物と同じように毎年、たくさん実は付けない。
でも、今年は豊作だった。
ブナが元気で育っていれば、自然環境は平穏ということ。
それならば、人間界も心配はない。

20年の記録です。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-1-19.pdf>





11月13日(金)晴・16/53

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年11月13日(金)07時20分55秒

11月11日つづき

7日=早朝、宿の窓を開けると、地面が濡れていた。

夕べ、少し降ったようだ。

バスで昨日最終の5番・堀越庵に戻り出発。すぐ、10番・西照庵があった。ご本尊は、珍しい「愛染明王」ご本尊真言は、「オン マカラギャ バゾロシュニシャ バザラサトバ」とやはり、あまり聞いたことがなかった。

この日の目玉は、14番・清滝山の上り。標高差が約450m。

厳しい上りである。アプローチがイマイチ分からなかった。結局、昨日通過した、栄光寺脇からだった。粟地ダムから流れる川を詰めてダムに達した。

脇に老人ホームがあって、丁度、職員が朝の登所だった。「頑張ってください」のエールを受ける。ダムから林道を上る。当初、山道かと思ったが、山道は最後のわずかで、概ね林道だった。寺下に来るとバスで上った、SSとMさんの呼び声が聞こえた。

寺が見えると、寺から朗々と詩吟が聞こえた。後で聞いたら年配の寺番の方の朝のボイス・トレーニングだった。それにしても見事な詩吟だった。

つづく





[返信・引
用 編集
済](#)

11月13日(木)晴・15/49

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月12日(木)05時48分36秒

昨日は

11月度・伊豆巡礼でした。巡路は、田子地先～安良里～黄金崎トンネル～バス～黄金崎～バス～黄金崎トンネル～恋人岬～バス～最福寺(昼食)～バス～恋人岬～土肥～安楽寺。天気=晴れ、距離=約20km、参加=16名。

前回最終の田子地先から出発。天気は良く、程よく冷えている。土地の方と朝の挨拶が続く。今回のコースはトンネルが多い。一番の難所は、黄金崎トンネル。約1km。しかも、今回は工事中で、反対車線が右側通行で、モロに後ろから来るので恐ろしかった。

無事抜けて、バスで黄金崎でトイレ休憩。Sちゃんのみ、ソフトクリームを舐めていた。再びトンネル先に戻り巡礼続行。宇久須で「小アジ鮓」店を見たが、営業はしていないか?? 美味しい鮓だったが残念。

恋人岬手前で昼食時間。バスで近くの「最福寺」に向かう。陽光が溢れる、芝生の境内で昼食。空腹で美味しかった。食後は住職の説明で「宝物館」見学。皆様、いたく感動・感心。

午後は少し飛ばす。何としても土肥・安楽寺に着きたい。
旧道を進み、丸山城跡をパスし、土肥浜着。土肥山川を少し
遡り寺着。

しかし、驚いた。安楽寺を象徴する、樹齢1000年の大楠の葉
が所々欠落し、全体的に元気がなかった。昨今の気象変動の影響
だろうか。何としても頑張っても貰いたい。本堂でこの日最初で最後
のお勤め。気合を感じる、中々良いお経だった。

記念撮影後、「まぶ湯」を見学して終了。厳しい巡礼だったが、完全
燃焼の日でした。合掌。





[返信・引
用 編集
済](#)

11月11日(水)晴・15/55

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月10日(火)17時35分52秒

つづき

6日=起床5時、バス発6時35分。バスで昨日最終の常光寺まで行く。
7番・向庵はすぐ近くだった。

2番・碁石山に向かう。山道に入るところに放置された甘柿が
たわわに実っていた。

「自然お接待」と勝手に解釈し何個か頂いた。美味しかった。
荒れた道を上る。一人では気持ちが悪くて歩けないような道。
この道は、バイパスで上に林道があった。

林道が終わると寺があった。大きな寺だった。入り口に「鳥居」
があった。右手に巨大な大師像。坂手港を睥睨していた。
階段を上ると碁石山の岩場が現れた。岩は凝灰岩で八ヶ岳の大同心

の

ような岩がポコポコ出ている。浸食つくされシッカリしているので
全く問題ない。碁石山の名称はここから来たか。

80歳のSちゃん、83歳の大姉御・Tさんもガンガン上る。
岩場の途中に見慣れない珍しい花があった。帰って調べたら
「イワレンゲ」だった。ちょっと、サボテンの花のようだった。
乾燥に強く岩場を好むらしい。ただ、本州にはない植物。

頂上は433mある。展望が素晴らしい、立派な山だった。記念写真を撮って下山。本堂でお勤め。岩屋が本堂だった。

意外だったが、若い僧侶がいた。昨日の常光寺から毎日上って来るといった。一通のお経を一緒にやってくれた。いつも思うが、本物の僧侶の声は素晴らしい。岩屋だから更によく聞こえた。

山を下る。次の二つの寺も岩屋だった。下りきれば、3番・観音寺。ここで昼食にした。この日は、「温かいラーメン」が美味しかった。

午後は、田の浦庵まで厳しい道だった。そもそも歩かれていないので道は荒れ放題。イノシシの堀っ返しも凄い。予定往復するつもりだったが中止した。庵近くに「本当の岬の分校跡」があった。

昨日の映画村より、静かで余程良かった。分校から、最後の踏ん張り。約4.5kmの車道を古江まで歩く。疲れ切った体にアサファルト道は辛い。15:34、長い一日が終わった。

つづく（日記は、10日に書きました）





[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

11月10日(火)晴・16/56

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月10日(火)06時50分21秒

小豆島・お遍路2

4日＝約700kmで高松着。高松ミュージアムに寄り弘法大師の常設展を見学。天保年間の約200年前のご朱印帳があった。また、複製だが大師の筆は見事だった。

65歳以上は無料。唯一未満のGYは300ー支払った。どう見ても65歳以上の感じだが真面目。ただ、この後、彼は「財布紛失」の事件。幸い出てきて、後日、高松警察に着払いで送って貰った。(;´Д`)

14:20のフェリーは、「危険物運搬」で一般車は乗れず、1H待たされた。おかげで福田着は暗くなっていた。昨年も宿泊した「ちぐさ」は、相変わらず豪華な夕食。またしても、完食できなかった。貸し切りで、一人一部屋だった。枕元に潮騒が聞こえる宿。

5日＝6時朝食。6時33分、宿から歩く。福田港の朝日が見事。天気は良かった。海岸線を進む。静かな播磨灘が見事。途中、大阪城築城時、切り出した城石の残りを見学。小豆島は花崗岩（御影石）の産地。各所に石切り場跡がある。

山を越えて、岡ノ坊で昼食。Kが奮闘した「キノコ汁」がサイコー

だった。今日の宿「ひろきや旅館」はすぐ近くだった。午後は常光寺で終了。

時間は早かったが、次の碁石山が岩山で時間も掛かるので、翌日、見学予定の「24の瞳映画村」に行く。映画村は入場料が高いだけで最悪だった。翌日、行った本当の分校跡のが良かった。宿の「ひろきや旅館」は、温かい、いい宿だった。

つづく





11月9日(月)晴・19/63

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月9日(月)06時48分29秒

先週の4～8日まで、

第二回・小豆島お遍路でした。
天気は全日、雨なし。参加10名。

4日=長泉発4；00—高松—小豆島・土庄（とのしょう）—福田・「ちぐさ」（泊）

5日=福田～86番・当浜庵～8番・常光寺～バス・24の瞳映画村～安田・「ひろきや旅館」（泊）

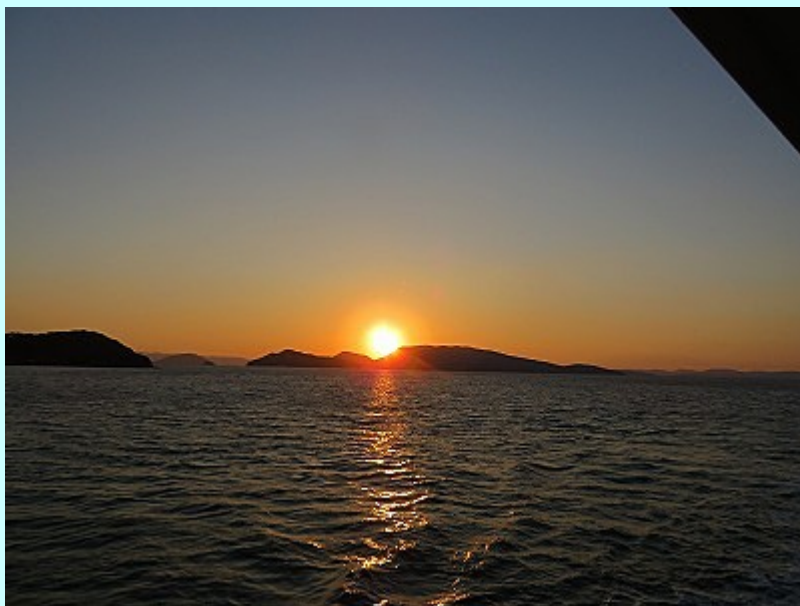
6日=常光庵～2番・碁石山～3番・観音寺～6番・田ノ浦庵～安田・「ひろきや旅館」（泊）

7日=10番・西照庵～14番・清滝山～20番・佛ヶ滝～16番・極楽寺～小豆島・

「国民宿舎」（泊）

8日=帰静

1. 全体的に天気には恵まれた。
2. コースは、踏まれていないコースもあり、なかなか厳しかった。
3. 清滝山の上りは、標高差約450m。
4. 宿は、全て良かった。
5. 昼食は、Kの奮闘で美味しいものを食べれた。



11月3日(火)雨・21/70

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月3日(火)06時51分2秒

[返信・引
用編集
済](#)

これはイイ

柑橘類のシーズン。
毎年、ユズとか絞るのに難儀していた。

探してみたら、実にイイものがあった。
ジャンボエンチョーにあった。
価格は、2650ー。

今年は、庭の本ユズが大豊作。
今まで、こんなに実らなかった。

夏ミカンも温州ミカンも大豊作。
連鎖しているのだろうか??

おかげで、このところ毎日「ユズ湯」を楽しんでいる。
「ユズ湯」は、サイコーですね。





11月2日(月)曇・18/58

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月2日(月)06時31分3秒

つづき

バスで山を下る。県道までかなり下り木負に着いた。昼食時間を過ぎたので、そのままバスで「長浜城跡」に向かう。「長浜城跡」は、近年、沼津市が整備した。標高39mだが、展望は極めて素晴らしい。

空腹で文句をいいながらも階段を上り頂上広場着。いい所だった。北の駿河湾の向こうに富士山が大きい。昼食は美味しかった。暑くもなく寒くもなく、丁度良い。ビアが美味い。食後、15分程昼寝。ますます気持ちよい。ただ、女性軍のおしゃべりが五月蠅い。会話は、手話でやって欲しい。(´艸`)記念写真を撮って下山。

午後のウォーキング開始。空腹が満たされ、昼寝のお陰で午前より快調。途中、太宰治が逗留し、「斜陽」を執筆したとされる安田屋旅館着。以前は見学できたが、今はコロナで駄目。残念。

淡島を左に見て飛ばす。途中の魚屋にアジが干してあった。美味しそうだったが
車道の脇でちょっと嫌だ。右手の家の垣根に「ムベ」がたわわに実っていた。
以前、高松山下で貰ったが、これは美味しかった。

放水路まで長いと思ったが案外、近かった。長い長いウォーキングだったが、ようやくゴール。皆さんもワラワラと到着。無事終了し良かった。これで年内終了の目鼻が付きました。お疲れ様でした。

おわり



10月30日(金)晴・19/54

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月30日(金)07時12分2秒

つづき

店を辞し、さらに進む。立保付近で、何処かのオジサンが小舟で何かを採っていた。舟から長いサオを操り、メガネで覗いている。県道から近いので大声で聞けば、「ウニ」を採っているといった。タコも美味しいが・・・。

ようやく木負に着いた。大瀬崎から、ちょうど3時間掛かった。ここでバスの人となり、「木負の大スギ」を見学に行く。スギは、近いと思ったが、何と標高約500mくらいの山中にあった。入口まで、バスで延々と上った。

スギまで、入り口から更に15分ほど上る。北面故、周りは暗くヒンヤリするスギの人工林が続く。その中に周りを睥睨するかのよう大スギが現れた。ネットでは、老木で衰えて見えたが、実物は立派なモノだった。

樹齢は約400年。縄文杉ほどではないが、決して見劣りしなかった。弘法大師が、修禅寺・奥の院開基の際、木の下に「虚空蔵菩薩」を安置したという。

つづく





10月29日(木)晴・19/60

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年10月29日(木)06時55分3秒

昨日は

10月度・伊豆ウォーキングでした。コースは、大瀬崎～西浦・江梨～西浦・

木負～西浦・三津～狩野川放水路。天気＝晴れ・爽やか、参加＝17名、歩数＝約35000、距離＝約21km、時間＝約7時間半。

勤労者山岳連盟の「山筋ゴーゴー体操」をKの指導で心身をほぐし、7:50、大瀬崎発。天気は良く爽やかだった。今日は、ほとんど上り下りがない海岸線の県道R17をひたすら歩くのみ。

北の左手には駿河湾が広がる。海拔0mからの富士山がひときわ際立つ。前衛に愛鷹連峰。見慣れない方角で新鮮だった。右手は金冠山がそびえ、ミカン畑が広がる。

1時間ほど歩き、江梨先で休憩。廃屋みたいな建物が右手にあり、海側にやはり廃バスがあった。建物は無人かと思ったが、二階の窓に着るものが下がっていた。建屋にトイレがあった。目ざとい会員が早速使用。

そのうち住人とおぼしき若い衆が犬を抱えて出てきた。トイレに行きたかった

らしいが、皆が使っていて困った風だった。聞けばバスは昼間、お店として

営業し、ドリンクはいただけるとのこと。しかし、こんな辺鄙なところにお客さんが来るのか・・・??と思った。ま、好きな方がいつかも。

更に進む。西浦・久料（くりょう）は、漁港で漁船が繋がれていた。軒先でご夫婦がミカンの選別をしていた。「極早生ミカン」が最後の出荷という。ダメなミカンを頂けるかと思ったが、そうは行かなかった。

西浦・古宇に「井里絵（いさり）」があった。本来、食事を出す店だが、現在はお休み。ただ、ミカン・シーズンでミカン販売のみ行っていた。詰め放題＝300一のミカンがあったが、残は少ない。そうしたら、店のオジサンが、「残りは食べて下さい」とのこと。皆さん、ワラワラと頂きました。お昼前で空腹を感じたところでとても美味しかった。

つづく





10月28日(水)晴・19/60

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月27日(火)17時31分22秒

つづき

御巢鷹山付近は、紅葉が良かった。静岡県東部にはない、赤が鮮やかだった。紅葉は、黄色でなく、やっぱり赤がイイ。御巢鷹山手前で北口下山道に入る。

北口下山道を下るが、今日の最終目的は、「水曇山」だった。この山(岩峰)は、地元、山梨山の会K氏のお勧めだった。何回も来れる山ではないので、行ってみることにした。

下山道を下って行くと、右・北口下山口、左・水曇山の道標があった。迷わず左に進む。しかし、結果的にこの道は、「水曇山」に行かなかった。何故か不明だが、GPSを見ると、標高1700mで左に行くところを右に下っている。しかし、現地ではルートが不明だった。

結局、結果的に北口下山道北の尾根を下っていた。一応、赤布はあったが、一般道ではなかった。しかも、尾根は急峻で厳しいものだった。三ツ峠山の東北面は傾斜がキツイ。加えて昨今、北口は登山者が少ない、道は荒れ放題で不明瞭。

下りきれば林道に出て北口登山口着。ここから長い林道・車道を経て登山口着。往復8時間。長く厳しい一日だった。

おわり（日記は27日記入）





10月27日(火)晴・19/60

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月27日(火)06時23分28秒

つづき

南東尾根の道は、「山レコ」を見たら、やはりあった。
標高点・1312mから大久保山に至っている。
しかし、道は落ち葉でハッキリしなかった。

大久保山からイイ感じの樹相がつづく。ナラ系の樹木が多い。恐らく人の手は入っていないだろう。左下に人の声が聞こえた。

達磨石からの一般道と屏風岩方面からだった。ただ、屏風岩を俯瞰したかったが、ここからは見えなかった。ひと上りでパラボナアンテナ基地が見えた。三ツ峠山は、顕著なアンテナ基地。地図では4基ある。最初のもは、一番東のもの。

有刺鉄線に沿って反対側に回ると道路に出た。先の基地では工事人が20名くらい作業をしていた。唯一女性が1名いた。裏を上ると頂上だった。12:30。約4時間半掛かった。概ね標高差通りだった。

人が多く詰まらない頂上。パイプを吹かしたキザなオヤジ・クライマーがいた。最近、パイプは珍しい。履物は「地下足袋」だった。あれで屏風岩を上ったのか??地下足袋は、つま先が利かないので厳しいが・・・。

やがて女子班も到着。ここで昼食にした。霧が湧いて展望はなし。富士山は全く見えない。22日は参加者Hの誕生日だったが、忘れて祝えなかった。Kが作った煮込みラーメンが美味かった。やっぱり、カップラーメンは、美味くない。

ほどほどで下山。先ほどの工事基地に戻り、御巢鷹山に向かう。こちらは嘘のように登山者はいなかった。

つづく





10月26日(月)晴・17/60

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月26日(月)07時06分42秒

土曜日は、

三ツ峠山(1785m)・東尾根でした。コースは、都留市・宝鉦山、一の橋～東尾根～三ツ峠山～御巢鷹山～北口登山道～水曇山～東尾根～宝鉦山～一の橋。天気=晴れ、標高差=1187m、参加=4名。

懸案であった、東尾根を実行。涼しくなって上りやすくなった。都留ICで降りて、宝鉦山手前、大幡川に架かる一の橋が出発口。駐車場は橋の脇にある。

8:02発。林道を少し進み東尾根に乗る。最初からモーレッツな急登。8:23、すぐ第一鉄塔があった。9:20、第二鉄塔を通過。北に本社ヶ丸が大きかった。日当たりがよく、辺りに「センブリ」が沢山あった。

女子班がワラワラと採取。女子班は先日、わざわざ乾徳山まで採りに行った。余りイイのがなかったとの報告だったが、ここのは大きく立派。「センブリ」は、胃腸の良薬。

第二鉄塔の先で、先頭のKが「紫色のキノコ」を発見。ハッキリしないが「ムラサキシメジ」ではないかとのこと。標高点1179mを経て、東南尾根分岐の標高約1450mまでが、今回一番厳しい上りだった。急登の上、

落ち葉・

腐葉土がフカフカで歩き難いこと、はなはなしかった。

これを上ると道は緩やかになり、美しい自然林が出てきた。先が大久保山（1546m）だった。「つる山友会」の立派な看板に何と「登山道」とあった。

ハッキリはしないが、2万5千円では、先ほどの標高約1450mの南東尾根

下途中まで、西桂町・下暮地から道が伸びている。可能性があれば、この道が

続いているのだろうか??

つづく





[返信・引
用 編集
済](#)

10月23日(金)雨・21/66

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月23日(金)06時41分36秒

つづき

「おまたぎ堂」は、その昔、下の病気が多かったことから、病気を
駆除するまじないどころだった。便器の形をまたいでまじないをする。
正面には様々なの男性・女性器が並んでいた。

棚のケースの中には、男女の行いの模型があった。住職に
「住職の趣味ですか？」と聞いたら、檀家に熱心な方がいるとの
ことだった。このような話は、A班は時間が厳しいので聞くことが出来な
い。
B班は、時間の制約がないので、ゆっくり話を聞ける。

寺を辞し、狩野川を渡って伊豆長岡の温泉場に入る。次の12番・
長温寺は温泉場の真ん中にある。到着すると住職が優しく迎えてくれた。
この日、檀家の方の「ご詠歌」の練習日で、6～7名並んでいた。

我々のお勤めを待っていてくれ、ご詠歌と一緒に詠った。ご詠歌は
初めて。歌詞の右に音符のような絵がある。上げたり下げたり伸ばしたり
その記号で詠う。ゆっくりで長く伸ばすところが多いので、慣れないと
難しかった。同じ歌詞で違う旋律を二回詠った。

13番・北條寺は江間にある。途中、足湯に寄ったら、赤い軽の

オープンカーがあった。オーナーは、足湯の隣の方だった。
ロータス社製だった。現在は製造していない。新車は300万といった。

北條寺着。左手に「ロウバイ」の小山がある。ただ、渡辺住職は、
最近、ますます耳が遠くなり、会話が進まない。
そんなこともあり、今回は初めて外でお勤めをした。本堂の
運慶作といわれる仏像、北條政子が寄進したといわれる「牡丹鳥獣文繡帳」
を見たかったが残念だった。境内で昼食を食べ、午後の部に移った。

つづく





10月22日(木)曇・19/57

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月22日(木)06時43分5秒

昨日は、

伊豆巡礼B班でした。巡路は、九番札所・澄楽寺～十番札所・蔵春院～十一番札所・長源寺～十二番札所・長温寺一十三番札所・北條寺～十四番札所・慈光寺～十五番札所・高岩院。天気＝晴れ、距離＝約10km、参加＝10名。

前回最終の澄楽寺から出発。大仁の町をブラブラ進む。深沢川を渡る。水がキレイ。左手の広瀬神社が大きい。駿豆線・田京駅で右折して寺に向かう。

蔵春院は大きく立派でキレイな寺。ご本尊は、釈迦牟尼仏（しゃかむにぶつ）

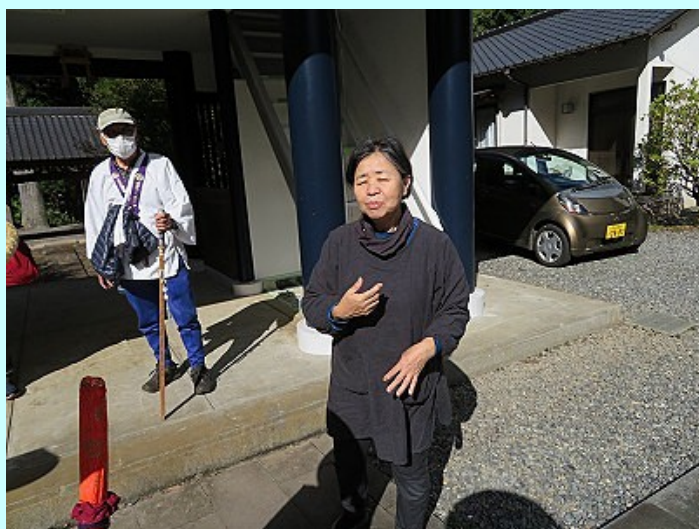
だが、観音堂も併設している。昔は、裏の山上に観音堂があったという。

奥様は親切な方。寺に松が多いのは、新しい住職が赴任の時、祝いで植えるからと教えてくれた。入り口にアケビを作ってあった。2～3ヶ口を広げていたが、高いので取れなかった。

長源寺に向かう。寺は高台にあり見晴らしが良い。ここも大きくキレイで立派な寺。お勤め後、住職が寺の話。天井画を寝転んで見ると、文字が浮かぶという。いろいろ考えたが分からない。正解は「ホトケ」だった。

また、トイレの神様が、「おまたぎ堂」に祭ってあった。寺には何回か訪れているが知らなかった。「おまたぎ堂」は、なかなかユニークだった。

つづく



10月21日(水)晴・18/57

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月21日(水)05時55分22秒

今日は、伊豆巡礼B班です。

10月度・伊豆巡礼A班の記録が纏まりました。
ご覧ください。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page201.html>



10月20日(火)晴・18/64

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年10月20日(火)06時49分31秒

今日は、気温が17.5度だった。

つづき

仁科川の沿って83番・東福寺に向かう。

川では釣り人が何人かいた。中には浅瀬に座って釣っている人もいた。

道路に上がっている方に聞いたら、釣っているのは「鮎」で、友釣りは釣れない、エサがイイといった。エサは、「アミエビ」がイイという。25cmくらいののが釣れるといった。

寺に着いた。山門の上に梵鐘がある。珍しい作りだ。寺はキレイ。境内には、これまた珍しく、弘法大師の像が立っている。寺の考えが、うかがい知れた。

本堂でお勤め。天井に「五百羅漢」の「コテ絵」がある。檀家で東京の篤志家が寄贈したという。なかなか見事なものだ。若い嫁さんが、いろいろ丁寧に対応してくれた。

これまた最近では珍しい。どこの寺も、案外、素っ気ない。中には、迷惑がる寺もある。有り難いことである。ただ、ここの大バアさまは、厳しくて以前、到着が遅れたら小言をいわれた。

84番・法眼寺着。寺の住職は、元サラリーマン。訳アリ??のバツイチ。前住職が亡くなって赴任した。初めて会ったころは細身だったが、現在は100kgあるか。強面だがイイ方で話は弾む。一緒に記念撮影をした。

終了後、仁科港の魚介土産屋で買い物を済ませ、沢田公園に寄った。その後、田子地先まで歩き終了した。それ程、暑くはなかったが、今回は疲れた巡礼でした。

おわり



10月19日(月)曇・19/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月19日(月)06時40分8秒

山の会

機関誌「れいほう」10月号が出来ました。
ご覧下さい。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>

写真は富士山の三段染めです。
新雪・紅葉・緑





10月16日(金)晴・20/50

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月16日(金)06時47分48秒

つづき

バスで前月最終の81番・宝蔵院に向かう。宝蔵院は、標高約550mの高所にある。寺は大きく立派。道路もない昔、よくぞこんな寺を作ったものだ。お金も時間も費やした。昔、松崎は航路で潤った。篤志家がいたのだろうか。

境内に苔むした石仏が多数ある。石仏は、古人が麓から背負いあげたもの。軽くても30kgくらい。様々な願いを込めて上げたのだろう。現在は、そのような風習はなくなった。でも、巡礼は未だに続く。

林道の寺分岐で前回道を間違え、寺に未達だったO夫妻、サポのKが先に下車し寺に向かった。我々は寺の駐車場にバスで上がり巡礼開始。Oらと途中で会った。速い。

寺から一色集落まで標高差約500mを下る。適度な勾配の車道で歩き易いは歩き易い。途中、伊豆ジオパーク発祥の「枕状溶岩」があった。この地層は、伊豆で一番古いといわれる。

<http://shinshima.com/blog/post-6731/>

一色の82番・慈眼着。寺は無住職なので外でお勤めが多い。ところが寺入り口に来たら、地元のオジサンに「寺に行くのか??」と声を掛けられた。地区の区長さんで寺管理もしていて、「鍵を開けます」

とってくれた。

ブラブラ寺に向かうと、畑仕事とオバさんが、イモを掘っていて安納芋をひとつるプレゼントしてくれた。ああ、こんな風景の田舎はイイですね。寺では、久しぶりに本堂でお勤めを行った。寺は地区の集会場も兼ねていた。

ここから、83番・東福寺に向かった。

つづく



10月15日(木)曇・22/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月15日(木)07時05分12秒

昨日は、

10月度・伊豆巡礼でした。巡路は、81番・宝蔵院～82番・慈眼寺～83番・東福寺～84番・法眼寺～田子。天気は晴れ・高温。歩数＝約3万、距離＝約18km。





[返信・引
用 編集
済](#)

10月14日(水)晴・24/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月14日(水)04時33分37秒

今日は、10月度・伊豆巡礼です。

つづき

御殿庭で休憩して、宝永山に向かう。
カラマツが下部から上部に向けて、紅葉の微妙な具合が美しい。
霧が去来する。残念ながら山頂は見えない。
ここからトップで行く。Hちゃんは、旦那の重いザックを背負った。
どうやら、訓練のようだ。

火山礫をザックザック進む。足元が不安定なので、雪面のように
蹴りこむ感じの足運びがよろしい。肩にコケモモが少しあった。
Kは明日もこのコースから五合目に上がって、コケモモ採取というが、
恐るべき体力・精神力だ。(結果は、御殿庭でリタイヤだった)

最後を踏ん張って、2352m峰着。ガスで展望はゼロ。Hちゃん、
初見参だが残念。記念写真で下山。御殿庭で昼食。先着が三名。
ただ、この方々は上には行かなかった。

そうこうしているうちに、ガスが飛んで、青空がのぞき、山頂付近も
見えてきた。I夫婦に急がせ記念写真。イイ写真が撮れて良かった。
太陽も差し高温になりビアが進んだ。

下山はザックザック快適。デポしたキノコが重い。下山後、裾野の会員宅でキノコをバター炒めで食べた。美味しかった。ビアは会員が作った手製ビア。これが、なかなか行けた。サイコーだった。ご馳走様でした～！！！！



10月13日(火)晴・23/70

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月12日(月)07時59分27秒

一昨日は

富士山・宝永山2352m峰でした。コースは、幕岩下沢(仮称)～幕岩～御殿庭～2352m峰。天気=晴れ、参加=4名、標高差=1012m

幕岩下沢橋(仮称)から出発。秋晴れが気持ちよい。沢は一週間の雨で湿って、滑りやすかった。天気はイイ。いつも見える富士山頂はガスで見えなかった。青空に紅葉が映える。今日は会員のI君の嫁様Hさんがゲストで参加。

当初、我々と一緒に歩けるか心配したが全く杞憂だった。理由は、50歳と若いこともあるが、趣味がマラソンで心肺機能に強い。加え、脚力が鍛えられているからだった。

幕岩で最初の休憩。ここから今回の楽しがあった。一週間近く雨が降り、ジゴボウ(花猪口・キノコ)が丁度良いのではないかだった。Kがキノコ用のカゴを用意した。これなら柔らかいキノコが潰れない。

上って行くと、カラマツ林の中にジゴボウがニョキニョキだった。それも新鮮で、出たばかりの完璧なものが多い。I君夫妻も沢山採取。嫁様も大いに喜んでくれた。

三辻でキノコをデポし登山に戻る。ここから厳しい上りになる。嫁様は荷物が軽いので速い。追いつくのが大変。こちらも頑張ってガシガシ上る。呼吸法を変え、追いかけるようにして、ついにI君を追い越して御殿庭に着いた。

つづく





10月9日(金)雨・20/70

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月9日(金)06時30分44秒

つづき

冷風に追われるように下山。帰って知ったが、実は権兵衛峠に下る手があった。こちらは寺コースの半分の時間で下れる。道も悪くない。縦走で短時間ならいいことはない。残念だった。

昼食には早かったが、早朝登山で空腹を覚えた。風が弱い九合目で早い昼食。土曜日なので、ゾロゾロ上って来る。一人の年配者が来た。単独だった。

両手ストックだった。やや疲れた感じ。「お幾つですか」と聞く。私と同年配と踏んだが、一歳若かった。しかし、単独でこのコースを上るのは偉い。大いに励まし送った。

昨日の登山もあり、膝が重たい。痛くはないが、スッキリしない。途中で頂上付近で会った若い衆に何人か抜かれた。若い衆は、「ピョンピョン」下って行く。だから速い。我々は「ドテドテ」だから遅い。

八合で地元、伊那の若い衆と交流。トラックの運転手で毎週、静岡・浜松に来るといふ。前述の山岳マラソンを、ここでやっているという。コースの手入れもやっているようだ。

六合付近で「ジゴボウ」を沢山ゲットした。帰って味噌汁で3日間食べた。美味しかった。前日は、バター炒めだったが、これも美味しかった。秋はキノコが楽しみだ。ただ、今年「タマゴダケ」は全くダメだった。

二〜三合付近で、女子が「マツタケ」を探したがなかった。臭いはするというのが残念。寺に戻り、安全登山に感謝し、境内の梵鐘を一打する。「心を込めて打て」と注意書きがあった。いい音色で山々に木霊した。

下山後、昨日の「みはらしの湯」に浸かり、下のソバ屋で名物の「ソースカツどん・ソバ」セットを食べた。伊那のカツどんは、ボリュームが凄い。昨年暮れ、冬山時も食べたが、ソバが食べきれなかった。

今回もソバが残った。GYは全て平らげた。ほか三名は、ソバは「お土産」にして貰った。その日に帰静。念願の山に上れて良かった。手ごたえ十分で記憶に残る山だろう。

おわり





10月8日(木)雨・20/65

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月8日(木)06時19分24秒

秋山合宿で、白砂山だったが、雨・台風でオジャン！！

つづき

八合からピークを二つ越える。しかも、笹が酷くなった。帰りに会った伊那の若い衆の話では、夏に山岳マラソンがあるという。

しかし、こんな酷い笹で走れるだろうか。道幅も狭いので

ほとんど抜くことも出来ない。マラソンをやるなら、もう少し整備したほうが良さそう。

九合目手前に、何処かで見たような枯花が沢山あった。葉が紅葉し白い綿毛が長かった。たぶん「ヤナギラン」と思った。帰って確かめたら、やっぱり「ヤナギラン」だった。夏上れば見れそうだが、ここを夏上るのは考えられない。

九合を越えて再び下り、最後の上り。北西の風が冷たく、手袋・上着を着けた。枯れ木を越えて頂上着。Sさんは既に着いていた。頂上は、モミの木が邪魔し展望は良くない。

昨日、上った坊主岳は、すぐ近くだが良く分からなかった。細長い石仏が東の仲仙寺方向を向いていた。この石仏も、十一面観音像だろうか。ただ、ネットを見たら歴史的なものでなく「知り合いの電気工事屋さんのお父さん作の観音様」とあった・・・。(;´ ڀ `)

兎に角、寒かった。冷風があるので、体感温度は10度以下だろう。寒いので写真を撮って貰い来た道を下山。下山も長い。登山時間の8割は掛かる。しかも、足元を笹が邪魔して不安定なこと、この上ない。

下からゾロゾロ、たくさん登山者が上って来る。いつもとは逆でこれから上る登山者を「励まし下る」のは、悪い気分ではなかった。

つづく





10月7日(水)晴・22/52

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月7日(水)03時38分48秒

つづき

いつも寝坊の女子班が珍しく4:00に起床。男子も起きる。
昨夜は、隣のGYの鼾が五月蠅く、いささか寝不足。
夜は高原だったが、寒くなかった。

テキパキとテントを撤収し、外で朝食。
昨夜の鍋をベースにしたオジヤを食べる。味はマアママ。
駐車場に移動し5:15、ヘッドランプを点けて出発。

最初は人工林を進む。梢に街の灯りがチラホラ。
全く音がない静寂な山。足音だけ響く。
6時前、夜が明けた。今日は、標高差が1300mある。

登山は標高差が1000m以上あると厳しくなる。
普通、標高差300mを1時間掛かる。1300mだと4時間
以上の計算。当然、下りも上りの8割程度掛かる。

ひたすら上るのみ。歩き難い笹が多い。女子が何か見つけた。
右下の林の笹の中に「カモシカ」がいるという。だが、保護色で
ハッキリしない。薄暗いうえ、目も悪いので分かりにくい。
でも、Hは「生まれて初めて見た」と喜んだ。

横断道が終わると、右下の大泉ダムから伸びる道と合流する四合目着。
ダムからの道は寺道より30分ほど早いらしい。ただ、上るなら、やっぱり
寺からがイイ。

登山道は四合から五合、六合と続く。辺りに「ジゴボウ」
(花猪口)がチラホラ見えた。下山時に採取しよう。
七合は、ちょっとしたピークで少し展望があった。

先は八合まで長かった。延々と唐松林が伸びていた。
ただ、笹は狩ってあり気持ちは良い。八合は、コース
唯一の展望台だった。

先行者が一人。先行したKと話していた。東京・山楽会
のSさん61歳だった。今朝、ダムから上った。聞けば、
山岳スキーもやると言った。

つづく





10月6日(火)晴・23/52

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月6日(火)05時58分15秒

つづき

坊主岳を下山し、翌日の経ヶ岳の下見で伊那に移動。
再び、権兵衛峠を潜り、羽広集落に向かう。
集落は、小高い丘に位置し、伊那扇状地が見渡せ、リンゴ・
柿などが、たわわに実っていた。

経ヶ岳登山口は、羽広観音と呼ばれる十一面観音を祭った
仲仙寺境内にあった。寺は大きく立派。境内があまりに
広く閑散としている。

登山口確認後、近くの「みはらしの湯」で温泉。日帰り温泉にしては大きな施設。露天風呂があって500-は安すぎる。入場の際、消毒・顔認証体温測定・住所記入があった。JAFは50-割引。

温泉は、アルカリ系で良かった。露天から目を凝らすと、富士山みたいな山が見えたが方向が??だった。テントは近くの某所で張った。

キャンプ場ではないが、天井があって濡れない・電灯・トイレ・水道完備で無料・静かの最高の場所で感謝・感謝でした。

夕餉は、鍋をつついた。酒も進み美味しかった。当夜は、満月が素晴らしかったと報告あり。ただ、私はトイレ時、何故か見れなかった。

つづく



10月5日(月)曇・23/75

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月5日(月)06時18分53秒

先週

金・土は、塩尻・坊主岳(1961m)・経ヶ岳(2296m)でした。

金曜日、長泉5:00発。

伊那IC先の小黒川SICで降りて、権兵衛トンネルを潜り、奈良井ダム登山口着。

9:00登山開始。天気は良く、まあまあ涼しい。

最初から、物凄い急登。

ほどなく山の神着。安全登山を祈願。

標高1429mの三角点着。少しなだらかになる。

ただ、笹が五月蠅い。再び急登になる。

右手に明日上る経ヶ岳がチラホラ。登山道脇に時々、

美味しいキノコのジゴボウ(ハナイグチ)があった。

下山時、採取すべく、マーキングをする。

上るほど胸までの笹が五月蠅い。坊主岳は山名はあるが、

2万5千図に登山道表記はない。

従って十分整備されていない。しかし、好きな方は上る。

ようやく笹から解放されると、頂上の坊主のような丸い

山稜に出た。

頂上は樹木が全くない、素晴らしい展望だった。

通常3時間かかる、標高差910mを2時間22分だった。

一本上りで効率は良かった。

西に先日上った御嶽山、北西に焼岳、その向こうに穂高が

尖っていた。風はやや冷たかったが、ビアを一本やった。

収穫した落花生が美味かった。

下山も、これまた一本下りで膝はガクガク。

でも、その分早かった。1時間30分で下った。

有名な山ではなかったが、イイ山だった。

つづく



10月1日(木)曇・23/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月1日(木)06時57分9秒

今年も、あと僅かだね。

温故知新

2000年8月9日～13日

南アルプス=信濃俣河内（しなのまたごうち=沢の名称）
の写真館を上げました。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/kiroku-7-47>





9月30日(水)晴・21/55

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月30日(水)06時26分56秒

昨夜、

今年、二回目の「月下美人」が、咲いたらしい。
らしいは、夜確認できなかったから。

昨夜あたり、咲きそうなのは分かっていましたが、
すっかり忘れていた。
夜中、一回起きたので、確認すべきだった。残念。

今回は三輪だった。
昨夜も満月だった（または満月に近い）らしいが、
前回もそうだった。

月下美人は、月の状態で咲く??!!
ネットでは、必ずしも関係ないようだ。
ただ、花は食用になるようで、台湾では盛んに食べられて
いるという。

また、焼酎漬けで保存も出来るようですね。



9月29日(火)晴・24/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月29日(火)11時40分48秒

静岡県静岡市保護課の

山崎由晴さんが、フェイスブックに
南アルプス・千枚岳の「駒鳥池」を

[返信・引
用 編集
済](#)

アップしました。

リニア新幹線が南アルプス貫通すると、このような貴重な自然がなくなる可能性があります。

https://www.facebook.com/yoshiharu.yamazaki.58?_tn_=%2CdC-R-R&id=ARApWaRU5R3UFoeJvBIWM8e4b1Biy9LMZVe2IWDJ1bUutZ3_MKXLZA97tgCsGZHu_X7_I0-xwCA7Nxxw&hc_ref=ARRsUT-oR0u6LcESAAjA_4DbSWckmGnAPi-tIF-09Y2BBjopdo6k0gWzZgKBSKjP7js&fref=nf



9月28日(月)晴・22/70

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年9月28日(月)06時25分3秒

先週

土曜日は、山でしたが終日雨で途中退却でした。
昨日、日曜日は予報に反して晴れた。残念。

先日のヨーグルトの写真が入れ替わらなかった。
掲示板の調子が良くないです





9月25日(金)曇 25/60

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月25日(金)08時11分2秒

昨日は、

ワゴンRのリコールでスズキアリーナへ行った。

修理・点検は半日で終わった。

ただ、時間と経費（ガソリン代）とか使わせて、「ご苦労様」で終わり。
お礼でティッシュくらいは、罰が当たらないのでは・・・。(;´д`)

今夏は、ヨーグルトをよく食べた。

食後に美味しい。

トッピングを何にするか。

ジャム・果実がいい。

今、ブドウが美味しい。

皮ごと食べられる、シャインマスカットはサイコーです。





9月24日(木)晴 24/60

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月24日(木)06時01分38秒

昨日は、

たいした雨も降らず、「やられた」の感じでした。
台風の予報は難しい。

そんな訳でもないが、畑仕事に精を出した。
今、冬野菜の仕込みが忙しい。

ハクサイ・ダイコンの種を蒔く。ダイコンは、植え替えが出来ないから、種を蒔いて作る。ハクサイは、園芸店に苗を売っているが、私は種から育てる。

畝を作って、ビール缶の浅い穴に種を5～6粒蒔く。
一週間ほどで、芽が出る。
全部育てる訳ではないので、良いものを2株残して
他は間引く。

この間引きした、ハクサイが美味しい。
ダイコンも美味しい。これは絶対、スーパーでも
買えない。野菜を作っている人の特権だ。

他、この時期、キャベツ・ブロッコリーなど
仕込みました。



9月23日(水)雨・23/70

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年9月23日(水)10時40分8秒

今日は、9月度・伊豆ウオークでした。が、台風で中止。
しかし、予想に反して、台風が東に逸れ、雨はほとんど
降らなかった。?

一昨日、区から敬老の紅白饅頭が届きました。
ただ、甘いものは、あまり食べない。
半分頂きました。(;´д`)





9月22日(火)晴・23/65

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年9月22日(火)05時53分45秒
今朝は、寒いくらいだ。

機関誌「れいほう」10月号が出来ました。
9月は、まだまだ暑く、成果がある山は、出来なかった。
ご覧ください。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-1-7.pdf>





9月21日(月)晴・24/80

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月21日(月)06時25分7秒

今朝は、半そででは寒い！！！！

土曜日は、西丹沢＝大室山・南尾根（仮称・大モミ尾根）でした。
先週の「タマゴダケ」リベンジ。
車は、また、白石キャンプ場のサトーさんに頼んだ。

先週は、ルートを間違った。
今回は、間違わず進んだ。

いい尾根が続く。

何故かモミの巨木が続く。
南尾根では、味気ないので、「仮称＝大モミ尾根」とした。

上られているのだろうか?? 赤布が点在する。
大汗で1200m峰まで上った。
見れば、まだ出きらない、タマゴダケが数個あった。

昨年、9月7日、ここで大量にゲットしたが・・・。
今年はまだ早いのか??
自然は難しい。

結局、1200m峰でゼロだった。
諦めて下る。
しかし、下山中、上りでは気が付かなかったが、1個見つけた。
キレイな、タマゴダケだった。
ティッシュで丁寧にくるみ、タッパに入れた。





[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

9月18日(金)曇・28/80

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月18日(金)09時54分36秒

9月10日(木)晴・27/80

先日お知らせした、下伊那神社の「アマビエ像」の記事が昨日の静岡新聞に掲載されました。

長八美術館前を通過し、伊那下神社を見学する。神社の係りの方がチェーンソーで、コロナ撲滅を願い「アマビエ像」を作っていた。「アマビエ」は、半人半魚の江戸時代の妖怪。疫病の神らしい。願いが叶うことを祈った。



9月17日(木)晴・25/75

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月17日(木)05時48分47秒

昨日は

伊豆巡礼・B班でした。

巡路は、4番・城富院～5番・玉洞院～6番・金剛寺
～7番・泉龍寺～8番・益山寺～9番・澄楽寺。

天気＝曇り、参加＝10名。

今月、二回目の巡礼。

B班は、ノンビリ・ユックリ・マツタリ。

田舎道には。クリ・カキが実っていました。
クリを拾い、カキをいただいた。

ブラブラ行くと、
みちみち、ヒガンバナが咲き、キレイでした。
皆さん、植物は「正確」だね、と感心。

B班は、バス併用だが、意外と疲れた。
不思議だね。





9月16日(水)曇・25/73

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月16日(水)05時39分22秒

つづき

不明の三名は、O夫妻とサポータのK。Kは不調のO奥さんに付き添ったようだ。どうやら、最後の上りの分岐で右に来ないで、左に行ってしまったようだ。

ともかく、お勤めをし、記念写真を撮って下山。途中、携帯があり左の林道の下にいると連絡が入る。やはり、分岐を左に行ってしまったようだ。

分岐は大きな看板があるので、よく見れば間違わない。私も長い登山活動で何回か道間違いはあった。先日も丹沢で間違った。原因は、「思い込み」が多い。地図・資料をしっかりと読まないで、「自分のイメージで判断」してしまう。

専門的に地図は「見る」でなく「読む」と表現する。登山の場合、下手をすると遭難に繋がるので注意が必要。この日は異常な暑さで判断が狂った??!!

バスで林道を白川方面に下る。程なく、3名に合流。やれやれでした。松崎に下りコンビニに寄る。余りの暑さだったので、ビア・アイスなどで心身のクールダウン。今回の巡礼も無事終了で良かったです。

おわり





9月15日(火)晴・27/70

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月15日(火)08時01分56秒

つづき

帰一寺で昼食を食べた。初物のサトイモと落花生を振舞った。美味しいと言ってくれた。食後は、本堂で昼寝。この場合、足を仏さまに向けてはいけない。

寺を辞す。午後の陽光は凄まじかった。カンカン照りの炎天。この中を標高差約420mの宝蔵院まで上る。最初からバスに乗る方もいた。

最初から暑い。熱い。アツイ。モーレツな熱気。一人二人とバスの人になる。汗は止まるところを知らない。いくら人間が水で出来ているといえ、一体何処からこんなに流れてくるのか。

途中、民家の柿が色付いていた。一步一步、我慢・忍耐・辛抱で歩く。途中、約半分の所に、ご朱印係りのYさんの家がある。ちょっと奥まって家が分からない。「Yさ〜ん、Yさ〜ん」と叫んだら、程なく現れた。皆は公民館で休憩。地下水が出ていたが温かった。

集落から道は更に厳しくなる。四国もそうだが、道路もない昔、山上に寺が多い。資材はどうして運搬したのか。現在では考えられない信仰心があったのだろう。

宝蔵院最後の上り分岐着。寺は右に行く。我々は自然に右に導かれる。気が付いたら、周りには3名しかいなかった。皆さん、余りに暑さに耐えかねてバスに乗ったようだ。

ただ、境内で人数を確認したら、11名しかいなかった。えええ～、あと3名はいずこに??!!

つづく



9月14日(月)晴・26/80

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月14日(月)05時45分18秒

つづき

建久寺を辞し、再び田舎道をから帰一寺に着いた。
山門の右に大きく立派な榎の巨木がある。ネットでは、
樹齢300年とあった。

階段を上り本堂に入る。T住職はいなかった。住職は前回の
町議選で2位で当選した。次の町長選挙にも出馬するのでは
と噂されている。実は現在の町長も寺の住職。昔から寺の住職は
役場職員とか先生とか兼業が多い。

若奥さんが応対。ここで意外な話を聞いた。巡礼時、お参りの証で
ご朱印を貰う。これは有料で300円。四国など掛軸の場合は、
500円。八十八か所貰うと結構掛かる。

聞いた話は、修善寺・熊坂にある6番札所・金剛寺のご朱印を
預かっているという。普通、ご朱印は寺をおおむね順番に
訪ねて貰う。従って、修善寺の寺のご朱印が、遥かかなたの
松崎町にあるのは、そもそも不自然だ。

そのような話は他にもある。同じく西伊豆の85番・大聖寺の
ご朱印も、何と西浦の某寺に預けられた。大聖寺は先代が亡くなり
ご子息がやっている近くの寺に一時預けられたが、現在は西浦。

例えば、遠路から歩き巡礼で大聖寺に訪れて、ご朱印を貰う場合、西浦
まで行けということか。大聖寺がどのような事情で西浦に行ったか、
定かではないが、いろいろ噂はある。

ただ、一つ言えることは、寺が全く巡礼者やお参りする人のことを
考えていないこと。伊豆札所で最も高位の住職さえ、「仕方がない、
それに従って下さい」だった。では、「何とかしましょう」の気概
はない。

私も巡礼は13年やっているが、寺の「いやらしさ」を数々経験した。
巡礼を始める前は、寺は純白無垢の場で、俗界から乖離した聖域と
考えていたが、とんでもなかった。

勿論、有り難いお寺も多い。有素晴らしい住職もたくさんいる。

ただ、寺は私利私欲では、民衆を救えない。

つづく



9月11日(金)晴・268/80

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月11日(金)05時32分51秒

つづき

禅海寺を辞し、裏道を建久寺に向かう。途中の畑に「カルガモ」が沢山いた。その数、100羽くらいか。それも成鳥。ここを通過時いつもいた。それは知っていたが、今までは幼鳥だった。

行く末は、どうなるのか??まさか、食用ではないと思うが・・・。
ネットでは、やっぱり食用となるようです。

味は良く美味しいようです。しかし、生活を共にした「仲間」を食べるのは辛く抵抗はあり。

https://agri.mynavi.jp/2019_02_15_57585/

先を行くと、何やら賑やかだった。県立・松崎高校があった。ど田舎の高校だが、生徒数は、まあまあの感じだった。下田のへき地の子供は沼津に下宿して高校に通うという。大学並みの経費が掛かる。大変だ。

建久寺も、ちょっと分かりにくい。地元の方に道を尋ねた。寺に着き寺番に電話したら、ご朱印は、こちらに来てくれとのこと。係りが赴いた。しかし、帰りがイヤに早かった。聞けば、ご朱印は捺印でなく、既に押されたページを渡された。

ご朱印は、300一支払っているのだから、本来、ご朱印帳にシッカリ押して貰いたい。これでは手抜きだ。理由は、コロナで長居して貰いたくない。最近、寺でお務めもしないで、スタンプ・ラリーみたいな輩が多く閉口しているだった。

昔は寺に来て、ちゃんと対応したのに。我々は「歩き巡礼」だ。その辺のミーハーと一緒にして欲しくなかった。

つづく



9月10日(木)晴・27/80

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年9月10日(木)06時03分42秒

昨日は、

9月度・伊豆巡礼でした。巡路は、75番・天然寺～76番・浄泉寺～77番・円通寺(無住)～78番・禅海寺～79番・建久寺(無住)～80番・帰一寺(昼食)～81番・宝蔵寺。天気は晴れ・高温。距離=約14km。標高差=帰一寺約80m～宝蔵院約500m=420m。参加=14名

前回最終地75番・天然寺前から出発。天気は良い。木陰は涼しい。稲穂が首を垂れた田舎道を進む。婚姻色で赤くなった沢蟹が沢山いた。

長八美術館前を通過し、伊那下神社を見学する。神社の係りの方がチェーンソーで、コロナ撲滅を願い「アマビエ像」を作っていた。「アマビエ」は、半人半魚の江戸時代の妖怪。疫病の神らしい。願いが叶うことを祈った。

浄泉寺に入る。本堂はやや寂れた感じ。住職は在住だがお務めは外。境内の墓地の一角に六角経蔵ある。

これは、お経本の蔵で一説には10万冊収められているという。ただ、これを全て読破するのは不可能。そこで考え出されたのが、この蔵をグルグル回せば、読んだことと同じ御利益が得られる、とした。

例のマニ車と同じだが、回すには一人=100-必要。皆さまワラワラと回し、ご利益を得ました。墓地を通過し、77番・円通寺着。ここは無住。外でお務めを済ます。松崎町内を通過し、78番・禅海寺に向かう。

寺は細い入り組んだ道で、やや分かりにくい。寺入り口近くに「禅」というカフェがあった。懐かしい「氷旗」が揺れていた。暑かったので皆さん、「食べた～い」だった。ちなみに、宇治金時は、550-でした。

つづく



9月9日(水)晴・27/85

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月9日(水)04時33分6秒

今日は、

9月度・伊豆巡礼です。天気は、良さそうです。

昨日、どうにも「我慢」出来ず、「里芋」を試掘りしました。
大きさは、まあまあでした。
通常、早くてもお彼岸ころでしょうか。

美味しかった・まるやかだった・サイコーでした。
勿論、調理は自分でやります!!!(´艸`)





9月8日(火)雨・28/80

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月8日(火)07時56分5秒

土曜日は、

西丹沢・大室山(1587m) 1350m・南尾根でした。
天気=晴れ、猛暑。標高差=約750m。参加=6名。

まだまだ、暑い日が続くが出かけた。理由は、1、参加者のGYが誕生日。2、昨年、同尾根で「タマゴダケ」を大量にゲットした。3、川遊びをしたい、だった。

9月に入ったが、キャンプ場は盛況だった。河内川を上りつめて犬越路分岐に来たが、寸前の橋が昨年の豪雨でえぐられ通行止め。仕方がないので、近くの白石オートキャンプ場に駐車した。

対応した係りのS・Mさんは親切な方だった。駐車量は500ーで安価。キャンプ場から出発。大室山南尾根は昨年も上っている。間違いようもない所。と、少なくとも思っていた。

尾根の最南端から取り付く。左に斜上する記憶にあるルートだった。Kが「昨年、降りたところ」と注意を喚起した。しかし、私はそんなはずはないと、聞く耳を持たなかった。

だが、これが今回の最大の失敗だったことに気が付いたのは2時間後だった。

つづく



9月7日(月)曇・27/80

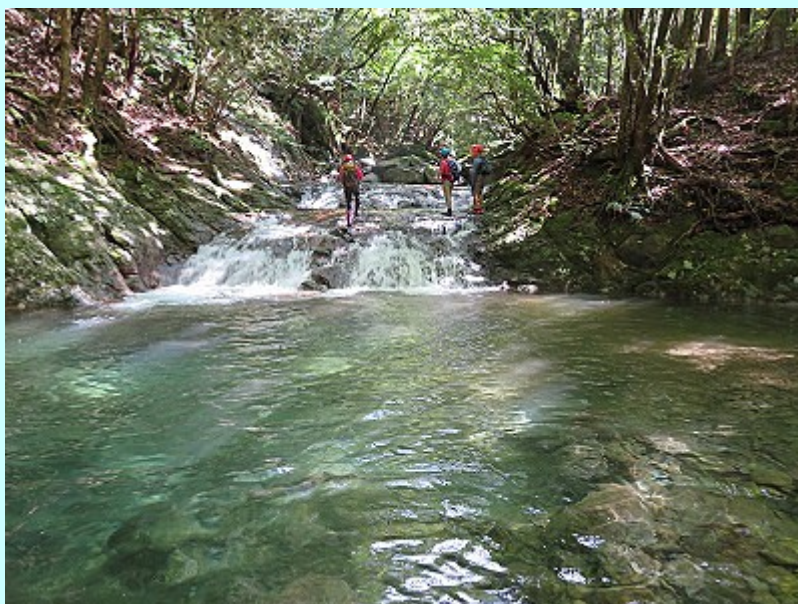
[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月7日(月)05時52分39秒

先日の

河津川・リバーウオークの報告書が出来ました。
読んで下さいませ。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-357.p>





9月4日(金)晴・27度 82%

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月4日(金)06時11分46秒

なかなか

実現しなかった、裾野市広報に「伊豆巡礼」と
「裾野麗峰山の会」のPRが掲載された。

これは、伊豆巡礼で裾野市在住のNさんが尽力して
くれた結果です。

勿論、Nさんだけでなく、市会議員のNさんも
奮闘していただきました。

過去、裾野市役所に何回となく依頼はしましたが、
市は「そのようなものは扱っていない」で実現しなかった。
広報は、三島市・長泉町などは、全く問題なく掲載してくれる。

市町村によって、何故、このように差があるのかは分からない。
強いて言えば「文化の違い」だろうか。
役場は、住民に有益な情報を伝えるのも重要な役割があると思うが、
様々な思惑があるのだろうか。

今のところ、沼津市・富士市などもダメ。ま、一つは税金で
個人事業的なものを掲載できないがあるようだ。ただ、事業
といっても、旅行会社ではない。ほとんどボランティアである。

9月3日(木)曇・28度80%

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月3日(木)05時49分10秒

長泉町は、

毎年、敬老の日に現金＝5000－を支給する。
時々、支給する市町村はあるようだが、毎年は少ないようだ。
確か、65歳から貰っているような気がするが・・・。

それにプラスで、区から紅白饅頭とかも出る。
そして、今年はコロナで講演会など出来ず、余った
予算??で、タクシー券・5000－??も支給するそうだ。

加えて、今年もプレミアム商品券販売がある。
これは8000－分の商品券を5000－で販売するもの。
一人＝3000－プラス。

我が家は、3名だから9000－のお得になる。
なんやかんやで、随分の大盤振る舞い。
いやはや長泉町はお金があるようだ。

しかし、全て税金で賄う訳。
有難いといえは有り難いが、手放しで喜んでいいものか。

コロナ対策とか、そちらも十分手を尽くして頂きたいと
思うわけですが・・・。





9月2日(水)晴・28度 72%

[返信・引](#)
[用編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月2日(水)06時34分47秒

つづき

再び遡行。

途中にワサビ田が二か所あった・

下の小さなワサビ田は、センサーがあって近づくと、

「ビービー」警戒音を発した。電源はソーラーだろうか。

途中、イイ感じのナメ滝がある。気温が上がりKが泳いだ。

キレイな滝なので動画も撮影。

さらに上って行くと、10mほどの二階滝がある。
のっぺりとした滝で上れない。下から見て右の左岸を
巻く。沢の右岸・左岸は、上から見た方向で決める。

これは、アルピニズムがイギリス発祥で、議会の右左も
同じで、議長から見た方向で左右が決まっているという。

滝を巻いて再び沢に降りると、なんと水が濁って来た。
この時点で、理由は不明。
もう一つ、上れない滝があって、R414を歩いて
濁りの理由が分かった。上流で工事をやっていたのだ。

結局、沢遊びはここで終了。2時間ほどだった。あと、1時間
遊びたいところだったが残念。トンネルを潜り、旧道を上り
途中の樹間で昼食。木漏れ日と冷風がサイコー。食後は、ゴロゴロ
昼寝でした。

おわり





9月12日(火)曇・27度・70%

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月1日(火)05時55分40秒

今朝は、だいぶ凌ぎやすい。

つづき

朝もやは次第になくなり、強い日差しが差し込んできた。
河津川本流は、大きな滝はない。
ナメ状の美しい滝が続く。

私が沢登りを初めて行ったのは、1966年(S41年)
東丹沢・源次郎沢だった。今から54年前。当時19歳だった。
勤めていたK電機・山岳部の先輩に連れられた。

その時、一番印象に残ったのは、「山は岩で出来ている」だった。
岩山は楽しく、面白く、夢中にさせた。それから私は、登山に傾倒してい
った。
源次郎沢は、私の登山の「原点」になった。

途中、ちょっとした滝があった。出口が被っていて、乗越しが厳しい。
Kが積極果敢に攻めたが、どうしても最後が抜けられない。
上から「お助けロープ」を差し出した。

その時、思いっきり背伸びをしたら、ズボンの間に強烈な水流が
入り、ズボンが脱げたらしい。我々3名は上にいたので、その様子は

「残念ながら」目視できなかった。

が、当人は、両手が塞がっていたので、どうにもこうにも困ったようだ。
(´艸`)

結局、ロープで滝下に戻り、ことなきを得た。やれやれ、後続者がいなくて
よかったよかった。

つづく





8月31日(月)晴・28度・75%

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月31日(月)05時31分49秒

土曜日は、

天城・河津川本流でリバー・ウォークでした。
天気は晴れ・高温、参加は4名。

天城トンネルを越えて、二階滝駐車場着。
長泉からここまで有料を使って約1時間。伊豆も便利になった。
トイレはウオシュレットで完璧。

装備を整えR414を歩いて河津方面に下る。
414右は河津川本流がザーザー流れている。
鍋失トンネル手前で踊り子歩道を河津川に下る。

下りきると橋がある。ここから河津川に入る。
流れは豊かで清冽。
河津川は上流に人工物はない。キレイで安心して
水に入れる。

太陽はまだ沢まで届かない。朝もやの中、幻想的な
光景が広がる。写真係の私以外は、積極的に水と
戯れる。

しかし早朝、まだまだ水温は低い。ワーワーキャーキャー

いいながら遡行はつづく。

つづく



8月28日(金)曇・28度・80%

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月28日(金)06時02分41秒

つづき

御殿場線は、御殿場駅から神奈川に向かって下って行く。
駿河小山付近は、牧歌的な風景がつづく。
ただ、この付近は厄介なことがあった。

トンネルが出て来た。SLは煙を吐く。
遠目には迫力があってなかなかイイ。
しかし、トンネルで車窓を開けておくと、煙が客車に入ってくる。

石炭の煙は、「油煙」と呼ばれ、人体には刺激が強い。
目鼻口は堪らない。3月では、まだ閉めていることが多いから
まだまだ良いが、夏はその都度、開けたり閉めたり、厄介な訳。

電車は松田駅で一旦降りて、新松田駅から小田急に乗り換え
渋沢駅北口からバスで登山口の大倉に向かった。
下土狩駅から、ここまで約2時間くらいだった。

バスは満員だった。当時は、土日連休はない。登山とかレジャーは
日曜日に集中する。初めての太倉でバスを降りて、いよいよ山に向かう。
私の格好は、靴は借りた、ビニール製のキャラバンシューズ。

ザックは、これまた借りた帆布製のもの。何故か背中にローマ字で
「WATANABE」と書いてあった。ズボンは、学生服を切って
ニッカーを作った。天気は良く寒くはなかった。

いよいよ未知の世界に突入する。胸は高鳴った。

つづく



8月28日(木)晴・28度・80%

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月27日(木)06時20分0秒

温故知新。コロナ・猛暑で昔の記録を紐解く。

原点の山

日時 1966年03月〇〇日（日は不明）
山域 東丹沢・源次郎沢
パーティー 国産電機山岳部
瀬戸・井上茂・井上国・後藤（19歳）ほか

記録 人生初の沢登に参加。今思えば、源次郎沢は本格的
沢でなく、初心者向けの沢だった。
3月、里はようやく春めいてきた。御殿場線・下土狩
駅から蒸気機関車で出発。
御殿場線は、昭和43年（1968年）電化された。
当時は、御殿場まで約1時間。途中、岩波と南御殿場
で、「スイッチ・バック」と呼ばれるものがあった。
ようするに、傾斜が強い場所は、SLのスタートがきつい
ので、一旦、バックし平らな場所から、「せの～」で
勢いをつけて上る。
そんなことを二回もやるから、時間が掛かる訳。

つづく



8月26日(水)晴・27度・70%

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月26日(水)06時18分27秒

昨日

畑のジャンボ（おおまさり）落花生を「試掘」した。
結果は、まあまあだった。

殻は大きいが入っていない、「しらす」が多かった。

「しらす」は、なぜ出来るか不明。
ネットでは、肥料が不足という。
落花生は、カルシウムが必要で石灰は十分やった。

でも、毎年「しらす」は多い。
まだまだ、研究が必要ですね。



8月25日(火)晴・27度・74%

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月25日(火)05時48分6秒

つづき

富士山・ニッ塚は、フジアザミ・オンタデ・イタドリなどが繁茂していた。

ニッ塚は、冬来ることが多いが、夏、これほど草花が多いことを再認識した。

しかし、今回、驚いた。

何気なく見たフジアザミの花が、辺りに散らばっていた。

株の周りは、鹿の足跡が多数。

目撃したわけではないが、散らばった花の原因は、鹿の「試食」と推察された。

ただ、「まずい」のか??完全に食べてはいなかった。

食べたというより、「ちぎった」感じだった。

周りの多くのフジアザミは健在だった。全体で2~3株だろうか。オンタデ・イタドリは食われていなかった。

以前、南アルプスで一面の「バイケイソウ」畑で穂先だけ、食べられていたのを見た。通常、鹿は「バイケイソウ」を食べない。毒があるからだ。鹿はそれを知っている。

しかし余程、空腹に耐えかねたのだろうか、出たばかりの穂先だけ食べていた。新芽は、毒が薄いのだろうか。

「フジアザミ」の毒性は聞いていない。が、今まで食用になっていないのが不思議。

しかし、何らかの理由で、空腹に耐えかねて食べられる可能性はある。今後、注視が必要です。





8月24日(月)晴・25度・80%

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年8月24日(月)06時31分40秒

今朝は、気温25度、湿度80%で爽やか。

昨日は、悪天候予報。訓練で富士山・ニッ塚でした。
しかし、結局、たいした雨は降らなかった。
畑・野菜はカラカラ。期待したが残念だった。

富士山は誰もいなかった。
霧が深い。風が冷たく、寒いくらいだった。

帰りに地元のパトロールのオジサン三人に会った。

いつも使っている洞門の駐車場の「立ち入り禁止」の看板は何故かと聞いたら、あそこは「私有地」とのこと。

富士山下部は確かに私有地は多いが、中部にもあるのは知らなかった。それでは、あそこに大きな駐車場設置はなかなか難しいかもです。

(暑いので涼しい写真)





8月21日(金)晴・29度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月21日(金)04時59分34秒

最近、コロナ・猛暑で温故知新している。

- ・ 山行 NO. 0006
 - ・ 日時 1965年3月（日にち不明）
 - ・ 山域 東丹沢・水無川＝源次郎沢
 - ・ タイトル 生涯初、沢登り
 - ・ 年齢 19歳1ヶ月
- ・ 記録・・・ 当時は車がない時代でレジャーは、山野跋涉が多かった。おにぎり一つ持って行けば、一日楽しめた。18歳で会社の山岳部に入部した。それまで大した山はやっていなかったが、ある日、沢登りに誘われた。ま、今にしてみれば、沢登りといっても、本格的なモノでなく、登山靴でも上れる沢だった。

当時は、御殿場線のSLで山に向かった。御殿場駅までスイッチ・バックが二か所あり、約1時間掛かった。松田駅で降りて、新松田駅から小田急で渋沢駅に行きバスで大倉に着いた。ここが登山口だった。





8月20日(木)晴・28度・70%

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月20日(木)05時58分46秒

機関誌

「れいほう」9月号を出しました。
ご覧ください。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>

写真 八丁池登山口で「自然の杖」がたくさんあった。





8月19日(水)晴・28度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月19日(水)05時28分50秒

先日、

天城の帰りに、湯ヶ島の「いづみ園」で温泉。

770ーと安い。

静かでイイ環境。

庭に巨大な「欐（ケヤキ）」があった。

あまりに見事な巨木。

受付の方（主??）に聞いたら、「約500年」という。

素晴らしい巨木。
伊豆には、巨木が点在します。
写真では、実際の大きさが伝わらず残念！！！！



8月18日(火)晴・29度、75%

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年8月18日(火)06時05分43秒

今朝は、気温は29度だが、湿度が75%とやや低く昨日よりいい

15日つづき

女人堂に下ると、熱中症になった女性が、事なきを得たと話していた。順調に下り、ロープウェイで無事帰還。ロープウェイはノンストップでグルグル回っていた。

車で山を下る。今宵の宿をどこにするか中々決まらない。

キャンプ場がコロナ閉鎖で一番困る。

結局、R19の藪原「道の駅」でテン泊。ややトラックが五月蠅かった。翌日は、奈良井宿を見学。

早朝でガラガラ。

七夕祭りで軽トラが各戸に真竹を配っていた。帰りには、早くも飾りをつけた

家があった。途中に感じの良い宿があった。宿泊は1万程度。知っていれば

泊まりたかった。

土産物屋で仲間がわっぱを買った。小ぶりのもので4千円。漆を塗ってある。

GYさんは、山用にニケ買った。声の大きい元気なオバサマと交流。80を

過ぎているというが、若くて元気。他人と話すのが好きで、それが若さの秘訣といった。

最後は、甲府南の「みたまの湯」で汗を流し、合宿を終了した。ビア・トンカツ

が美味かった。

天候・仲間に恵まれイイ山旅だった。ドライバーのKさんに感謝・感謝です。



8月17日(月)晴・30度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月17日(月)04時51分14秒

今朝は、朝から30度だった。

昨日は、連日の猛暑に堪えかねて、狩野川本流で「リバー・ウォーク」でした。

いや～、やっぱり日本の夏は沢ですね～。

サイコーに涼しく快適でした！！





8月15日(土)晴・29度

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月15日(土)06時23分58秒

つづき

頂上祠で山伏格好の中年男性と若い女性が神主と祈禱を行っていた。理由は分からない。我々も神主の許可をいただき、噴火犠牲者・山岳遭難者の供養のため般若心經を一巻唱えた。幸いメンバー4名全員、巡礼経験者だった。私は御嶽神社の有料お札をいただいた。

頂上を後にする。昼食時間だが、頂上滞在は短時間にしたい。ガシガシ下って、石室山荘で昼食。疲れた。3日目の疲れがドッと出ていた。座敷に上がりビアをいただく。

「ったかうどん」を頼んで食べた。うどんはイイ出汁が出ていた。山荘の主人は温かい方だった。噴火時の話を聞く。噴石はここまで直線距離で1kmくらいだが飛んでこなかったという。

ただ、空は真っ黒で地鳴りが恐ろしかったそうだ。奥様は悲鳴を上げて半狂乱だったという。その後、噴石に備え屋根を二重構造に補強したという。正に生涯にあるかなしかの経験をした。頂上の御嶽神社の神主は、噴火日9月27日は、既に下山済で難を逃れた。

下りは、3日間の疲れで、時々、足がもつれた。下りでも十分足が上がり
ず時々、
引っ掛かる。特に左足がおかしい。いよいよ歳か。困ったものだ。
女人堂上まで下ると、行者装束の若い衆が上って来た。聞けば保科君とい
い、
御嶽神社の神主という。まだ30半ば。

先ほど私がいただいた頂上御嶽神社に今日から寝泊まりするという。
今いる方は下山するそうだ。荷は20kgくらい。お酒も飲むそうだ。
イイ若い衆で、何だかんだ20分ほど話し込んでしまった。他の下山者は、
そそくさと下るが、このような機会は少ない。貴重な交流だ。

つづく





8月14日(金)晴・29度

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月14日(金)05時51分27秒

つづき

石室からひと上りで覚明堂通過。無人だった。辺りから頂上付近が仰ぐことが出来た。

空はすっきり晴れ上がり蒼穹が広がった。日差しは強いが高山故、案外爽やかだった。

眼下に二の池が見えた。

少し汚れていた。ちなみに、池は五つあるようだ。

最後上りきると、コンクリート製の大きく四角いブロックがあった。

噴火後に作られたシェルターだった。左下は柱だけ残された、

ボロボロの頂上小屋があった。噴火があったのは、小屋裏の地獄谷。

こんな近くで噴火があったら逃げることは出来ない。

慰霊碑は、死者58名、今も行方不明5名と記されていた、

行方不明5名は、一体どこにいったしまったのだろう。

剣ヶ峰に上る階段の脇は、石灯笼などが噴火時の状態で残されていた、

写真の石灯笼は、上部が傾いたまま、微妙なバランスで立っていた。

ちょっと、映画で観る、ポンペイの噴火のようだった。

当日、ここは生き地獄だっただろう。

天空から噴石は降る、空は真っ暗、泣き叫ぶ登山者がいる、地鳴・地震は

恐ろしく続く、
運が悪かったといえどそれまでだが、それを考えると胸を締め付けられる
思いだった。

つづく



8月13日(木)晴・28度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月13日(木)08時54分30秒

アサイチで光長寺に墓掃除。朝から猛暑。蚊がいなくて幸い。

つづき

・・・御嶽山信仰の歴史は、遠く平安・鎌倉・室町時代に興った民間信仰と

山岳信仰が結びつき、御嶽山も最初は修験道の間として独自の山岳信仰として

栄えるようになったといわれています。

そして徐々に厳しい修行を重ねた道者といわれる人々が集団で登拝することが

風習となりました。

そんな中、1784年(天明4年)に尾張の行者・覚明(かくめい)によって

三岳村の黒沢口が開かれ、続いて1794年(寛政6年)には武蔵國の行者・普寛(ふかん)

によって王滝口が一般民衆に開放され、これを機に木曾周辺で留まっていた御嶽信仰が

全国的な信仰へと広がっていきました・・・ネット

大きな鳥居の中に、真っ黒な、覚明と普寛の像が鎮座していたこの登山道が開かれたのは

今から約250年前。その割に荒れていない。勿論、関係者・信者のたゆまない努力がある。

南面の花は期待するほどなかった。上記のものと、アキノキリンソウ・オンタデくらい。

北面はコマクサ・ハクサンイチゲもあるようだ。

女人堂から南にトラバースして尾根に出る。岩が多くなった。

歩き易さは変わらない。天気は次第にガスが取れてきた。下部はモヤっていたが、

上部は晴れている。青空がのぞく。九合目・石室山荘着。小屋下も上れるが、

小屋中を通る登山道もある。面白い。帰りに寄りたいたいところだ。

ここで私は一つの山岳遭難事故を思い出した。2014年4月6日、静岡県連・M 労山のWさん(52)が、遭難し石室山荘の北下で翌日遺体が発見された。

王滝頂上小屋から単独行動ため詳細は不明だが、結果的に重大事故となっ

た。

この時期、積雪はまだ多い。4月といえ上旬では、冬山と変わらない。一旦、悪天候になれば厳しい山となる。基本的に単独冬山登山はやらない。。最近、つくづく思うことは、「基本を忘れない・基本に戻る・基本的な行動をする」である。

事故報告書 <http://susono-reihou.babyblue.jp/01-323.pdf>

つく





9月12日(水)晴・29度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月12日(水)06時06分50秒

今日も朝から暑い。8月度・伊豆巡礼は猛暑延期。

つづき

そのうち上から男性行者が何人か下って来た。

行者は、手に白と赤・青・黒などの、「紙垂」(しで)を持ち、歩きながらヒラヒラ振っていた。何のためか聞いたら、一種のお祓いらしい。

・・・神社の拝殿などにある5色の布は、五色絹(ごしきぎぬ)と言われるものです。

この5色は緑(青の代用)・黄・赤・白・紫(黒の代用)の5つになります。

五色絹が用いられているものとしては、神具である真榊や、建物の上棟祭のときに屋根の上に付けられる吹き流しなどに用いられています

・・・ネット

オジサンの話では、赤は怒り(を鎮める)、青は水を表しているといった。明るいオジサン達でした。更に上っていくと八合目・女人堂着。

大きく立派な小屋だった。女人堂は、ひとつの「結界」で高野山など同様、昔、

女性はこれ以上入れなかった。

・・・ちなみに、明治元年、「女人堂」が御嶽山で最初に山小屋としての営業を開始しています。

つまりは御嶽山の山小屋のルーツで、当時はそれほど黒沢口を使う登山者が多かったということに。

明治24年、ウエストンの御嶽山登山も黒沢口登山道往復と推測されています。

黒沢口八合目「女人堂」から5分ほど歩いた金剛童子の大岩が俗世と御神域の境界

になっています。明治5年、太政官通達で神社仏閣地の女人禁制が解かれるまで、

ここから先は、女人禁制。

女人堂がある8合目より先は、女性の登山が許されず、

「頂上を目指した男性の帰りを女性がこの小屋で待っていた」

ことからだといわれていますここを「女人頂上」とし、金剛童子の大岩が「結界石」

となっていたのです。

金剛童子の大岩があるため金剛堂とも呼ばれ、国土地理院の地図には金剛堂と表記。

つづく





8月11日(火)晴・29度

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月11日(火)05時21分39秒

早朝から、29度とは??!!

つづき

ロープウェイ始発は8:30。料金は片道1300円。往復2600円だが、JAFF割引が一割ほどあった。チケット購入は片道の方もいる。昔はスキーでゲレンデを飯森駅まで上ったこともある。今回もの意見もあった。ただ、標高差は丁度600m。約2時間必要。ロープウェイは15分で着くから、やっぱり歩くのは大変。しかし、途中で早々下って来た若い衆がいた。

聞けば、「ゲレンデを歩いた」という。帰りはと聞けば「歩いて下る」とのこと。

いやはや、アッパレ!!!

アナウンスでロープウェイ中間で親子熊目撃情報があった。

我々は目撃できなかったが、何処かのオバサンは目撃した。見られず残念。

駅から最初は木屑を敷いた歩き易い道。すぐ、行者山荘着。年配の小屋番がいた。

とても丁寧で優しい感じだった。名物「ちからもち」が有名らしい。ゆっくり出来ないので、帰りに寄ることにした。道は階段が続いた。

自然の樹木を巧みに敷いてあった。高さは、高からず低からずで上りやすい。
女性行者の方の歩幅に合わせてあるかも知れない。
そういえば、下の駅に本格的は恰好をした、女性行者が3名いた。
写真許可を願ったが拒否された。

つづく



8月10日(月)晴・28度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年8月10日(月)05時49分33秒

今日は、祭日??山の日??。暑くて山どころではないね。
昔の記録は数多く残っているが、気温がないのが残念。
しかし、こんなに暑かったか??!!

8日つづき

日時 2020年08月04日(火) 晴れ・比較的爽やか
山域 長野・御嶽山(3067m・日本百名山)

コース 御岳ロープウェイ・鹿の湯駅BCーロープウェイー飯森高原駅発
8:39 一行場山荘一八
合目・女人堂 9:41 ー九合目・石室山荘 10:43 ー覚明堂 11:00 ー
剣ヶ峰 11:26~38 ー
石室山荘(昼食) 12:00~30 ー飯森高原駅 14:17 ーR19 藪原「道の駅」(泊)

標高差 上り 飯森高原駅約2130m~御嶽山・剣ヶ峰3067m=約937m
下り 同上
山状況 藪なし・階段多い・歩き易い・駐車場、飯森トイレあり・広大な駐車場
参加者 4名

久しぶりの3000m峰

前日の高山市・位山から御嶽山に向かう。久しぶりの御嶽山。
昔は、山岳スキーで何回か上った。
ただ、何故か夏は沢のぼりはあったが、一般道は初見。御嶽山一般道は、ぐるりと7本もある。

日本一の富士山でも5本なのに。

従って明日、どのコースを上るかでアプローチが変わってくる。
可能なら、比較的上り易く古典的でロープウェイがない、黒沢登山道が良かった。
ただ、連日の猛暑の登山で全員いささか疲れていた。結局、ロープウェイはあるが、
仏像など見どころが多い、御岳ロープウェイ・飯森高原駅からに決まった。

次の課題はキャンプ場だった。三泊四日の日程で三泊キャンプ生活。快適なキャンプ場を期待したいが、今年はコロナで営業していない所が多かった。

あちらこちら当たってみたが、イイ所がない。絶対条件は、トイレがないとダメ。

最終的に御岳ロープウェイ駐車場に目鼻を付けた。

電話すると24時間トイレは利用できる返事で話し方が好意的だった。

16時に職員も全員下山するという。ま、会社も翌日ロープウェイを用してくれるので、優しい対応なのだろう。

食材を携え本館の下の大駐車場で明るいうちに夕食。全く問題なかった。

夕方、本館の軒下に移動してテント泊。静かで快適だった。

トイレはウオシュレットで便座が温かい。有難い。

つづく





8月8日(土)晴・25度

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月8日(土)04時09分59秒
6日つづき

大日ヶ岳を下山した。早朝発で疲れていた。
時間はすでに15:30。これから車移動はイヤ。
すぐ近くに「ひるがの高原キャンプ場」があった。

日曜日夕方まで空いていた。受付で聞けば、一人=1100-。
車一台=1100-。安い。有難い。即決。

トイレは、ウォシュレットで完璧。シャワーは、5分で200-。
蚊はいない。ヒグラシが鳴いている。静か。五月蠅いことはいわない。
自由な雰囲気。サイコーだった。

テントは、大小二つ張る。それに昨年会で購入した、コールマンの
大型フライテントを被せた。

夕食は、焼き肉だった。何故か食欲旺盛で、二日分を食べてしまった。
恐るべき、老人集団。ちなみに4名の平均年齢は70歳だった。
もちろん、ビアもガンガン。ワインを忘れて残念。夜半に少し雨でした。

つづく



8月7日(金)晴・27度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月7日(金)05時51分13秒

仲間に

貰った、月下美人が開花した。
昨日、つぼみが大分、大きくなっていた。

夜、咲くだろうと思った。
就寝時の20:30確認したが、まだだった。

今日、1:00ころ、トイレに起きた時、見たら
バッチリ咲いていた。
見なかったら、友人に怒られるところだったので、見れて良かった。

念のため5:00、再度確認にしたら、まだ半分、開いていました。
でも、写真を見たら、やっぱり1:00のものが正解ですね。
初めての花を見れて良かったですね。

写真・上 6日夕方
・中 7日1:00
・下 7日5:00





8月6日(木)晴・25度

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年8月6日(木)06時19分52秒

2日～5日まで

夏山登山で、岐阜・大日ヶ岳（日本二百名山・1709m）、
高山市・位山（日本二百名山・1529m）・長野・御嶽山（3067m）
でした。

2日＝大日ヶ岳登山・標高差＝約759m

長泉6：00発。名古屋経由で大日ヶ岳・ひるがお高原登山口着。

駐車場は2面あった。10：37発。

キレイな登山道を上る。ブナが延々と続く。早くも下山者がいた。

早朝発、遅い時間の登山で体が重い。
低山故、暑かった。しかも、急登でなく、ダラダラ上りが続く。
展望もない。二百名山は、こんな感じが多い。

標高1400mあたりで展望が広がった。大日ヶ岳は、周辺では
高い山だった。展望台で2名休んでした。一旦、下って最後の
上りで13:11頂上着。標高差通りの時間だった。

5~6名休んいた。楽ちんコースの方も多かった。頂上には大きな
大日如来像があった。信仰の山だった。周辺に高い山はなかった。
遅い昼食を食べた。この山は、スキーで有名な山。今度は、雪山
に来たい。

下山は、暑かったが案外楽だった。下山後、近くのキャンプ場で
キャンプ。安価で設備が完璧で有難かった。夜半、小雨が降った。





8月2日(日)晴・25度

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年8月2日(日)04時22分29秒

やっと、梅雨が明けた。

富士山・ニッ塚で「クロアゲハチョウ」をみた。

標高は、約1900m。

こんな高所まで飛来するのか。

もっとも、頂上まで、時々、「鹿」が来るといふから。

一生懸命、オンタデの蜜を吸っていた。

この場合、三蜜でなく、「ひと蜜」ですね。(´艸`)

(3～4日、日記休みます)





8月1日(土)晴・25度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月1日(土)05時43分14秒

いよいよ、8月かあ～！！

昨日は、富士山・ニッ塚（1929m）でした。
このところ、雨模様で運動不足。
ニッ塚でいい汗をかいた。

渡る風が気持ちよい。
オンダデの中のホタルブクロが逸品でした。
（実際は、もっとイイいろですが・・・）



7月30日(金)曇・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月30日(木)06時24分20秒

梅雨が

なかなか明けない。思い出すのは1980年。この年も梅雨がなかなか明けず、夏山合宿が迫りヤキモキした。

その年は、8月1日～4日、中央ALPSの中御所谷本谷(4名)～空木岳～南駒ヶ岳～空木岳～池山尾根(8名)をやった。

1980年の天気概要

中旬末～下旬初めを除いてオホーツク海高気圧の勢力が強く、北海道～九州地方で低温、東北地方南部～九州地方で多雨、寡照が続いた。上・中旬には梅雨前線が本州南岸ないし本州上に停滞し、活動が活発で、西日本を中心に連日大雨が続いた。

1～3日には九州地方～近畿地方などで、5～17日には西日本を中心に九州地方～東北地方で大雨となった。梅雨前線が東北地方北部まで次第に北上し前線活動が弱まった中旬末～下旬初めに、九州地方南部～東北地方南部で梅雨が相次いで明けたが、東北地方北部の梅雨明けは8月3日頃に持ち越された。梅雨が明けたのもつかの間、下旬中頃以降再び本州付近で前線の活動が強まった。

全般に不安定な天気で、雷を伴う局地的な大雨が頻発した。北海道、東北地方では冷涼な曇雨天が続いた。これに対して南西諸島では太平洋高気圧に覆われ、月を通して高温・少雨が持続した。

しかし、入山前日梅雨が明け、結果はビンゴで、翌日から好天が続いた。それまでの悪天候を40年経ってもよく覚えているから、よほど悪かったのだろう。

その年、昨年末、敗退した空木岳・池山尾根を初めて下った。

ただ、長かったのは、何となく記憶にあるが、小地獄・大地獄は全く覚えていない

ないのだが・・・。

(写真=2019.07富士山・宝永山)



7月29日(水)曇・25度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月29日(水)06時12分20秒

ある方の

HPに「ベニバナイチヤクソウ」の写真があり、それは、「腐生植物」とあった。ネットなどでは、イチヤクソウは、「被子植物」とあったので違うと思った。

「被子植物」とは・・・

被子植物（ひししょくぶつ、Angiospermae、Magnoliophyta、Angiosperm）とは、

植物の分類の主要な1グループ名[1]。種子植物（顕花植物）のうち、一般に花と呼ばれる生殖器官の特殊化が進んで、胚珠が心皮にくるまれて子房の中に収まったものをいう。裸子植物と対をなす分類群である。「被子植物門」、

「被子植物類」。（とのこと。難しい）

で、「腐生植物」とは・・・

通常の植物は同化色素を有し、太陽光線のエネルギーを利用して生活するが、

若干のものはそのような色素を欠き、すべての有機物をほかの生物に仰がな

ければならない。その場合、ほかの生きている生物から直接養分を享受する

ものを寄生植物といい、死んだ生物体や排泄物から必要な有機物のすべてを

受けているものを腐生植物という。きまって菌根が発達する。

イチヤクソウ科のギンリョウソウ、ギンリョウソウモドキ、シャクジョウソウ

などがその例である。なお、植物を広義に解釈して菌類まで含めれば、腐生生活をする植物はきわめて多数で、これらは自然界における物質循環において、

分解者としての重要な働きを担当している。

ところが、イチヤクソウは、近年「潜在的腐植物」ということが分かった。潜在的な腐生植物（部分的菌従属栄養植物）

・・・ベニバナイチヤクソウの根には、イボタケ科などの周囲の樹木との間

に外菌根を作って共生している複数の種の菌根菌の菌糸が一株の根に同時に入り込んでアルブトイド菌根を形成し、樹木が光合成によって同化した有機物が菌根菌を介してベニバナイチヤクソウに供給されていることが、共生菌の遺伝子解析と、ラジオアイソトープをトレーサとして用いた研究によって証明された。さらに種子発芽の段階ではロウタケ属菌による菌発芽を行っていることが報告された。また、ベニバナイチヤクソウはカラマツなどと一緒に鉢に植えると、外菌根菌と三者共生を成立させて長期間生存可能であることも知られている。

これは、知りませんでした。勉強になりました。

写真は、ベニバナイチヤクソウ

2019、07、06

富士山・宝永山第二火口肩（標高約2300m付近）





[返信・引用](#)
[編集済](#)

7月28日(火)曇・25度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月28日(火)08時12分35秒

先日

久しぶりに、大瀬崎に行った。

2007年12月31日～1月2日、ここから、
金冠山～達磨山～仁科峠～猫越岳～二本杉峠（旧天城峠）を縦走した。
この縦走の売りは、石廊崎同様、海拔0mから旧天城峠登山。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/227.pdf>

例年、年末年始は、雪山・冬山に入るが、前年2006年春に拙著「伊豆の里山50山」（実際は、61山）を発刊したが、当初、念頭にあった、

伊豆半島南行＝石廊崎～二本杉峠・・・2005年12月29（木）～1月01日（日）

伊豆半島北行＝大瀬崎～二本杉峠・・・2007年

伊豆半島東行＝二本杉峠～旧冷川峠・・・未実施

（方向は、旧天城峠・二本杉峠が中心。南・北は実際は、逆コース）

の二本が終わっていなかった。それを解決すべく実施された訳。

これで残ったのは、東行だが、ここは分散で終わっている。ま、通しでやりたいところ。ただ、ちょっと山的に面白くないのだが・・・。

(写真は、ツルアジサイ)



7月27日(月)曇・25度

[返信・引
用 編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月27日(月)06時36分39秒

22日

沼津市・井田で「ハマボウ」を観察した。
昨年も下田で観察しました。

この花は、他にない色が独特で美しい。



7月25日(土)雨・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月24日(金)17時29分49秒

つづき

2007年12月31日～1月2日に、大瀬崎（海拔＝0m）から金冠山を経て、達磨山（テント泊）して、旧天城峠（現在の二本杉峠・テント泊）し、翌日、下山した。

2006年12月29日～1月1日は、石廊崎から同じく、二本杉峠まで縦走した。これで、伊豆大縦走は北行・南行が完了した。残るは、二本杉峠から鹿路庭峠から旧冷川峠～巢雲山～亀石峠あたりまでの北行が残っているが、こちらはやや山岳的でないので躊躇している。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/227.pdf>

大瀬崎西海岸を歩き、神池に着いた。人懐っこいコイが大きな口を開けてワイワイとやって来る。ただ、エサがないので気の毒。池の先にご神木がある。見事なビャクシン。現在のものは、樹齢300年。昔、火災があり、もっと大きなものは、焼けたしまったという。

で、ここからが問題だった。大瀬神社は参拝に入場料がかかる。入場料はいくらか不明だが、どうしても皆さん、払いたくないらしい（??!!）

そこで、ゲート（??）の前でリターンし、海岸にもう一度出て、事なきを得た。（笑い・??!!）

女性軍は、ソフトクリームを食べたかったらしいが、お客が少ないためか販売していなかった。駐車場まで、ブラブラ歩き、本日は終了。暑く・長く、大変だった。が、完全燃焼の一日だった。

おわり



7月24日(金)曇・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月24日(金)05時42分33秒

つづき

午後のウォークを開始。午前中広がっていた雲は霧散し、暑い陽光が降り注いでいた。海岸から県道まで出ただけでゼイゼイハーハー。ここから標高差約200mの井田トンネルまで厳しい上り。

通常、登山では標高差300mを1時間掛かる。今回は炎天下。陽光もさることながら、道路の照り返しが半端でない。上から下から地獄の責めだった。何人かはバスの人になった。

他は耐えて・堪えて・我慢し、アリのごとくジリジリと上っていく。これは「修行」そのものだった。こんな時、熱中症が一番心配。無理は禁物だ。トンネルが見えたところで、クーラーがガンガン利いているバスで体を冷やす。

・・・う～ん、サイコー、気持ちイイ・・・。結局、試練の上りは約1時間掛かった。皆さま、よく頑張りました。トンネルからは下り。ルンルンで下る。

ほどなく、左に大瀬崎に通じる西伊豆・大瀬崎コースがありこれを下る。林間でイイ風が吹き涼しい。何よりも土の道は体に優しい。途中、車道をまじえ無事、大瀬崎着。

昔、ここから天城峠まで車道でなく、山を歩いたことを思い出した。

つづく



7月23日(木)曇・25度

[返信・引
用 編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月23日(木)05時53分58秒

昨日は

7月度・伊豆ウオーキングでした。コースは、恋人岬手前を少し～バス～戸田港～井田～大瀬崎でした。天気＝曇り～晴れカンカン照り。距離＝約15km。歩数＝25000。参加＝13名。

バスで恋人岬に向かう。途中、土肥・八木沢でハスの花が見事で見学。二か所あり、一方には、白いハスが咲いていた。白いハスは初めて見た。

前回最終の恋人岬手前まで行き、20分ほど歩き、コースをつないだ。これで三島大社～東伊豆海岸～南伊豆海岸～西伊豆海岸が結ばれた。終了後、バスで戸田港に到着し、北伊豆海岸を目指す。

戸田港は静かで穏やか。オヤジが朝から海を眺めたりしている。県道R17を井田に向かう。沢海（たくみ）集落は、山道を進みショートカット。道は荒れていた。

県道を出たところから、西伊豆歩道もあるが、この道は大変なので県道を進む。天気は予報通り曇りで直射日光はないので有難い。ただ、蒸し暑さは変わらない。

「夕映えの丘」で休憩。前回歩いた「御浜岬」を俯瞰。見事。長い県道を進み、井田に急下降。明神池を一周する。若い衆が釣りをしていた。池をまたぐ橋の脇に、「ハマボウ」が咲いていた。この花は、何度見てもイイ。

11時になったので、東屋で昼食。涼しい風が渡る。ビア二本が救いだった。昼食後、トイレを済ませ、午後のウオーク。天気は知らない間にカンカン照りになっていた。これは、想定外だった。

つづく



7月22日(水)曇・25度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月22日(水)04時37分7秒

今日は、7月度・伊豆ウオーキングです。

つづき

富士山で観察した植物・花は、

1. バイケイソウ・・・花は可愛いが悪臭
2. ツルアジサイ・・・樹木にからむアジサイ (写真・上)
3. フジハタザオ・・・ハタザオみたい
4. シロバナイチヤクソウ・・・赤もあるがなかった
5. シロツメクサ・・・小さいが可憐な花
6. オンタデ・・・タデとオンタデは違う
7. シモツケ・・・ピンクのキレイな花。シモツケは樹木。シモツケソウもある。

こちらは草。ややっこしい (写真・中)

8. フジアザミ・・・まだ、開花なし
9. イタドリ・・・白い花
10. ムラサキモメンズル・・・紫の花 (写真・下)
11. ミヤマオトコヨモギ・・・葉がヨモギみたい
12. ウツギ・・・アサギマダラが二頭いた

などでした。





7月21日(火)曇・24度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年7月21日(火)05時13分31秒

つづき

バイケイソウを鑑賞して更に上る。
周りは原生林が広がり日光は差さないが、前方に空間が広がっていた。
十年くらい前、大きな嵐が襲い、一帯の樹木をなぎ倒した。

その痕跡だった。富士山は地表下が溶岩のため、樹木の根は下に伸びることが出来ず、横に横に広がる。肝心の土台に根が真っ直ぐ入らないため風に弱い。一帯は帯状に倒木が続いている。

上りが急になった。梢の間に見覚えのある坊主の山が東に見えた。相変わらず仲間のスマホは受信中で画像は見られない。しかし大体、どのあたりか見当はついた。しかし、結果的に予想は、私は外れ、Kはビンゴだった。

更に上は「藪漕ぎ」だった。富士山でも藪漕ぎがあるのだ。小さな沢があり、左に逃げると、細い尾根があった。上ると道標が見えた。

御殿庭下に出る道だった。予想位置より下で落胆。やっぱりバリエーションは時間が掛かる。それでも「道」は歩きやすい。進路を左にとれば、水ヶ塚からの登山道に出た。標高は約1980m。

ここから2352m峰まで、標高差372mはキツイ。太陽はジリジリと水分を奪う。砂礫の登山道は登歩を奪う。風が少しあるのは救い。上空は青空が広がり、イイ感じの雲が流れる。

美しい富士山の夏。この広大な山域に人間は3名だった。

(つづく)





7月20日(月)曇・24度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月20日(月)05時33分55秒

昨日は、

富士山・宝永山2352m峰でした。コースは、新ルートで2352m峰東沢(仮称)右岸尾根。天気は晴れ。参加は3名。

須山下山道上の須山登山道（須山口は、下山道と登山道がある）から開始。当初、この道の名称が分からなかった。途中に「南山林道分岐」の看板があった。

「南山林道」は、須山下山道・須山お胎内と水ヶ塚を結んでいるらしい。林道は進まないで直進する。スマホを見たら、道は、「須山登山道」ということが分かった。

ただ、道は荒廃し一般の方は歩けない状態だった。踏み跡はかすかにあった。やがて、幕岩からの周遊道に出た。上は道がないので適当に上っていく。仲間のスマホが電波を拾えず、私もGPS不持参で現在地が分からない。

しかし、この辺りは精通しているので問題はない。バイケイソウの群落があった。バイケイソウは毒があるらしくシカは食べない。花は見事に咲いているが、悪臭が漂う。悪臭もシカを避ける手段かもしれない。

つづく





7月18日(土)雨・20度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2020年7月18日(土)06時33分54秒

なかなか

梅雨が明けない。
涼しいのは、有難いが・・・。

あの青空は何処に行ってしまった??!!
精神も肉体も、よろしくない。

野菜も悲鳴を上げていますね。
(写真は、一昨日撮影)





7月17日(金)雨・23度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年7月17日(金)06時22分17秒

つづき

結局、一番札所のご朱印は、苦肉の策だが、コンビニでカラー・コピーした。これは本来、禁じ手だが仕方がない。カラー・コピーは、一枚50円。ご朱印は300円。経費を考えれば、カラー・コピーが安上がり。

今後も寺が巡礼者に「いじわる」するなら、いっそ、全てコピーでも構わない。実際、そのような札所はある。小豆島札所である。小豆島はお堂・庵・殿（民家の感じ）があり、無住職が多い。いきおい、ご朱印は

貰いにくい。

そこで、小豆島のご朱印は、すでに全てご朱印を押した帳面がある。もちろん、これはコピーでないので、一押300ーする。ただ、正直言ってこれは、ご朱印係は、とても安気。なぜなら、13年の経験でいうと、

寺でご朱印を「貰う」のは、とても「気を使う」。

本来、ご朱印は経済活動で「購入する」と考えるが、そこはそこ。寺によっては、「押してやる」「有難いと思え」「お前ら、スタンプ・ラリーか」などなど、上から目線は多い。根底には、「寺は偉い」ところ。「いやなら辞めろ」の意識を感じさせる。

ただ四国お遍路は、それをあまり感じさせなかった。さすがに世界遺産を目指していることはある。絶対的に来訪者が多く、外人も少なくない。ようするに、「伊豆は時代遅れ・田舎で洗練された寺でない・自分のことしか考えていない」訳。

西伊豆・安良里の八十五番・大聖寺は、ご朱印を西浦・航浦院に預けてしまった。歩き巡礼の方は、一体どうしたらよいのだろうか。このような愚行が平気で行われる現実。

一番も八十五番も先代の時は、まったく問題なく良かった。いずれも先代が亡くなり住職が交代した寺。愛着がないのか、思考がおかしいのか、振り回されるのは、巡礼者である。（写真は、二番札所・弘道寺のハス）

つづく





7月16日(木)曇・22度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年7月16日(木)05時31分59秒

昨日は、

伊豆八十八札所巡礼・B班でした。

A班は歩き中心の班だが、B班は、年配者向けの巡礼。

従って、全て歩くわけでなく、歩いたりバスの乗ったりの巡礼。

今年度から要望に応じて新設した。

2020、7、15(水) 天気・曇り

コース=八十八番・修禅寺～一番・嶺松院～二番・弘道寺～
三番・最勝院～四番・城富院・・・六番・金剛寺

参加＝１０名

今回は、八十八番・修禅寺からスタートする。本堂に上がり最初のお勤め。再びここに戻ることを祈願。

バスに乗り一番に向かう。途中、松ヶ瀬で降りて、狩野川にかかる「松ヶ瀬橋」を往復する。松ヶ瀬橋は、狩野川で唯一の吊り橋。雨上がりの豊かな水量が素晴らしい。辺りの新緑が目にも染みる。

再びバスに乗り、伊豆中央道の矢熊高架橋付近で降りて歩く。歩くと気持ちが良い。やがて、一番・嶺松院着。寺は「発心寺」再び伊豆巡礼の無事を願う。

ただ、この寺は少し問題があった。住職が中にいるが、ご朱印をくれない。理由は、定かでないが、「コロナがどうのこうの・・・」前日も電話で長時間、やりとりしたが、埒が明かない。仕方がないので先のコンビニで以前のご朱印をカラーコピーした。

先日も東京の知り合いのNさんが、住職に延々と説教をされた。東京から、わざわざ訪ねてもだ。このような住職の対応は、伊豆巡礼を後退させかねない。（つづく）

写真・上 松ヶ瀬橋
・中 矢熊高架橋
・下 嶺松院





7月15日(水)曇・23度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月14日(火)18時17分29秒

今日は

伊豆八十八札所巡礼・B班。

A班は歩き中心の班だが、B班は、年配者向けの巡礼。

従って、全て歩くわけでなく、歩いたりバスの乗ったりの巡礼。

今年度から要望に応じて新設した。

今回は、八十八番・修禅寺からスタートする。

あ、話題が違った！！

先日は富士山でしたが、花は期待できなかった。
かわりに「コケ」が案外、面白かった。

写真・上は、ネットを見ても分からなかったコケ。
小岩についているコケ。

結構、大きいのもある。ただ、岩が転がったりすると、本当に「コケ」る。

ほかに、小さな赤い花を咲かせた「コケ」もあった。
「コケ」も花が咲くようだ??!!

以前、北岳山頂で自称??「コケ博士」が、ここには非常に
貴重な「コケ」があるといっていた。
そういわれてもピンと来なかったが、「コケ」の世界も広いらしい。

最近は、「コケ女」なる方々もいるようで、なかなか盛況ですね。
(日記は、14日に書きました)





7月14日(火)雨・22度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月13日(月)17時25分2秒

ガラ携帯

の液晶が突然見えなくなりアウト。
ドコモに行った。
すでに、7年近く使っているので交換した。
聞けば、携帯を始めて24年目という。

交換した機種は、今回で4台目。
ま、寿命は6～7年というところか。

何故か後生大事に過去の機種を残してあった。
見れば時代を感じた。

1台目の機種は、アンテナを伸ばすもの。
携帯というより、無線機みたいなデザイン。

2台目は、丸くてズングリムックリしている。
3台目は、薄すぎて滑りやすく、案外使いにくかった。
そして今回で4台目。

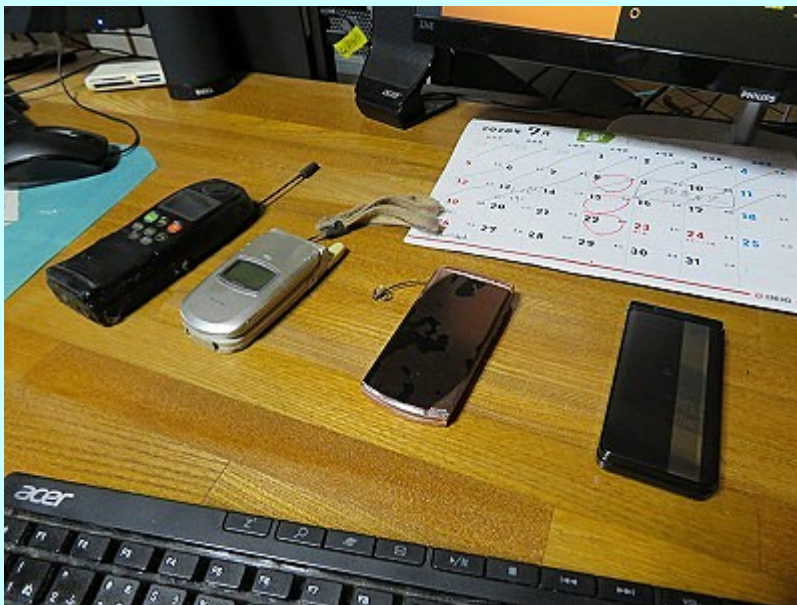
(この日記は、13日に書きました)

来店し話をいろいろ聞いて分かった。ショートメールも
1回3円ほど掛かる。ただと思っていたのに・・・。
アドレスを取ると、月額300ーほど。

長いメールは携帯ではやらないので、この機会に止めた。
ただ、電池は3000ーほどするが、山用に購入した。
どんな便利な機械でも、バッテリーがなければ話にならない。

何だかんだで4万掛かった。ま、しゃ～ないね。
結局、時間を買っているわけだから、安いものか。
それにしても、このところ出費が多い。

車のタイヤも交換したし、事故修理もあり、マフラーも換えた。
そのような時期か?? (この日記は、13日に書きました)





7月13日(月)雨・22度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

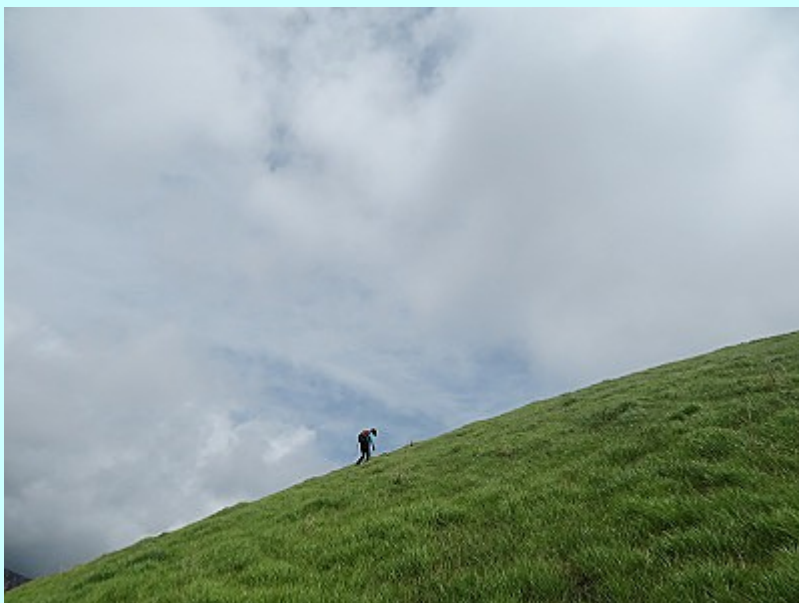
投稿者: たかチャン 投稿日: 2020年7月13日(月)05時23分16秒

昨日は

富士山・ニッ塚(1929m)でした。
貴重な梅雨の晴れ間。

登山者はチラホラ。
しかし、静かな富士山。

渡る風は涼しく爽やか。





7月10日(金)曇・24度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月10日(金)08時32分58秒

カツオ

は、生も美味しいが、タタキもいける。
本来は、「ワラ」で焼く。

高知の専門メーカーは、最近「ワラ」が入手し難くなって、自ら田んぼでコメを作り、「ワラ」を確保しているという。田んぼの係は、メーカーの社員。長くやっているので、コメ作りが面白くなってしまったという。

で、自分でやってみようと、作ってみた。
ただ、「ワラ」では出来ないなので、コンロで焼いた。
強火でコリッと焼きたいところだった。

出来栄は、まあまあだった。
四国お遍路時、民宿でサービスで出してくれた、
タタキの味は、今でも忘れられません。





7月9日(木)雨・23度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月9日(木)06時08分22秒

庭の

クレマチスは、一回目の花が咲き、一旦、枯れたように見えこれでお終いかなと思った。

ところが、ここにきて再び盛り返し、現在、またまた見事な花を咲かしている。

一回目で終わりと思ったが、二回目も楽しめそう。なかなか、よろしい。

ただ、先日購入し植えた二株は、今年の開花はない??!! 来年だろうか。高かったのに・・・。





7月8日(水)雨・25度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年7月8日(水)05時37分31秒

今日は、7月度・伊豆巡礼でしたが、雨で中止でした。

悪天候が続き、畑はグジャグジャ。
特に風が強く、背の高いモロコシ・キュウリ・ヤマトイモなど
影響が大きい。

キュウリなど葉が摺れておかしくなる。
その点、やっぱり温室はいい。
温室は、温度だけでなく、風対策も大きい。

そんな中、シシトウは元気。
雨が降ろうが、風が吹こうが、しっかり花が咲き、
結実している。

あっぱれ見事。美味しくいただいています。



7月7日(火)雨・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月7日(火)06時30分20秒

先日

仲間が梅雨の晴れ間に八ヶ岳に上った。

目的は花。

下界の6月中旬から7月上旬は、山では春。

花々が一斉に開花する。

ただ、梅雨でもあるから、天気の見極めは難しい。

北岳の「キタダケソウ」は、貴重な花だが、やはり梅雨時に咲く。

結果はビンゴだったようだ。

天気は入山時曇り、下山時小雨。これなら良いほうだ。

花々はサイコーだった。

ただ、硫黄山荘宿泊費が、またまた上がったのか11000ー。

なかなかの価格である。付近はテント泊は不可。

しかし、それだけの価値はありそうだ。

写真・上 クロユリ
 ・中 ウルップソウ
 ・下 イワウメ





7月6日(月)雨・24度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年7月6日(月)06時31分25秒

昨夜は、大雨だった。九州も困るね。

富士山で早くもキノコが出ていた。
昨年、10月は「ジゴボウ」(花猪口)をたくさん採った。

ただ、花猪口は、まだまだ早い。
出ていたのは、「アミダケ」??みたいな感じ。
ダイコンオロシで美味しいらしい。

キノコは怖いから、仲間に聞いた。

写真の黒っぽいのは、ダメ。毒があるようだ。
しかし、ほかのも、実物を見ていないので、何ともいえない。

結局、今回は安全第一でパス。次回を期待しましょう。



6月4日(土)雨・21度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月4日(土)06時25分32秒
2日

は、富士山宝永山2352m峰でした。
梅雨の晴れ間の快晴。
前日の雨が上がり、空気が澄み、山々はクッキリ
美しかった。

花が期待でしたが、シロバナイチヤクソウ・フジハタザオ・イワツメクサ
・ムラサキモメンズル（花はまだ）くらいでした。

写真・上 イワツメクサ
下 フジハタザオ





6月3日(金)晴・23度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月3日(金)05時38分27秒

先日

書いた、山中湖在住の山スキーの大先輩のYさん（現在95歳）のお話。

インドですか。昔々2回行きました。
まさに非日常、そこが面白い。カシミールは夏でも涼しい。3000mの雪渓でスキーしました。

インドヒマラヤだから雪があっても不思議はないのですが。
帰ってから、あそこの雪渓で滑ってみたいくなり、翌年仲間を誘って再びインドへ。今度はスキーを持って。

ソナマルグからポニーに乗って高度を稼ぎ、3000m超で雪渓に出ました。
雪は大きなスプーンカットの連続でしたが、ショートスキーと登山靴で思ったより快適に滑れました。

2～300m1本滑っただけで満足して帰って来ました。
山スキーは、渾身の一本で充分堪能するものですね。

・・・しかし、わざわざインドでスキーとは??!!
1本で帰国とは、潔いというか、ちょっと勿体なかったかな～。昔、何回か登山靴で滑りましたが、難しいものです。まさに

「渾身の本」だったでしょうね・・・



7月2日(木)曇・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月2日(木)05時02分36秒

毎朝、

ヨーグルトを食べている。
今の気温が丁度よく、出来具合はサイコー。

ヨーグルトには、様々なジャムを入れる。
ただ、拙宅で作るのは、イチゴくらい。

ほかのジャムは貰ったり、野菜と交換したりする。
巡礼仲間の御殿場・Sさんに、毎年「バラジャム」をもらう。

このジャムは、なかなかの逸品。
ネットを見ると、殆どのバラはOKのようだ。

バラジャムは、発色が素晴らしい。シャキシャキと食感がイイ。
バラをたくさん作っている方が羨ましいですね。





7月1日(水)豪雨・24度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年7月1日(水)07時03分25秒

7月です。災害が怖いですね。

先日、富士山・太郎坊上で、ハコネサンショウバラを見た。
標高は、1300m以上。

すでに終わりだったが、富士山で見るのは、記憶がない。
富士山にもあったを再認識。

ハコネサンショウバラ

<https://www.town.hakone.kanagawa.jp/index.cfm/8,1064,35,155.html>



6月30日(火)曇・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月30日(火)05時31分37秒

26日つづき

R136に戻り、黄金崎トンネルに入る。1kmと長い。

3・11以降節電で中は暗い。

加えて大型車が通ると風圧が怖い。大型が来たら止まったほうがよい。トンネルを抜ければ黄金崎。なかなかカイイところ。

海がサイコーにキレイ。

無料休憩所があり三種類のソフトクリームが売っている。

皆さんペロペロ。

休憩後、展望台に上る。暑い、ここも見事な海・空・山が広がる。

記念撮影後、浜に降りて浜道をたどり、再びR136に戻った。

その時、何故か町の散水車が来て 私たちが歩いている、カンカン照りの道路に

「散水を施してくれた」えええ～!!!、これって「お接待??」。

お陰で道路の温度が下がり涼しかった。午後の炎天下の下、恋人岬を目指す。

しかし、15:00になったので、無理をせず終了。バスは冷房で快適。

土肥・松原公園で休憩し「足湯」に入った。温度が45度くらいで熱かった。でも刺激的でグッド。今回も「完全燃焼」のウォーキングでした。





6月29日(月)晴・21度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月29日(月)05時28分17秒

貴重な梅雨の晴れ間、今朝は涼しい

土曜日は、富士山・ニッ塚でした。
雲の晴れ間に、富士山が顔を出しました。
登山者がいない静かな山。



6月26日(金)曇・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月26日(金)03時29分59秒

つづき

堂ヶ島のババさまは、聞けば「海女」といった。
堂ヶ島周辺で「潜るところがある？」聞いたら、「ある」だった。
歳は私より10歳多かった。やや肥満だが顔はツヤツヤし若い。
海の恩恵だろうか。というか、毎日仲間とワイワイやっていれば
歳はとらないか。(´艸`)

午後は、再びバスで安良里(あらり)に移動。出発してすぐ、眼下を見ると、「トンボロ」が完璧に出ていた。

・・・三四郎島は、沖あい200メートルほどのところにある伝兵衛島・中ノ島・沖ノ瀬島・高島からなる4つの島で、見る角度により3つに見えたり、4つに見えたりすることからこう呼ばれている。また、干潮時には一番手前の伝兵衛島まで瀬が現れ足をぬらさずに歩いてわたることができます。この現象のことを「トンボロ」と言い、日本でも大変珍しい現象であります。・・・ネット

安良里から午後の歩き。以前、この港には、加山雄三のクルーザーが停泊していたが、火災で焼失した。ま、人生必ずしも良いことだけだけだはなさそうだが、ひょっとして船事故で亡くなっていたかもしれないと思えば、それも救われる。

町には、有名な「こあじ鮓」がある。ちょっと小ぶりのアジを乗せた鮓だがネギ・ショウガが利いて美味しい。ただ、ウオーク・巡礼実施の水曜日は定休日、久しく食していない。

R136に戻り、黄金崎トンネルに入る。1kmと長い。3・11以降節電で中は暗い。加えて大型車が通ると風圧が怖い。大型が来たら止まったほうがよい。トンネルを抜ければ黄金崎。なかなかイイところ。海がサイコーにキレイ。無料休憩所があり三種類のソフトクリームが売っている。皆さん、ほうばった。

つづく



6月25日(木)雨・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月25日(木)05時48分32秒

昨日は

2020・6月度伊豆ウォーキング。
コロナで4・5月は休講。久しぶりのウォーキングでした。

コースは、波勝崎入り口～高通山登山口～バス～雲見霊廟～三浦(さんぽ)遊歩道～石部(いしぶ)～バス～堂ヶ島(昼食)～バス～安良里(あらり)～黄金崎～恋人岬手前。

天気は晴れ。高温だが湿度は少。歩数＝約2万、距離＝約14km、参加＝15名

3ヶ月ぶりのウォーキング。天気は良かった。曇りを期待したが、良すぎた。今のウォーキングは、順打ちでなく、花などが良い所を歩いている。従って、歩いた所は、飛び飛び。それをつなぐべく、波勝崎入り口から高通山登山口に向けてスタート。

20分ほどで登山口着。これで熱海～下田～雲見がつながった。バスで雲見霊廟に移動。ここから三浦(さんぽ)歩道に入る。暑い日だったが、山は案外いい風で涼しい。

大汗をかき、ひと上りで三競(さんきょう)展望台着。素晴らしい展望。海・山・空が広がる。この時期には珍しく、富士山がうっすら顔を見せている。テラスで記念撮影。

踵を返し、石部(いしぶ)に下る。ただ、石部側の道は荒れていた。グズグズの湿地とガラガラの岩場がつづく。それでも何とか下山。集落のババさまとジジさまと会話。ババさまは友人宅に向かっていた。ジジさまは、炎天下で畑仕事。しかし、耳が遠く年齢を聞いたが会話が進まなかった。

バスで石部を後にし、堂ヶ島に向かった。ちょうど11時。ここで1時間朝食。おみやげ屋のババさまが5～6人たむろ。お客がまったくないので、無聊(ぶりょう)をかこつていた。

つづく



6月24日(水)曇・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月23日(火)17時41分46秒

つづき

福ちゃん荘でトイレと休憩。
山荘のオヤジ(?)は、気さくな方で前述のように会話が弾んだ。
一口に山関係者といっても千差万別。

昔、山荘関係者でないが、乗鞍岳・F氏の「岳・俺の学び舎」の本に共感して会いに行ったことがある。当時、F氏は55歳くらいだっただろうか。しかし、会ってみて驚いた。余りに考えていたイメージとは違いすぎた。ガッカリして帰ってきた。

寺もそうである。一般的に寺は、「来るもの拒まず」と思う。しかし、中には明らかに、「拒んでいるような」寺もある。理由は分からない。巡礼・お遍路を13年経験して感じたことである。勿論、多くの寺はそんなことはありません。

上日川峠に下った。多くの方で賑わっていた。今日の大菩薩登山者は200人くらいか。そのうち190人は、上日川ダム経由。これから我々が下る旧道経由は、多くて10人ほど。

ただ、旧道は素晴らしい登山道。歩く人が少ないから、道が荒れていない。自然が素晴らしい。特にブナ林は特上である。皮肉なものである。車道が出来た故、こちらは保護された。

下りきれば、「千石茶屋」が営業していた。K嬢が奢ってくれた、「モモジュース」は逸品だった。これが、200円は超安い。ビア・ロング缶が350円も安すぎるだった。

ゲートに着き帰静。最近は、車中「直会」を楽しんでいる。運転者のご苦労様です。

日記は、23日書きました。



6月23日(火)曇・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月23日(火)05時46分38秒

つづき

丸川峠を後にする。峠は美しい高原状。山ツツジが咲いていた。今回も、花らしい花は、山ツツジだけだった。

峠から頂上まで、退屈な道が続く。急でもなく、なだらかでもない。ダラダラと上っている。しかも原生林の中で展望はない。当日は霧も掛かっていた。

前回、ここに来たのは、2018.4.6だった。峠から雪でなく氷が多く難儀した。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/927.pdf>

1時間半で頂上着。前述のとおり人が多かった。理由は昨日の通り。例のトイ・プードルもいた。昼食の時間で雷岩に下ったが人が多すぎる。前回の昼食地まで下った。そこは静かで霧も薄く上日川ダムも見えた。

ただ、風はなかったが、非常に寒かった。従ってビアは一本。GYは日本やった。手がかじかんで堪らなかった。福ちゃん荘のオヤジの話では、「10度くらいじゃない」だった。

登山道の脇だから、上る人・下る人がよく観察出来た。皆さんカラフルな格好で素晴らしい。が、靴はズックが多く、俄か登山者とすぐ分かった。経験者・未経験者は、靴を見れば分かる。

昼食は、そこそこに下山。ガラガラの道を下る。福ちゃん荘まで、30人くらい抜かした。最後の方は、昼食事、最初に下ったアベックだったが、随分、ユックリしていたものだ。

福ちゃん荘で、小屋のオヤジと交流。囲炉裏でミソオデンが美味しそうだった。炭が赤々と燃えていた。

つづく



6月25日(月)晴・21度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月22日(月)06時27分13秒

昨日は、

大菩薩嶺(2057m・深田百名山)登山でした。コースは、みそぎ沢～丸川峠～大菩薩嶺～上日川峠～旧道～みそぎ沢。天気＝くもり、標高差＝1004m、参加＝6名。

貴重な梅雨の晴れ間。天気は、まあまあだった。裂石からみそぎ沢登山口に向かう。林道は登山口で通行止めだった。上部が、去年の台風でやられたらしい。

帰路、福ちゃん荘のオヤジは、「かきいれどきに困りますね」と言ったら、「秋まで間に合えばいい」と太っ腹だった。

駐車場に車は数台。丸川峠経由は、標高差が1000mあるので敬遠する登山者が多い。「今日は静かでいい」と思っていた。しかし、後で分かったが、山頂は人・人・人だった。

「おかしいいな、何処からこんなに来たのか」「通行止めが時間で開けた??」と思いきや、何と甲斐大和駅～上日川ダム(大菩薩湖)来たという。この道は、長く遠い。峠には駅からしっかりバスも通じていた。

丸川峠に向かう。若い衆、何人かに抜かれた。コースタイム的には決して遅くないが、若い衆が荷物が少ない??で速い。ま、平均年齢は約63歳では、こんなものか。

黒いトイ・プードルを連れた夫婦と交流。こんな小さな犬をよく歩かせると思った。(拙宅でも同じ黒トイを飼っている)結局、この犬は、最後までほとんど歩いた。元々は、猟犬というが大したものがある。

(ただ、山に犬の連れ込みは、環境的に問題はある)

丸川荘にオヤジはいた。ただ、コロナがあるので外から挨拶。例の「ゲジゲジまゆげ」は見れなかったが、元気そうで何よりだった。

つづく



6月19日(金)雨・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月19日(金)06時29分28秒

今朝は涼しい。

山中湖・芙蓉台のスキーの先輩Yさんは、御歳95歳。

12月に96歳になる。

私と22歳違う。ちょうど会のI君と私の違いくらい。

体調は、補聴器を使っているが、特に悪いところはない。極めて健康である。健康の秘訣は「ストレスを持たない」という。

山の上の自宅で生活している。炊事・洗濯・掃除などの全て自身でこなす。

奥様は、30年前ころ亡くした。

買い物は、時間かけて車を運転して(!!!!)いく。時には、仲間に頼まれてもいく。

自宅までの道は狭くて急。95歳でよくあの道を走ると思う。

免許証返上など考えられない。免許は「年齢制限」はないのだろうか。

冬は積雪もある。雨風の日もある。凄いものだ。

登山・スキーは無論だが、天体観測も趣味。庭に天文台もある。

最近、山中湖は環境悪化で、星が見えにくくなったという。

どこかもっとイイところで観察したいと、意欲満々。いやはや、

頭が下がる大先輩です。

思うに、10万人にひとりとか、このような「超人」がいらっしやる

のだろう。少しでも見習い、近づきたいものですね。





6月18日(木)晴・22・度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月18日(木)05時38分48秒

石割山

の花は、アヤメ・ツクバネウツギ・別荘地に
ハコネサンショウバラなど。

頂上で、ヤナギランが伸びていた。花はまだまだ。
ほか、アサギマダラを早くも2頭(匹)見ました。
これは早いですね。



6月17日(水)晴・22度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年6月17日(水)05時36分47秒

昨日は

好天を狙い、山中湖・石割山でした。
山スキーの先輩の別荘（自宅）から上ったので、往復
2時間の山でした。

久しぶりに石割山でしたが、イメージは、展望が良いスッキリ
した山かと思いきや、樹木が多く、展望はイマイチでした。

ま、冬上る山かも知れませんね。





6月16日(火)晴・22度

[返信・引用](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年6月16日(火)05時42分32秒
コロナ

自宅待機ではないですが、
写真の「積み木ゲーム」は、結構、面白いです。

就学前くらいの子供と一緒に出来るのもイイですね。





6月15日(月)晴・23度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月15日(月)08時23分35秒

山の会

の会報（機関誌）・7月号が出来ました。
御覧下さい。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>

花は「レンゲツツジ」



6月13日(土)曇・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月13日(土)05時50分56秒

つづき

永禅寺まで、ダラダラと上っていく。集落を外れると寺が見えた。この辺りは、静かな山間。寺は大きく立派。以前は、前住職の奥様がいたが、現在は高齢（92歳）で施設に入居している。

山門は扉があった。以前はなかったが、無住になって取り付けたようだ。本堂でお勤め。広く明るい本堂で気持ち良い。ちょっと高台なので風通しは抜群。

本堂を開けてくれた檀家の方は、「ヤマモトさん」だった。「以前、見たことがありますね」といった。2年前も確か開けてくれた記憶がある。覚えてくれたようだ。境内で記念撮影。

寺を辞し、「ヤマモトさん」と一緒に家の前まで歩いた。お礼をいって75番・天然寺に向かった。天然寺は、国指定重要文化財・岩科学学校の横にある。岩科学学校が立派すぎて霞んでしまう。

ちょっと暗い感じの本堂で、本日最後のお勤め。皆は朝、久しぶりのお経でぎこちなかったが、最後は、まあまあ良かった。帰りは、「梅月園」に寄って、「さくら葉餅」を購入し帰りました。

3ヶ月ぶりの巡礼でしたが、新しい方も元気に歩いて良かった。バス移動も今日現在、コロナ発症はなく、特に問題はなかったです。こちらも良かったです。





6月12日(金)曇・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月12日(金)05時45分27秒

昨日の雨は、畑に有難かった。昨夜は結構、降りました。

つづき

昼寝は約30分。終了後は、スッキリし気持ちよかった。
本堂の戸締りをして、午後の巡礼。
寺入り口の階段の脇に見事な赤い花が咲いた木があった。

最初、ブーゲンビリアと思ったが、「ザクロ」という。
ただ、実がなく、未熟な実みたいなのが、たくさん落ちていた。
植物の探索に興味深い、Tさんが実を拾って観察していた時、
丁度、地元の方の軽トラックが来た。

Tさんは、すかさず軽を止め、運転手のオジサンに実を見せて
いろいろ質問。オジサン曰く「そのザクロは実がならないものだよ」
と答えて、「俺が植えた」といった。・・・??!!偶然にしては
ビンゴ。何とオジサンは寺横に住む方だった。

翌日、ネットでザクロの結実を調べた。結果、ザクロはもともと、結実
が難しい植物らしい。

・・・ザクロは中々に実が付きません。かなりの年数を要します。
販売店で実付きを販売していますのは、水切りや薬剤による抑制栽培に
よるものです。

ザクロには雄花と雌花が有ります。雄花が咲いても雌花が咲くのが遅れ
ることも有ります。

剪定を致しますと徒長枝ばかりが伸びまして、結果が益々に遅れますの
で、有る程度は放任に大きく育ててください・・・ネット

岩科の田園地帯を進む。田んぼは、早苗が風に揺れ、オタマジャクシが
多い。25年前は下土狩でも見られた風景だが、今は見られなくなった。
岩科川の流れが、よどんでした。田んぼに引水するので、本流が「水不
足」だった。田んぼに、比較的若い男女が二人作業をしていた。田んぼ
に若い方は最近珍しい。

岩科は、「ナマコ壁の蔵」が多かった。故郷が松崎の「入江長八」の影
響だろう。では、なぜ「ナマコ蔵」なのか。

・・・なまこ壁は見た目ではなく、昔の最高級の金庫と思って見てみよう。防火性、保温性、保湿性に優れ、明治時代から昭和初期まで各地で見られた外壁の工法。守備力 MAX の倉庫です。その外壁がなまこ壁だった・・・ネット

峰集落にさしかかった。マスクをしたオバさまが、「どこに行く、永禪寺??」と聞いてきた。「そうです」と答えると、「本堂が開いていないから、私が開けます」といって、主人の車で寺に向かってくれた。

後でよく考えると、確か2年前（伊豆は一周2年かかる）も、お世話になったような・・・。有難い、檀家の方でした。

つづく





6月11日(木)雨・23度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月11日(木)04時34分6秒

昨日は

6月度・伊豆巡礼でした。

巡路は、波勝崎入口～石部（いしぶ）～72番・禅宗院～73番・常在寺（昼食）～74番・永禅寺～75番・天然寺～松崎・岩科学学校
天気＝朝小雨～晴、距離＝25000歩、参加＝18名

4・5月、コロナで休講。やっと再開。しかし、まだ参加できない会員もいた。ただ今回、4月募集した新しい仲間が6名参加した。嬉しいことだ。

3月最終の波勝崎入口から出発。天気は、マアママの感じだったが、高通山

入口下で小雨が降ってきた。だが、ほどなく止んだ。旧道を歩き石部集落着。石部は「棚田」で有名だが、下部は、ほとんど草ボウボウで見る陰はない。

途中に「ビワ」がたわわに実っていた。ちょうど歩道に枝が伸びて簡単に取れた。特に持ち主はハッキリしないような感じ。皆でワラワラといただいた。甘酸っぱくて美味しかった。

グングン下り禅宗院着。途中、ブーゲンビリアの大木が見事だった。赤色が半端でなかった。お勤め後、松崎への旧道を上り返す。ほぼ海拔0

mから峠まで標高差約185mの上り。思ったほど苦しい上りではない。ただ、暑い。途中、地元のオジサンが「桜葉」を手摘で収穫していた。

峠から松崎を俯瞰。一体のお地蔵さまが、微笑んでいる。昔は、多くの方がこの峠を越えたであろう。巡礼道としては、味がある峠。一気に下り、73番・常在寺着。以前は若い寺番夫婦がいたが、現在は無住職。でも、中は掃除がいきとどいている。トイレもリフォームしキレイ。檀家の方が、頑張っているのだろう。

予定外で本堂で昼食。窓を全て開け放って気持ちよい風が渡る。昼食後は、30分昼寝。皆さん、ゴロゴロ横たわった。ただ、この場合、「仏様に足を向ける」のはご法度です。

つづく





6月9日(火)晴・23度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月9日(火)06時20分4秒

第一展望台から

第二展望台に向かう。上部でシャクナゲが咲いているかと思ったが、まったく咲いていなかった。下山後、鉱泉で送迎バス運転手さんに聞いたら、まだ早いそうだ。

ちなみに、この運転手さん、巨体の髭面で強面。しかし、話をしてみると、柔らかく優しい感じだった。

シャクナゲだけでなく、ほかの花もなかった。この時期、上信越の山は、花々で溢れているのだが。積雪が少ないのが理由だろうか。しかし、7月になれば、コマクサは咲く。

第一展望台で写真を撮ってもらったら、そのままズルズル遅れをとった。記録写真を今回も80枚ほど撮ったが、いい写真を撮るには、人物を入れ、前か後ろから撮る。この場合、ある程度距離がないと絵にならない。

前からの場合は、遅れることはないが、後ろからだとは、遅れをとる。被撮影者は、その先を普通に歩くが、距離を縮めるのは、倍の速さで歩くから大変。飛ばせば、ますますバテる。ま、最終的には頂上下で待ってはいるが・・・。

GYも自粛後、2回目の登山で相当、バテていた。ノンビリ一緒に行く。

ゆっくり行けば、まったく問題はない。年齢差もあるだろう。一番若いI君とは23歳違う。無理もない。私が50のころは、まだバットレスをガンガン上っていた。

つづく



6月8日(月)晴・21度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月8日(月)06時44分50秒

土曜日は、

ハッ・西天狗岳(2646m)でした。コースは、唐沢鉱泉～西尾根～第二展望台～西天狗岳～東天狗岳(I君のみ)～黒百合ヒュッテ～唐沢～唐沢鉱泉。参加=5名、天気=晴れ(風あり涼しい) 標高差=806m、所要時間=約7H。

唐沢鉱泉から出発。自粛が明けて駐車場はいっぱい。鉱泉も6月1日から営業していた。登山は、今回で10週連続。

小屋前の「アズマシャクナゲ」が美しい。ただ、これは自然物でなく、植えた物。ここの自然物は、「ハクサンシャクナゲ」同じシャクナゲでも、種が違くと増えないようだ。

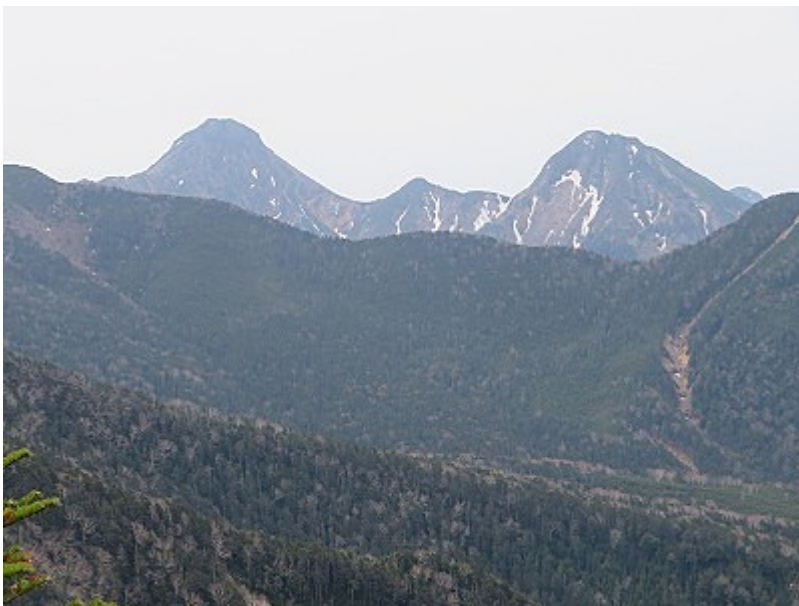
西尾根を上る。このところ雨が少ないのか、コケが何となくカラカラだった。単独の若い女性に抜かれた。結局、この方とは最後、唐沢鉱泉まで前後した。車のNOは、諏訪だった。

上りやすい尾根を上る。ただ、意気が上がらない。久しぶりの3時起床5時発の影響か。今年になり寝不足の影響が大きい。荷物も重い。カメラ・GPS・細引き(ザイル)・ビア2・キュウリ・枝豆・ジャガイモ・むすび2・麦茶2本。次回から食料を減らすか。しかし、コースタイムは、地図通りだった。ただ、かったるいは、かったるい。

赤シャツの単独女性に追いついた。新宿から来て、鉱泉に宿泊し、西天狗を往復といった。電車で来たが、茅野駅まで鉱泉の車が送迎してくれるそう。第一展望台で集合写真を撮ってもらった。

久しぶりの八ヶ岳だった。すっかり雪がなくなり、何となくさみしい八ヶ岳だった。

つづく



6月5日(金)晴・21度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月5日(金)05時18分6秒

昼食後

作業開始。まず、杭を点検。
この杭は、2001年に設置したもの。
19年経過した割に、案外としっかりしている。

傷んだものを抜いてみたが、硬い木で長く重い。
これなら19年もつわけだ。
上げるのも、ずいぶん重かったらう。

使えそうなものもあったが、新しく上げたものが15本あるので
なるべく交換した。
今回は、腐食防止でペンキも塗ってきた。ただ、長さが前回ほどでなく
もう少し長いほうが良さそう。しかし、今はこんな長いものは販売して
いない。

一通り杭を入れ替えて、古いトラロープを抜いて入れ替えた。
やっぱり新しい杭・新しいロープは気持ちよい。
これで、5～6年は大丈夫だらう。

さてさて、今度は越前岳頂上のメンテナンス。
どのように進めるか、どのように結果になるか、
今から楽しみである。





6月4日(木)晴・21度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月4日(木)04時32分51秒

昔、
といっても、大雑把すぎるが、「十年一昔」では、それほど昔とは思えない。ま、ここでは、50年くらいだろうか。

昔は、「自然保護」とかの言葉は、それほど使われなかった。そもそも、まだまだ自然は多く、動物・植物は、豊かだった。いつから、「自然保護」とかが、声高にいわれだしたか。

登山も昔はそれほど登山者が多かった印象はない。50年以上山に上っているが、知らない間に、登山者が増えた。そこには、様々な背景があるとおもう。

世の中がますます索漠として自然回帰が強まった。車が増え、同時に車道が整備された。ディスカバージャパンに代表される観光志向。所得が増加しレジャーを楽しむ人間が増えた。などなど。登山者が増えれば、結果として自然は少しずつ自然から離れていく。ここで話題の越前岳は、昨日、ブナ枯死を書いたが、オーバーユースも大きなストレスとなっている。

越前岳頂上の表土は、年々減少続け、三角点標柱は、三分の二ほど露出し、今にも倒れそうだ。我々が保護区を設定した、20年前に比べて、写真で検証すれば、表土30cm近く減っている。

原因の一つは、越前岳頂上の土が赤土の粘土質。多くの登山者が訪れ登山靴に付着した表土が運ばれるがある。私も毎回下山後、登山靴を洗うが、靴底に付着した土は、ビブラム（登山靴の靴底）の溝にビッシリ付着している。

先日の土曜日、越前岳を訪れた登山者は、仮に200人としよう。一人平均靴底の土は5g（1gは1円玉の重量）程度か。200人で1000g=1kg。そんなに多くはないか。

では、一人1gなら200g。それでも多いか。一人0.5gなら、一日100g。計算は、それでも多いかな。いずれにしても登山者が多ければ多いほど、表土は減っていく。もちろん、雨・雪などの流出もある。これは何とかしなければマズイ。

つづく





6月3日(水)晴・22度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月3日(水)06時25分20秒

越前岳(1504m)に11:50着いた。
頂上は、大勢の方がいた。学生さんらしき方も多かった。
山神社から約3時間半だった。

とにかく空腹なので、先に昼食にする。
ちょうどベンチが空いた。ただ、ベンチは基礎の土砂が流れ
グラグラしているから、油断が出来ない。

そもそも50年前、越前岳は、大きなブナが林立し展望が悪かった。
それが25年前あたりから、枯れ始め、巨木はすべてなくなった。
原因は、さまざまだが、ハッキリはしない。

土砂に関しては、20年前の写真を見ると、30cmほど流失している。
土砂流失に関しては、やっぱりオーバーユースだろう。
多くの方が訪れれば、靴について運ばれる土砂は半端でない。
特に越前岳は、赤土だから付着しやすい。

昼食後、作業にかかる。まず、杭が使えるか、使えないか、チェックから始めた。

つづく





6月2日(火)晴・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月2日(火)04時45分48秒

呼子岳

でブナ観察後、越前岳に向かう。

以前、この尾根で「サクラソウ」を見たが、場所が分からなかった。尾根の道は意外と荒れていない。

樹木が多く、土が粘土状でなく、硬い岩状なので、表土が流れないかも。春ゼミは、まだ鳴いていなかった。従って、静かだった。上から、多くの方が下ってくる。聞けば、あさ6時ころ、山神社を出た方々だ。京浜方面が多い。

京浜方面といえば、大沢で会った方(比較的若い衆)は、何と「今日は、トーキョーから電車で来た」といった。家は5時ころ出たらしい。新幹線で来たのだろうか。位牌岳に行くというから、下山は?と聞いたら、「沼津駅まで歩く」といった。

えええ～、それは無茶だ。止めたほうがよい、下るなら駿河平(森林公園)に下り、御殿場線・なめり駅がよいと、アドバイスした。ただ、結果的にどこへ下ったか不明だ。

いよいよ、越前岳の上りにかかった時、上から老若男女が大勢下ってきた。こちらは、荷物が重いので下向きで上っている。下ってきた方が誰か分からない。が、誰かが「ゴトーさん??!!」と声を掛けた。

仰ぐと、確かに見覚えがある面々だった。S山の会の方々だった。ま、懐かしい面々である。写真を5～6枚撮った。家で改めて写真を眺めたら、現場で分からなかった方が分かった。

Sさんだった。Sさんは聾者だった。旦那様も同じだった。昔、何回か登山をした。当時、小学校前の娘さんがいた。娘さんは健常だった。お母さんの手助けをしている姿が印象的だった。その娘さんが今回一緒に登山をしていた。感無量であった。

つづく





6月1日(月)晴・19度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月1日(月)05時43分9秒

土曜日は、

愛鷹連峰・山神社～大沢～割石峠～呼子岳～越前岳～山神社
でした。今回は、ブナ活力度観察と越前岳ブナ植樹地柵交換。

ブナ活力度は、決めたらブナ木の葉の出具合を観察する。
大沢に3本、呼子岳に1本ある。ブナ観察は、2000年から
おこなっている。今年で20年目。

4本のブナは、5段階評価ですべて活力度5だった。大沢の3本は
木が大きいので下から仰いで観察する。呼子岳のブナ、愛称＝ヒデコ
は、呼子岳の山腹にあるので、頂上から容易に観察が出来る。

驚いた。今年はすでに結実し、ドンダリのような実が沢山ついていた。
いままで、秋に結実度（実の付き具合）を観察していたが、今回のよう
にまじかで結実を観察したのは初めて。

同時に花の後のような、茶色のものも沢山見た。ブナ開花は見たことが
ない。ネットでは、同じようなものが花とあった。これは間違いなく
花跡だろう。

ただ、すべての花が結実するわけでもないようだ。これは、家のミカン
の木なども、すべての花が結実するわけではないので理解した。今年は
大いに期待できる感じだった。

つづく



5月29日(金)晴・19度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月29日(金)06時22分3秒

伊豆

天城・猿山の標高は、丁度、1000m。

天城連峰で、標高が1000m以上は少なく、貴重な存在。

ただ、以前、国土地理院の標高改定前は、1000mに欠けていた。

しかし、頂上の三角点に立ってみると、三角点の東がいくらか高い。
実は国土地理院の標高は、測量を行う三角点の標高で、実際の山の標高ではない。

このような所は、他の山でも多く見られる。

従って、猿山も厳密に言えば、三角点の標高1000mより、
実際は、もう少し高いかも知れない。





5月28日(木)晴・21度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月28日(木)06時20分40秒

猿山

西尾根を下って、仁科川上流に達した。
河原に見慣れない花が咲いていた。

園芸種・天然花??か不明。
まだまだ、わからない花がおおいですね。





5月27日(水)晴・21度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月27日(水)05時30分2秒

コロナ

以降、下山後の「反省会」は、最寄りの場所で行っている。
ビア2～3本と昼食の残り。

もともと、卑しいから、ちょっと飲めれば、それで満足。
ま、天気がよければ、外は気持ちよい。

今回は、仁科峠のベンチ。
「外飲み」は、イイですね。



5月26日(火)晴・21度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月26日(火)05時53分13秒

日曜日、

仁科峠下でタイヤがパンクした。
車は長く乗っているが、何十年、記憶がない。

狭い林道で下から来たバイクをやりすごそうと、脇に寄った。
そこに角が尖った落石があった。
その石がタイヤを破いたらしい。タイヤもいささか耐久年度過ぎかも。

8人乗りの車だから、タイヤも大きく交換は大変。
そもそも、スペアタイヤが何処にあるかも最初、分からなかった。
しかし、若い(50歳)のI君が大活躍。

やっぱり、若く馬力がないと難しい。女性ではJAFを呼ばなければ
絶対無理だろう。(JAFは加盟している)
何故か、テキパキとこなし、約30分で終了。

時間が掛かれば山もダメだったかもしれない。
雨とかだったら、イヤになってしまう。
ともあれ、無事終わって、ヤレヤレでした。





5月25日(月)晴・20度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月25日(月)06時35分49秒

昨日は

天城・猿山(1000m)でした。
目的は、西尾根バリエーションとシャクナゲ。
シャクナゲは、ぎりぎり、間に合いました。



5月23日(土)晴・18度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年5月23日(土)06時50分6秒

畑の

「ジャガイモ」を試掘した。
食べた。
美味しかった。

初物は、なんでもイイですね。





5月22日(金)晴・17度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月22日(金)06時25分45秒

今、

庭の「クレマチス」の花が美しい。

「クレマチス」は、長泉町でも推奨している花。

宿根だから楽ちん。

手入れもあまり必要としない。

それでも美しい花が広がる。

贈答用で高いものは4000円～10000円する。

庭用は600円くらいからある。

ただ、庭の場合、高い塀などがあるとよろしいですね。





[返信・引用](#)

[編集済](#)

5月21日(木)曇・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月21日(木)06時21分26秒

殺人の

半分は、尊属殺人といわれる。

昨夕の「長泉町主婦殺人事件」容疑者逮捕報道は、ショックだった。事件から日数が経過し、ひょっとしたら迷宮かと思われたが、そうでなかった。

事件は、第一発見者に容疑がかかる場合が多い。今回もそうだった。閑静な住宅街。拙宅から歩いて10分ほど。近くの防犯カメラには、おかしい人物はなかったという。

凶器の包丁も自宅のもの。目撃者もいない。警察は当初から若い嫁に目をつけたいたかもしれない。
ただ、容疑者はまだ31歳。一体、何があったのだろうか。

亡くなった方（69）の旦那様は、うちにWと同級生だった。
優秀な方で、沼津東から教師になった。が早世した。

亡くなった方はその後、独身だった。容疑者は長男の二回目の嫁だった。長男の年齢は不明だが、亡くなった方の年齢から推察するに、二回目ということもあり、年齢差があったと思われる。

再婚で若い嫁。が、事件のポイントだっただろうか。しかし、いくら姑と葛藤があっても、殺人に至るものであろうか。
人は時として、「あの野郎～、ぶっ殺してやる」と思うことが、まあ、あったとしても、普通は実行しない。

そこには「抑制力」があるからだ。殺したいと思っても、冷静になり、後から考えてみれば、つまらないと思うのが自然。
ただ、その瞬間、「切れてしまう」のは怖い。

昔、「切れる」は、「頭が切れる奴」で誉め言葉だった。しかし、現在、「切れる奴」は、危ない言葉になった。
「切れる」まで、ある程度時間の積み重ねがあったであろう。

人は、いきなり「切れる」訳ではない。最悪の結果になる前に、対処出来なかったか。

もちろん、容疑者に大きな問題があるが、長男とか配慮が欲しかった。
31歳の若さで
「塀の向こう側」では、あまりに気の毒である。どこにでもあること故に後味が悪く残念だった。

（身近な事件だったので、今回、題材にしました。配慮がない表現がありましたら、指摘下さい）



5月20日(水)雨・19度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月20日(水)06時15分40秒

山で

変わった形の樹木を見ることは多い。
先日も、丹沢で「変木」があった。

ま、何らかの事情で、真っすぐ育たなかったのだろうか。
気の毒といえば、気の毒だが、何となくおかしい。

でも、このようなものは、山の中で特異な存在。
従って、いい目標・目印。
場所の特定には、とても役立つものですね。

ゾンビ・ブナ、頑張ろう!!!





5月19日(火)雨・20度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月19日(火)06時30分51秒
西丹沢

の「サクラソウ」がなかなか良かった。
岩場を好む可憐な花。

厳しい山で健気に咲く。





5月18日(月)晴・18度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月18日(月)06時27分15秒
西丹沢

で早くも「シロヤシオ」の開花が見られました。
上部は、まだ蕾が多いですが、今年は当たり年の
ようです。

来週あたりが、みごろでしょうか。



5月16日(土)曇・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月16日(土)06時04分22秒

温故知新・7

あのことろ丹沢は寒かった！！！！

- ・山行NO.0185
- ・1974年2月2日～3日(日)
- ・西丹沢・沖箱根沢
- ・荻野 哲

MEMO

大滝橋	8:30
F1	9:10
F2	10:15
稜線	12:00

*快適な登攀だった。





FUJICOLOR 35 74



5月15日(金)晴・17度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年5月15日(金)06時06分52秒

温故知新・6

- ・1976年4月28日～5月4日
- ・加賀・白山～笈ヶ岳
- ・井上茂貴、大場康正、荻野哲、後藤

4/28

三島 18:23
名古屋 20:18
名古屋 20:33
美濃太田 22:46 (泊)

4/29 (雨)

美濃太田 6:38
美濃白鳥 8:31
上在所 10:10 (ジープチャーター)
登山口 11:10
神鳩ノ宮避難小屋 14:00 (泊)

5/1 (雨)

起床 3:00
出発 5:15
銚子ヶ峰 6:25
一峰 7:30
二峰 8:10
三峰避難小屋 9:15 (泊)

5/2 (晴)

起床 3:20
発 5:15
別山 7:07
2244峰 9:00
南竜ヶ馬場 9:30
弥陀ヶ原 11:15
白山 12:15
小日水谷下降点 13:20
北弥陀ヶ原2160m 16:00 (泊)

つづく

▼ 76-13-218 ^{234 230}

▼ 加賀白山

▼ 山産電株登山博多部春山合宿

▼ 井上泰豊, 下島康正, 萩野哲

▼ Sp. 4.28 ~ Sp. 5.4

4/28	三島	18:23	
	石居	20:18	
	石居	533D	20:33
	美濃田		22:46
1/29	美濃田		6:38
	美濃田		8:31
	上石所		10:10 ³⁻⁷⁰
	登山口		11:10 ⁹⁰⁻²⁻
	神橋宮		14:00 (三)

1/30 停泊

5/1	三島	三島	3:00
		本丸	5:15
		御子山	6:25
		一峰	7:30
		二峰	8:10
		三峰	9:15 (三)

5/2	起床	3:20	
15分	三峰(平岩山)	5:15	
4分	81山	7:07	
	ユツク山	9:00	
	南島ヶ島場	9:30	
	赤松ヶ原	11:15	
	白山頂上	12:15	
	小白谷への木道	13:20	
	赤松ヶ原(2160) 木道(235)	16:00 (21)	
5/3	起床	3:20	
CE405	土茶	5:20	
509	地蔵ノヤ	5:45	
93(21)	夏25の接合	6:15	
	三峰峠	7:20	
	妙正山	9:45	
	野谷(2174)	11:45	
	三石山	13:15	→ (21)
	赤松山	14:30	
	国見山	15:05	
5/4	起床	3:00	
CE405	国見山	4:45	
509	三石山	5:45	
93(21)	三石山(2174)	6:10	
	三石山	7:00	
	白谷(2174)	8:00	
	国見山	9:00	

5月14日(木)晴・19度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月14日(木)05時32分8秒

つづき

小屋まで分かりにくい道だった。角檜小屋は、日当たりが良い、小ぎれいな小屋だった。二つ建っていた。

荒川をへつり、平岩山の尾根に取りつく。上りは急登。急登は確実に高度を稼げるからいい。平岩山を過ぎ16:00、大朝日小屋に入る。いい感じの小屋で、収容は30名くらい。すでに2人いた。後から7名来た。

今日は、大きな標高差で本当に疲れた。昨夜、濡れてよく寝れなかったからだ。

とにかく無事終了した。

写真・上

1998年8月10日
大朝日岳から竜門岳に向うレイホー・パーティー
大朝日小屋が小さく見える（撮影＝後藤）

写真・下

8月12日、大井沢に下山後、橋本屋で祝杯
（後列左＝2005.01、亡くなった飯塚さん）

<http://susono-reihou.babyblue.jp/990.pdf>



5月13日(水)晴・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月13日(水)06時02分37秒

つづき

1975/5/1

タイム＝徳網5：07－角檜小屋8：50－平岩山14：00－
大朝日岳15：45－大朝日小屋16：00（泊）
標高差＝徳網約350m～大朝日岳1871m＝約1521m

飯豊は終わったが、30日雨が降って、杵差岳（えぶりさしだけ）に上れなかったことが心残りだった。

（杵差岳は、22年後の1997.8に登頂した）

今日は、朝日連峰に上るべく、小国から五味沢（朝日平）～徳網に来た。徳網は、20～30の小さな集落だった。林道の途中で山菜取りの地元の方に会う。

飯豊の時も見た、カタクリをたくさん取っていた。

「これを食べるんですか？」と聞けば、「ちゃんと、食べられる」とのこと。

朝日を下山して分かったが、茹でて保存食にするようだ。

徳網上の川原でテントを張った。天気は良く満天の星だった。荒川でイワナを釣ると、五味沢で糸・針・おもりを買ってきたが、どうやら使われじまいのようだ。

5/2

どうしてイワナ釣りをやろうかと思ったかを考えたら、五味沢の雑貨屋のオヤジにそそのかされた。針生平（はんなりだいら）に行けば、イワナが沢山釣れると言ったからだ。

エサは、徳網でミミズを取ればいいと言った。

針生平は、上高地を小さくしたような気持のよいところ。

確かにイワナは沢山いそうだった。

針生平から角檜（かくなら）小屋めざす。途中、かなり危険な吊り橋を二回渡った。

こちらの地方独特なものだろうか、一本の吊り橋である。（写真・上＝2013.9 ネット）

ヒノキ（スギ？）とワイヤーの組み合わせ。

ヒノキの皮を剥いたばかりで滑りやすい。

小屋まで分かりにくい道だった。角檜小屋は、日当たりが良い、小ぎれいな小屋だった。

（写真・中＝2013.9 ネット）

つづく



5月12日(火)晴・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月12日(火)05時47分45秒
温故知新・5

- ・1975年4月27日～5月3日
- ・飯豊連峰～朝日連峰
- ・荻野 哲

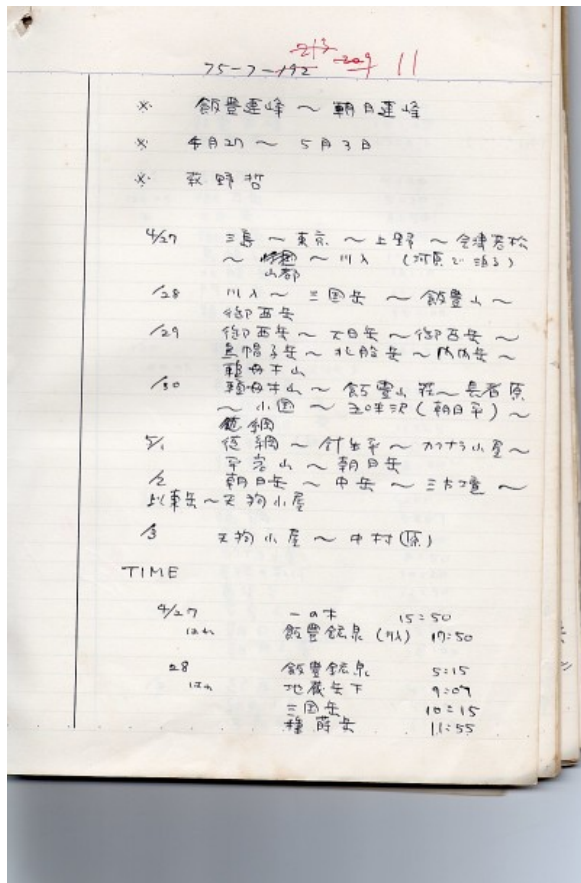
4/27 三島～川入(テン泊)
4/28 川入～三国山～飯豊山～御西岳

- 4/29 御西岳～大日岳～御西岳～北股岳～頼母木山
- 4/30 頼母木山～飯豊山荘～小国～五味沢（朝日平）～徳網
- 5/1 徳網～平岩山～朝日岳
- 5/2 朝日岳～中岳～以東岳～天狗小屋
- 5/3 天狗小屋～中村（原）

MEMO

4/27 寮起床6:00。三島発7:12。上野発9:41で会津若松に向かう。
 東北はこれで仕事を入れて3回目。
 猪苗代湖を初めて見た。大きかった。安っぽい食堂、喫茶店、モーターが乱立。
 車窓からいたるところで田植えをやっていた。桜が満開だった。磐梯熱海の桜が目をついた。
 会津若松で降りて、磐越西線で山都に向かう。駅からバスがすぐあって、一の木に向かう。
 同乗の女性のアクセントが分かりにくかった。一の木から林道を2時間歩いた。川入から飯豊連峰に感動。河原でテン泊した。

つづく



5月11日(月)晴・20度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年5月10日(日)15時44分56秒

温故知新・4

- ・1974年4月28日～5月3日
- ・北ALPS南部縦走
- ・荻野 哲

4/28	大町	4:00
	餓鬼岳白沢登山口	4:50
	2100m峰	14:30
	幕営	15:00
4/29	起床	3:00
	餓鬼岳	15:50
	餓鬼小屋	16:05
4/30	起床	3:00
	出発	5:00
	東沢乗越	9:55
	ビバーク(降雪)	13:30
5/1	起床	3:40
	吹雪	
	出発	10:00
	燕岳	12:30
	大天井岳	16:50
	ビバーク	17:00
5/2	起床	3:00
	常念岳	8:00
	蝶ヶ岳	12:30
	徳沢	16:00
5/3	徳沢	5:30
	上高地	7:00
	松本	10:00
	甲府	11:45

MEMO

- ・餓鬼岳の下りは難しかった
- ・東沢乗越から稜線までキツイ。
途中、燕からの縦走者が滑落。
- ・燕岳までルートが非常に難しかった。





5月9日(土)晴・16度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月9日(土)06時41分17秒

今、

山々の新緑が美しい。
二週間前は、まだまだ新芽だった。
二週間で青葉に変わった。

ブナの花を観察したかったが、まだ開花ではなさそう。
大きなブナは、望遠鏡がないと観察できない。
花がたくさん咲けば、実も豊作になる。

たくさん咲いて欲しいね。



5月8日(金)晴・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月8日(金)05時21分30秒

写真は

先日、御殿場の田園風景。
御殿場地方の田植えは早い。
おおむね、5月連休に行く。

この時期、富士山の残雪と相まって素晴らしい。
ただ、もう少し風がなく、もう少し高い位置から
撮りたかったが・・・。

世間はコロナで騒がしいが、季節は粛々と進んでいますね。





5月7日(木)晴・18度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月7日(木)05時42分24秒

畑に

落花生を蒔いた。

種類は、「オオマサリ」

「オオマサリ」は、普通の落花生の倍くらいの大きさ。

小さい落花生は面白くないので、最初からこの種類。

大きいから、大味と思いきや、そんなことはない。

甘くて美味しい。

昨年まで、何となく実の付き方が、イマイチだった。

先輩のSさんも、そうだという。

先日、たまたま育て方の動画を見ていたら、目からうろこ。

コツが分かった。今年は期待できそう。試してみよう。

秋が待ちどろしいですね。

ちなみに、写真の白いものは、「芽」でなく「根」のようです。

種は、先に根が出て、養分を得て、発芽する。なるほどですね。



5月6日(水)晴・20度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年5月6日(水)05時48分0秒

温故知新=3

- ・ 1972年4月29日～5月7日
- ・ 大町～湯俣～北鎌尾根～槍～鷲羽岳～烏帽子岳～七倉～大町
- ・ 槍まで東 正昭、以後単独

- ・ 4/29 沼津（当時、沼津在住。乗降駅は下土狩駅）～大町
- 4/30 大町～湯俣（東を待つ）
- 5/1 湯俣～P2取り付き（泊）
- 5/2 雨、停滞
- 5/3 P2取り付き～北鎌沢出合～独標～槍～肩の小屋（テン場泊）
行動時間=11時間
- 5/4 肩の小屋～三俣蓮華岳～鷲羽岳～水晶小屋（テン場泊）・・・
東、上高地に下山
行動時間=9時間半
- 5/5 豪雨・停滞
- 5/6 水晶小屋～烏帽子小屋～七倉～大町～沼津

MEMO

1. 5/2、前線通過で一日雨。午後より晴れ間が見え、夜、快晴。
2. 5/5、昨日、15時から雨。低気圧通貨で夜半豪雨。停滞。
3. 単独時、あまり飛ばさない。いつか着く。
4. オーバーズボン（??）持参のこと。（ステテコでも可）??
5. 手袋、もう少しとオーバー手袋。耳当ても。
6. 食料は、長い山行の割によかった。
7. 行動時間は、10時間が限度である。
8. 今後も単独でも歩こう。

158
160
72-7-138 ○ 4月27 ~ 5月 7日

- 大町 ~ 湯沢 ~ 北鎌沢出合 ~ 船 ~ 鷺羽出
~ 高帽子出 ~ 針ノ木岬
- 高帽子出 ~ 東正岬 ~ 河口岬
船

7/29 砂津 ~ 大町
7/30 大町 ~ 湯沢 (東正岬)
5/1 湯沢 ~ 北鎌沢出合 (北正岬)
1/2 北鎌沢出合 ~ 鷺羽 ~ 船 ~ 高帽子
1/3 船 ~ 高帽子 ~ 鷺羽出
1/4 鷺羽出 ~ 高帽子出 (東正岬)
1/5 高帽子出 ~ 船
1/6 船 ~ 針ノ木岬
1/7 針ノ木岬 ~ 大町 ~ 砂津

7/31 (晴午珍り豪雨)
7/30

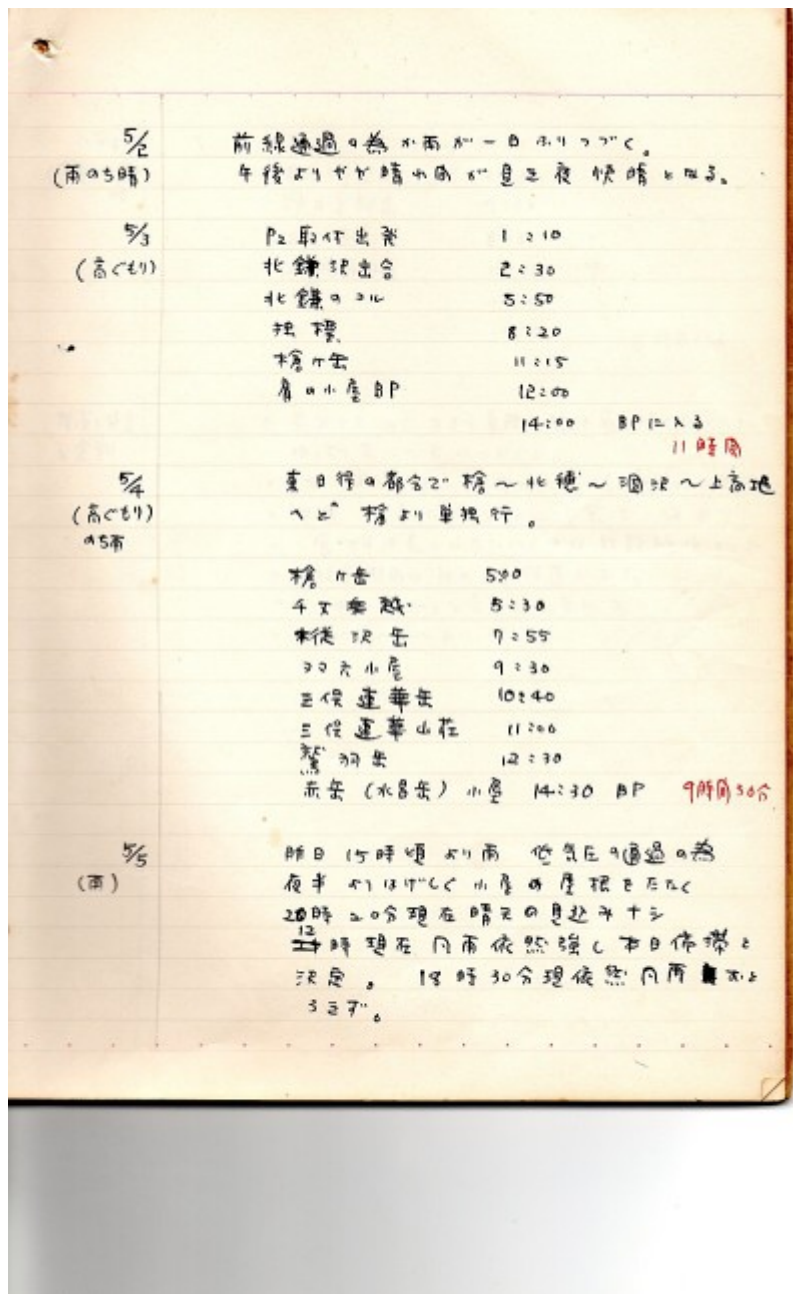
七倉 6:15
湯沢 10:00 (東正岬)

7/31 (雨) 湯沢 10:00
千代出合 12:00
P2 取付 BP 14:00 (雨止り)

食料計画 (4月27日 ~ 5月7日)

日	朝	昼	夜
7/27	持参	持参	持参
7/28	210gPX エネ サトウ 醤油	エネ サトウ 醤油	エネ サトウ 醤油
7/29	210gPX エネ サトウ 醤油	エネ サトウ 醤油	エネ サトウ 醤油
7/30	エネ 醤油 サトウ	エネ サトウ 醤油	エネ サトウ 醤油
7/31	210gPX エネ サトウ 醤油	エネ サトウ 醤油	エネ サトウ 醤油
7/1	エネ 醤油 サトウ	エネ サトウ 醤油	エネ サトウ 醤油
7/2	210gPX エネ サトウ 醤油	エネ サトウ 醤油	エネ サトウ 醤油
7/3	エネ 醤油 サトウ	エネ サトウ 醤油	エネ サトウ 醤油

7/31
エネ
醤油
サトウ



5月5日(火)曇・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月5日(火)05時04分51秒

温故知新

先日、50年前の連休の山を紐解いたので、今日は、49年前の山。山日記では、

- ・ 1971年4月30日～5月5日
- ・ 北岳バットレス
- ・ 黒沢義一、鈴木正、小岱正男、東 正昭、後藤隆徳

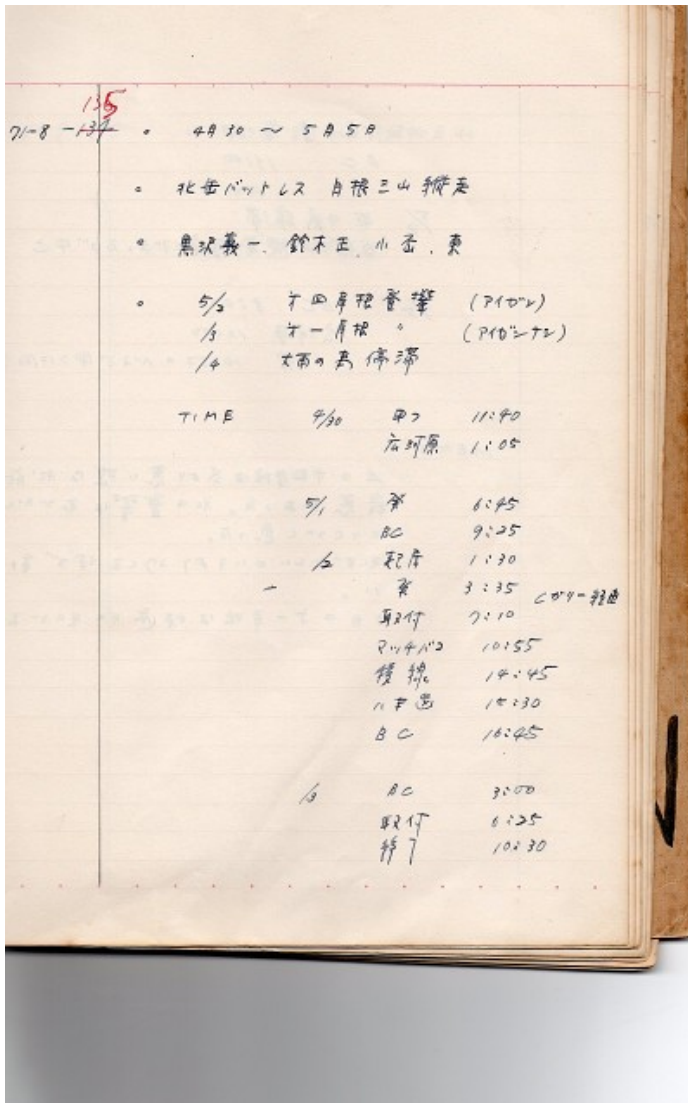
[返信・引](#)
[用 編集](#)
[済](#)

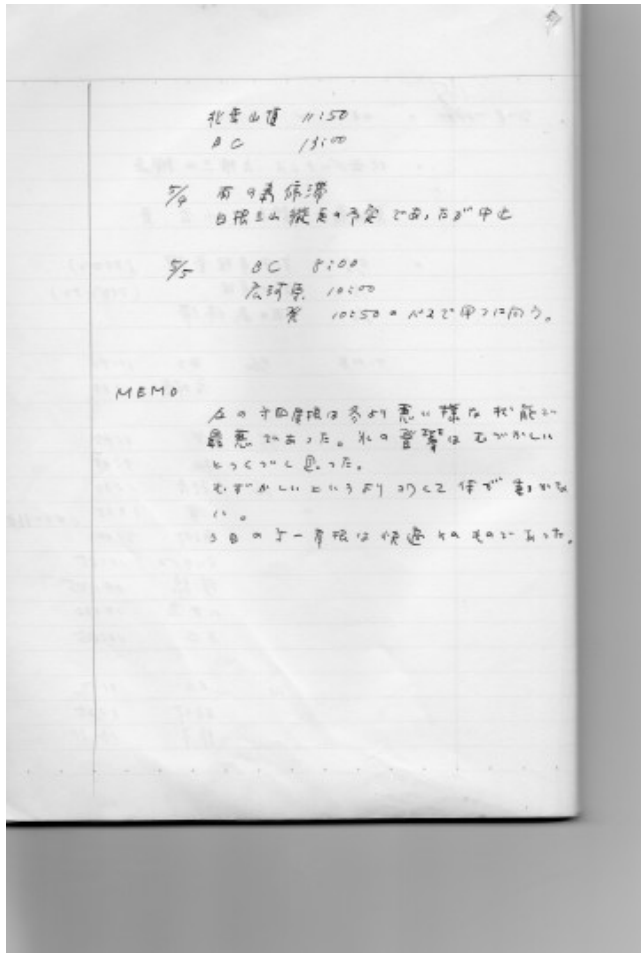
- ・ 4/30 甲府 23 : 40 ~ 広河原 1 : 05 (泊)
- 5/1 広河原 6 : 45 - BC 9 : 25 (泊)
- 5/2 起床 1 : 30 - BC 発 3 : 35 - C ガリ一經由
第四尾根 7 : 10 - マッチ箱 10 : 55 - 北岳 10 : 45
一八本歯 15 : 30 - BC 16 : 45 (泊)
- 5/3 起床 1 : 30 - BC 発 3 : 00 - 第一尾根 6 : 25 -

終了 10 : 30 - 北岳 11 : 50 - BC 13 : 00 (泊)
- 5/4 白根 (白峰) 三山重曹予定だったが、雨停滞。
- 5/5 BC 発 8 : 00 - 広河原 10 : 00 - 発 10 : 30 - 甲府

MEMO

第四尾根は冬を彷彿させ、最悪の状態だった。
氷の登攀は難しいものと思った。
難しいというより、怖くて体が動かなかった。
第一尾根は、アイゼンなしで快適だった。





5月4日(月)雨・19度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月4日(月)06時54分21秒

久しぶりの雨。
恵みの雨。
豊作を届ける雨

この時期、「ゼブラ模様」の富士山が
素敵でした。





5月2日(土)晴・20度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月1日(金)19時11分9秒

昨日は

畑のソラマメ（五月豆）試食しました。
だいぶ、大きくなり親指大になった。
こうなると、我慢ができない。

大き目のものを8本収穫した。
毎年書いているが、ソラマメは、「焼いて食べるのがサイコー」。
魚を焼くグリルで約10分焼く。皮が黒くなればオーケー。

中の豆は、ふんわり・ほんわり・ぐじゅぐじゅ、で美味しいそのもの。
やっぱり熱いうちに頂きたい。

美味しかったです。今年も、ソラマメの時期がやって来ましたね。



5月1日(金)晴・18度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月1日(金)05時54分6秒
時間が

あるので、昨日の五月連休の記録を紐解いた。
将来は分からない。明日のことも不明だ。だが、
過去は振り返ることが出来るね。

昨日の

1970年 4/30~5/5 北ア・屏風岩東稜（村岡 博）、
槍ヶ岳（村岡・小川洋子・和泉光子）は、懐かしい記録だ。
今から、50年前だから、私は23歳（??!!）だった。

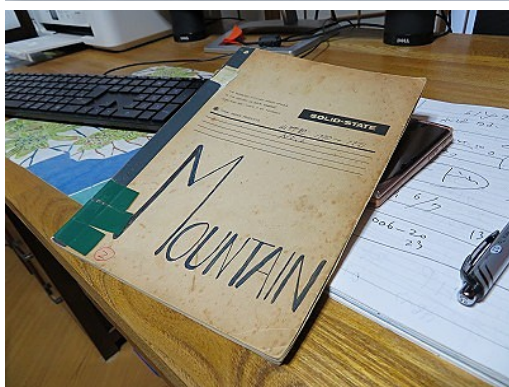
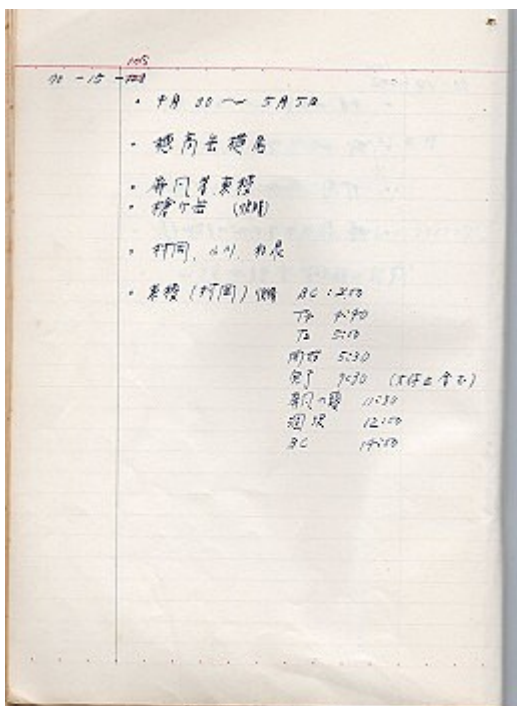
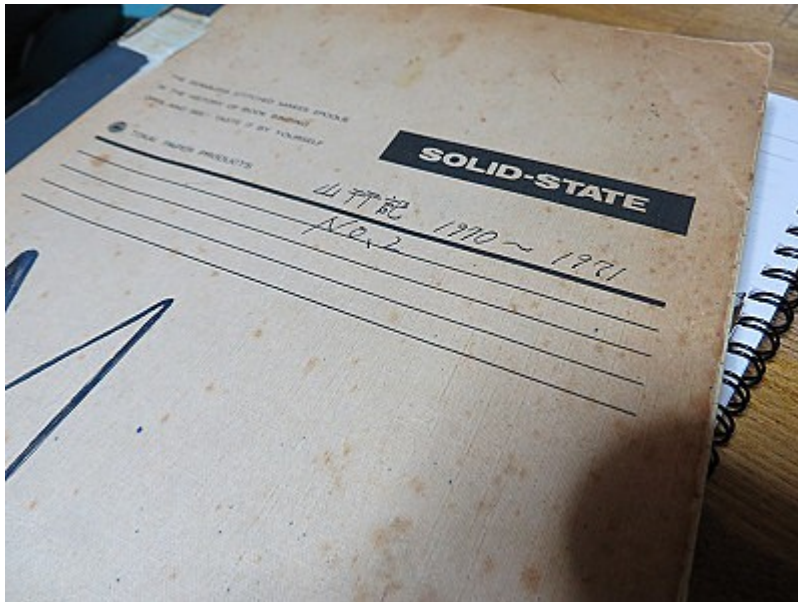
BC	2:00
T4	4:40
T2	5:00
登攀開始	5:30
墜落者目撃	8:00
終了	9:30（大休止含む）
屏風の頭	11:30
涸沢	12:00
BC	14:00

記録の詳細は、あまりなかった。屏風岩のコースタイムだけあった。
写真もない。残念。ただ、要所要所は鮮明に記憶している。
横尾谷を渡り、T4テラスまで、案外、しょっぱかった。

T4テラスから仰ぐ、花崗岩の屏風岩は圧倒的だった。上れるだろうか。
一抹の不安がよぎる。やるっきゃない。いくしかない。のぼるしかなかった。
現在は、東稜も結構、フリー化されたいるが、当時は最初から「アブミ」
登攀だった。

天気は良かった。無風快晴に近かった。北穂が大きい。股間から下を覗くと、
横尾谷に豆粒の登山者が行き来していた。登攀は佳境に達した。東稜
と呼ばれるように幅1500mある屏風岩の尾根を上っていた。気分はサイコー。
これ以上のテンションはなかった。

つづく



4月30日(木)晴・15度

[返信・引用](#)
[編集](#)

1965～2020 5月連休山行実績

今年、残雪の峰々に上れないのは、悔しい・残念・空しい。
コロナのバカ野郎～！！！！

- 2020 なし(2020・コロナ禍)
- 2019 4/27～5/2
鳥海・栗駒・至仏(山岳スキー)、浅間隠(登山)
- 2018 4/29～5/1 鳥海・月山・至仏(山岳スキー)
- 2017 5/2～6
越後・御神楽岳、菱ヶ岳～五頭山、栗ヶ岳
- 2016 4/30～5/1 唐松岳～五竜岳(唐松山荘まで)
- 2015 4/24～26
唐松岳・頸城駒ヶ岳(登山)・白馬乗鞍岳(山岳スキー)
- 2014 4/26～27 谷川岳・西黒尾根、上州・十二ヶ岳
- 2013 5/3～6
頸城・駒、青海・黒姫山(登山)、白馬・乗鞍(山岳スキー)
- 2012 4/29～30 阿弥陀岳～硫黄岳
- 2011 5/3～5 上越・白毛門、新発田・二王子山
- 2010 5/2～4 佐渡の山旅
- 2009 5/4～5 唐松岳、頸城・鉾ヶ岳
- 2008 5/5～6 白馬・小日向山、頸城・駒ヶ岳
- 2007 4/29～5/3 白馬・小日向山、頸城・駒ヶ岳
- 2006 4/18～5/1
ヨーロッパ＝オートルート(山岳スキー)
- 2005 4/29～5/2
日本海オート・ルート(白馬～朝日岳～親不知(山岳スキー))
- 2004 4/29～5/2 北ア・剣岳一周(山岳スキー)
- 2003 4/25～30
東北・八甲田山、岩木山、白神山(山岳スキー+登山)
- 2002 4/26～5/2
日本オート・ルート(立山～薬師岳～槍ヶ岳～上高地)
- (山岳スキー)
- 2001 4/30～5/3
北ア・北ノ俣岳～三俣蓮華岳～双六岳～新穂高(山岳スキー)
- 2000 4/28～5/2

東北・鳥海山、月山、燧ヶ岳（山岳スキー）
 1999 4/29～5/3 屋久島・宮ノ浦岳、鹿児島・開聞岳
 1998 4/23～5/6
 ネパール・ヒマラヤ＝ヤラ・ピーク（5520m）
 1997 4/26～30 剣岳（登山）・剣沢（山岳スキー）
 1996 5/3～5 ハッ・阿弥陀岳、赤岳、硫黄岳
 1995 5/4～5 奥秩父・甲武信岳～雁坂峠
 1994 4/29～5/1 頸城・火打山（山岳スキー）
 1993 4/28～5/1 北ア・霞沢岳、黒姫山、白砂山
 1992 4/29～5/3
 西日本＝伯耆大山・氷ノ山・荒島山・御在所山
 1991 4/28～/2
 北ア＝北穂・東稜、前穂・北尾根～奥穂～涸沢

 1990 5/2～05 剣岳（早月尾根往復・柳下慰霊登山）
 1989 5/2～5
 早月尾根～剣岳 柳下紀之・前剣滑落死亡事故
 1988 4/28～5/1 鹿島槍ヶ岳（赤岩尾根）
 1987 5/1～3
 北ア・涸沢岳西尾根（悪天候で涸沢岳まで奥穂上れず）
 1986 5/2～5 槍ヶ岳（新穂高から往復）
 1985 4/27～29
 西穂高岳 04/29～5/2 鳥甲山、苗場山（単独）
 1984 5/2～5 鳳凰三山
 1983 なし
 1982 なし
 1981 なし

 1980 5/2～5 爺ヶ岳東尾根～鹿島槍ヶ岳
 1979 5/2～6 涸沢岳～奥穂高岳
 1978 5/2～5 戸隠連峰＝一夜山～西岳～高妻山
 1977 4/28～5/2
 頸城山塊・妙高山～火打山～雨飾山（登山・単独・3月結婚）
 （当時、山田旅館、一泊二食＝4000＝）
 1976 4/28～5/4 加賀・白山～笈ヶ岳
 1975 4/27～5/3 飯豊連峰～朝日連峰
 1974 4/28～5/3
 白沢～餓鬼岳～燕岳～大天井岳～常念岳～蝶ヶ岳～徳沢
 1973 なし
 1972 4/29～5/7
 北鎌尾根～槍ヶ岳～鷲羽岳～烏帽子岳～針ノ木峠

1971 4/30~5
北岳バットレス＝第四尾根、第一尾根
1970 4/30~5/5
北ア・屏風岩東稜（村岡）、槍ヶ岳（村岡・小川・和泉）
1969 4/29~5/5 八ヶ岳・赤岳～硫黄岳
1968 なし
1967 なし
1966 なし
1965 なし





4月29日(水)晴・15度

[返信](#)・[引用](#)・[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月29日(水)05時54分6秒

畑で

グリーン・ピースを収穫した。
毎年、この時期が楽しみ。
グリーン・ピースは、「畑のエメラルド」と呼ばれる
くらい美しい。

そして美味しい。茹でて軽く塩味でいただくのがよらしい。
ビアの友としてサイコー。

ただ、わが畑で作る方はいない。何故だろう。不思議だ。
豆類は比較的作るのは楽。

また、冷凍していろいろの料理に利用できる貴重な作物
ですね。





4月28日(火)晴・16度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月27日(月)17時44分39秒

つづき

チェリーラインを上っていく。正面に真っ白な富士山が素晴らしい。演習所付近の道路わきの山桜が満開。更に上は、マメザクラだった。ただ、富士山・ニッ塚は雪がほとんど無かった。

洞門に着いた。時間が遅かったので、狭い駐車場な満杯。NOは、足立・横浜の京浜地区

とか、中には名古屋NOもあった。ま、希望的観測をいえば、「地元の山」の上って

もらいたいと思うが、富士山は絶対的存在だからね～！！

洞門駐車場は置けないので少し上の道路わきに駐車。そこは既に、やっぱり

県外 NO 車があった。カーブでちょっと心配だったので、道路わきに放置されていた

黄色・黒のゼブラ模様の通行止めでガードした。

そこからニッ塚にダイレクトに向かう。ほとんど上っていないルート。

天気は無風快晴高温。様々な小鳥のさえずりが聞こえる。繁殖期だろうか。

ルートは、もちろん登山道はないが、ヤブはなく快適そのもの。

富士山は日本一の標高で上部は他にない景観があるが、実は低・中間部の自然が素晴らしい。多くの方は車で五合目まで一気に上ってしまうが、それでは富士山の本当の姿は分からない。

すぐオーバーヒートで大汗をかく。大体いつも同じだが、上り始めの最初は大汗をかく。とことん、絞り切ると安定し収まる。不思議な人体。若干、単独で上っていることに罪悪感があった。

山好きの若手 I とか、ベテラン K とか、H とか、来れば、喜んだであろうと思うと残念だった。いまは「戦時下」だから仕方がない。ここは我慢・辛抱・忍耐・（修行）・でしょうか。

つづく





4月27日(月)晴・17度

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月26日(日)16時40分9秒

土曜日は、

富士山・ニッ塚(1929m)でした。コースは洞門～・1477m
～幕岩への道～上塚南～四辻～上塚・下塚コル～上塚～洞門。標高差
=639m、参加者=単独

この時期、本来、登山はご法度かも。ただ、先のブログに書いた「カナダ方式」ならいいかもと考えた。カナダ方式とは、

1. 登山口まで車の乗り合わせはしない。車一台一人を推奨。
2. 2mのソーシャルディスタンスを守る。

3. 登山道が平らで、日帰りが出来る危険度が非常に低いコースを選ぶ。
4. 登山後は、飲み会や食事はせず、まっすぐ家に帰ること。
5. 往復路、トイレ・SAは極力避ける。
6. 県外に出ない。県内の山とする。 (5・6=私の意見)

である。それが免罪符になると思わないが、やっぱり登山家は、ジムではダメなのだ。今朝TVでやっていたが、瀬戸大地が自宅のプールで泳いでいた。体にゴムを付けて前進しないように泳ぐ。訓練としてはサイコーにいい。

プールは結構大きかった。住まいは東京かその近郊か不明だが、こんなことが出来るのは、マンションでは出来ないし、相当、裕福なんだろう。で、彼が言ったのは、「やっぱりスイマーは、泳がないとダメ」だった。

ジムで筋力を鍛えるのとは、基本的に違うという。その時、私は「山も同じ」と思った。登山家もジムで鍛えることは出来る。ただ、瀬戸と同じように、山でなければ鍛えられない部分はある。

上り・下りの微妙な足の使い方。急登の息つぎの仕方。ガラ場・岩場のバランス。雪渓の上り・下り技術。冷たい風に対する対応。藪でのルート選択などなど、枚挙にいとまがない。ジムでは絶対ダメなのだ。

つづく (写真は、富士山周遊道・チェリーラインの山桜と富士山)





4月25日(土)晴・13度

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月25日(土)06時20分38秒

外出自粛で何をやるか??

1. 断捨離 不要物片づけ
 2. 楽器練習
 3. 庭整備
 4. HP 整備 温故知新 上げてない昔の記録
 5. 読書 図書館が閉まっているので、蔵書再読
 6. 畑仕事
 7. 料理研究
- などなど。

昨日は、2001年の山岳スキー写真を上げた。
懐かしかったですね。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-78.pdf>



4月24日(金)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月24日(金)07時11分44秒

憂鬱な季節だ。天気は良い。気温も快適。
だが、外出自粛とは。こんなことがあるか。残念だ。

コロナに関して、「カナダから提言」あった。結果的には国立公園閉鎖になったが、その前に手を打っておけば、閉鎖は免れたかもしれないとの話です。

1. 登山口まで車の乗り合わせはしない。車一台一人を推奨。
2. 2mのソーシャルディスタンスを守る。
3. 登山道が平らで、日帰りが出来る危険度が非常に低いコースを選ぶ。
4. 登山後は、飲み会や食事はせず、まっすぐ家に帰ること。
5. 往復路、トイレ・SAは極力避ける。

(5 = 私の意見)

カナダは、アウトドア立国で、基本的に日帰り登山やハイキングは、事故の可能性が低く、適度な運動は健康によく、ほかのスポーツに比べてソーシャルディスタンスが保ちやすいが根底にあります。
要はやみくもに自粛でなく、状況を踏まえてということです。

今日届いた労山全国連盟の見解も、絶対自粛というものではない。
「個人山行は絶対事故を起こさない前提で判断して下さい」との見解です。

また、今朝のTVで山中伸弥教授は、今後はコロナとの「闘い」でなく「共存」提言していた。ただ、「共存」て難しそうですね。

写真は、中伊豆「たか惣」の新しい「ワサビ・モナカ」





4月23日(木)曇・15度

[返信・引用](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2020年4月23日(木)06時23分31秒

[編集済](#)

ついに来るべきものが来た

山岳スポーツ愛好者の皆様へ

新型コロナウイルス感染被害は拡大の一途をたどり、ついに緊急事態宣言対象地域が全国に拡大しました。

山小屋の従業員を感染から守り、宿泊登山者の3密による相互感染を防ぐため、多くの山小屋やスポーツクライミング施設の閉鎖が相次いでいます。

新型コロナウイルスは、潜伏期間が長い、感染しても自覚症状がでない、一度陰性になっても再度陽性反応がでる感染者が多く見られます。このような潜在的感染媒介者には若年・壮年層が多いのも特徴です。

全国民が、外出制限、商業施設の相次ぐ閉鎖あるいは在宅勤務等々、日々逼迫した窮屈な生活を強いられています。このような現況下で、都市を離れ、清浄な空気と自然を求めての登山やクライミング行為は、出先の方々への感染を広め、山岳スポーツ愛好者自身が感染するリスクを高めます。

この緊急事態に対処するには、山岳スポーツを愛する皆様の他者への思いやり、そして何よりご自身の感染防御に専心され、事態の収束を見るまで山岳スポーツ行為を厳に自粛していただきますよう山岳四団体としてお願いいたします。

山岳スポーツに係わる皆様の緊急事態宣言へのご理解とご協力で、感染症拡大阻止に寄与し、この未曾有の感染危機が一日も早く収束することを願っております。

近々事態が収まり、山で、岩場あるいはスポーツクライミング施設で皆様と再びお会いできる日を楽しみにしております。

《山岳四団体》

公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会

日本勤労者山岳連盟

公益社団法人 日本山岳会

公益社団法人 日本山岳ガイド協会

わが山岳会母体の全国連盟の要請では無視は出来ない。

登山人生55年でこんな事態は初めて。

さて、解除までどうしよう??!!





4月22日(水)曇・16度

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月22日(水)06時15分48秒

つづき

- ・ 1033m峰に立った。ここから今回の山行のハイライト。
- ・ 849m峰まで複雑な尾根が続く。慎重に下降が始まった。しかし、結論からいうと今回の下降ルート選定は大誤りだった。

1. 上図、ピンク太字がGPS下降予定ルートだが、何故か最初から外れていた。
2. また、そもそも下降設定ルートが正しくなかった。ここは、2019/9に上っている。

その時のGPS軌跡は、ピンクより北のルート of 赤細線。

3. ピンク下降予定ルートを外れたが、一旦、ピンクルートに乗った。
この時点で左に沢状地形を確認している。
ここで沢の北の尾根に気が付けば問題なかった。
しかし、何故か右の尾根に向かってしまった。
右の尾根は目視ではハッキリした尾根だが、地図上では明確でない。
4. GPS軌跡を見ると、これは完全に「迷走」である。
また、下った尾根は、実際は明瞭な尾根だが、2万5千図ではハッキリ確認できない。
5. 正規ルートに戻るべく、荒れた沢を横断したが、非常に厳しく危険なものだった。
6. ・849m峰手前で、ようやく正規ルートに戻ったが、当たり前だが、やっぱり正規ルートは「安全・安心・安定」している。
正規ルートに戻らず、そのまま下降するかの考えもあったが、結果的には、戻って正解だった。また、ここまで突っ込む前、もう少し上部で戻るべきだった。（ただ、尾根が不明だった）
7. 2万5千図は、ある程度、拡大しないと明確に尾根など分らない。
8. I が今回地図読みに積極的でなかったが、（メガネが不調だった??）
万全の態勢で臨みたい。

つづく





4月21日(火)曇・14度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月21日(火)05時47分17秒

つづき

下っていくと少年が上ってきた。聞けば、両親と妹と来たという。西沢経由の結構大変な道を頑張って来たようだ。下に両親と妹がいた。その先の日当たりのよいベンチに単独行が昼食を摂っていた。結局、この日、人に会ったのは、7名だった。濃厚接触なし。

傍らに最近では珍しい「土管」が何故か転がっていた。「土管」は昔、東海自然歩道でよくみた。地中に埋めてあり、タバコの吸い殻など捨てていた。ただ、ゴミは回収されないので、いつも溢れていた。

最近では、全く見られなくなったが、何故ここに転がっていたのか。

一般道はコルから人工林の中を西沢に向かっていった。

我々は一般道を外れ、左手の急登に行く。

我々も腹が減った。昼食は展望の良い・1119m峰を予定していた。が、Kは善六のタワとっていたらしく、いつまでも昼食にならず、大いにクレームだった。

・1119m峰まで上り69mはキツかった。しかし、やっぱり上りきって良かった。燦燦と陽光が降り注ぎ暖かく、展望は素晴らしい。さっきまでいた畦ヶ丸が大きかった。

ここでゆっくり昼食。食後はあまりに気持ちがいいので、30分昼寝もした。これは珍しいことだ。

30分の昼寝で心身はリフレッシュ。午後の山行に移る。

まずは・1033m峰に向かう。

いい感じの尾根が続く。大きなブナが林立する。素晴らしい丹沢。

- ・1033m峰に立った。ここからが今回の山行のハイライト。
- ・849m峰まで複雑な続く。ルートを見極め慎重に下降を始めた。

つづく





4月20日(月)雨・15度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月20日(月)06時25分23秒

昨日は、

西丹沢・西沢～上権現山(1138m)～畦ヶ丸(1292m)～善六の
タワ～・1119m峰～・1033m～・849m～720m峰～西沢で
した。累計標高差=約935m、天気=晴れ、参加=3名。会った方=頂
上2名、下り=4(子供二人ずれの親子)+1名のみ。

世の中、コロナ・コロナですが、登山は別世界と考え実施。西丹沢自然教
室に着いたら、予想に反して、首都圏を中心に50台ほどの車にビックリ。
山の世界には、コロナは存在しないのか??

西沢を遡り、上権現山・東尾根に取りつく。頂上まで標高差約588m。厳しい上りだった。頂上から北の大室山（1587m）を仰ぐと、昨日、降ったと思われる、新雪が光っていた。

頂上から、西沢分岐まで108m下降。ただ、何故か分岐はパスしてしまった。

分岐を過ぎ、特徴的な地形で気が付いた。パスは以前もあった。ルートが変則的なのか。

分岐から畦ヶ丸まで標高差約277mの上りは厳しかった。花は、ミツバツツジも開花なしで、山桜が少しと、お山はまだまだ冬枯れ状態だった。モーレツな上りをこなし畦ヶ丸着。とても1300m程度の山と思えなかった。

頂上にアベックが2名、早くも昼食だった。バリエーションゆえ、思わぬ所か突然現れた、我々闖入者に少し驚いた様子。ただ、濃厚接触は避け
遠くから挨拶のみで、すぐ善六のタワ（たわみ・峠）に下った。

つづく





4月18日(土)雨・14度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月18日(土)05時45分25秒

昨日の

夕餉は、山菜パレードでした。

ワラビ採取は今回二回目。ちょっと高い所だったので少し早かった。大きいものだけいただいた。

タケノコは、前日報告のもの。アクが抜けて味付けをしていただいた。前回のものより美味しかった。あまり早い時期のものは成熟度が低いだろうか。

フキは、中伊豆の某所でいただいた。近年、フキも少なくなっかなか見つかからない。地主が作っているものも多く注意が必要。今回は、無断でなく許可をいただいて採取。フキは、サイコーに美味しい。

コゴミは、伊豆にもあった。普通、雪国・寒冷地が多い。伊豆ではなかなか見られない。コゴミの語源は、「屈み」からきている。独特の風味がある。お浸しもイイが、みそ汁もよろしい。

ほか、仲間はアケビの新芽をいただいている。これは以前、新潟で初めて食したが結構、行けます。

そんな訳で春は、嬉しい・楽しい・美味しいですね。



4月17日(金)曇・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月17日(金)08時10分57秒

昨日は、

某所で第二回「タケノコ掘り」でした。
小一時間ほどで、実質、二人で写真のような成果でした。

2～3日前、大雨だったので、掘りやすかったです。
道具は、スコップのみ。
大げさな道具は必要ない。

スコップでも、長くても10分あれば掘れる。
食べるのも嬉しいが、掘るのが楽しい。
うまく掘れたら、快哉です。

春は愉快的な季節ですね。





4月16日(木)晴・14度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月16日(木)06時05分18秒

14日、つづき

11:30、椿丸で昼食。このところ3回連続で昼食が12時を回っていた。やっぱり、昼食は12時前が望ましい。
県外登山の場合、登山口発9:00ころ。上り4Hだと、どうしても12時を回ってしまう。

長泉発6時の場合、朝食は4時半。12時を回ると「空腹登山」がつづく。あまりに空腹になると、本当に力が出ない。血糖値は落ちてフラフラだ。それにガツガツ食べると、体に良くない。食事は、ゆっくり・まったりいただきたい。

展望は素晴らしかった。左に大拇(1204m)、奥に菰釣山、その右に大室山の頂がちょこん。犬越路を経て、檜洞丸、さらに盟主・丹沢山が屏風のごとく連なっていた。

昼食時間は十分あったが、風が冷たかった。それでも(いやしく)ビア・ツー(2本)だった。つまみは春らしく、ウド・新タマ・タケノコ。仕上げは先日、同行者が「ぽつんと一軒家・静岡」のTVでやっていた黄色い黄金のお茶。

このお茶、何と50g=5000-!!!(1g=100-)という。そんなお茶飲める??でも、いただいた。確かに美味しかった。甘味・渋み・苦味がサイコーだった。若い男子のIは、全て食べてしまっ

た!!!
(笑い)

つづく



4月15日(水)晴・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月15日(水)06時32分3秒

裾野麗峰山の会

会報「れいほう」5月号を発刊しました。
ご覧下さい。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>

昔、労山の指導者で、波木井さん(??)という方がいた。
その方の理論は、理想的な山岳会は、
「決められた会合・定期的な会報発行・豊かな山行」と提唱
された。

会報は豊かな活動がないと発刊出来ない。豊かな活動は、しっかり
した会合がないと出来ない。会報はその結果で、会活動の証。
すべて連動しているといえる。





4月14日(火)晴・12度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月14日(火)06時27分36秒

つづき

大又沢をやりすごし、少し先のヘアピンカーブのカーブ・ミラーが椿丸・南尾根の取りつきだった。立派なふみ跡が伸びていた。多くの方が上っていると推察された。

例によって、最初から物凄い急登。綺麗な尾根が続いていた。山名になっている、やぶ椿が点在していた。丹沢は、「丸」の名称の山が多い。檜洞丸・畦ヶ丸・大丸など。「丸」は、「山」と同じ。ただ、「山」より響きはよい。

快適な尾根をグングン上る。藪はまったくくない。暑くて汗が噴き出る。上はアンダー・シャツ一枚になる。後方には、ミツバ岳がいい感じで上がってきた。

盛りは過ぎたミツマタが多かった。早くもミツバツツジが開花していた。ハルリンドウも小さな花をつけていた。陽光はサンサンと降り注ぎ、春爛漫だった。

椿丸が近づくと防火帯のような幅広登山道になった。北は自然林、南は人工林だった。人工林からの風は冷たい。ほどなく椿丸着。ネットでは、山名表示板があったが、見当たらなかった。表示板がない山は、名無しで何か寂しい。

椿丸は、標高902m。1000m以下だから、決して高い山でない。だが、行程が長いので2時間半かかった。北は大展望。南は自然林でサイコーの頂だった。大展望は伐採したからだった。ただ、人工林の

伐採でなく自然林の伐採だった。普通、考えられないが事実だった。

つづく



4月13日(月)嵐・13度

[返信・引用 編集](#)

土曜日は、

西丹沢・椿丸（902m）登山でした。コースは、世附（昔は、ゆずく・今は、よずく）浅瀬ゲート～大又沢～椿丸・南尾根～・862m峰～850m峰

～南尾根～旧山神峠～旧三保山荘～吊り橋～林道～浅瀬。

天気＝晴れ・上部風あり、累計標高差＝約672m、参加＝4名。

登山は55年、1862回だが、丹沢にこんなステキでロマンチックな山があったとは知らなかった。ただ、名称は2万5千図表記はない。あくまで、通称・ローカルネームである。

コロナ・コロナ・コロナで出かけるのは、不謹慎・非国民（古い??!!）と非難を受けそうだが、登山は「三密」でないし、散歩の延長と考え出発。むしろ、家に籠っているほうが、精神・肉体に悪い。

桜満開の丹沢湖を通過し浅瀬ゲート着。車は何故か多い。天気は良い。ゲート先に小屋がありオジサンが薪を割っていた。聞けば、オジサンは、釣り管理人で、入渓者を管理をしているという。

車が多かったのは、ほとんど釣り人だった。世附川の地図があって、どこの沢に何人入っているか表示されていた。これで、入渓者が重複することは避けられる。なかなかいい方式である。

若い衆が一人声を掛けてきた。聞けば、釣りでも登山でもなく「逍遥（しょうよう）」大又沢に昔あった、森林軌道跡を見に行くといった。釣り小屋のオジサンの話では、昔は浅瀬まで軌道があり、材木の集積場があったという。そういえば、玄倉川・小川谷にも軌道レールがあったなあ。

大又沢にかかる橋を渡る。ここに石碑がある。2万5千図に記載がある。大きいものと思ったら小さいものだった。読んだが分からない。一番上は梵字だが、以下は不明。ただ、小山町は読めた。この林道は、昔、山中湖に抜ける街道だった。その関係だろうね。

つづく



4月11日(土)晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月11日(土)05時06分29秒
タケノコ

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

シーズン。
元巡礼の仲間のところで掘らせて貰った。
例年、桜が満開のころがよろしい。

どうかと思って出かけたが、丁度、地表から頭が少し
出ているくらいでタイミングはよかった。

道具はスコップのみ。
周りを掘って、ある程度タケノコを露出させたら、曲がっている
背中をグサリ。

途中で折れると勿体ない。
根の部分のイガイガから掘り出したい。

結局、いいものを4本だった。先日、八百屋で同様のモノが
一本＝800円だった。
まだまだ、高い。

家に帰り、すぐアク抜き。翌日、いただいたが美味しかった。
タケノコは、何故か食べたい。すぐ早く食べたい。何故だろう。
不思議な味ですね。





4月10日(金)晴・15度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月10日(金)06時05分19秒

昨日は

富士霊園に桜を見に行った。
いま、盛り。
素晴らしかった。

車は下の駐車場に置いて、展望台まで歩いた。
ちょっと汗をかき、気持ちよかった。

人出は、それほど少なくなかった。

高齢者も多かった。

ただ、富士スピードウェイが近くで、バリバリ・ブウ〜ン、ブウ〜ンと排気音がうるさかった。

あれでは、埋葬者が安らかに眠れないね。



4月9日(木)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月9日(木)06時19分51秒

巡礼の

Nさんに、「真鯛」をいただいた。

大きさは約40cm、重さ2.2kgの丸々太った立派なもの。
この時期、「桜鯛」「花見鯛」とも呼ばれるようだ。色はさくら色、
ピンクで実に美しい。

2.2kgは大きく重い。冬の登山靴が片足1kgない。
両方持つとズッシリくる。それ以上だから、かなりの重量。

とても自分では下せないなので、近くの魚屋に頼んだ。
主人曰く、「買えば4000円」するといった。
ま、買うにしても、こんな大きなものは、なかなか売っていない。

夕方、魚屋に取りに行行って、いただいた。
美味しかった、甘かった、新鮮だった、シコシコ・コリコリだった。
Nさんの話では、「釣り上げて3~4日がサイコーに美味い」そうだ。

これはよく聞かれる話。置くことにより、タンパク質がアミノ酸
＝うまみ、に変わるという。ならば、明日・明後日がサイコーかも。

いずれにしても、「ありが鯛、ありが鯛」。ご馳走様でした。
合掌していただきました。





4月8日(水)晴・13度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月8日(水)05時46分53秒

今日は、

4月度・伊豆巡礼でしたが、コロナで中止・延期でした。
サークル活動は定年後、13年やっていますが、悪天候以外で休止は初めてです。

つづき

ただ、恒例の赤岳を上れなかったのは心残り。恒例＝高齢か??
上から数人下りて来た。中に「六本アイゼン」の輩がいた。
カチカチの雪面で腰が引けている。危険極まりない。

思わず「こんなアイゼンでは危険です」といってしまった。
本人もそれを承知していた。困ったものだ。

頂上下でシュカブラの「タテシナ・アイス」を頼張った。
なだらかになり、ゴロゴロ岩を越えて頂上着。
どこかのご婦人に集合写真を撮ってもらった。今回も12時を回ってしまった。
昼食を早く食べたいのですぐ下山。

頂上から西南に回り込むと、暴力的な風の洗礼。蓼科は強風で有名。
ゴロゴロ岩をこなし樹林帯に逃げる。下山道は、ガジガジの氷道だった。
今年の少雪を象徴していた。とにかく腹が減った。

今回で3回連続「空腹行脚」だ。やっぱり日帰りは時間が厳しい。
13:15、風を避け昼食。ビヤをやってホッと一息。
私が持参した「初物ワラビ」を皆でガツガツ食べた。

下山は、物凄い氷道だった。これが延々と続いた。
三角点の2114mで一旦、アイゼンを脱いだが、
その下で再び履いた。ただ、女性軍はノー・アイゼンでスイスイ。
ま、荷物が重いと氷道は厳しい。

無事、ススラン峠着。標高差の割に厳しい山だった。
温泉に入ろうと、「滝の湯」に入館したが、1400-+消費税でやめた。
すぐ下の、「小齊の湯」は、税込みで700-。座敷の休憩所利用可。
こちらに入った。少し塩分がある、サラサラの綺麗な温泉だった。

温泉後は、「長寿更科」で空腹を満たし、アルコールの消毒した。
諏訪の酒「高天」は美味しかったが、何故かうすい気がした。
疲れていると、案外、味覚が狂う。（疑似コロナ??）

八ッの雪山は今回で賞味期限が切れたか。今回も完全燃焼。満足いく山でした。

おわり



4月7日(火)晴・12度

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月7日(火)05時49分29秒

つづき

将軍平・蓼科山荘分岐の天祥寺平まで案外長い。天祥寺平から仰ぎ見る蓼科山は素晴らしい。ただ、蓼科山は樹林帯が八合辺りまで伸びているの

で、
雪化粧が見られず残念。分岐で休憩。空腹を感じたので腹を満たす。

K手製の「タイ焼き」をいただく。美味しかった。道標を左折して將軍平に向かう。

上りのトレースはなく、下りのトレースだった。樹林帯を黙々上る。雪は深くなく締まっているので歩き易い。途中、大きなガレ場を通過する。上から若い男性が下りて来た。随分、早い。

上りがキツくなった。今回の山は、全体で標高差が1000mない。天祥寺平から將軍平の標高差は400m。しかし、キツイ。やっぱり、3時起床、5時発が原因だろう。上れど上れど蓼科山荘は遠かった。背の低いブッシュがうるさかった。

ようやく蓼科山荘着。苦しい上りだった。休憩するが寒い。すぐ出発。山荘から踏み跡が多くなり、歩きやすくなった。上からド派手なファッション・モデルみたいな、ご婦人が下りてきた。

スタイルは良い。聞けば、白樺高原スキー場七合目から来たという。こちらは、標高差が700mと楽ちん。「上は風が強い。上っ張りを着たほうが良い」といった。

次第に展望が広がる。しかし、雲が多くスッキリしない。今年、権現岳・三ツ頭、横岳・杣添、硫黄岳、蓼科山とよく上って来た。

つづく





4月6日(月)曇・15度

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月6日(月)06時24分24秒

土曜日は
八ヶ岳・蓼科山(2531m)でした。

裾野麗峰山の会・山行報告書

文・写真 GT

山行NO. 1860

日時 2020/4/4(土)晴・上部強風

山域 ハツ・蓼科山(2530.7m)

コース 長泉5:00ー諏訪南ICーピラタス・スキー場(トイレ)ー
竜源橋下駐車場ー登山口発8:37ー蓼科山・將軍平分岐1
0:21ー蓼科荘11:52ー蓼科山12:41ー昼食13:
15~44ースズラン峠15:15ー登山口15:30

累計標高差 上り 竜源橋登山口約1650m~蓼科山2531m=約8
81m
下り 同上

快適度 (5段階評価) 4 (将軍平下やや藪うるさい)
参加者 後藤、加藤、星、井上=4名

久しぶりの蓼科詣で。長泉5:00発。富士ICでK、Hを拾う。
今回は、H、Iの上っていない蓼科山を選んだ。諏訪南ICからアプローチ。
途中、コンビニがなかったので、ピラタス・スキー場のトイレを借りた。
綺麗なウオシュレットで有難かった。

竜源橋下駐車場から出発。天気は良い。水源地脇から上ったが登山道でなかった。ビーナス・ラインを上り返し正規登山口から再出発。樹林帯で凍った道が続く。30分上ったところで、堪らずアイゼン装着。大きさを調整していなかったHのアイゼンがすぐ外れた。

アイゼンは入山前に調整していなかった。これは基本的でない。
いったん外して、ネジを緩め一目短くする。ところが、車に「ねじ回し」
を置いてあったが、持参しなかった。

困ったと思ったらKが「このシャレルのアイゼンは、ねじ回しが付いている」という。アイゼンは元々、御殿場のNから私が譲り受けたものをKに上げた。だけど、私はその「ねじ回し」は知らなかった。

確かにバンドを締めるリングの形状が、「ねじ回し」になっていた。
ひとつ勉強になった。一目詰めたら、ジャスト・フィット。
良かった。これはなかなか「おシャレ(ル)」だね。

前を三名歩いてきた。年配者の感じだったが、全員最近見られなくなった、「尻皮」を付けていた。これは、休憩時、雪の上に座るとき、お尻が冷えないようにするもの。カモシカの皮がサイコーらしいが、私は何となく「年より臭くて」イマイチ、シッコリこない。

つづく





4月3日(土)晴・14度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月3日(金)17時55分1秒
過日、

某所で「ワラビ狩り」でした。
今春、最初。
例年、この時期に訪れる。

結果、期待通りでした。
ま、今後はガンガン出るだろうが、やっぱり、初物は
いただきたい。

タケノコも期待したが、まだまだ、早いようだ。

タケノコも早く食べたい。
何故か、タケノコは美味しくて、やめられない・とまらない。

春はいいですね！！！！



4月3日(金)晴・13度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月3日(金)06時38分33秒

またまた、

一番恐れていたことが起こってしまった。長泉町の北欧帰りの
70歳代の女性の感染が判明した。

新聞によると、3月16日帰国。発熱の症状はなかったが、
23日から30日まで経過観察。しかし、27日ごろ発症が判明。
女性は近所の人に会うなどしているため、濃厚接触者の特定を行っている、
という。そんな折、山の仲間が「コロナに思う」の話を寄せてくれました。

新型コロナウイルスに思うこと・・・ あさぎり山の会 村上恵理

新型コロナウイルスが大騒ぎになっています。先日お店に植木用の霧吹き
を買いに行ったら、

携帯のアルコール除菌に使うとかで売り切れていました。

テレビの電源を入れると、さかんに手洗い、マスクの装着、アルコール消
毒を奨めています、

なりより重要なことは、それぞれが自分の“免疫力”を普段から高めておく
ことではないでしょうか？

あるサイトで、『首相官邸が発表している「新型コロナウイルスに備えて」
の中で、

一人ひとりができる新型コロナウイルス感染症対策として、十分な睡眠と
バランス

のよい食事を心がけて“免疫力”を高めることが重要である、と書かれてい
た』

という文章を見つけました。でも残念ながら、ニュースやマスコミの話題
には、

『免疫力』の部分はほとんどでてこないような気がします。

この騒ぎが始まったまだ早い段階で、関東で漢方薬剤師として活躍してい
る長谷川恵さんが、

タイムラインでこんなことをいっていたので紹介します。

※※※※※※※※※※※※※※

新型コロナウイルスが大騒ぎになっていますが、不安に怯えるより、知識
をもちましょう。

免疫力は心が30%、腸内環境が70%。コロナウイルスもインフルエンザウイ
ルスもウイルスは

弱いものです。菌より格段に弱い。飛沫感染で伝わりますが、温度や湿気
に弱いです。

また、ウイルスのタンパク質はとても壊れやすいです。閉鎖された環境ではなく、
風通しよく過ごしましょう。鼻や喉の粘膜を守り、身体の中は腸内細菌に守ってもらいます。
アルコール消毒や界面活性剤の石鹼もコロナウイルスを壊しますが、植物が持っている
栄養素のなかにも、ウイルスを包み、動きをとれなくしてくれるものがあります。
抗酸化作用をもつ食物も強い味方になります。
ウイルスを怖がるより、自分自身の免疫力を高めましょう。
100%防御できると安易な事は決して申し上げませんが人間の元気な体作りは、
3大栄養素、ビタミンミネラルなどの必須微量栄養素の底上げ、ライフスタイルの改善が
基本ベースです。環境が激変する中、日々私たちが日常でできることだと思えます。
予防や、大難が小難に転じることもできると思えます。
※※※※※※※※※※※※※※

これだけ大騒ぎになっている以上、それこそ安易なことは私も言えませんが、でも、
私たちの体はしばしば小宇宙にたとえられるほど、実に精巧な仕組みをもって作られているのです。

その力を信じ、自然の摂理に乗っ取った生き方をしていれば、恐れることはない、
そんな気がします。
それができていたなら、もしかしたら、「いつもより風邪がはやっているね」、
くらいのスタンスですんでいたかもしれませんね。

さて、皆さんは自分の免疫力をどうやって高めますか？

(注)タイムラインは一部抜粋、変更させていただきました)



4月2日(木)晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月2日(木)05時27分27秒

コロナ渦は、

[返信・引
用編集
済](#)

ついに私の行事に影響を及ぼした。

伊豆巡礼B班は年配者が多い。昨日、富士宮で感染者が出た。

10日、富士から参加の方が、即、反応した。

本人もさることながら、家族・親戚・知人などなど、反対者が多いようだ。静岡県東部もこの勢いで拡大すると最悪。ただ、感染者は、海外帰国者・病院関係が多い。その所は、抑えたいね。

話変わってダニー・ボーイの話。

確かに過去、ダニに2回やられた。頭が不調なのはあれからか??!!

ほかに、ハチ刺され被害もあった。2005年・奥秩父の和名倉沢に入った。午後、ザイルをつけ、トップで岩場のへつり（トラバース）にかかった。

30m進んだところでハチの襲来を受けた。岩場は曲がっていて確保者は見えない。加えて沢の音で声も届かない。ハチは、岩場で動きが取れない私をいのように襲った。

大きなハチではなかった。一般的に地ハチと呼ばれるものか。

ミツバチくらいだった。しかし、岩場で動きが取れない。

進もうにもザイルで確保され進めない。声も届かない。

後退も出来ない。ようするに、ハチにいのように刺された。

つづく





追伸

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月1日(水)06時19分27秒

下田・下田街道さま

投稿、ありがとうございました。
私も過去、2回やられました。

一度は、白神山地のヤブをトップで上っていた時。
数時間後、背中がチクチクする。
下着が肌から離れない。下着の上からダニが噛みついていた。
引っ張って除去した。

二回目は、伊豆の山。日曜日、やはりトップで上っていた。
水曜日になって背中がチクチクする。見たらダニが食いついていた。
引っ張って除去。

食われたのは、いずれもヤブ。
今回Sさまのようにザックからは経験がない。しかも本人でなく
家族の方とは意外ですね。

山で休憩時、ザックは草むらに置くことはしばしば。
今後、気を付けよう。ザックを家に持ち込むときは、念入りに
クリーニングを施しましょう。ワセリンは、いい方法ですね。

追伸 ダニに食われた私は、「ダニー・ボーイ」でした。
いやいや、今回は。「ダニー・ガール」でしたね。（笑い）





4月1日(水)雨・15度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月1日(水)05時51分43秒

[編集済](#)

4月です。

コロナが止まらない。
新しいウイルスは、免疫がないから蔓延するか。
それにしても、随分、簡単に広がる。

今週は、月曜日から「小豆島おへんろ」だったが、結局中止。
年配者が多く、家族・兄弟・親戚など、「やめろ、やめろ」の合唱。

伊豆巡礼も来週予定だが、どうなるか先が見えない。
換気・密閉状態・濃厚接触を避ければ、それほど問題はない
と思うが、実際は葬儀・卒業式・会食で感染が広がる。

天気も悪い。山・畑も行けない。プール・ジムもダメ。
家に体育館があればいいが、ストレスが溜まる。こんな時はどうする。
ま、普段できない、溜めている仕事をやるか。

倉庫の断捨離・パソコン掃除・山道具手入れ・山の研究などなど。
ただ元々、マグロ人間で動かないとダメタイプ。ある程度は体を
動かしたいね。



3月31日(火)曇・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月31日(火)08時51分28秒

3月が終了です。早い。

志村けんの急逝は、ショックでした。
人間てこんなに簡単に死んじゃうものか??

やっぱり、芸能人は、睡眠・運動不足は否めないか。
相当、体は酷使していたんだろう。

写真は、うちのラブ子の散歩です。
老犬で長時間は無理ですが、短時間ならOKです。
人間と同じで、散歩は、気持ち良いようです。



3月30日(月)曇・11度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月30日(月)06時35分23秒

土日は

悪天候で、行事・山行はすべて中止。
たまにはこんなこともある。

昨日は、午後から晴れたので、荷物12kgを背負って
沼津・角池までウォーキング。

普通に歩いて一時間ちょっと掛かる。
角池は、土曜日「お花見」を計画していた。
しかし、桜はパラパラで、これからだった。

コロナにめげず、散歩者は多かった。
野外活動は、問題ないだろう。
このままでは、コロナ・コロナで太陽もかすむ。

ただ、感染経路が不明は怖い。どのようなことでしょうかね。





3月28日(土)雨・16度

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月28日(土)05時02分5秒

つづき

伊東漁港前を通過する。

第一回・伊豆ウオーキングは、2018年4月25日。

出発地の汐吹崎が近くなった。

第一回の当日午前は、物凄い暴風雨で皆さん、ズブレになった。

道路は氾濫し靴はグジャグジャだった。

ただ、私は「長靴」履いてきたのでれなかった。(ゴメンなさい)

R135を離れ旧道に入る。やっと静かになった。

海がキレイ。手石島が見える。

ここは潮が大きいと、小規模の「トンボロ」が出来る。

将来は、大きくなるかも知れない。

汐吹崎手前で天城の向こうに富士山頂が見えた。

懐かしい汐吹崎着。「汐吹現象」が見えるらしいが、この日は波が静かすぎた。

諦めバスで伊豆高原に向かう。桜並木の「ソメイヨシノ」は、殆ど咲いていなかった。

めげずに「さくらの里」に上る。ところがどうだろう、さくらの里は、

様々な桜が満開状態だった。良かった。天気は良く風はない。

ここで「お花見」を敢行。

サイコーのお花見だった。コロナなど何処かに飛んでしまった。

Kが中心になり、女子が作ってくれた「とん汁」は、具沢山で美味しい美味しい。

これだけでお腹が一杯になる。

「ゆっくり・のんびり・グビグビ・ゴロゴロ・まったりまったり」して終了。

バスで赤沢温泉郷に向かい温泉。

久しぶりに快哉を叫ぶ、完全燃焼のウォークでした。

おわり





3月27日(金)曇・14度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月27日(金)04時55分1秒

つづき

網代のR135沿いの街道を歩く。干物屋は、宇佐美に向かい右に多い。以前来た時、美味しそうなイカがズラリ干してあった。余りの見事さに「凄いですね」と聞けば、実は「プラスチック製のイカ」だった。

その時、「イカくち」と飛ばれる、イカの干物を買った。これは美味しかった。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/index9.html>

ところが、今回なかった。店の主人に聞けば、「イカが獲れない」だった。温暖化で海水温が上がったためらしい。イワシもしかり。温暖化の影響は大きい。仕方がないので、「真イカの炙り焼き」を買った。650ーとやや高かった。

網代～宇佐美間は、先月、東浦路を歩いているので省略。バスに乗る。海岸線は意外と長い。宇佐美で降りて再びウオーキング。宇佐美の海岸はキレイ。丁度、潮が引いてイイ感じ。途中、小川がある。何故かアルミ梯子があり、梯子を伝わり渡った。

伊東のマリン・タウンに寄る。案内係の男性がすつとんで来たがトイレだけで残念。コロナ減客で手持ちぶさたのようだ。

つづく





3月26日(木)晴・13度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月26日(木)06時10分0秒

昨日は

3月度・伊豆ウォーキングでした。コースは、多賀・長浜公園～網代～バス～宇佐美～伊東～汐吹公園～バス～伊豆高原・桜の里お花見。天気＝晴れ・風なし、歩数＝19000、距離＝12km、参加＝19名。

2月最終の多賀・長浜公園から出発。熱海のAさんが初参加で合流。労山の「山筋ゴーゴー体操」をサポートのKが指導し心身をほぐした。

朝の気持ち良い冷気の中、海沿いをウォーキング。風がなく静かな海が広がる。砂浜がサクサクと足裏に優しい。犬を二匹連れた男性年配者がいた。犬はノー・ロープ。誰かが「あの犬は幸せだ」といった。

街道に「秋葉山・石灯籠(いしどうろう)」があった。網代に入った。マリーナに桜が咲いていた。午後は、伊豆高原・桜の里でお花見予定。咲いているかな??

海岸の釣り船屋さんにババさまが座っていた。聞けば「船は今朝6時ころ出た」という。何が釣れるに「底もの」といった。網代駅前に来た。朝のウォーク予定はここまでだが、網代の干物屋をひやかしに行く。

つづく



3月25日(水)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月25日(水)04時45分55秒

つづき

車が滑落し始めた。

私はこの経験は人生初めてだった。冬山を始めて50年以上。数多くの雪道を走ってきたが、もらい事故はあっても、あたえた事故はなかった。

四駆にスタッドレスに絶対的自信はあった。しかし、その確信は崩れた。滑り始めて後車に当たるまで、時間にして5秒くらいだったか。距離は10~15mくらい。

滑落方向を定めるべく窓から後方を確認したら、すぐ後ろに車がいた。前述、横浜のTさんだった。すぐ後ろに車がいるとは、予想だにできなかった。

しかし、もし後車がなく滑ったら、ひょっとして林道から転落したかも。

ある意味、後車がストッパーになったかもしれない。5秒間で車をなるべく

フロント正面に当たらないように右にもっていこうとハンドルを切ったが思うようにならなかった。

一番幸いだったのは、Tさんほかの方が、車から離れていたことだ。

もし仮に、かがんでチェーンを巻いていたりしたら、人身事故は避けられなかった。

お金で済むことならなんとかなる。

人を傷つけたらそうはいかない。Tさんらに大きな損害・迷惑・負担をかけて

誠に申し訳なかった。Tさんは「事故はお互い様」の姿勢で事故を受け入れ、許してくれた。本当に有難かった。

そして、事故は不幸であったが、結果は「すべて不幸中の幸い」だったと感じた。

つづく



3月24日(火)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月24日(火)06時36分27秒

つづき

駐車してある車をやりすぎし、急坂にかかった。
やや右にカーブし上っている。
道路はカチカチの氷道。しかし、過去ここで問題はなかった。

ただ、今回は余りに氷道でちょっと様相が違った。
後で聞いた話では、このような条件の場合、わだちを外して
走るのが正解という。しかし、現実的にそれは難しい。

それとスピードをつけて一気に上ることもコツという。
後で考えたら、今回は慎重すぎてスピード不足だった。

右にハンドルを切って上っていったら、最初のスリップ。
この時点では、まだ、滑落はしていない。
車は上れなかったが、止まっていた。

私は前方に夢中で気が付かなかったが、この時点で後方下部に
後続車が来て止まっていたと思われる。後で分かったが、直下の後続車は、
横浜のTさんだった。

もう一度、アクセルを踏んだ。四駆だが全輪スリップで上れない。
やはり加速が必要だった。その瞬間、車が滑り出した。ブレーキは
踏んだまま。次第に加速がつく。恐怖の瞬間だった。

つづく



3月23日(月)曇・15度

[返信・引用](#)
[編集](#)

土曜日は

八ヶ岳・硫黄岳（2760m）でした。コースは、赤岳山荘～北沢～赤岳鉱泉～硫黄岳往復。天気＝晴れ・強風。参加＝5名。登頂は3名。

赤岳山荘から出発。連休で登山者は多い。今年は山雪型でアプローチの美濃戸から赤岳山荘までの林道は、ガチガチの氷道だった。林道は過去何回も通っていた。

いつもここは杞憂。里雪型で積雪が多い時はいいが、積雪が少なく氷が多い時はスリッパが嫌らしい。美濃戸から最初の下りは問題なかったが少し滑った。上れなかった軽が帰って来た。

以後順調だった。上るにつれ氷が酷くなった。もうじき赤岳山荘に着く急坂の下の林道脇の空き地に何故か3台車が駐車してあった。「なんだろう??」「連休で赤岳山荘の駐車場が満杯で下に置いたんだろう」と思った。

しかし、この観察は大きな間違いだった。結果的にこの判断が最悪だった。

つづく





やられました

[返信・引用](#)

投稿者: 鈴木 投稿日: 2020年3月19日(木)23時28分34秒

たぶん昨日のことだと思いますが、松崎町の宝蔵院への参詣古道を歩いている時、沢で滑って尻餅をついてしまいました。リュックを背負っていたので、その底に泥がつきました。

帰宅してうっかり室内にそのリュックを持ち込んだのですが、今日になって、愚妻の腕に虫さされが発覚。

次いで次女の足の小指と薬指の間にこいつが食いついていました。

ネットで調べると、「ダニにたっぷりワセリンを塗って30分置くと自分から離れるから、頭から引き抜くと良い。」と出ました。

その通りにやってみたら、幸いなことにダニは取れました。

油断大敵！ 山から帰ったら着衣等に気をつけないといけませんね。
不適切な投稿でしたら削除してください。





3月19日(木)晴・12度

[返信・引用](#)

投稿者: たかちゃん 投稿日: 2020年3月18日(水)17時08分7秒

[編集済](#)

今、

新タマネギがサイコーの美味しい。
毎日、食べている。
今日も食べるべく、スーパーに買いに行った。

ところが、新タマの棚は売り切れで空だった。
「ったく〜」と思ったが、そういえば、畑の新タマがボチボチ
収穫を思い出した。

スーパーは、畑に行く往路だから、そのまま畑に行った。
新タマの苗は昨年、11月20日に仕込んだ。
あれから約4ヶ月、食べられるのが2ヶあった。

皮を剥くと真っ白でキレイ。まるで〇〇の如し。
皿にレタスを敷いて、タマネギを乗せる、その上に短冊切り
のネギをたっぷり。

このサラダは、全て自家製・無農薬。
サイコーに美味しい。今日もビアがすすみました。



3月18日(水)晴・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月18日(水)06時34分52秒

コロナ

は、終息が見えない。

4月初旬に小豆島おへんろを予定しているが、香川でも、とうとう発症者が出た。

実行するか、延期するか今週中に決定しなければならない。
難しい選択だ。比較的若い方はそれほどの心配はないが、年配者は心が揺れる。

そもそも、ここ13年、つまり退職後、風邪はひいていない。
「よく食べ・よく動き・よく寝る」が肝心だろうが、ま、多忙な方はそれが出来にくい。
加えて、手洗い・うがい・水分補給が肝心。(アルコール消毒も
ほどほどに(´艸`)要は免疫力を高めること。

長泉でも稲荷さんの祭典が中止。区の総会は延期。
町サークル活動も中止。生協の会議室使用がしばらくダメ等、
枚挙にいとまがない。

あまり過剰反応で神経質になるのもおかしい。何でもかんでもダメ・
中止・延期では、は正に「日本沈没」する。
密閉された人込みは避ける・換気の励行など守れば十分対応出来る。

皆で頑張っって乗り切りたいものである。





3月17日(火)晴・10度

[返信・引
用 編集
済](#)

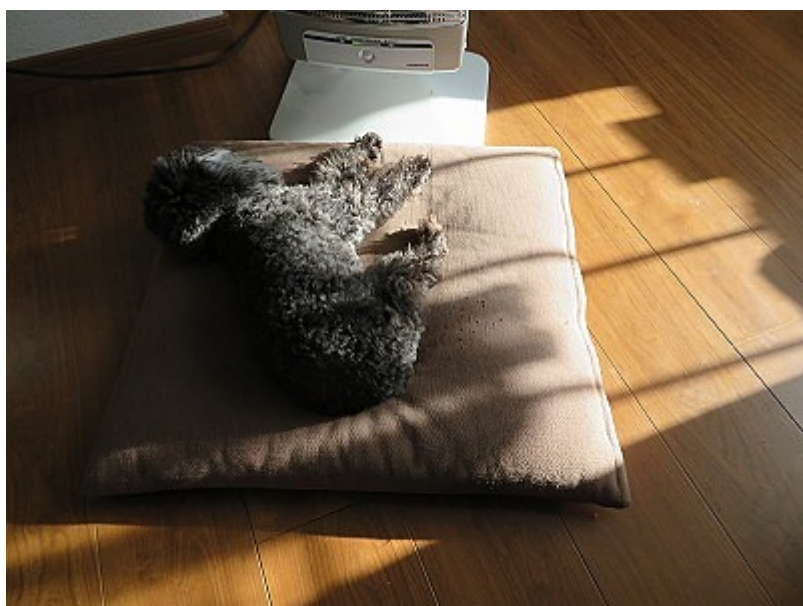
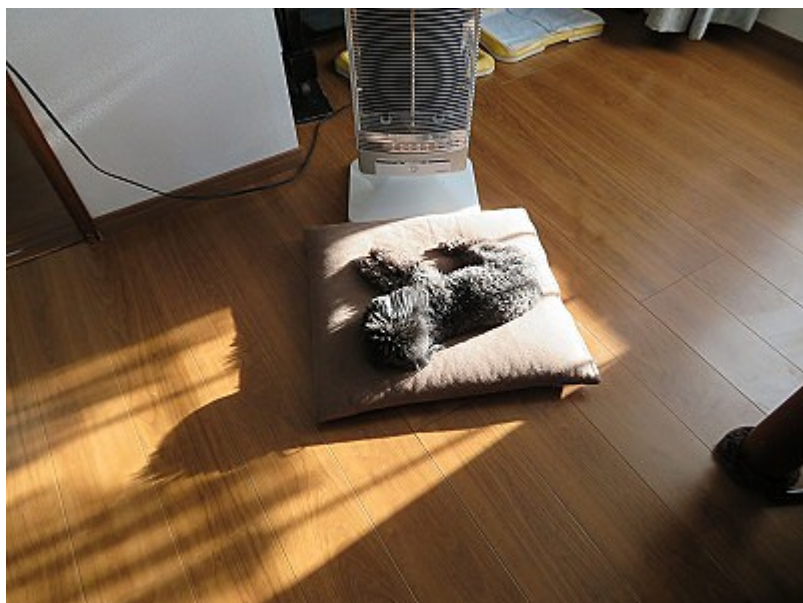
投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月17日(火)06時50分6秒

うちの

愛犬・ラブです。
トイ・プードル。
13歳。人間なら70くらい。

最近は寝ている時間が多い。
特に食事後は、ストーブの前で至福の時間。

犬が安気なら、人間も幸せですね。



3月16日(月)晴・9度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月16日(月)06時16分17秒

13日、つづき

伊浜集落を通過し上って行く。左手に普照寺が見えた。
住職が迎えてくれた。感じの良い方。本堂は高台にあるので眺めがよい。
この位置なら、津波は心配なさそう。

本堂は響きがよく、気持ちが良いお経だった、
終了後、住職の話聞く。本尊の観音菩薩は、奈良時代の793年、
海に流れていたものを漁師が引き上げたという。

漁師の末裔は、今でも正月三が日に集まり、お祝いをしているという。
しかし、今から1200年前、今でもかなり辺鄙なこの地に、何人かの
住民がいたのだろうか。疑問に思った。

今回はここで終了。ただ、R136まで上がっておかないと、次回大変
なので最後の踏ん張り。標高差は約100m。皆さん頑張った。ゲスト
の30代のM君は、ここでだいぶ参ったようだ。それでもバスには乗らな
かった。

波勝崎入口まで上り終了。今日も完全燃焼でした。





3月15日(日)曇・14度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月15日(日)05時53分17秒

昨日

今日は、悪天候で山は中止。学習・計画に没頭。
最近、CDはあまり買わない。かわりに、ユーチューブのJAZZ
を聞いている。

若くフレッシュなアーティストが多く刺激的。
ただ、パソコンの音源は冴えないので、BOSEのコンポにつないだ。
いい音だ。低音がいい。

連結コードは、ノジマで2070-+243-だった。店員の瞳美さんが親切だった。(´艸`)

今はいい時代だ。ネットで簡単に音楽が楽しめる。昔は、「すみや」に通い、洋盤を輸入してまで入手したものだ。今でも二階の納戸にJAZZのLPは200枚ある。

分厚いブルーノートのLPは、ずっしりと重い。レコード溝が目視できるくらい。もう一度、プレーヤーでLPを回したいものである。





3月13日(金)晴・11度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月13日(金)06時11分56秒

つづき

常石寺で昼食。日当たりが良く暖かく快適だった。何故か住職が鐘を何度も鳴らしてくれた。最後は住職を囲んで記念撮影。ババさまが、夏ミカンのお土産をくれた。

寺を下り、このあたりの地名にもなっている「蛇石」を見に行く。青野川の対岸に大きく長い石が蛇のように見える。見学後、午後の巡礼。平戸集落を通り峠を越えて伊浜に向かう。

R136を横断して海拔0mに急下降。途中、日当たりの良いところに「ワラビ」が数本顔を出していた。下るほどに風が強くなる。海は白波を立てて、あまり見たことがないような荒れ模様だった。皆さん、夢中でシャッターを切った。

伊浜は100戸ほどの集落。20歳のころ会社の先輩のSさんがここの出身で、伊豆一周のサイクリング時、一晩世話になった。ただ、家がどの辺りか、どうしても分からなかった。狭い路地を自転車を引っ張った記憶はあるのですが・・・。

つづく



3月12日(木)晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月12日(木)05時47分46秒

昨日は

3月度・伊豆巡礼でした。巡路は、妻良、60番・善福寺～子浦、70番・金泉寺～蛇石、69番・常石寺～伊浜、71番・普照寺～R136。天気＝快晴・強風、歩数＝3万、距離＝約18km、参加＝16名。

前回最終の妻良・善福寺から出発。海岸沿いのR136はモーレツな風が吹く。時々、よろけながら小浦を目指す。70番・金泉寺着。檀家の御朱印係が来ない。

外でお勤め。最初3・11犠牲者・被災者の黙とう。お勤めが終了間際、檀家の方が来られた。子浦から標高160mの峠を越えて、蛇石に向かう。途中、道端の地蔵を掃除する子浦のご婦人2人がいた。子育て地蔵といった。しばし談笑。有難いことである。昨日は風があり気温は比較的低かったなので、快適に上れた。

途中、車で散歩??の松崎町の「変な外人(フランス人)」に会う。巡礼が珍しいのか、スマホで動画を撮影していた。蛇石の途中、2年前になかった素敵な「ホワイト・ハウス」を見た。娘さんの家らしいが、お母さんが庭掃除をしていた。2年来ないと情景は変わる。

69番・常石寺着。鈴木住職は昭和7年生まれ。今年88歳。2010年、初めてお会いして10年経った。ちょっとお歳をめされた。般若心経が後半、飛んでいた。

つづく





3月11日(水)晴・16度

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

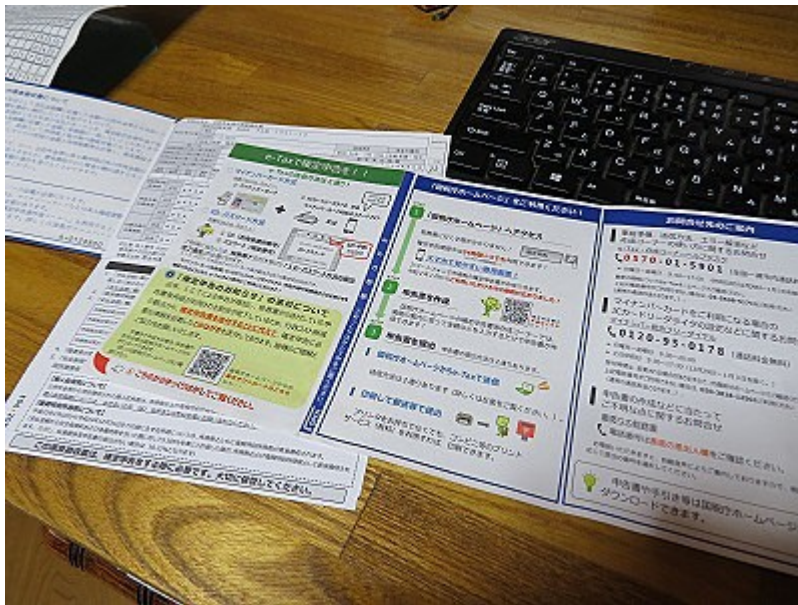
投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月10日(火)15時01分4秒

収入は

年金しかないが、確定申告に行ってきた。
これは、定年からずっとやっている。
最初のころは、ずいぶん返って来た。

結果、
一ぱい飲める程度、還付金があった。
ま、庶民のささやかな「よろこび」か。

元々は、自分のお金ですが・・・。



3月10日(火)雨・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月10日(火)07時00分41秒

つづき

P1350mから右折して、千本桜コースに向かう。
尾根手前は岩場だったので右手に巻いた。尾根に出たが女子班がいない。
携帯で待つように指示。別々に上っては意味がない。
尾根はイイ感じが続いた。冬枯れの尾根は快適。登山者は皆無。

急登を喘ぐと防火帯コースに合流。ここまで来れば頂上は近い。
上部は氷が溶けたようで、地面が濡れていた。
しかし、時間は既に12時近い。全員、空腹で空腹で参った。
長泉発の30分とアプローチトラブル30分が大きかった。

あと1時間あれば余裕だったのに。最悪の空腹だったが、
先は長いので茅ヶ岳は写真撮影のみで金ヶ岳に向かう。
頂上の方は疎らだった。土曜なのにコロナの影響か。

北面は雪・氷が少しあった。慎重に下る。
最低コルから少し上ると「石門」があった。
記念撮影。金ヶ岳はとても無理なので、「石門」上で風を避けながら昼食。
こんな空腹は近年珍しい。

ガツガツ飲み食いでお腹がおかしくなってしまった。
昼食中に男子が2名下りて来た。

つづく





3月9日(月)晴・11度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月9日(月)05時46分30秒

つづき

久しぶりに茅ヶ岳に向かう。茅ヶ岳は「深田久弥急逝の山」として有名。深田急逝の地は女岩コース上部。今回は、明野から千本松登山道を上るので、そちらには行かない。

千本松コースは歩いたことがないので楽しみ。かつ、下部はバリエーションを狙った。キャンプ場から林道を出発。右折して千本松コースに向かう。バリは林道末端から上る。更に末端前からショートカットでも上れる。

ただ、急峻な山腹を上げるので男子3名は敬遠。女子2名のみ向かった。元気がいい。末端からは問題なかった。乾ききった尾根は綺麗だった。南面故雪はない。落ち葉がガサガサ。茅ヶ岳は落ち葉が有名。

尾根は物凄い上りだった。訓練でフル装備なので荷物が重い。汗が噴き出る。塩分が濃厚な汗だった。ようやく1350mのピーク着。ここから穏やかな上り。ホッと一息した。

つづく



3月8日(日)雨・13度

[返信・引用](#)

投稿者: たかちゃん 投稿日: 2020年3月8日(日)07時10分23秒

[編集済](#)

昨日は

山梨・茅ヶ岳（最高峰・金ヶ岳＝1764m）登山でした。
コースは、明野キャンプ場・登山口～大明神登山道・1404m
西尾根～大明神登山道～茅ヶ岳（1704m）～金ヶ岳～明野登山道
～キャンプ場。標高差＝704m＋164m（868m）、天気＝晴・風あり、
参加＝5名。

つづく





3月7日(土)晴・10度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月7日(土)04時33分5秒

[編集済](#)

今日は、茅ヶ岳登山です。

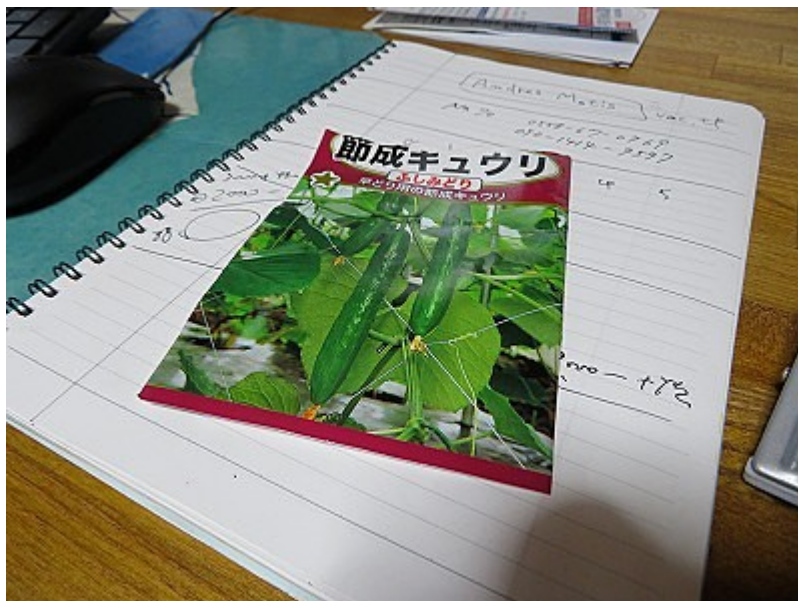
昨日、キュウリの種を蒔いた。

「早どり」の種。

通常は3月末。

袋の説明は、3月頭でOK。

結果が楽しみです。





3月6日(金)晴・10度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月6日(金)06時05分17秒

[編集済](#)

コロナ

コロナ・コロナである。

昨日、友人から聞いた話では、毎年、春分の日前後に行われる、長泉町の稲荷神社の祭典が中止という。

また、3月末から4月頭に多い、区の総会も中止・延期という。異常事態である。

幸い静岡県東部では、今のところ発症はない。

昨日、ジャンボエンチョーに行ったが、何か閑散としていた。見たい映画もあるが、密閉された人混みは避けたい。

山はどうか。空気はいいし人は少ない。そもそも山屋は、肺年齢が若いのではないか。毎週毎週、ゼイゼイ・ハーハーで鍛えている。

山屋にコロナは無縁でしょう。



3月5日(木)曇・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月5日(木)05時57分46秒

今日も

気温は高め。畑は花盛り。今、ブロッコリーが美味しい。

2分茹でて、「辛し和え」がイイ。
茹で過ぎると、柔らかくて旨くない。やや、固めがポイント。

ジャガイモは、地割れしているが、まだ芽は出ない。
例年、出るまで一か月掛かる。サトイモは、まだまだ。

レタスもイイ。スーパーのものと、やっぱり味が違う。
ここまで半年かかる。冬物は成長がゆっくり。





3月4日(水)晴・15度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月4日(水)07時06分22秒

先週は、

週中に伊豆ウオーク、日曜日に県連総会があり
登山が出来なかった。

ほぼ、毎週登山をしているので、行かないと体調・精神??に良くない。
そんな訳で、昨日は好天に誘われ、二つ塚に向かった。
ただ同日同会、ハイキング志向者の「まったりハイキング」が、
焼津・静岡間の満観峰であった。

そちらにも行けないことはなかったが、ま、ペースが違うので忍従を強い
られる。上りは、まあまあなのだが、下りは、特に遅い。
数回参加したが結局、「待っていない」「後ろを見ない」「わがまま」と
責められる。ちょっと、辛いシーンだ。

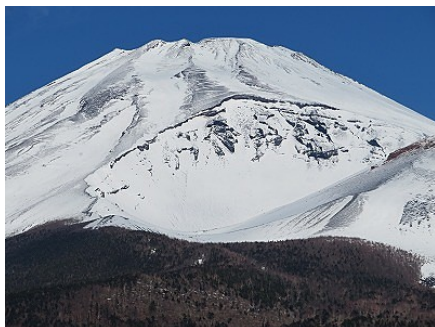
登山で難しいのは、ペースだ。各々のペースがベスト。遅い人は遅いのが
いい。速い人は、速いのがいい。他人に合わせるのは難しく大変。人数が
多いと特に難しい。

私自身も、最近は若い方が速いのでペース作りが難しい。
私の場合、往復登山なら、若く速い方には、先に行ってもらおう。
若い方が、遅い年寄りに合わせさせるのは気の毒。

そんな訳で、今日は一人登山だった。駐車場に車は4台あったが、

会ったのは2名のみ。平日ではこんなものだろう。
雪・氷は、先週と違い二つ塚までゼロ。

ただ、先週上った南面を俯瞰すると、雪・氷がベッタリ。本来、
東面に多いはずだが、自然は分からなく不思議。
サクッと上り、サッサと下り、午後から畑仕事でした。



3月3日(火)晴・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月3日(火)04時36分48秒

先日、

サヤエンドウ（スナックエンドウ）を収穫した。
うるう日だが、2月は初めて。例年は、3月末だから、一か月早い。

五月豆も花が満開。ブロッコリーは、パンク寸前。
野菜価格は暴落。

今年は、確かにおかしいね。





3月2日(月)雨・14度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月2日(月)06時24分14秒

昨日は

第53回・静岡県勤労者山岳連盟総会が、静岡・長田生涯学習センターで行われました。

時間は、10:00～16:00。参加は約60名。

午前は、理事長挨拶、県連の歌、会長挨拶、来賓挨拶、活動報告、会計報告、その後、討論・採決。

午後は、浦添全国連盟理事長の「労山趣意書」の話。方針案・予算案の討議・採決、役員選出、栄誉功労者選出でした。

天気が良かっただけに、山に行きたいところでしたが、ま、一年一回の総会は、それなりに有意義でした。





2月29日(土)曇・16度

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月29日(土)06時16分16秒

つづき

「はしり湯」から、熱海～湯河原間のR135に上り返す。
なかなかキツイ。海岸線の「熱海ビーチライン」は、有料道路
で歩行は禁止。

お宮の松に向かう。親水公園は、なかなかいいところ。
熱海は相当、お金を使っている様子。ヨットハーバーは、
今まで見たことがないような、凄いヨットが数多く並んでいた。
世の中、お金持ちは多いようだ。

「大寒桜」が満開。ただ、この桜は色がやや薄いので、派手さはない。昼食時間なので場所を探すに適地がない。

結局、バスで錦ヶ浦に移動して車内でいただいた。外は景色が素晴らしいところだが、風が強く冷たかった。昼食後は、再び親水公園に戻り、午後のウォーキング。

錦ヶ浦から先は、道路と歩道が狭く危険極まりない。日本の道路事情（行政）は、歩くとよく分かる。ゆっくり静かに歩ける旧道を歩きたいが、そこに渡る横断歩道がない。オリンピック投資の少し回せば解決できる歩道なしの道路、などなど。

錦ヶ浦先は、歩道があり余裕をもって歩けた。錦ヶ浦は、いずれトンネルを掘るしかない。午後は14:30、多賀まで歩いた。皆さんは今日も頑張った。

距離はそれほど多くはないが、上り下りが多かった。でも、完全燃焼。満足のウォークでした。





2月28日(金)晴・10度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月28日(金)06時18分11秒

昨日、畑に行ったら、五月豆の花が満開、
サヤエンドウの実がたわわ。驚いた！！

つづき

ハッキリしない天気の下、網代峠を後にする。
西行か東行かだが、迷わず東行。
出るところは網代駅で同じだが、西行は、別荘道路が
錯綜しルートが難しい。

ただ、東行はスッキリしている分、急激に下っている。
物凄い急下降で膝がおかしくなる。また所々、苔むして
いるので要注意。

無事、R135に出てバスに乗り、伊豆山神社に向かう。
本来、流れは伊豆山から網代峠に向かうが、峠道は2時間
掛かり、途中で時間切れはまずいので先に歩いた。

般若院でトイレを済まし、神社に向かう。神社は長い階段が有名。
最下段から837段といわれる。般若院からは、途中入場だから
そんなにはない。

境内に綺麗な鯉がいた。パンを上げたが、ガツガツしていない。

上品??!! お参りをして記念写真を撮って下山。「はしり湯」に向かう。長い階段を下る。「はしり湯」は凄い。洞窟の奥の湧湯場からゴンゴンと熱湯が湧き出ている。さながら温泉地獄の様相。

入り口には、学生が休んでいた。聞けば、「春休みで来た」そうだ。

つづく



2月27日(木)曇・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月27日(木)06時46分8秒

昨日は

2月度・伊豆一周ウォーキングでした。
コースは、網代・東浦路～網代峠～宇麻美～バス～
熱海・般若院～伊豆山神社～はしり湯～親水公園～
錦ヶ浦～多賀。歩数=27000、距離=17.5km。
天気=曇、参加=14名。

朝から天気がハッキリしない。気温も低い。寝坊・免許証
紛失などで参加者が少ない。

はじめに、網代～宇佐美間の古道「東浦路」を歩く。網代駅
から入口の看板がなくわかり難い。

ただ前日、伊東市観光課に連絡し、山道入口に看板を付けるよう
頼んだ。係りの若い方は「今日、付けに行きます」と約束した。
実際行ってみると、確かに看板はあった。しかし、下から見えない
方向だったので、ちょっと工夫が足りなかった。

湿っぽい山道を上る。よく踏まれているので、歩き難くはない。
山中に「コンコンコン」の音が響く。竹を叩くような音。
お寺の水琴窟と思ったが、移動しているので、鳥だろうか。

辺りは、キリシオンみたいな感じで、湿気が多いが、風は案外冷たい。
道々、様々な遺跡がある。
吉田松陰が座った岩・U字状歩道・法界萬霊塔・馬頭観音などなど。
おおむね、文化・文政のころのもので、約200年前。

上り切れば網代峠。昔は、ここに大島茶屋があったそう。名前は、
ここから大島が見えたから??!!

つづく





2月26日(水)曇・12度

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月25日(火)17時33分6秒

この時期

「イルカ肉」が出回っている。
欧米人が聞いたら、目をむくかもしれない。
ただ、私たちは、子供のころから食べていた。

あの独特の風味が郷愁をよぶ。
冬は特に美味しい。野菜をたくさん入れる。特に大根がいい。
昔は、伊豆産もあったかもしれないが、現在は三陸産が多い。

結局、四パック購入した。前は血合いが多かったが、最近はすでに処理してあるのか、強烈さは弱くなった。それでも、食べると、半日は口の周りが臭い。

若い女性は、食べれないかもね！！
でも、やっぱり、美味しい。止められませんね！！



2月25日(火)晴・11度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月25日(火)06時28分52秒

つづく

相変わらずの氷道をガシガシ上る。
でも、深いラッセルよりはいい。
私より一回り若い衆??!!にトップを任せる。
荷物が軽いせいか、スイスイ上っていく。

御殿庭についた。雪が多いので印象が違う。
仰ぎ見る、富士山が素晴らしい。
強風で生き物のような、雪煙がポンポン上がっている。
恐らく、風速は、50mくらいあるかも。

通常、ここから2352m峰を上る。標高差は200m。
時間は30分ほど。しかし、今回は止めた。強風とアイスバーン。
仲間が作った「誕生日祝いの横断幕」で記念写真を撮って下山。

すぐ下の風がないところで昼食。ビアをいただいた。ポケットで
温めたのが、ちょうど良かった。焼いた餅がサイコーの味だった。
午後はブラブラ下る。

下から一人上って来た。御殿庭まで行くようだ。雪道の下山は楽だ。
グングン下る。幕岩でアイゼンを脱ぐ。この下も周遊道まで草付きで
膝に優しい。

冬枯れに陽光が注ぎ美しい。今回も、いい山でした。





2月24日(月)晴・9度

[返信・引
用編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月24日(月)06時43分13秒

昨日は

富士山・御殿庭でした。コースは、幕岩沢（仮称）周遊道橋～幕岩～宝永山南沢（仮称）～御殿庭。天気＝快晴・強風、標高差＝809m、参加＝5名。

当初、22日に茅ヶ岳だったが、雨で中止。代替えは、23日だったが、23日は富士山の日。なら、富士山にしようになった。

周遊道の橋から出発。天気は良いが上空は風がゴーゴー鳴っている。

幕岩から一般道でなく、宝永山から南に下る沢を詰める。ところが、前回スキー時同様、ガジガジの氷道が続く。

ツルツル・スベスベ、苦闘が続いたが、30分後、堪らなくアイゼンを装着。以後、スイスイ。御殿庭に続く尾根に取りつく。この辺りは、雪が多くいい感じ。青空・雪・岳樺・富士山が眩しい。

早くも上から誰か下って来た。中年男性一名だった。聞けば、横浜から来たという。「早いですね〜」に、水ヶ塚を6時ころ出たという。では、横浜は一体何時だったのだろうか？

つづく





2月22日(土)雨・11度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月22日(土)05時32分8秒

つづき

釜トンネルを抜けると、上高地トンネルがある。以前はなかった。こちらは590m。短いので明るいのに、何故か灯りが点いている。むしろ釜トンネルに明かりが欲しいのに。おかしい。

トンネルを抜けた所でアイゼンを装着。「おいらく山の会」の方と会話。県連のネームプレートで静岡と分かったらしい。

先の林道はガジガジの氷道。降雪が少ないので、氷が発達している。氷道をガシガシ行く。程なく私の左アイゼンの止め金が外れてアイゼンがブラブラになった。止め金は探してもなかったので、しばらく片足で上った。その後、Kが片足を貸してくれた。

大正池に到着。穂高はガスで見えない。写真を撮る。林道を降りて、池沿いの散策路を進む。トレースがあって歩き易い。

梓川の堤防を歩く。途中、田代橋がある。冬季用トイレがあった。有難い。橋から対岸も行けるが、そのまま前進。梓川に向こうの穂高連峰が見え隠れ。

前穂は見たが、奥穂はなかなか出ない。少し晴れている間、写真撮影。梓川の河原に降りるのにラッセルが深く難儀。

つづく



2月21日(金)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月21日(金)05時52分27秒

Iハイキングクラブの

Kさんが亡くなった。73歳、私と同級だった。
Kさんとは、40年前、M労山で一緒だったが、
その後、Iハイクに入った。

独身で孤独死だった。山仲間のNさんが、
偶然(?)訪ねたら、新聞がたまっていた。
新聞は、一週間分だった。新聞配達は、不審に思わなかったのか。

以前は、三島のヤキトリ屋でよく飲んだ。「GちゃんGちゃん」と
何かと気を使ってくれた。明るい、いい方だった。
最後にあったのは、Iハイク30周年だった。

元気なころは、東海自然歩道を完歩した。
三島の合唱団でも活躍した。
仲間が逝くのは残念。今日、三島で葬儀が行われる。合掌。





2月20日(木)晴・13度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月20日(木)06時51分50秒

つづき

林道の雪は、確かに少なかった。
乗鞍岳入り口手前右の滝は例年、凍っているが今回はガンガン
流れていた。

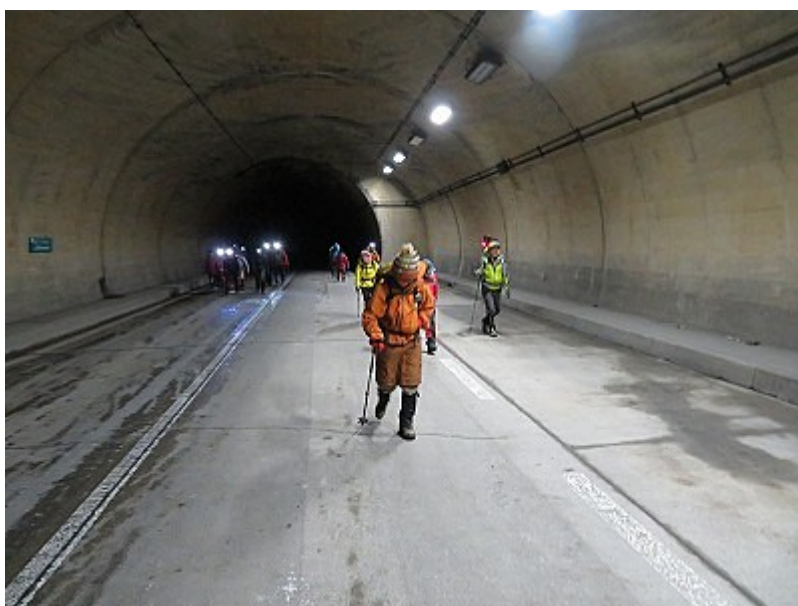
中の湯は久しぶりだった。裏山の雪は、マアマアの感じだった。
夕食は6時からだから、それまでゆっくり過ごした。
ここの温泉は、やっぱり素晴らしい。雨で露天から穂高が見えず残念。

翌日、雨は止んでいた。食堂から青空が見えた。雨でなければ良い。宿のバスで釜トンネルまで送って貰う。「おいらく山の会」の人たち9名も一緒だった。バスに食堂の出前箱があったので運転手に聞いたら、「釜トンで番をしている方の朝食」といった。

釜トンネルは、全長1310mある。傾斜が強く、上りは息が切れる。電灯が点いていないので真っ暗。ヘッドランプがないと歩けない。でも、今は歩きやすい。昔は湧水があったので、冬は凍って怖かった。

そもそも、昔（1984年当時）は、上高地に入るのに沢渡から歩いた。釜トンまで約7km。標高差は300m強。そこを冬山の重荷30kgで行き1日目のテント泊は横尾だった。それに比べれば、今は楽だった。

そんなことを思い出しながら、上って行った。





2月18日(水)晴・7度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月19日(水)06時33分27秒

つづき

立派な休憩建屋があったので、昼食を食べた。託児所もあった。しかも、ほとんど来訪者がいないこの冬で、係員が詰めていた。松本市は財政的豊かのだろうか。

芥子望主山を後にする。梓川を渡り、下道で「カモシカ・スポーツ」に向かう。店は最近、経営改革で店長のYさんが代わった。

Yさんは現在、何故か居酒屋をやっている。店名は「酒と雪」。酒と山が好きな名前だ。場所は、松本城南の「華のうら町・夢屋台・はしご横丁」。いかにも、のん兵衛が集まりそうな所。一度は訪れてみたいものだ。

店では、Sさんがローバの登山靴を買った。前回、といっても十数年前、(2006年秋)だが、やはりここで革登山靴を購入した。その靴が、大分傷んだので、今回新調したわけ。正価格は、31000-だったが、型がやや古いせいか、ちょっと安くなっていた。

買い物が終了後は、上高地・中の湯に向かった。ただ、この厳冬期で外は雨だった。過去、冬山で何回か雨に降られたことはある。しかし、それは本当に

タマで、今年のように継続的・何回も・しょちゅうは珍しい。

おかげで、露天風呂で寒くて仕方がなかった。



2月16日(火)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月18日(火)06時08分5秒

16～17日は、

松本・アルプス公園、釜トンネル～上高地でした。

16日、雨の中、松本の芥子望主山（けしぼうずやま・892m）を目指した。

本来は、芥子坊主山だが、2万5千図は、望主山の表記。

梓川SICで降りて、松本トンネルを潜り山に向かう。
ところが、芥子望主山は、登山口がハッキリせず、道路が山頂付近まで上がり、ガッカリしてしまった。

代わりに、芥子望主から続く、アルプス公園に向かった。
アルプス公園最高峰は、標高743mで松本盆地の向こうに雄大なアルプスが望める。

長い階段を上り、公園内を散策。公園は広大な敷地で、人工の川や池、滑り台、休憩舎、ポニー、ヤギ、桜並木とか、家族・子供向けの公園だった。桜が咲くころは、素晴らしいところになるだろう。

つづく





2月16日(日)晴・10度

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月16日(日)04時27分9秒

山の会

会報「れいほう」3月号が出来ました。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-59.pdf>

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>

御覧ください。

2月15日(土)晴・13・度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月15日(土)06時21分48秒

2月12日のつづき

モンテ・ローザ小屋で待っていたMMは下山しなかった。
一気にビアの酔いは飛んだ。
小屋から上り返し、分かれた地点を中心に搜索。

頂上から降りてきた、MT、Nも加わった。YとNはモンテ・ローザ氷河を探した。MTと私は、いったん小屋に下り、最悪の場合を考えへりを飛ばす段取りをした。

そして再び上り返したら、上からN、MMが下りてきた。
行方不明だったMMは、モンテ・ローザから降りてきて、左に行くところを右に行き、氷河に迷い込んだようだ。

迷ったと思ったら、パニックに陥り、頭が混乱し、ますます分からなくなったようだ。原因と思われたのは、
1. 極度に疲れて判断が定かでなかった。2. 暗い中での出発で下部の地形を把握していなかった。3. 予定変更で地図がなかった。など。

いずれにしても、最大の原因は、一人にしてしまったこと・単独行動をとらせてしまったこと。「だろう、たぶん、おそらく」などの思い込みはあってはならない。

山での単独行動は、事故につながるケースが多い。





2月14日(金)晴・13度

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月14日(金)06時15分37秒

つづき

東林寺境内で昼食。天気は良く温かい。午後は小さな峠を二つ越えて一色集落に向かう。峠周辺は、桜が満開で静かで美しいところ。

ここを通るのは5～6回目だが田んぼが、どんどん減っている。殆ど休耕田で草ボウボウ。ある意味、限界集落といえるかも。ただ、不思議なことに、バスが一日一便ある。

法泉寺着。道路から階段を少し上る。ここも無住職。寺の管理は集落の方が交代で務めている。今回は五ヶ寺訪ねるが四ヶ寺無住職。将来どうなるか心配である。

寺を下りて妻良（めら）トンネルを潜り、妻良・善福寺着。住職は女性。ご本尊の大日如来は平安時代の立派なものらしいが、ご開帳が60年に一回。2～3年前、ご開帳があったので、もう生きているうちに見られない。今回は、ここで終了。桜が見事な巡礼でした。





2月13日(木)雨・14度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月13日(木)06時51分51秒

昨日は

2月度・伊豆巡礼でした。

巡路は、65番・最福寺～67番・安楽寺～68番・東林寺～61番・法泉寺～60番・善福寺。天気＝晴、参加＝15名、歩数＝25000、距離＝15km。

1月度は雨中止だった。バスは12月最終の最福寺に向かう。途中、青野川の桜が満開なので、菜の花畑で降りて、青野川堤防を歩く。

素晴らしい桜。すでに葉も少し出ている。遅いくらいだった。道の駅で再びバスに乗り、最福寺から巡礼開始。一つ目の岩殿寺まで1.5km。天気は良く温かい。

寺は無住職。次の安楽寺に向かう。途中、休耕田でヤギを数頭飼っていた。飼い主がいたので聞けば、「畑などの雑草を食べさせる」といった。以前は乳を搾ったそうだ。ただ、ヤギ乳を飲んだ経験者は「青臭くて(草)飲めなかった」そうだ。

安楽寺も無住職。本堂がカビ臭いので、窓を開けて空気を入れ替え。次の東林寺に進む。この辺りは、同じ伊豆でも、めったに訪れることがない所。近くに立派な「三島神社」があった。「島」が「嶋」でなかつ

た。

東林寺も無住職。人口減・過疎・高齢化の象徴である。

つづく



2月12日(水)晴・11度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月11日(火)17時34分18秒

つづき

パーティーが、バラけてアクシデントになったことがある。
幾つかあるが一番は、1991年8月、ヨーロッパ・アルプス遠征
の時だった。

モンブブラン(4810m)を上り、モンテ・ローザ(4634m)に移動。
登頂し3名で下山にかかった。YとMと私。Mは女性。
モンテ・ローザは、小屋から標高差が1800mある厳しい山。

3名でモンテ・ローザ氷河舌端に下って来た。Mは相当疲れていた。
舌端から岩稜が始まり、眼下にモンテ・ローザヒュッテが見える。
天気は快晴無風。ヒュッテまで、ゆっくりでも1時間程度。

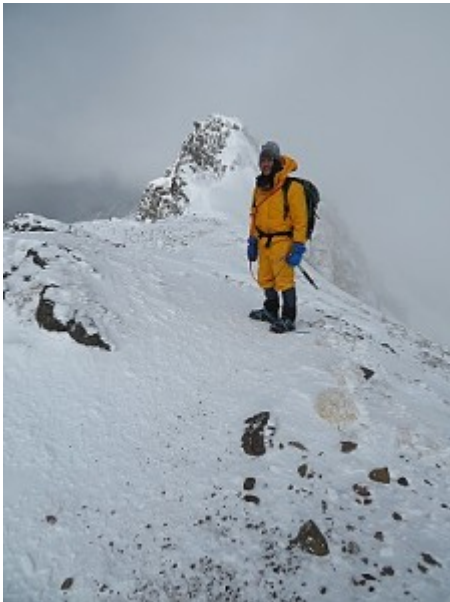
過大に疲れていたMは、Yと私に「先に行ってください」といった。
真下にヒュッテは見える。天気も良い。時間もまだ早く、他の
下山者もいる、で、Mを一人にして、Yと私はヒュッテに下った。

ヒュッテに着き、テラスでビアをやった。美味かった。気分はサイコー
だった。二杯目を飲むころ、ぼちぼち下山してくるはずのMは来ない。
変だな～、そんなに時間が掛かる訳でもないのに・・・。
いつしか、「変だな～」は、「これはおかしいゾ」になっていた。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/1-17.pdf>

つづく





2月11日(火)晴・7度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月11日(火)06時23分27秒
つづき

氷道をガシガシ上っていく。
途中まで、別荘の二人も上ってきた。
どん詰まりで登山道に入る。

頭上に八ヶ岳が広がった。
いつもの橋を渡る。橋の積雪量で山の雪量が分かる。
橋から急登になる。ただ、雪が多いから歩き易い。
雪が少ない時は、根っこ・石が出ていて歩き難い。

前に大きな荷物の方がいた。聞けば、縦走でなく横岳が目的。
ただ、日帰りではなく、テン泊希望とのこと。年齢は60歳。
私と干支が同じかと思ったら、一歳下の「ネズミ」といった。

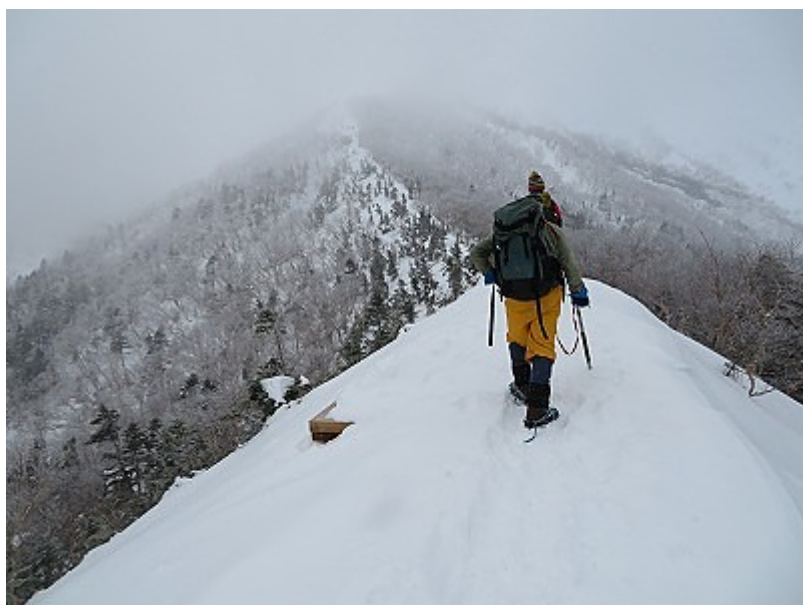
森林限界に達した。山はガスに覆われていた。八ヶ岳は好天が多く
景色が見えないことは少ない。ここからの景色を初見のI君に見せたかっ
た
が残念。雪稜を上っていく。ガスが濃くて雪面の凹凸が分かり辛い。

先日の富士山スキーもそうだった。年齢を重ね視力低下もあるかも。
凹凸がハッキリしないとバランスが悪くなる。何となく「フラフラ感」
が否めない。若い衆は、そうでもなさそうだ。

三叉峰（さんじゃほう）の上りにかかる。杣添尾根は、ここがポイント。
雪が深いので、途中からIにトップを任せた。ガスはますます濃く、上り
難い。ここでKMが遅れた。

三叉峰を上り切り、縦走路に飛び出た。KMが遅かった。二人上って来たが
KMでなかった。KMは冬二回ここを上っているが、やっぱり一人はマズイ。
かと言って、寒いここで待ってる訳にもいかない。
Iは、横岳未登頂なので私が付いていく。KMはKTに頼んだ。KTは快諾して
くれた。

つづく





2月10日(月)晴・9度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月10日(月)06時22分48秒

つづき

八ヶ岳・横岳(2829m) 杣添(そまぞえ)尾根は、
2013年から毎年冬に上っている。標高差は、1142m。

上り約4H、下り約2, 5Hでちょうど良い。
ルートはそれ程難しくなく、手軽・手頃。かつ、西面の混雑がなく、
静かな登山が楽しめる。

今回の参加は4名。70代2名、60代1名、50代1名。
会としては、揃ったメンバーだった。近年、冬山志向者が

減っている中、うれしい限りである。

海ノ口登山口7：40発。天気はやや悪く、八ヶ岳は黒雲に覆われていた。雪は暖冬の割に多かった。南岸低気圧が多いのが理由だ。

登山口に脇の別荘の方がいて交流。比較的若い方だったが、ずいぶん立派な別荘だった。来訪時は入口の門柱に表札がわりの大きな横看板を掛けるそうだ。

冬はマイナス15度くらいになるという。来訪時は、あらかじめ管理人に連絡をして暖房を入れてもらう。別荘全体に暖房が届くに24時間かかるそうだ。

管理人は、そのような希望者の鍵を持参しているそうだ。勿論、サービスは有料。防犯・見回り・除雪代等、年間、なにがしかの管理費は掛かる訳。

雨でガチガチに凍った道路を、最初からアイゼンを履いて出発。ガジガジは、先日の富士山同様、ここも同じだった。

つづく





2月9日(日)晴・14度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月9日(日)05時42分53秒

昨日は

八ヶ岳・横岳杣添尾根でした。

写真集

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-54.pdf>

写真館

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page178-13.html>



2月7日(金)晴・7度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月7日(金)06時16分46秒

つづき

Iは、座って昼食。私は歩いて、スキーを探しに行く。
幕岩沢（仮称）に沿って搜索。沢も凍っていた。樹木がないので
引っかかりません。

下から二名、男女がシールで上って来た。二合目から幕岩経由だったのか。
あそこをシールで来るのは大変だ。もしかしたら、スキーを目撃したかも
知れない。会ったら聞こうと思った。

沢を十分ほど下ると、沢が左に曲がっていた。曲がった先に赤いスキーが
あった。幕岩を落ちなくて良かった。何よりも人に当たらずに幸いだった。
落下してくるスキーは凶器になる。

以前、冬赤岳を上った時、上の登山者がザックの横に入れたペットボトル
を落とした。雪面を猛スピードで落下し、下にいた私の頭をかすめて飛ん
でいった。あれがまともに当たったら大きな怪我をするだろう。微妙な所
では、滑落の可能性もある。

高速道路の落下物と同じで、非常に危険である。落とし主は、聾啞の方で
話がなかなか出来なく苦労した。夏山なら問題は小さいが、冬山の落下物
は絶対ダメだ。

スキーを背負って上り返した。Iは昼食中。Iが持参したビアをポット蓋に
一杯貰った。美味しかった。再び上り返す。振り返ると、東西に伸びた
「凍雲（とううん・いてぐも）」と愛鷹山が見事だった。

再び上塚コルに立った。上塚は上らず、ここから滑降した。

写真館・・・越後駒=<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-50.pdf>



2月6日(木)晴・9度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月6日(木)06時02分41秒

つづき

ようやく、上塚コルに着いた。
相方のIは、だいぶ苦勞したようだ。

気を取り直して、コルから幕岩から伸びる沢に滑り込む。
このコースは、眼下に愛鷹連峰が横たわり、駿河湾が広がり
伊豆半島が一望できる。以前、雑誌「岳人」に写真を掲載
した素晴らしいところ。

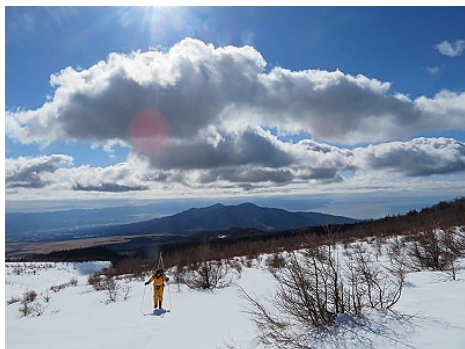
ところが南面だから、雪は緩んでいると思ったが、まったく
ダメだった。半分ほど滑ったが、良くならないので諦めて
昼食とした。

スキー板を脱ごうと、ビンディングから靴を外した。瞬間、
私は「アッ」と声を上げた。この場合、普通は靴を外した瞬間、
ビンディング下に二本のツノが下がって雪面に刺さり、スキーが
流れないようにになっている。

しかし、今回は何故かツノが出なかった。スキーは、まるで意思がある
生き物のように、(蛇のように)クネクネと氷面を滑っていった。相方
は、「ああああ、止まらん止まらん」と叫ぶ。私は、とにかく流れる方向
を凝視していた。

こんなことは、長いスキー人生で初めてのことに。下手をしたら、幕岩(大
きな
滝)下までいくかもと覚悟した。
つづく

写真館の写真=<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-40.pdf>





2月5日(水)晴・8度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月5日(水)05時30分52秒

つづき

雪は薄いですが、カチカチに凍っているため、ラッセルは不要です。スキーを履いても変わらないので、背負って行く。

6時過ぎ出発。天気は良かった。富士山が大きい。風はない。森林限界を抜けると、丁度、朝日が箱根山を越えて、富士山をピンクに染めた。早朝のしかも、刹那の瞬間。

御殿場口の杭に沿って上る。旧測候所建物跡まで、案外長い。左手の上塚（1929m）を越える。途中でアイゼンを履いた。

やっぱり履くと楽である。単独行に抜かされた。

測候所跡に着いた。雪はますます硬くなった。しかも、例の流水溝も顕著。これでは、いくら上ってもスキーにならないので、少しでも日当たりが良い、南面に方向転換。上塚の幕岩上を目指して大トラバース（横断）。

ガジガジの斜面を滑る。が、エッジを立てるに、足の片筋肉を極端に使うので、足はガクガクだった。

写真を楽しむ、新しいサイト「写真集」を掲載しました。

赤岳～阿弥陀岳 <http://susono-reihou.babyblue.jp/01-45.pdf>

つづく





2月4日(火)晴・10度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月3日(月)15時36分17秒

去年の

富士山・初スキーは、3月17日、一昨年は、2月3日、9日。
今年は、2月1日だから、今年が特に遅いわけでもなかった。
やっぱり、富士山は、こんなものだろう。

かつて年内に宝永山で滑ったことがあったが、最近では、夢の夢。
今回は、どうにか雪はあった。洞門と呼ばれる、雪崩除けのトンネル
から、雪は続いていた。

ただ、雪質がいつもと違った。雨が降って、それが凍って、カチカチの
アイスバーン。その上、流れた雨が溝を作り、雪がフラットでない。
これでは、スキーは難儀である。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/506.pdf>

この流水溝は、登山では問題ないが、スキーの場合、最悪。
2015年3月、八方尾根で、今回より酷い、流水溝を経験したが、
半端でなかった。
この流水溝は、多くの場合、暖冬にでき易い。

つづく



2月3日(月)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月3日(月)05時51分41秒

土曜日は

富士山・山岳スキーでした。

雪は下からありました。

が、先日の雨で全面カチカチのアイスバーン。

加えて、雨溝で、スキーにならなかったです。(´;ω;`)マーク

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-37.pdf>

つづく





2月1日(土)晴・12度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月31日(金)17時00分33秒

つづき

待っていても、なかなか、当選切手は来ない。
Wに聞いたら、「あら、ハガキがない」だった。
あちこち探したがない。

この場合、考えられるのが、

1. 何処かに、紛れ込んでいる。
2. 郵便局に交換に行った時、紛失した。
3. 封書が一通あったので、間違っ一緒にポストに入れてしまった。

皆さんは、何が一番可能性があると思いますか??
やっぱり、一番、考えられるのが、3だろう。

翌日、郵便屋さんが来た。わざわざ、玄関に来て届けてくれた。
恐らく一番、怪訝に思ったのは、郵便配達の方だろう。
なんといっても、ハガキには、届いた日付を私が、1/1とか書いてあるわけだから。

そのハガキを、また再配達するのは、「なんじゃこりゃ」でしょう。
でも、まあ、高齢化社会で、こんなこともある、と思っているかもしれない。

という訳でしたが、無事切手を入手出来ました。今回の切手は、デザインが
斬新で素晴らしいものでした。よかったよかった。(´艸`)

ま、いろいろ、ありますね～！！（退屈はしないか??）



1月31日(金)晴・13度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月30日(木)17時21分18秒

年賀状の

楽しみは、もちろん、賀状をいただいて、疎遠の方との情報交換・交流がある。

それと、お年玉年賀はがきの場合、抽選があつて「切手」当選が楽しみ。

この切手は、販売していないから、当選しない限り入手出来ない。
(ネット販売はあるかも)だから、とても貴重品といえる。
今年は、出したのが約100、返信が(なぜか)約80ほど。

で、切手当選は2枚だった。以前、150枚くらいでゼロもあった。
ま、だいたい毎年このくらいと思う。
結婚して、40年以上なるが、毎年、下手な版画で出している。

それと、当選切手をセットでアルバムにしたため残してある。
ま、自己満の「大いなる遺産」だろう。

はがきを調べたら、2枚当たっていた。(出してくれた方、ありがとう)
ぼちぼち、切手を交換と思って、玄関の下駄ばきの上に、はがき置いていた。

我が家は、郵便物はそのように置き誰かが、ついでに投函・交換する。
2~3日して、はがきがないので、wが持って行ったと思ひ安気にまっていた
のだが・・・。

つづく(日記は、時々、前夜書く場合があります)





1月30日(木)晴・15度

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月30日(木)06時56分25秒

暖かい、暖かすぎる。

昨日は、陽気に誘われて、畑の畝作り。

3月初めの、ジャガイモ・サトイモの支度だ。

この作業は、適当にやればそれほどではないが、真面目にやると結構大変。

まず、大体の畝を作る。大体できたら真ん中に大きな溝を作る。

溝に肥料を仕込むが、浅いとイモに直接かかるので、深くしなければ

ならない。ま、せっかく作った大体の畝はここで壊れる。

肥料を仕込んだら埋め戻す、戻して再び畝を構築。だんだん、腰が痛くなる。畝が出来たら、マルチ（黒ビニール）をかけて固定する。このマルチの出来具合で、耕作者の力が分かる。

上手な方は、ピッチリ張れる。へボは、しわだらけ。山のテントと同じだ。マルチを張ったら、30cm間隔で7~8cmの穴を明けてイモを植え込む。

これが一連の作業である。これを七畝くらいやるから、腰は堪らない。農作業は過酷ですね。（`艸`）





1月29日(水)曇・13度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年 1月29日(水)06時31分8秒

我が家の

愛犬「ラブ」です。

13歳で人間でいうと68歳くらいです。

老犬なので、猫みたいに、寝ていることが多いです。

散歩も長時間は出来なくなった。

ただ、食事の要求は五月蠅い。

でも、まあ、いないと寂しいし、可愛がっています。



1月28日(火)雨・12度

[返信・引用](#)
[編集](#)

伊豆ウオーク・つづき

昼食後、御浜岬を一周。

まずは、西にある灯台を目指す。

最近、灯台も古いものは撤去されているようだ。

あまり大きなものではないが、使っているだろうか？

記念写真を撮って、さらに岬の先端に進む。

御浜岬は不思議な岬だ。

大瀬崎のように、駿河湾の荒波を防ぐような形で北に伸びている。

このおかげで、戸田漁港は守られている。

また、松・柏槇（びやくしん）の巨木が点在する。幅が100mほどの岬で海が近いのだが、よくこれだけ植物が育つか不思議である。

東には、大きな「諸口神社（もろくち）」があった。赤い鳥居の間に、達磨山が見えた。起源は古いようだ。浜に台風で打ち上げられた木材が山になっていた。撤去は、時間とお金が掛かる。

午後は、午前終了地までバスで行き、再び開始。ただ、私は足裏が痛いので

バスに乗った。講座は十数年やっているが、バスは二回目。一回は、スキー

でふくらはぎ肉離れだった。

ゾロゾロ県道を歩く皆さんを見ながらバスで戸田漁港まで行った。本日は、ここで終了。戸田・道の駅に寄って、足湯に入ったが、ぬるくてイマイチだった。

おわり



1月27日(月)曇・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月27日(月)05時51分33秒

土曜日は

山岳スキーで富士山でした。
が、あっと驚く、雪がない!!!

先日、下界は冷たい雨だったので、雪に期待した。
しかし、ニッ塚・上塚でも、スキーが出来るほどなかった。

上塚は、約2000m。下界が7度なら上界は-5度。
この温度なら、当然、雪が期待できるが、実際はそうでなかった。

雪がなければ仕方がない、歩きで上塚まで上りました。
途中で東京のY会のYさんに会った。
Yさんもスキー目的で来たが、やっぱり雪がなく、歩きで来た。
今年は残念だ。何とかして下さ~い!!!

注=Y会は、山好会。Yさんの話では、「好」をバラさないで下さい
とのこと。バラすと、「山女子会」になってしまうから。(´艸`)





1月24日(金)曇・14度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月24日(金)05時54分43秒

つづき

舟山から上りが続く。海岸線は急激な崖が続き、道路は作れない。ショートカットの歩道があると有り難いが。舟山の以前、五月蠅かった犬はもういなかった。

坂道を行くと途中、戸田に向かう峠道がある。巡礼で使っている道だ。おそらく昔、県道ができる前は、舟山から歩けたと思うが、今はその痕跡はみられない。

途中に「碧の丘」があった。舟山・戸田方面を一望できる展望台。
依然として風はなく温かい。明日は悪天候予報。崩れる前は、静かな
ことが多いものだ。

上りって、御浜岬に下りる。しかし、途中11:30になったので、
バスに乗って向かった。岬の公園で昼食。相変わらず、風は全くない。
新年でサポーターが、ころもくしの「おしるこ」を作ってくれた。

昼食後のデザートには、サイコーの味でした。

つづく





[返信・引
用 編集
済](#)

1月23日(木)雨・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月23日(木)06時03分31秒

昨日は、

2月度・伊豆ウオークでした。コースは、小土肥～舟山～御浜岬～戸田港。歩数＝30000、距離＝18km。天気＝曇～晴。参加＝16名。

朝方、雲が厚く、天気はハッキリしなかった。ただ、寒くはなかった。土肥に着いて、まずは、丸山城址に「土肥桜」を見に行く。昨年もこの時期、見事な桜を見たが、今回も満開で素晴らしかった。

次は土肥に戻り、萬福寺で見学。ここも満開状態で美しい。メジロがやってきて、花蜜をついばんでいた。皆さんの意見は、「昨年より良かった。イイですね～」でした。早朝だったが、ほかの見学者もゾロゾロやってくる。小土肥に向かい、ここからウオーキング。

上りで暑く、すぐ上着を脱いだ。県道R17出て更に進む。県道だが比較的交通量が少なく有難い。右手の山に「西伊豆歩道」があるが、年末山行で痛めた、私の足がイマイチで止めた。

土肥・戸田境のリサイクル・センターで休憩。まったく風がなく、温かい。なおも県道を進む。今回はおおむね舗装道で足への負担が大きい。

以前、咲いていた舟山の桜は、チラホラだった。土肥町で土肥桜を、この街道にもっと増やせば、観光に役立つと思ったが・・・。

つづく



1月21日(火)晴・13度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月21日(火)06時34分12秒

つづき

下山は楽だった。特に急な山ほど下りは楽だ。
また、下りは上りの印象とずいぶん違う。
当たり前だが上りは、振り返ることもないし、ほとんど下を見ている。

前三ツ頭か綺麗な尾根が続いていた。正面に常に富士山が見えていた。
風がないところで昼食。体が限界でたべものを吐きそうになってしまった。
完全に体は「いかまって」いた。

今回の不調の原因は、別にもあった。

1月4日、高松山ハイキング時、朝、林道を上っていたら左足裏に痛みが
走った。捻挫とかではない。下山時も痛かった。

その後、富士山ハイキング

が続き、今回の登山。上りでずっと痛く、力が入らなかった。途中敗退は
「クセ」になるから、兎に角、三ツ頭まで頑張った。

ネットを見たら足裏には筋があり、過労・加齢等で炎症を起こす
「足底けん膜炎（足底筋膜炎）」病気があるとあった。

実は以前もなったことがある。44年前、北海道を2週間歩いた。
最終日、石狩岳の帰路、長い林道を歩いたら、同じような現象になった。
しばらく、不自由な思いをした記憶がある。

つづく





1月19日(日)晴・12度

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月18日(土)18時17分46秒

つづき

結局、長泉発は5:00だった。入山前夜はおおむね眠れない。八ヶ岳横断道路の天女山ゲート着7:30だった。この時間は、前回の2014年と同じだから、三ツ頭に12時前に到着すれば、権現岳往復は十分可能である。

しかし、今年は、やっぱり雪が少なかった。雪山でアイゼン歩行の場合、雪が少ないと歩き難いものである。そして、決定的に睡眠不足だった。パワーが出ない。力が出なかった。

前は前三ツ頭着が10:42。今回は、遥か下で11:02だった。前回、三ツ頭着は、11:40。正午前だった。今回は、12:49で1時間遅れ。体は、バテバテ・ヘロヘロ・グチャグチャだった。

三ツ頭下で下ってきた、笛吹市のオジサンに会った。我々より2時間早い5時半に出たという。一人で三ツ頭までラッセルをしたという。手製の長いストックを持っていた。長すぎて使い難いような感じもしたが、意外と便利のようだ。年齢は私より少し若かった。

前回より1時間遅れ。これでは権現岳往復は難しい。ただ、不思議なことに
年末山行でバテバテ・ヘロヘロだった相方は、今回絶好調だった。しかし、それでも標高差約1210mを上ってきた。ま、いいじゃないか。いいでしょう。今回も目標の頂は落とせなかった。

つづく（この日記は、18日に書きました）





[返信・引
用 編集
済](#)

1月18日(土)雨・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月18日(土)06時44分37秒

16日(木)は、

ハツ=権現岳・三ツ頭(2580m)でした。
コースは、八ヶ岳横断道路~天女山~前三ツ頭~三ツ頭。
標高差=1210m。

冬の権現岳は、

1986年2月22~23日(22日は、39歳誕生日だった)

<http://susono-reihou.babyblue.jp/1-7.pdf>

2014年3月9日

<http://susono-reihou.babyblue.jp/412.pdf>

に上った。

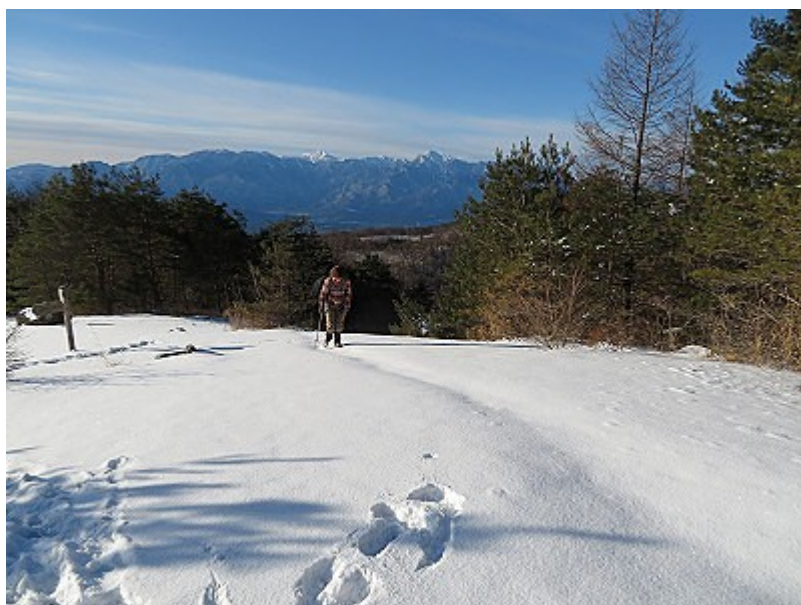
前者は、日帰りでなく山中一泊。男子2名だったが、
厳冬期でラッセルはなく、厳しい山だった。

後者は、3月の日曜日で登山者が多く、ラッセルは楽だった。
ただ、前夜宿泊りで、朝食が遅く、時間の制約があった。

日帰りの場合、三ツ頭到着がポイント。ここに12時前なら、
往復2時間かかる権現岳は上れる。12時を過ぎると、下山
時間を考えると止めたほうがよい。

また、以前も書いたが、同じ日帰りでも、長泉発と現地発では、体力に大きな違いが出てくる。今回は長泉発5：00で睡眠不足でキツイ山だった。

つづく



1月15日(水)曇・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月15日(水)06時43分42秒

「山々のブログ」 NO. 172

県連盟の行方

かつて、会員数1000名を擁した静岡県連盟は、来期500名を切る。山岳組織の会員減は、全国連盟もしかりで、とどまるところを知らない。これは、日本山岳会なども見られる。また、この現象は山岳会のみならず、他のサークルも同様のようだ。

大きな要因は、傘下団体の連盟脱退。団体の脱退は、人数が多いだけに影響が大きい。

連盟の大きな脱退は、2012年=25名、2014年=16+11名、2015年=36名、2016年=19名、2018年=35名、2019年=41名。(人数は前年度登録人数)ざっと数えて、ここ7年で約200名弱。驚くべき数字である。

脱退の理由は何か。確かに、高齢化・老齢化・新入会員減・理事を出せない、などある。

ところが、県連を脱退しても会が登山活動を停止する訳ではない。多くの場合、脱退しても活動は続けている。

つづく





1月14日(火)曇・9度

[返信・引用](#)
[編集](#)
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月14日(火)06時18分53秒
いや～、

サイコーでした。感動した。ウルウルでした。
昨日の男子高校サッカー。
前半は、これでは厳しいかも。仮に三点目が入ったら
完全にやられた、と思った。

しかし、前半最後に一点返し、流れが変わっただろうか。
危ないシーンもあったが、何とかしのいだ。
しのいでしのいで、僅かなチャンスをものにした。

同点になった。さあ、勝ち越した。攻める攻める攻める。
反則を取ってチャンス。見事なパス。
誰もいない。フリーだった。ジャンプ一発。

入った～あああああ！！！！
大歓声。怒涛のスタンド。TV 前も大騒ぎ。
その後、長い笛。

前日の女子に続き優勝。静岡サッカー王国再興。



1月12日(日)曇・10度

[返信・引
用 編集](#)

一昨日は

洞門から上塚まで。富士山ハイキングでした。
先日の大雨で下部はだいぶ薄くなった。
それでも上部はベツタリ。

ただ、風は東風で、帽子を被らなくても寒くなかった。
この暖冬は困ったものだ。
一番ヤバいのは、私の場合畑。

野菜の調子が完全に狂っている。
本業の方は、さらに大変だろう。

上塚に上り、ブラブラ下って終了した。





[返信・引
用 編集
済](#)

1月11日(土)晴・13度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月11日(土)08時04分39秒

今年も

たくさんの方から年賀状をいただいた。
相変わらず、皆様、ご活躍。

一番、驚いたのが、山仲間2名から骨折報告があったことだ。
2名とも、私より若い。
一人の方は、薬師沢小屋手前で2m滑り落ちて、岩に右手を強打して
止まった。小指が外に45度折れ曲がり骨折した。

もう一人の方は、詳細はなかったが、5月だった。ボードで利尻を
滑る方だから、おそらく、ボードでだと思う。足骨折の可能性が高いが
足の場合、最悪であろう。

私は50年以上、登山を続けているが、骨折事故はない。
左右のふくらはぎ肉離れは別年でやった。肉離れでも大変だったから、
骨折は更に大変だろう。

実は、先日の年末登山の下りで、アイゼンを木の根っこに引っ掛けて
大転倒。ほほに木の根っこがぶつかり負傷した。歩き始めて9時間。
かなり疲れていたと思う。

事故や怪我は、ちょっとしたきっかけで起きる。また、この年齢に

なると単独登山はやめたほうが良い。単独では何も出来ない。
今年もこころして登山に励もう。



1月9日(木)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月9日(木)06時23分32秒

しかし、温かい！！

ビリ堂を過ぎると、いい道になった。途中、再び新東名の工事現場があった。

現在の東名より遥かに高い場所を通るようだ。ここで小休止。皆でお茶をいただいた。後はミカンの通過しブラブラ下る。

残りミカンを少しいただいた。

下りきって山北駅に向かう。集落はすでに薄暗くなってきた。そこで驚いた。

集落の中のに「三頭の中型イノシシ」が「遊んで」いた。

生け垣を隔てウロウロしているが、我々を見ても全く動じない。

人間に慣れている。ミカンで貰ったミカンを投げたが食べなかった。集落のオバサンに聞いたら、以前から「住みついている」そうだ。追っ払っても「ムダ」のようだ。困ったものだ。最近、住民よりイノシシ・シカ・サル・タヌキ・ムジナ・ハクビシンなど、獣のが多いとか??!!

長い道を歩き、ようやく山北駅。更に打ち上げで、駅前の居酒屋

「ポップ駅前屋」に入る。なかなか感じがよい店だった。

大瓶ビール600-は安い。日本酒は、丹沢の酒「秀峰」を飲んだ。

美味しかった。いい初登山でした。ゆっくり1時間以上お邪魔し

18時の電車で帰った。

追記

5:00 朝食時、I君から携帯。「電車乗っていませんよね？」だった。

メールは前日発信したが、未達で電車時間を誤った。山北駅に先行し合流。

以後、連絡はFAXで。誕生日にやれやれでした。



1月7日(火)曇・11度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月7日(火)06時19分44秒

つづき

虫沢分岐を過ぎて下ると、下山コースの「ビリ堂」分岐に出る。前から数頭の犬を連れた女子が二人来た。犬は完全な衣服を着ていた。いくら冬でも、犬には迷惑だろう。

上り切れれば高松山頂上。広く大きく展望がサイコーの頂上。ただ、当日は箱根連山に雲が掛り、富士山も見えなかった。従って陽光は望めず、寒いこと寒いこと。

先発班が作ってくれたとん汁を囲んで新年の乾杯。ホット・ビアが空腹の五臓六腑に染み渡る。テーブルに美味しい食べ物も沢山上がった。

ランチは約1時間。トン汁も美味しかった。この間、誰も来なかった。4日では、まだ家にいる人が多いのだろう。満腹でいよいよ寒くなったので下山。

ビリ堂に下る。人工林の道は掘り裂かれズタズタだった。火山灰のような砂山で浸食が激しい。それでもビリ堂を過ぎると、いい道になった。

途中、再び新東名の工事現場があった。現在の東名より遥かに高い場所を通るようだ。

つづく





1月6日(月)晴・7度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月6日(月)06時39分26秒

つづき

立派な階段を上り、西尾根に取り付く。何故、こんな立派な階段があるか不思議。ただ、後で分かったが、「虫沢古道を守る会」なるものがあり、登山道を維持している様子だった。

物凄い急登を行く。途中、2本休憩。皆瀬川対岸に目を転じると、大野山中腹に「ポツンと一軒家」が見えた。南斜面だから陽当たりは良さそうだが、車がないと生活は出来ないだろう。

下部は杉の人工林が続く。枝打ちの残骸が多かった。残骸の枝を自身の片足で踏んで、片足が引っかかる。こんな事が多く、実に歩き難い。

ようやく標高点・657mに達した。周りは自然林に変わり明るい日差しが届いていた。79歳のSちゃんが、「まだか、まだか」と連発する。昼食の時間はすでに過ぎ、全員空腹を感じていた。

ここで「トン汁班」の3名に先行して貰う。このままでは全員「玉碎」するので、頂上に早着し、トン汁を作って貰う作戦。3名はガシガシ上って行った。このようなことが出来ることは実に有難い。

頂上手前に北に下る道標があった。この道は、前述の虫沢方面に下っている。下のほうで、チェーンソーの音が響く。4日からもう仕事をしているのだろうか。

つづく





1月5日(日)晴・13度

[返信・引
用 編集
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月5日(日)08時19分2秒

昨日は

初登山で、西丹沢・高松山西尾根でした。
標高差が約700mの山だから、時間は掛からないだろうで
下土狩駅発8:00とノンビリだった。

天気はやや曇りでハッキリしない。参加は8名。最高齢はSさんで
11月には80歳になる。若手はこの日、50歳の誕生日の1君。
女性は2名。皆さん、今年も元気イッパイだ。

山北駅発9:13。北に歩を進め、皆瀬川に沿って歩く。途中、
第二東名の工事が凄かった。人遠(ひとと)集落下まで来ると
道路わきに数十台の車。その先の林道崖には皆瀬川に降りるロープ
が張ってあった。河原を覗くと、先ほどの車の人であろう方、30名
ほどが何やらやっていた。

こんな寒い新年にキャンプでもあるまい。エールを送ると、返事が来た。
林道を進むと向こうから若い衆が何人か来る。この時間に何だろう。
聞けば、先ほど河原にいた人たちと合流するらしい。理由は、「皆瀬川
にあるサンゴ化石の保守」といった。

ネットをみたら、確かに化石があるようだ。

<http://s-ok.my.coocan.jp/eco/091011minase/091011minase.htm>

西尾根取りつきは、人遠橋すぐ先の右手だった。手すりがある、立派な階段があった。

つづく



1月1日(水)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月1日(水)06時23分32秒

あけまして
おめでとう
ございます

本年もよろしくお願いたします。

2020年
元旦



あけまして おめでとう ございます

昨年は、6回目の年男でした。今年は、心機一転です。登山は49回。44年ぶりで幌尻岳を周遊しました。

巡礼は毎月、伊豆巡礼で7周目に入ります。秩父三十四観音は、3年で完歩しました。新規で小豆島お遍路は、2年目です。伊豆一周ウオーキングは、3回目の2年目に入りました。

畑は、1. 無農薬 2. 新鮮で美味しい 3. 沢山作って皆さんに分ける。で楽しんでいます。

2020年・元旦